

市政世論調査報告書

(第39回・平成19年)

調 査 項 目

第1章

定 住 意 向
市 政 へ の 要 望
みどりに関する意識について
道路整備に対する意識について

第2章

「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の
目標値に対する達成度

八 王 子 市

はじめに

市民の皆様の価値観は多様化し、行政に対する意見や要望なども複雑多岐にわたっています。厳しい財政環境のもとで、行政がこれらの問題に的確に対応していくためには、効率的かつ戦略的な市政運営が欠かせません。従来の行政主導のまちづくりから、市民主体のまちづくりに転換を図り、市民と行政が共に考え、共に発展させ、健全でにぎやかな活力に満ちたまちこそが、私のめざす理想の都市像です。

こうした市民と行政のパートナーシップ型行政は、今日の社会情勢の中、広聴活動の重要性が求められています。そこで本市では、市政の施策に対する市民の皆様の意見や要望などを把握し、これらの結果を今後のまちづくりの基盤となる施策に反映させるため、「市政世論調査」を広聴活動の一環として、毎年継続的に実施しています。

この冊子は、平成19年5月中に実施した「市政世論調査」の結果をとりまとめたものです。

本年は、調査項目として「定住意向」「生活環境」「市政への要望」「八王子ゆめおりプランの施策指標の目標値に対する達成度」の継続的項目に加え、「みどりに関する意識について」「道路整備に対する意識について」を設定しました。

今後も、市政世論調査を通じて市民の皆様の市政への参加を図り、調査結果を有効に活用して、市民と行政との協働によるまちづくりを、より一層推進していきたいと考えています。

最後になりましたが、この調査に御協力いただいた市民の皆様に心から御礼申し上げます。

平成19年10月

八王子市長 黒須 隆一

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	3
2. 調査設計	3
3. 調査項目	3
4. 回収結果	4
5. 報告書の見方	4
6. 回答者の属性	5
II 調査結果の分析	11
第1章	
1. 定住意向	13
1-1 定住意向	13
1-2 住み続けたい理由	16
1-3 市外へ移りたい理由	19
2. 生活環境	22
2-1 生活環境の評価	22
3. 市政への要望	28
3-1 重点施策要望	28
4. みどりに関する意識について	32
4-1 みどりの増減	32
4-2 今後のみどりの増減	34
4-3 みどりが増えてほしい場所	36
4-4 みどりを守るために市がすべきこと	38
4-5 日頃行っているみどりを増やすこと	41
4-6 「美しいみどり」で思いうかべること	44
4-7 みどりの役割	47
4-8 みどりがあるために迷惑だと思ふときの有無	50
4-9 みどりで迷惑と思ふこと	52
4-10 公園に対する希望	55
4-11 みどりの環境づくりを行う主体	58
4-12 みどりの環境づくりに関わる市民への支援	60

4-13	みどりの環境づくりに関わる意向	62
4-14	みどりの環境づくりに関わる場所	64
5	道路整備に対する意識について	67
5-1	自動車運転免許の有無	67
5-2	自動車の運転頻度	69
5-3	周辺道路の本数の不足	71
5-4	道路の本数が足りないと感じる理由	73
5-5	周辺の道幅の狭さ	75
5-6	道幅が狭いと感じる理由	77
5-7	周辺の道路の舗装の悪さ	79
5-8	道路の舗装が悪いと感じる理由	81
5-9	周辺の道路に必要なもの	83
5-10	車道と歩道の関係について	86
5-11	渋滞が発生する原因	88
5-12	今後進めてほしい渋滞解消対策	91
5-13	道路拡幅のための用地買収区域に入ったときの対応	93
5-14	道路アドプト制度の周知度	95
5-15	道路アドプト制度に対する評価	97
5-16	みなし道路の周知度	100

第2章

6	「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度	102
6-1	市民協働の推進状況	102
6-2	現在の市政情報入手方法の満足度	104
6-3	市の窓口の利用の有無	106
6-4	市の窓口サービスの満足度	108
6-5	この1年間の地域行事への参加	110
6-6	日常生活環境の安全度	112
6-7	市の相談窓口の充実度	114
6-8	市の相談窓口の利用の有無	116
6-9	相談窓口の満足度	118
6-10	市の子育て支援施策の満足度	120
6-11	現在の生きがい	123
6-12	健康のために心がけていること	125
6-13	かかりつけの医療機関の有無	127
6-14	この1年間に取り組んだ学習活動	129

6-15	この1年間に行ったスポーツの頻度	131
6-16	この1年間の芸術・文化活動の頻度	132
6-17	市は景観に配慮されたまちであるか	133
6-18	災害に対する準備	135
6-19	市のにぎわいと活力の有無	137
6-20	環境問題への関心度	139
6-21	市の現在の環境	141
6-22	都市の美観が損なわれる原因	143
6-23	市は美観が保持されたまちだと思うか	146
6-24	省エネ・省資源を実行しているか	148
Ⅲ	調査票	149

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、市民の生活環境への意識、市の施策に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、本市の市政運営の資料として活用することを目的とする。

2. 調査設計

- (1) 調査地域：八王子市内全域
- (2) 調査対象：市内在住の満20歳以上の男女個人
- (3) 対象者数：3,000人
- (4) 抽出方法：住民基本台帳からの層化二段無作為抽出法
 - ・層 化…「八王子ゆめおりプラン」で示された本庁・事務所管轄区域に基づき、6地域に区分する。（下の地域区分図参照）
 - ・地点抽出…各地域の調査対象人口（満20歳以上の男女）に応じて調査対象を配分する。調査対象に基づいて合計100地点となるように各地区の地点数を決定、地点を抽出する。
 - ・対象者抽出…抽出された各地点において対象者数が30人となるように無作為系統抽出を行う。

【本調査における地域区分】

- 中央地域：本庁管内
西部地域：元八王子・恩方・川口
西南部地域：浅川・横山・館
北部地域：加住・石川
東南部地域：由井・北野
東部地域：由木・由木東・南大沢



- (5) 調査方法：郵送配布・郵送回収
- (6) 調査期間：平成19年5月11日～5月25日
- (7) 調査機関：(株) サーベイリサーチセンター

3. 調査項目

- (1) 定住意向
- (2) 生活環境
- (3) 市政への要望
- (4) みどりに関する意識について
- (5) 道路整備に対する意識について
- (6) 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

4. 回収結果

対象者数：3,000人

有効回収数：1,780票（有効回収率59.3%）

5. 報告書の見方

- （１）集計は、小数点第２位を四捨五入してある。したがって、数値の合計が100%ちょうどにならない場合がある。
- （２）回答の比率（％）は、その質問の回答者数を基数として算出した。したがって、複数回答の設問はすべての比率を合計すると100%を超えることがある。
- （３）基数となるべき実数は、 n （件数）として表示した。その比率は、 n （件数）を100%として算出した。
- （４）本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。
- （５）分析の軸（＝表側）として回答者の属性や設問は、「無回答」を除いているため、各回答者の属性と基数の合計が全体と一致しない場合がある。
- （６）本文やグラフの選択肢表記では、長文のものについては、語句を省略していることがある。
- （７）標本誤差

標本誤差（サンプル誤差）はおおよそ下記の通りである。等間隔抽出法、すなわち無作為抽出法の標本誤差は次の式によって得られる。標本誤差の幅は、比率算出の基数（ n ）、および回答比率（ P ）によって異なる。

$$b = \pm 2 \sqrt{2 \frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差

N = 母集団数

n = 比率算出の基数（サンプル数）

P = 回答比率

回答比率（ P ） 基数（ n ）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,780	± 2.01	± 2.68	± 3.07	± 3.28	± 3.35
1,500	± 2.19	± 2.92	± 3.35	± 3.58	± 3.65
1,000	± 2.68	± 3.58	± 4.10	± 4.38	± 4.37
500	± 3.79	± 5.06	± 5.80	± 6.20	± 6.32
100	± 8.49	± 11.31	± 12.96	± 13.86	± 14.14

※上表は $\frac{N-n}{N-1} \div 1$ として算出している。この表の計算式の信頼度は95%である。

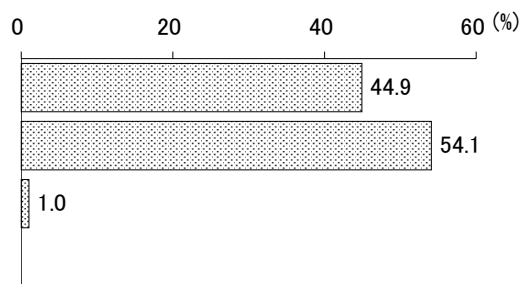
注）この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が1,780で、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも±3.28%以内（56.7%～63.3%）である」と見ることができる。

6. 回答者の属性

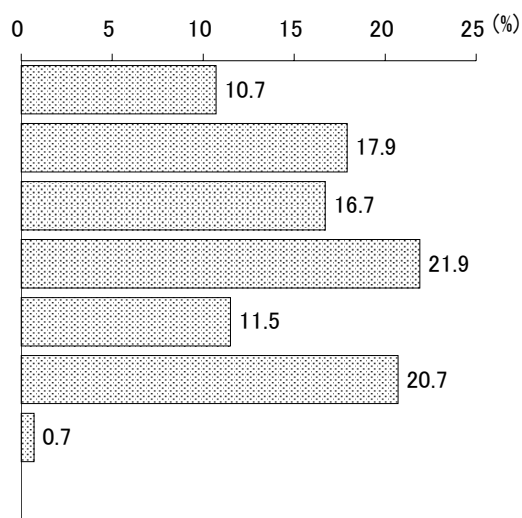
1 性別

	基数(人)	構成比(%)
1 男性	800	44.9
2 女性	963	54.1
無回答	17	1.0
合 計	1,780	100.0



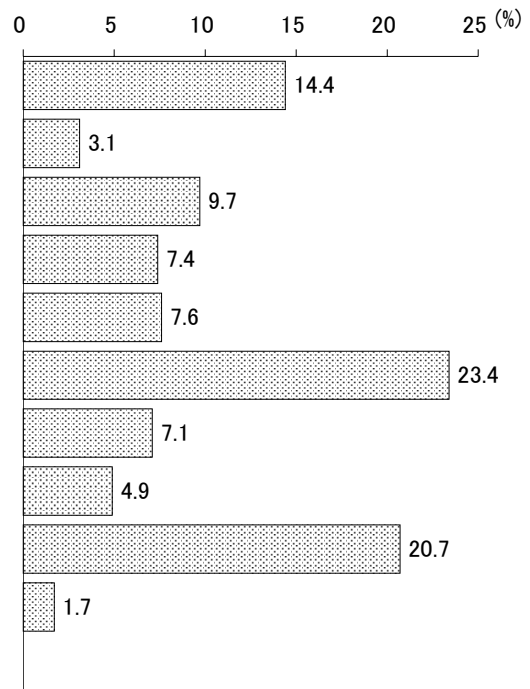
2 年齢

	基数(人)	構成比(%)
1 20歳代	190	10.7
2 30歳代	319	17.9
3 40歳代	298	16.7
4 50歳代	389	21.9
5 60～64歳	204	11.5
6 65歳以上	368	20.7
無回答	12	0.7
合 計	1,780	100.0



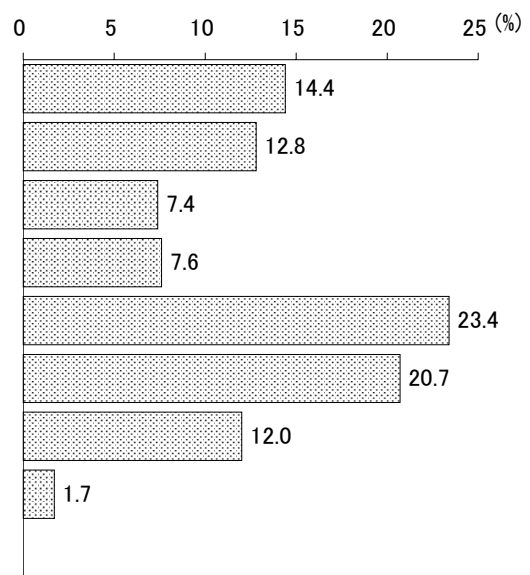
3 ライフステージ

	基数(人)	構成比(%)
1 20～39歳で単身者	257	14.4
2 20～39歳で配偶者がいて子どもがいない	56	3.1
3 20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前	172	9.7
4 20～64歳で一番下の子どもが小学生	131	7.4
5 20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生	135	7.6
6 20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	416	23.4
7 40～64歳で単身者	126	7.1
8 40～64歳で配偶者がいて子どもがいない	88	4.9
9 65歳以上	368	20.7
無回答	31	1.7
合 計	1,780	100.0



■ ライフステージ (集約型)

	基数(人)	構成比(%)
1 独身	257	14.4
2 家族形成期	228	12.8
3 家族成長前期	131	7.4
4 家族成長後期	135	7.6
5 家族成熟期	416	23.4
6 老齢期	368	20.7
7 その他	214	12.0
無回答	31	1.7
合 計	1,780	100.0

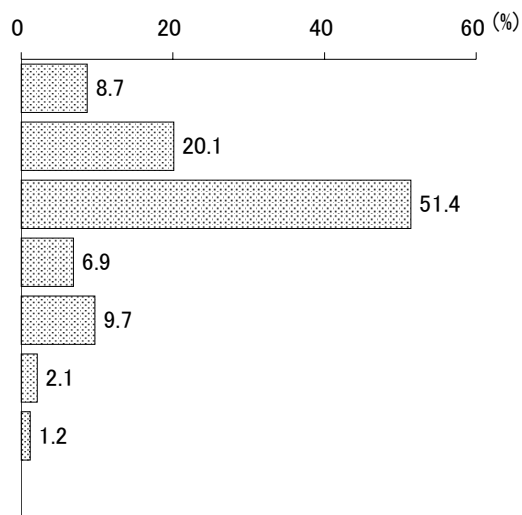


■ ライフステージ区分

独 身 期	20～39歳で単身者
家 族 形 成 期	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない または、20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前
家 族 成 長 前 期	20～64歳で一番下の子どもが小学生
家 族 成 長 後 期	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生
家 族 成 熟 期	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している
老 齢 期	65歳以上
そ の 他	40～64歳で単身者 または、40～64歳で配偶者がいて子どもがいない

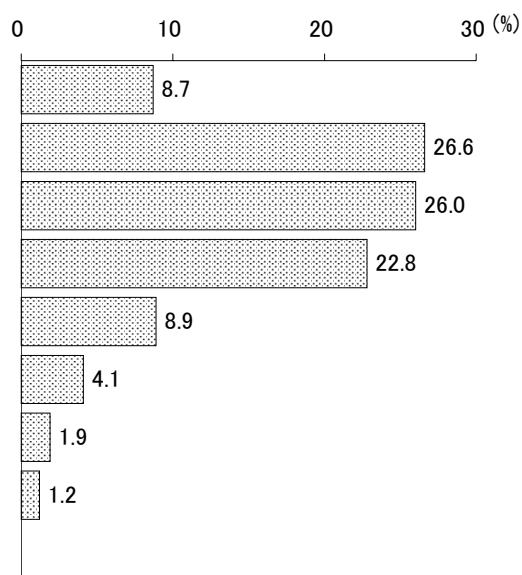
4 世帯構成

	基数(人)	構成比(%)
1 ひとり暮らし(単身世帯)	154	8.7
2 夫婦のみ(一世代世帯)	358	20.1
3 親と未婚の子ども (二世代世帯)	915	51.4
4 親と子ども夫婦 (二世代世帯)	122	6.9
5 親と子どもと孫(三世代世帯)	172	9.7
6 その他	37	2.1
無回答	22	1.2
合 計	1,780	100.0



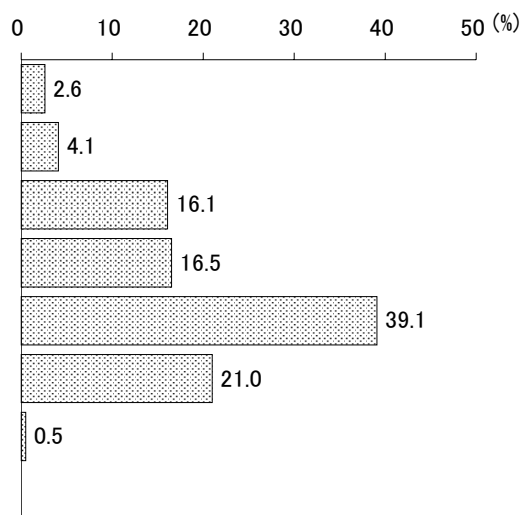
5 同居家族人数

	基数(人)	構成比(%)
1 1人	154	8.7
2 2人	473	26.6
3 3人	462	26.0
4 4人	405	22.8
5 5人	159	8.9
6 6人	73	4.1
7 7人以上	33	1.9
無回答	21	1.2
合 計	1,780	100.0



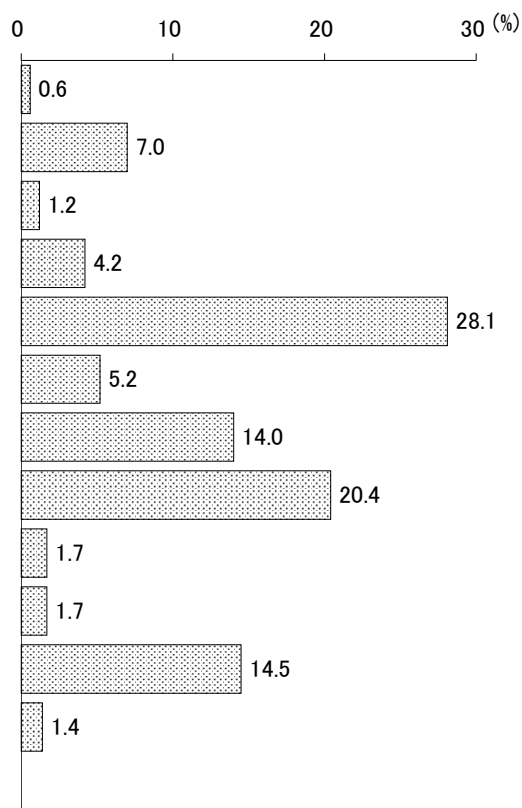
6 居住年数

	基数(人)	構成比(%)
1 1年未満	47	2.6
2 1～3年未満	73	4.1
3 3～10年未満	287	16.1
4 10～20年未満	294	16.5
5 20年以上	696	39.1
6 生まれてからずっと	374	21.0
無回答	9	0.5
合 計	1,780	100.0



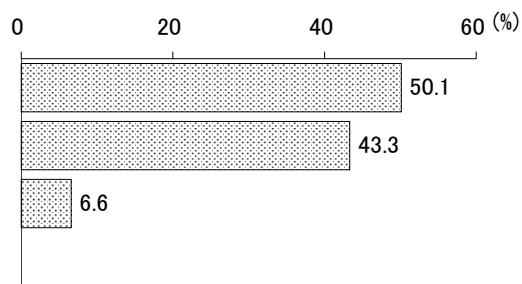
7 職業

	基数(人)	構成比(%)
1 農・林・漁業	11	0.6
2 自営業	124	7.0
3 自由業(開業医、弁護士、 司法書士など)	22	1.2
4 会社や団体の役員	74	4.2
5 会社・商店・サービス業などの 勤め人	501	28.1
6 教員・公務員	93	5.2
7 アルバイト・パート	249	14.0
8 (専業)主婦・主夫	363	20.4
9 学生	30	1.7
10 その他	30	1.7
11 無職	258	14.5
無回答	25	1.4
合 計	1,780	100.0



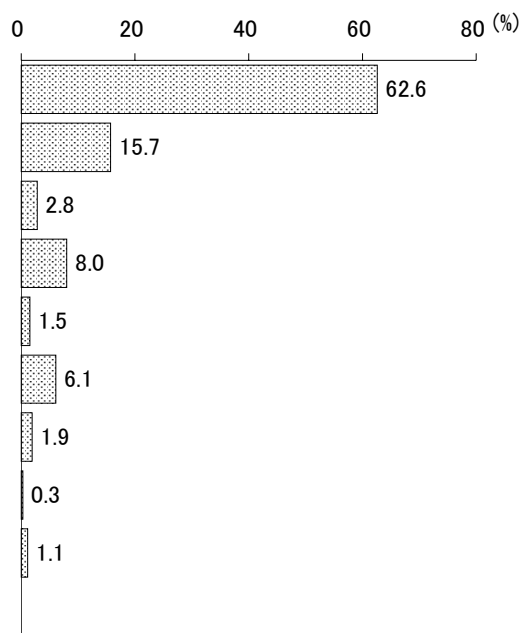
7-1 仕事場

	基数(人)	構成比(%)
1 八王子市内	538	50.1
2 八王子市外	465	43.3
無回答	71	6.6
合 計	1,074	100.0



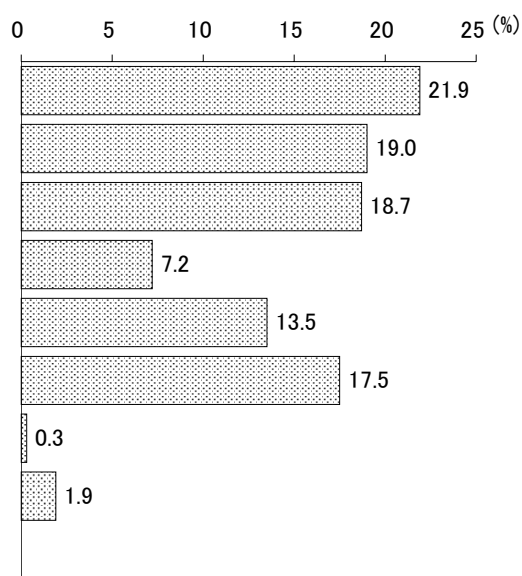
8 居住形態

	基数(人)	構成比(%)
1 一戸建て(持ち家)	1,115	62.6
2 分譲マンション	279	15.7
3 一戸建て(借家)	49	2.8
4 民間の賃貸アパート・マンション	142	8.0
5 都市再生機構(旧公団)・公社の賃貸住宅	27	1.5
6 都営・市営住宅	109	6.1
7 社宅・官舎・寮	34	1.9
8 その他	5	0.3
無回答	20	1.1
合 計	1,780	100.0



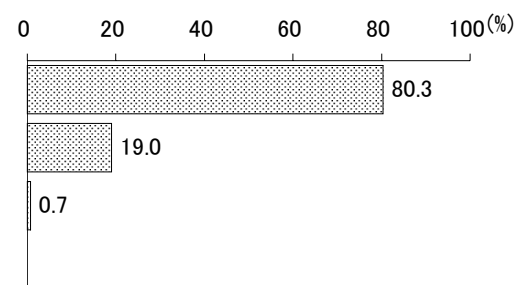
9 居住地域

	基数(人)	構成比(%)
1 本庁管内(中央地域)	389	21.9
2 元八王子・恩方・川口(西部地域)	338	19.0
3 浅川・横山・館(西南部地域)	333	18.7
4 加住・石川(北部地域)	129	7.2
5 由井・北野(東南部地域)	241	13.5
6 由木・由木東・南大沢(東部地域)	311	17.5
7 不明	6	0.3
無回答	33	1.9
合 計	1,780	100.0



10 町会・自治会の加入状況

	基数(人)	構成比(%)
1 入っている	1,429	80.3
2 入っていない	338	19.0
無回答	13	0.7
合 計	1,780	100.0



Ⅱ 調査結果の分析

第1章

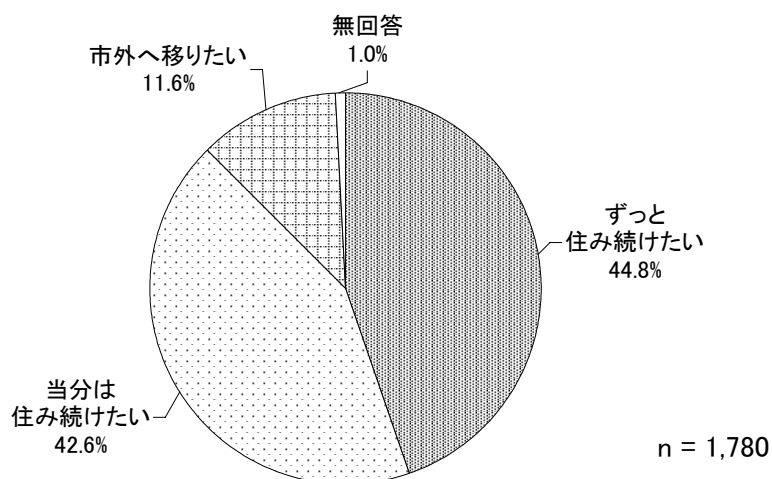
1. 定住意向

1-1 定住意向

◇『住み続けたい』が9割近く、「市外へ移りたい」が1割強

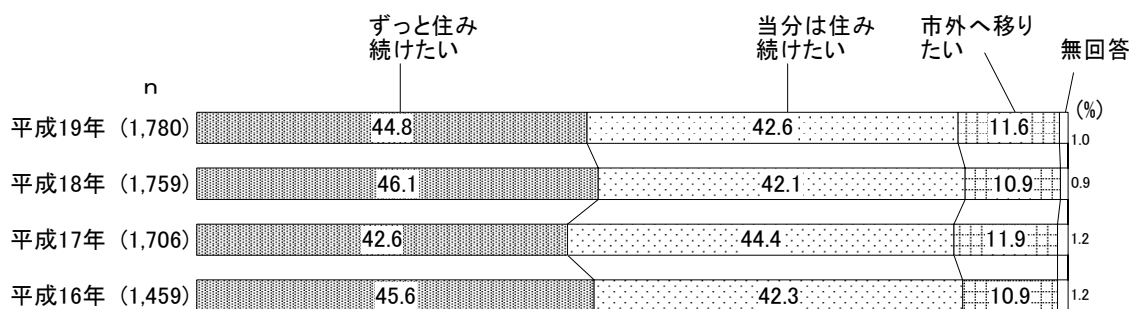
問1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ)

図1-1-1



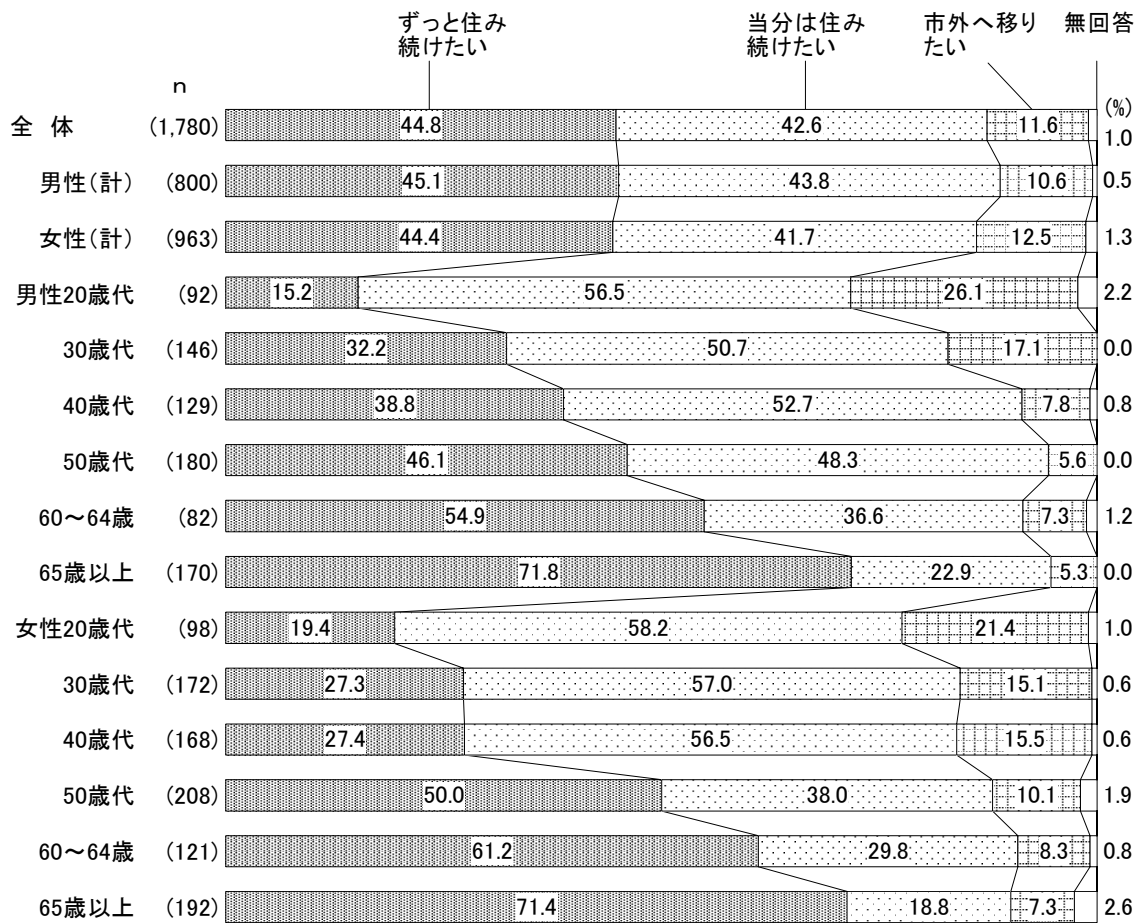
市への定住意向は、「ずっと住み続けたい」が4割台半ば（44.8%）と最も高く、「当分は住み続けたい」（42.6%）と合わせた『住み続けたい』は9割近く（87.4%）を占める。また、「市外へ移りたい」は1割強（11.6%）にとどまっている。（図1-1-1）

図1-1-2 定住意向一経年比較



過去の調査と比較すると、今回は平成18年より「ずっと住み続けたい」は1.3ポイント減少し、「市外へ移りたい」は0.7ポイント増加している。なお、『住み続けたい』は、平成17年より0.8ポイント減少しているが、今回も9割近く（87.4%）と高い水準を維持している。（図1-1-2）

図 1 - 1 - 3 定住意向－性別・年齢別

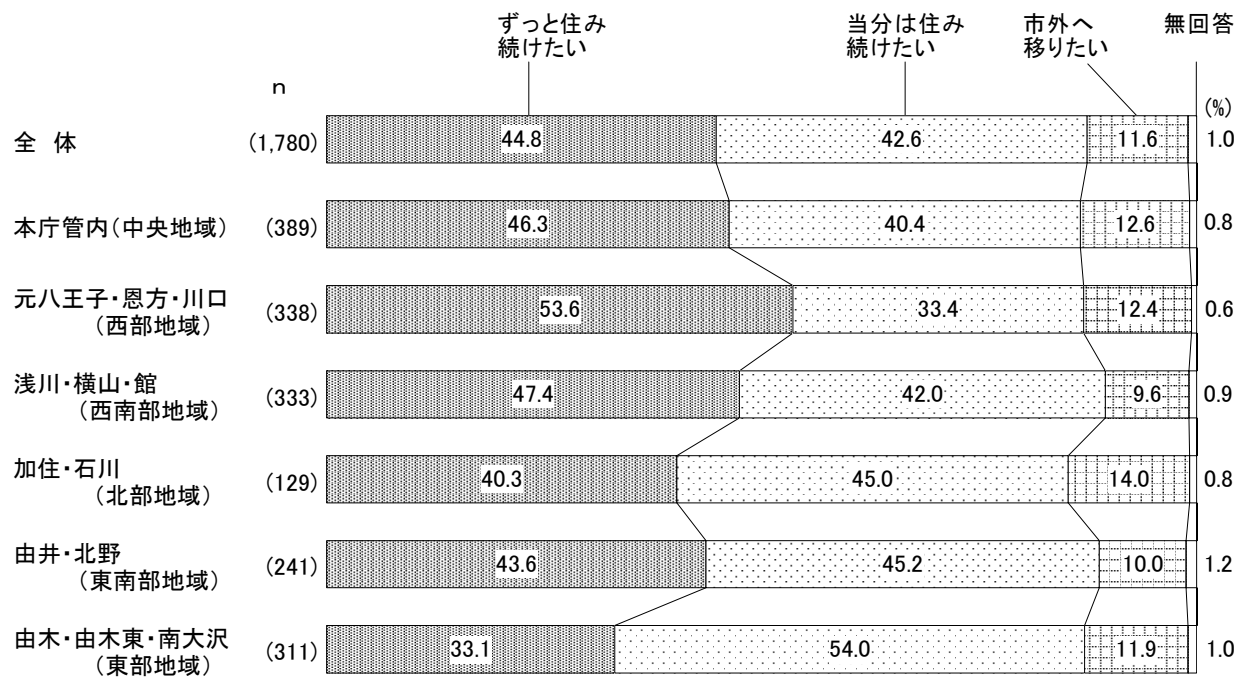


性別にみると、男女ともほぼ同じ傾向となっている。

性・年齢別にみると、「ずっと住みたい」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、特に男性65歳以上と女性65歳以上の年代においては、ともに7割以上と高くなっている。

また、「市外へ移りたい」は男性20歳代と女性20歳代で2割以上と、他の年齢層と比べ高くなっている。(図 1 - 1 - 3)

図 1 - 1 - 4 定住意向－居住地域別



居住地域別にみると、『住みたい』はすべての地域で8割以上を占め高くなっている。また、「ずっと住みたい」は元八王子・恩方・川口（西部地域）が5割以上と高くなっている。一方、由木・由木東・南大沢（東部地域）は「ずっと住みたい」が3割強（33.1%）と、他の地域が4割を超えているのに比べ、低くなっている。（図 1 - 1 - 4）

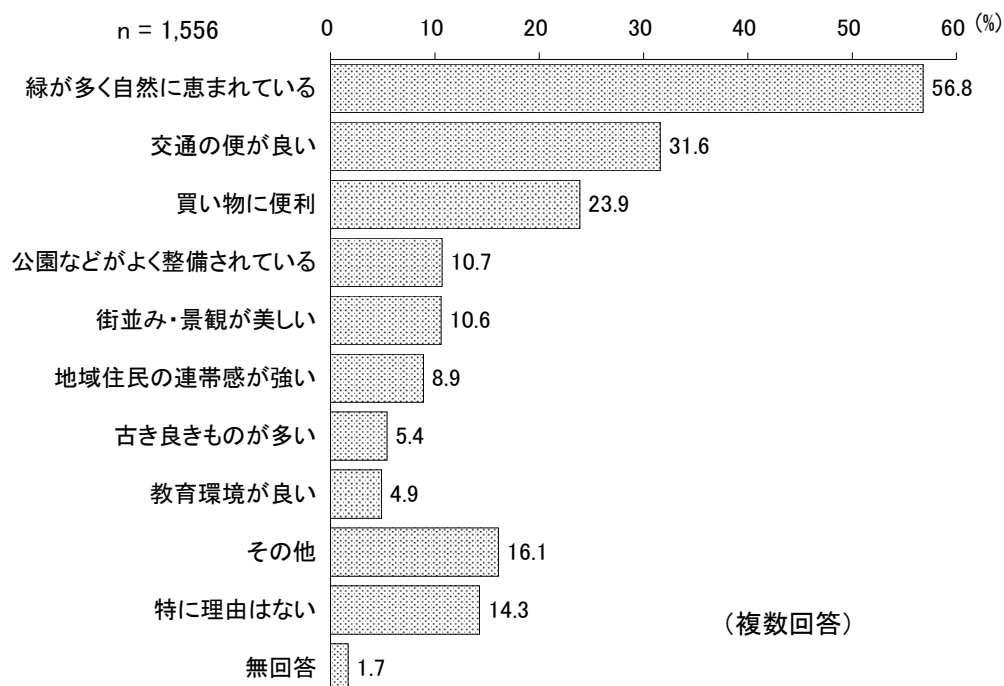
1-2 住み続けたい理由

◇「緑が多く自然に恵まれている」が5割台半ばと突出

(問1で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」とお答えの方に)

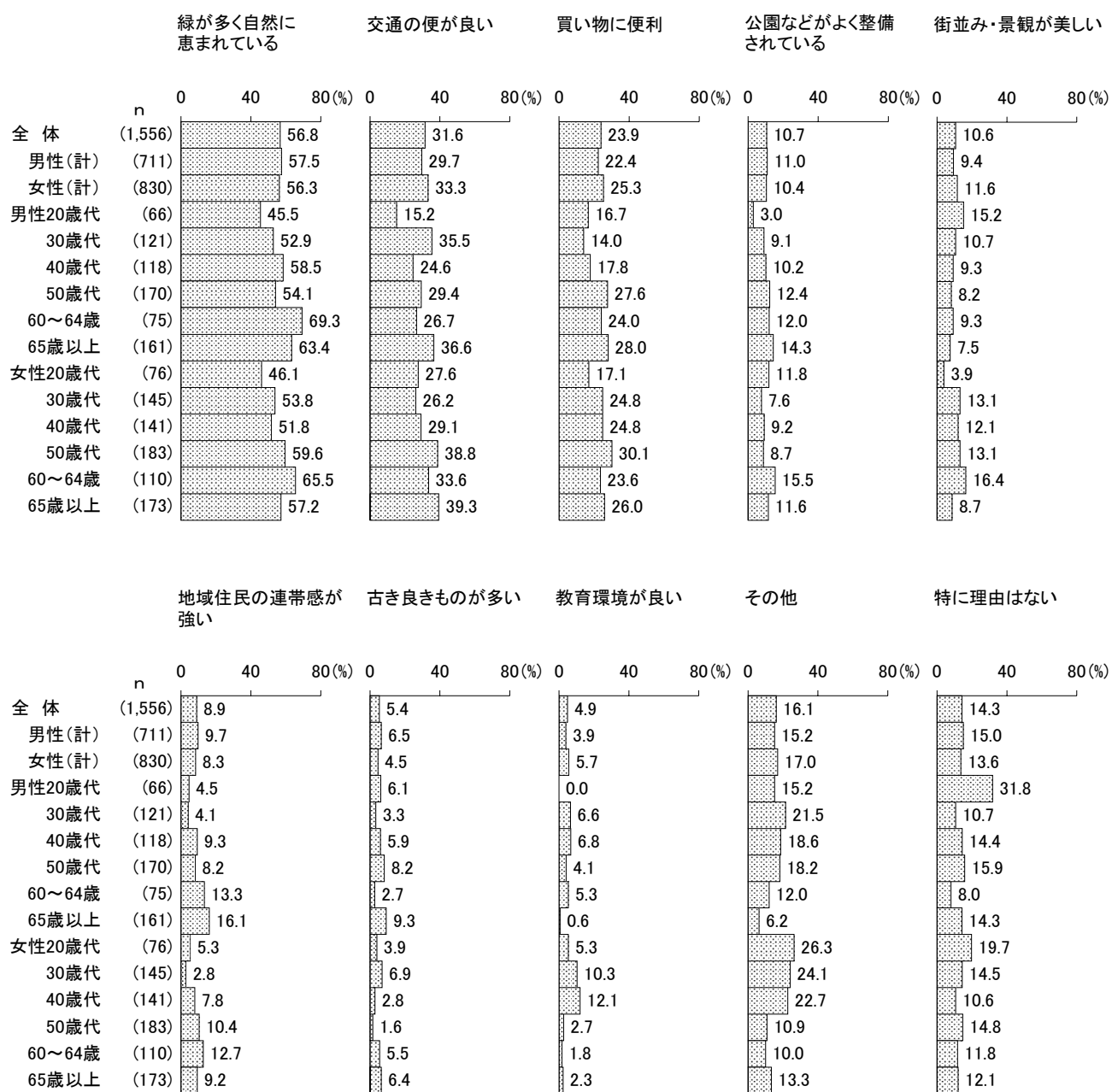
問1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

図1-2-1



八王子市への定住意向で「ずっと住み続けたい」または「当分は住み続けたい」と答えた人(1,556人)に、住み続けたい理由について聞いたところ、「緑が多く自然に恵まれている」が5割台半ば(56.8%)と最も高く、ついで「交通の便が良い」(31.6%)、「買い物に便利」(23.9%)、「公園などがよく整備されている」(10.7%)と続いている。(図1-2-1)

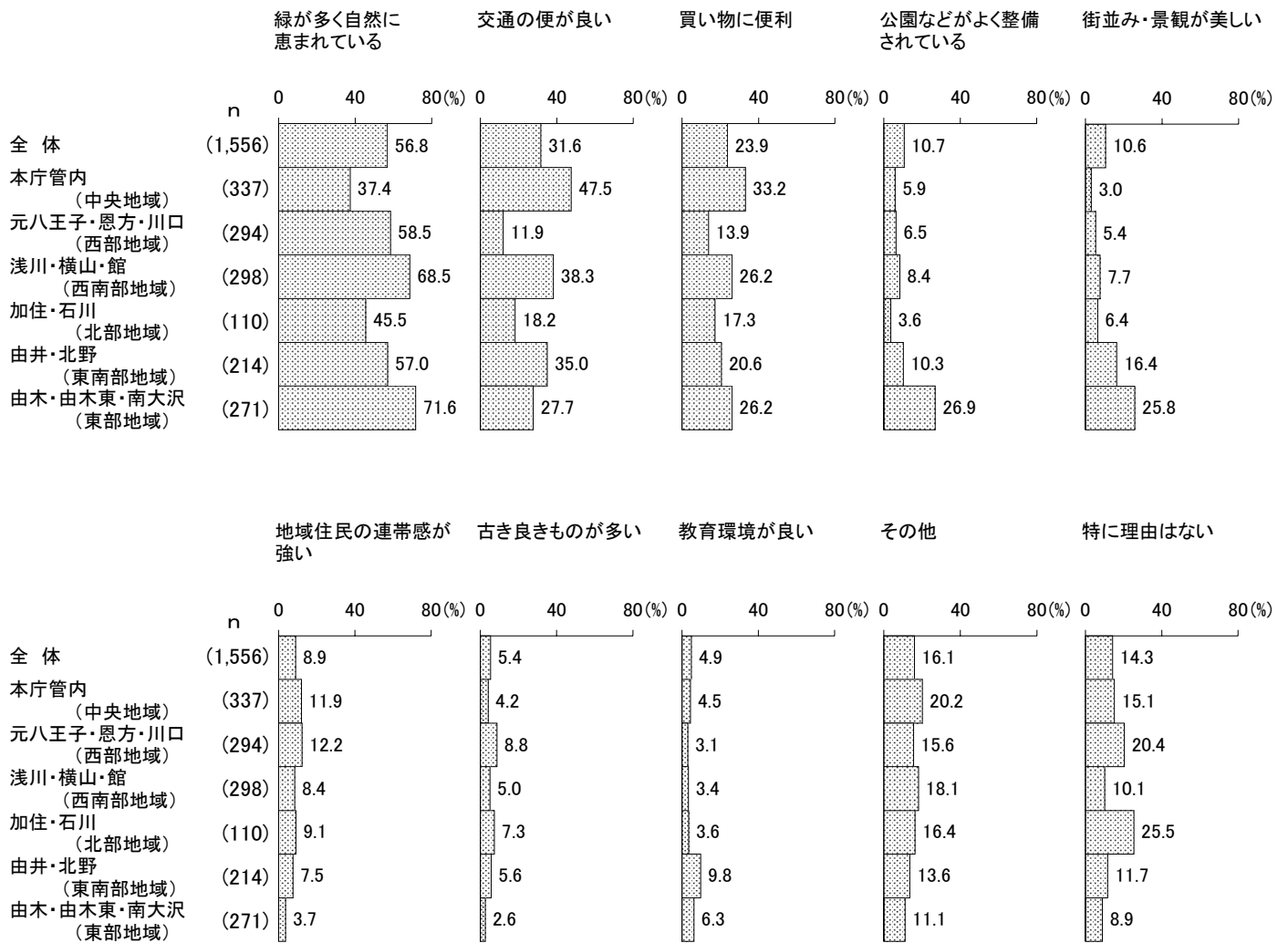
図 1 - 2 - 2 住み続けたい理由－性別・年齢別



性別にみると、女性は「交通の便が良い」が男性よりも3.6ポイント高い。一方、男性のほうが女性より有意に高い項目はみられない。

年齢別にみると、「緑が多く自然に恵まれている」は男性の60歳以上、女性の60～64歳で6割以上と高くなっている。また、「交通の便が良い」は、男女とも65歳以上で最多であり、「特に理由はない」は、男女とも20歳代で最多となっている。(図1-2-2)

図 1－2－3 住み続けたい理由－居住地域別



居住地域別にみると、本庁管内（中央地域）では「交通の便が良い」が5割弱（47.5%）、「買い物に便利」が3割強（33.2%）と高くなっている。由木・由木東・南大沢（東部地域）では「緑が多く自然に恵まれている」が7割強（71.6%）、「公園などがよく整備されている」（26.9%）、「街並み・景観が美しい」が2割台半ば（25.8%）と高くなっている。（図1－2－3）

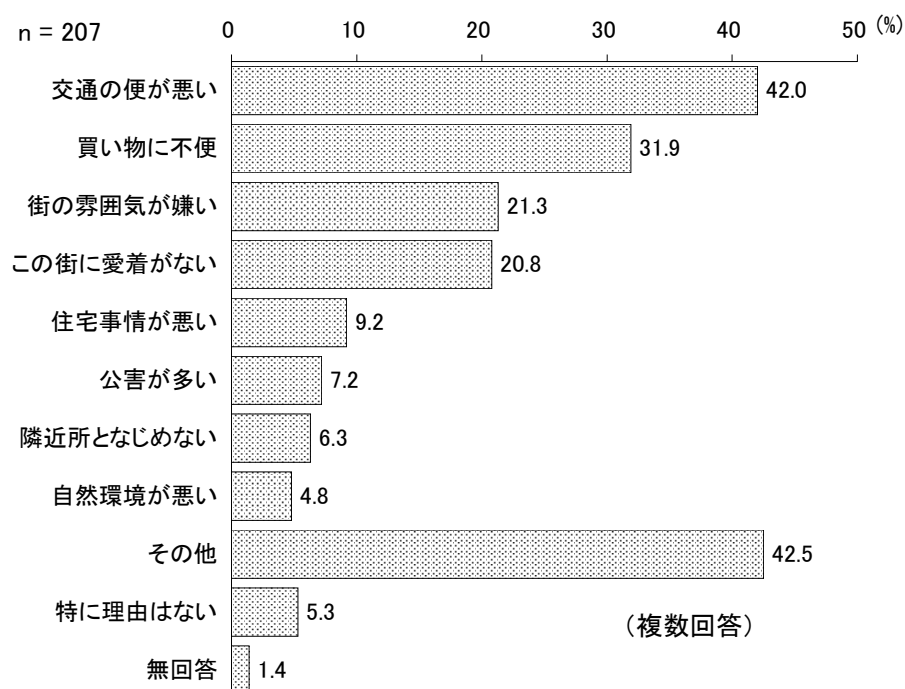
1－3 市外へ移りたい理由

◇「交通の便が悪い」が4割強、「買い物に不便」が3割強

(問1で「市外へ移りたい」とお答えの方に)

問1－2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(○は3つまで)

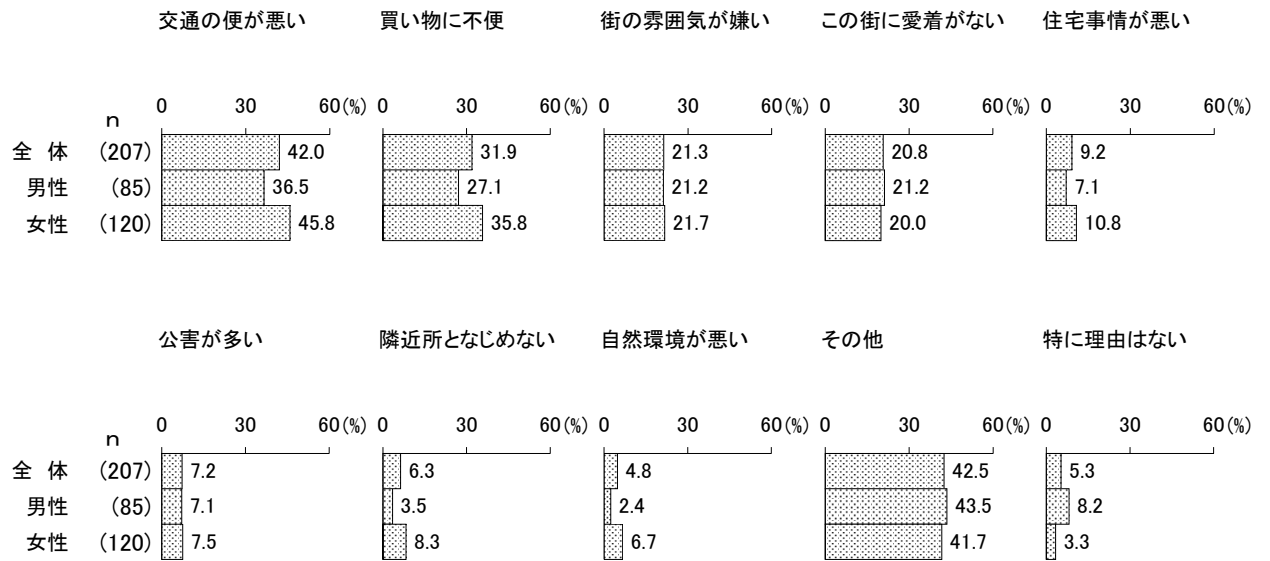
図1－3－1



八王子市への定住意向で「市外へ移りたい」と答えた人(207人)に、市外へ移りたい理由について聞いたところ、「交通の便が悪い」が4割強(42.0%)と最も高く、ついで「買い物に不便」(31.9%)、「街の雰囲気が嫌い」(21.3%)、「この街に愛着がない」(20.8%)と続いている。

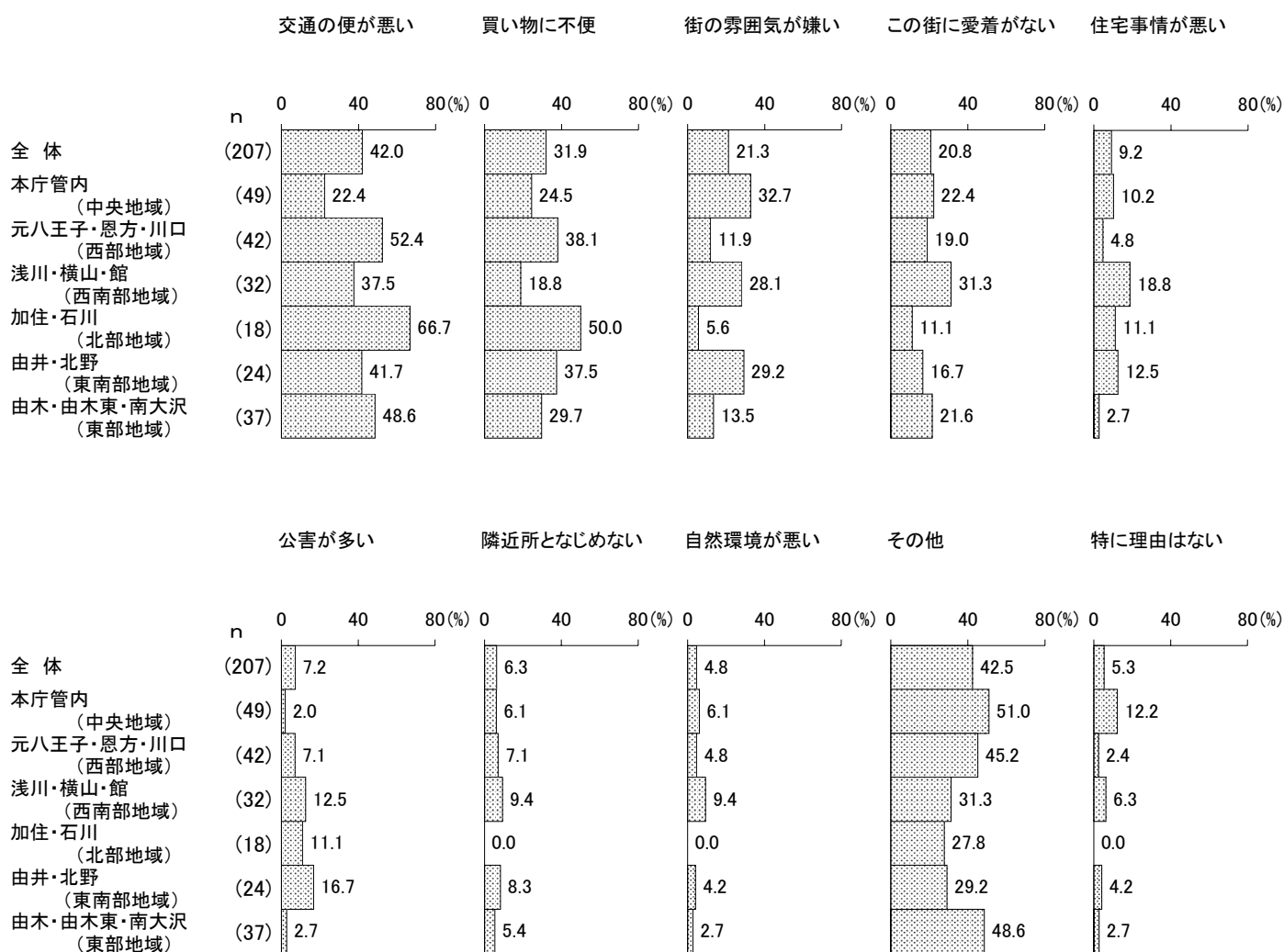
(図1－3－1)

図 1－3－2 市外へ移りたい理由－性別



性別にみると、「交通の便が悪い」で9.3ポイント、「買い物に不便」で8.7ポイント、それぞれ女性の方が高くなっている。(図 1－3－2)

図 1-3-3 市外へ移りたい理由—居住地域別



居住地域別にみると、加住・石川（北部地域）では、「交通の便が悪い」（66.7%）、「買い物に不便」（50.0%）が5割以上と高い。本庁管内（中央地域）では「街の雰囲気が悪い」が3割強（32.7%）、浅川・横山・館（西南部地域）では「この街に愛着がない」が3割強（31.3%）、「住宅事情が悪い」が2割弱（18.8%）と比較的高くなっている。（図1-3-3）

2. 生活環境

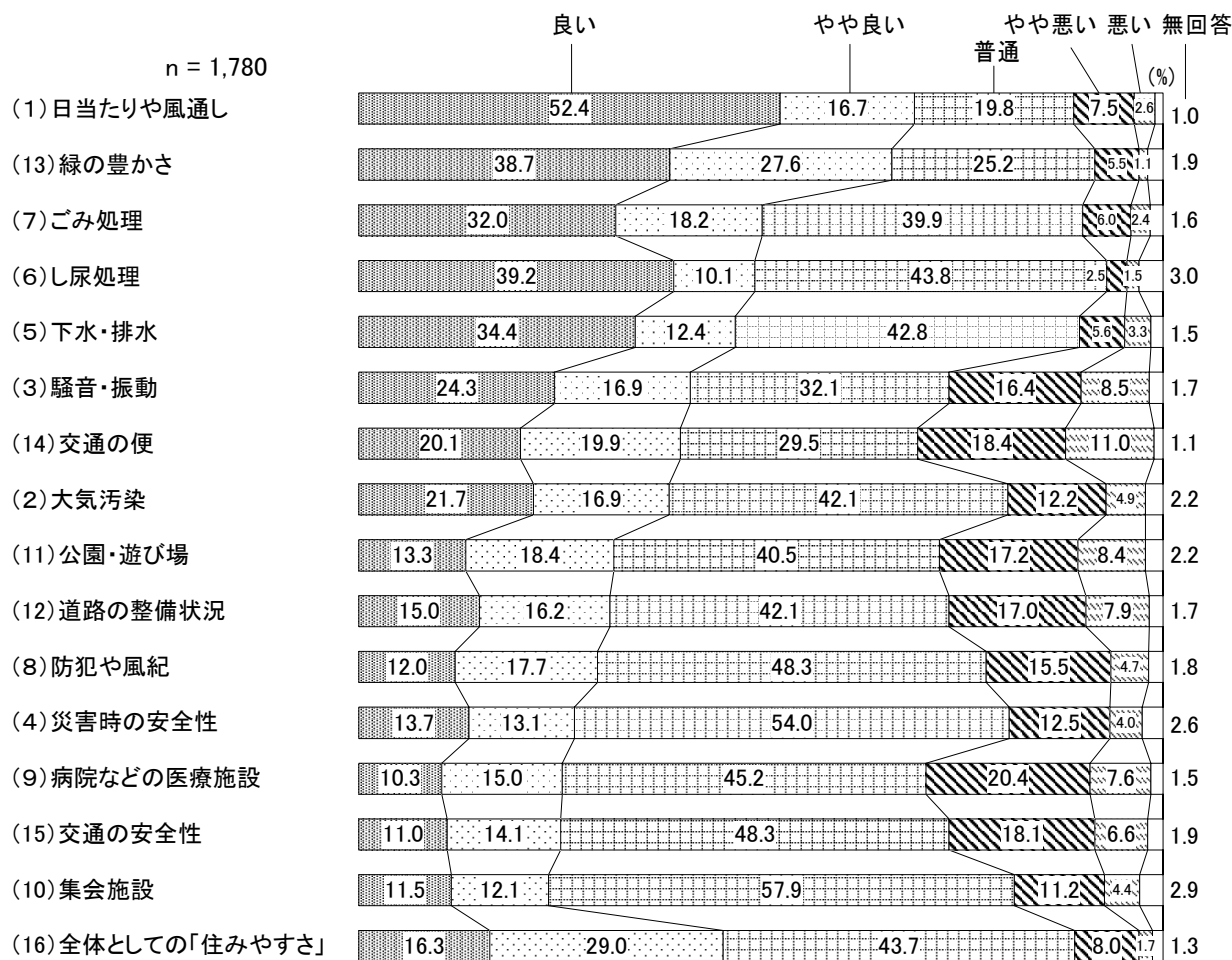
2-1 生活環境の評価

◇「日当たりや風通し」と「緑の豊かさ」の二項目の評価が高い

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

図2-1-1



※【(16) 全体としての「住みやすさ」】を除き、「良い」と「やや良い」の合算で比率の高い順に並べた

周囲の生活環境について聞いたところ、「(1) 日当たりや風通し」について「良い」が5割強 (52.4%) と最も高く、「やや良い」 (16.7%) と合わせた『良い』は7割弱 (69.1%) となっている。

一方で、「(14) 交通の便」と「(9) 病院などの医療施設」では、「やや悪い」と「悪い」を合わせた『悪い』が3割弱と他の項目に比べて高くなっている。(図2-1-1)

■評価順位

生活環境を15の項目に分け、それぞれの評価を聞いた。

「良い」と「やや良い」の合計を【良い】とし、「やや悪い」と「悪い」の合計を【悪い】とみなした場合の、それぞれ上位5項目をあげると次のようになっている。(図2-1-1)

【良 い】		【悪 い】	
①日当たりや風通し	(69.1%)	①交通の便	(29.4%)
②緑の豊かさ	(66.3%)	②病院などの医療施設	(28.0%)
③ごみ処理	(50.2%)	③公園・遊び場	(25.6%)
④し尿処理	(49.3%)	④騒音・振動	(24.9%)
⑤下水・排水	(46.8%)	④道路の整備状況	(24.9%)

なお、【(16) 全体としての「住みやすさ」】は、【良い】(45.3%) が4割を超え、【悪い】(9.7%) が約1割と、【良い】が35.6ポイント高くなっている。

加重平均値(満足度)

生活環境の評価を比率でみるのとは別に、その比較をより明確にするために、加重平均値による数量化を行った。これは、下記の計算式にあるように、数段階の評価に点数を与え、評価点を算出する方法である。

$$\text{評価点} = (\text{「良い」の回答者数} \times 5 \text{点} + \text{「やや良い」の回答者数} \times 4 \text{点} + \text{「普通」の回答者数} \times 3 \text{点} + \text{「やや悪い」の回答者数} \times 2 \text{点} + \text{「悪い」の回答者数} \times 1 \text{点}) \div \text{回答者数}$$

この計算方法では、評価点は5.00点～1.00点の間に分布し、中間点の3.00点を境に、5.00点に近くなるほど満足度は高くなり、逆に1.00点に近くなるほど不満足度が高くなる。

■満足度順位

以上の算出方法による評価点の高いものと、低いものの上位5項目は次のようになっている。

(図2-1-2)

【上 位】		【下 位】	
①日当たりや風通し	(4.10点)	①病院などの医療施設	(3.00点)
②緑の豊かさ	(3.99点)	②交通の便	(3.05点)
③し尿処理	(3.86点)	③公園・遊び場	(3.11点)
④ごみ処理	(3.73点)	④道路の整備状況	(3.14点)
⑤下水・排水	(3.70点)	⑤集会施設	(3.15点)

図 2-1-2 生活環境の評価点

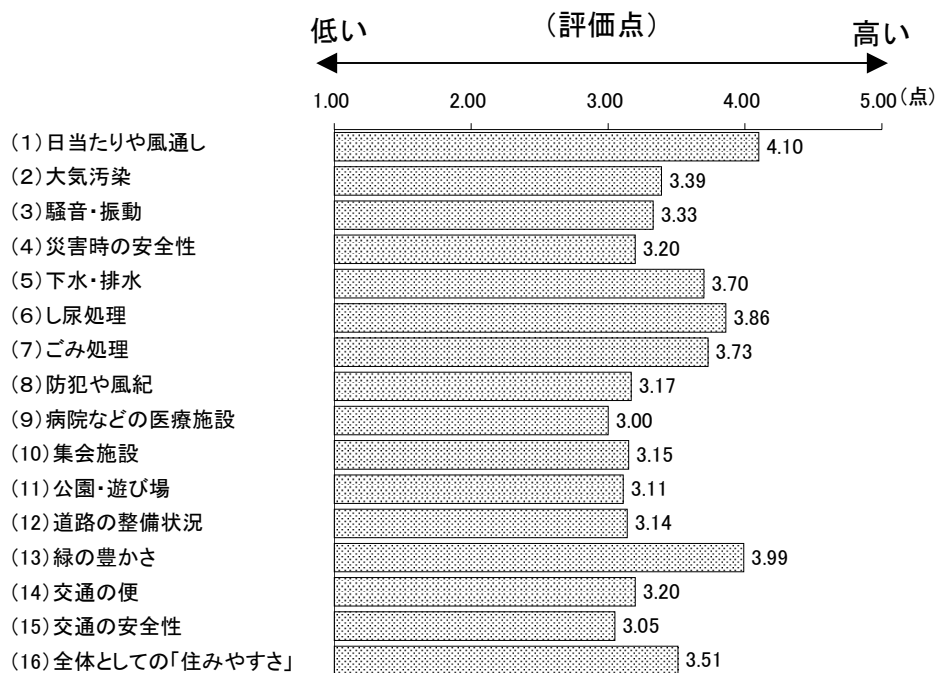


表 2-1-1 生活環境の評価点（加重平均）－居住地域別

	全 体	居住地域					
		本 庁 管 内 （ 中 央 地 域 ）	元 八 王 子 ・ 恩 方 ・ 川 口 （ 西 部 地 域 ）	浅 川 ・ 横 山 ・ 館 （ 西 南 部 地 域 ）	加 住 ・ 石 川 （ 北 部 地 域 ）	由 井 ・ 北 野 （ 東 南 部 地 域 ）	由 木 ・ 由 木 東 ・ 南 大 沢 （ 東 部 地 域 ）
(1) 日当たりや風通し	4.10	3.86	4.18	4.07	3.88	4.17	4.40
(2) 大気汚染	3.39	3.07	3.53	3.42	2.78	3.59	3.74
(3) 騒音・振動	3.33	2.95	3.64	3.40	2.67	3.44	3.55
(4) 災害時の安全性	3.20	3.03	3.32	3.19	3.06	3.13	3.45
(5) 下水・排水	3.70	3.62	3.58	3.76	3.40	3.73	3.97
(6) し尿処理	3.86	3.78	3.75	3.95	3.67	3.84	4.05
(7) ごみ処理	3.73	3.63	3.72	3.84	3.45	3.67	3.87
(8) 防犯や風紀	3.17	3.03	3.32	3.23	3.00	3.11	3.28
(9) 病院などの医療施設	3.00	3.19	2.70	3.25	2.97	2.89	2.91
(10) 集会施設	3.15	3.17	3.11	3.21	2.85	3.05	3.30
(11) 公園・遊び場	3.11	2.92	2.89	3.19	2.66	3.11	3.69
(12) 道路の整備状況	3.14	3.03	2.68	3.17	2.97	3.17	3.75
(13) 緑の豊かさ	3.99	3.40	4.17	4.08	3.80	4.09	4.46
(14) 交通の便	3.20	3.68	2.41	3.40	2.73	3.42	3.26
(15) 交通の安全性	3.05	2.95	2.68	3.18	2.75	3.10	3.53
(16) 全体としての「住みやすさ」	3.51	3.42	3.39	3.61	3.25	3.51	3.76



は項目内での最高値



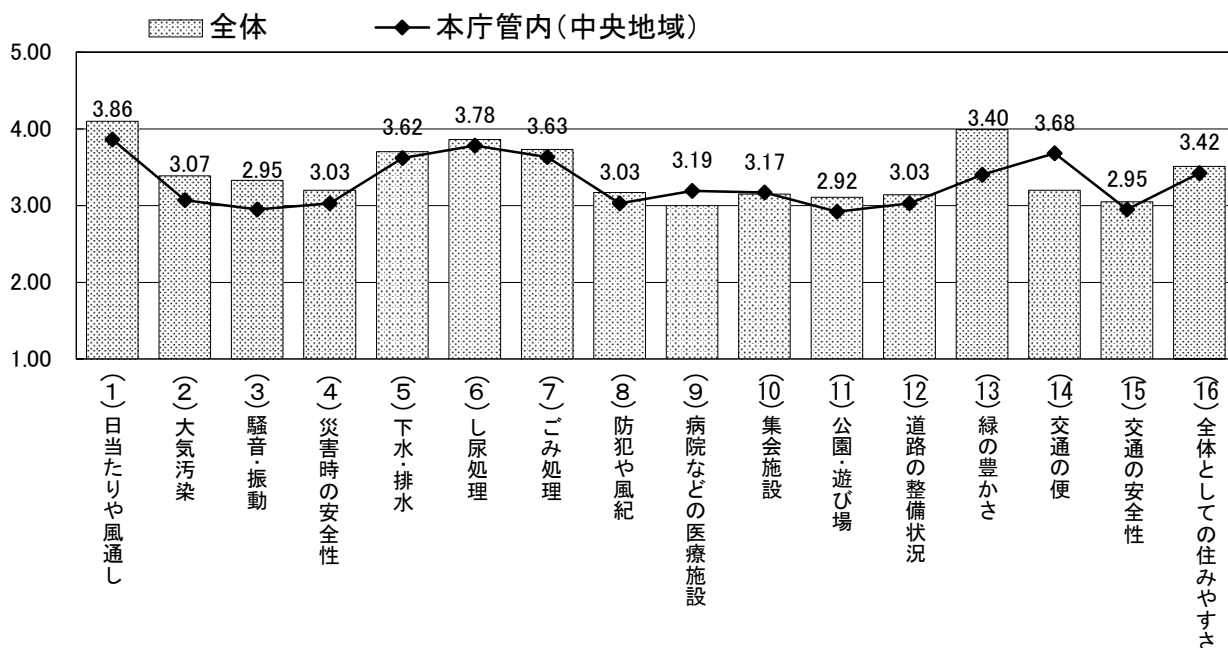
は項目内での最低値

次に、16項目の評価の加重平均値を居住地域ごとに、市全体と対比させてグラフを表示する。

【本庁管内（中央地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中3項目で、最も差が大きいのは、「交通の便」（＋0.48ポイント）となっている。下回っているのは、13項目で、最も差が大きいのは、「緑の豊かさ」（－0.59ポイント）で、他に差が大きいのは、騒音・振動（－0.38ポイント）、大気汚染（－0.32ポイント）となっている。（図2－1－3）

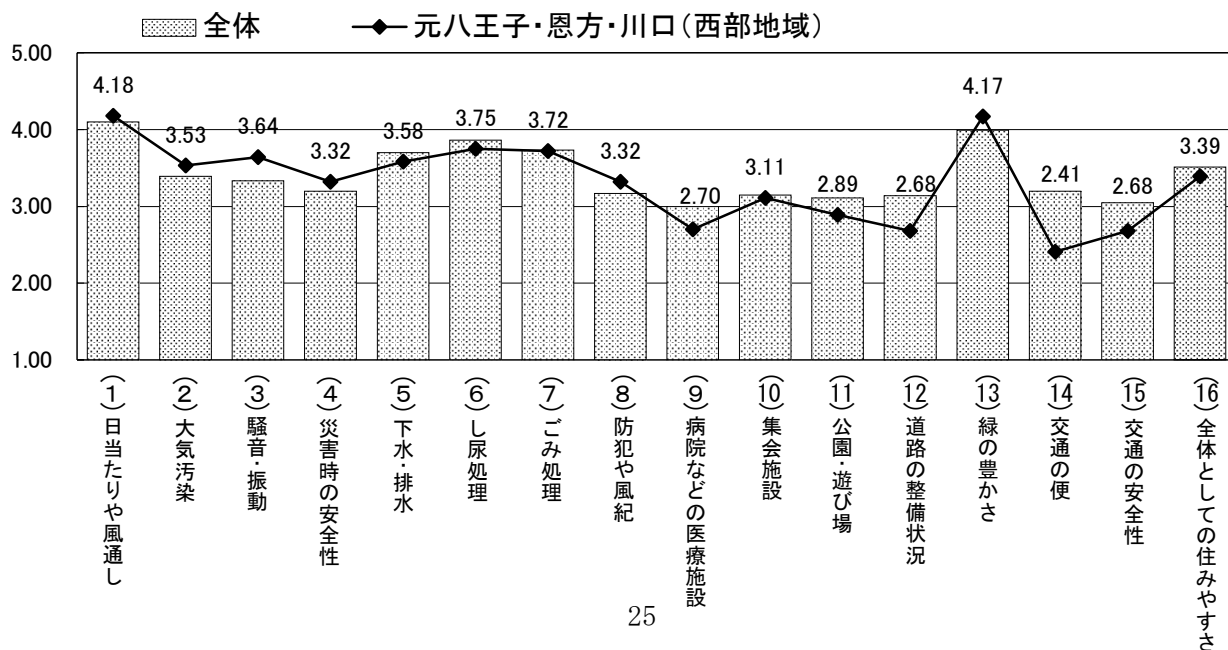
図2－1－3 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「本庁管内（中央地域）」



【元八王子・恩方・川口（西部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中6項目で、最も差が大きいのは、「騒音・振動」（＋0.31ポイント）となっている。下回っているのは10項目で、最も差が大きいのは「交通の便」（－0.79ポイント）で、他に差が大きいのは、道路の整備状況（－0.46ポイント）、交通の安全性（－0.37ポイント）となっている。（図2－1－4）

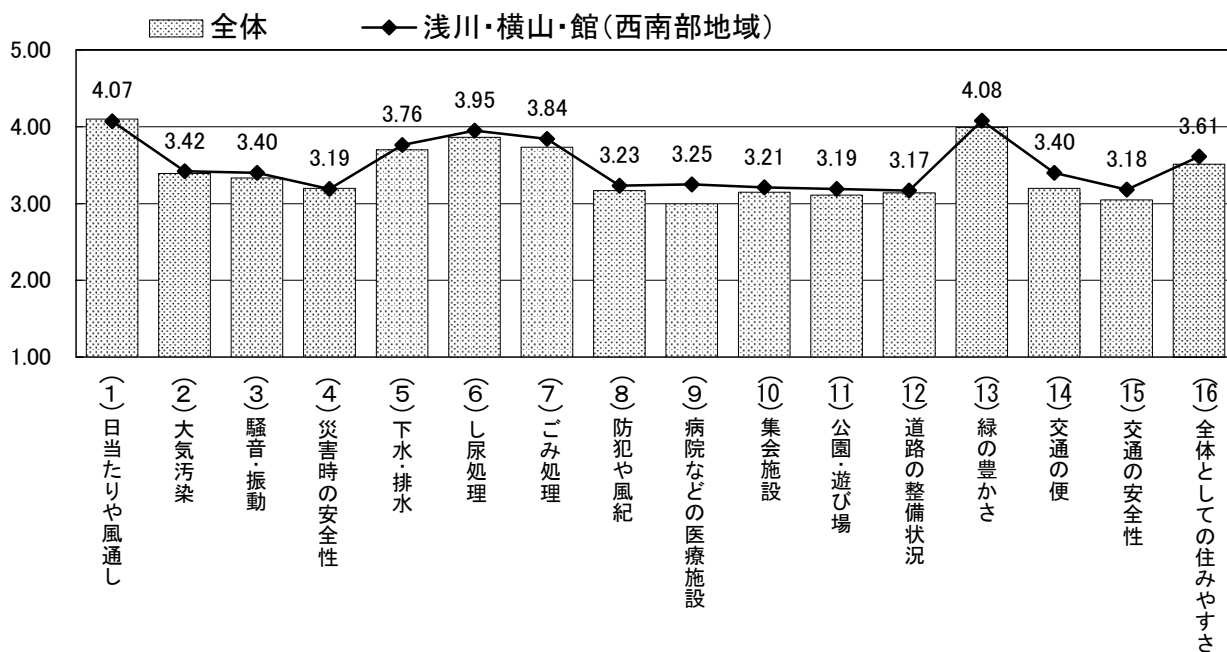
図2－1－4 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「元八王子・恩方・川口（西部地域）」



【浅川・横山・館（西南部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中14項目で、最も差が大きいのは「病院などの医療施設」（+0.25ポイント）で、他に差が大きいのは「交通の便」（+0.20ポイント）となっている。
（図2-1-5）

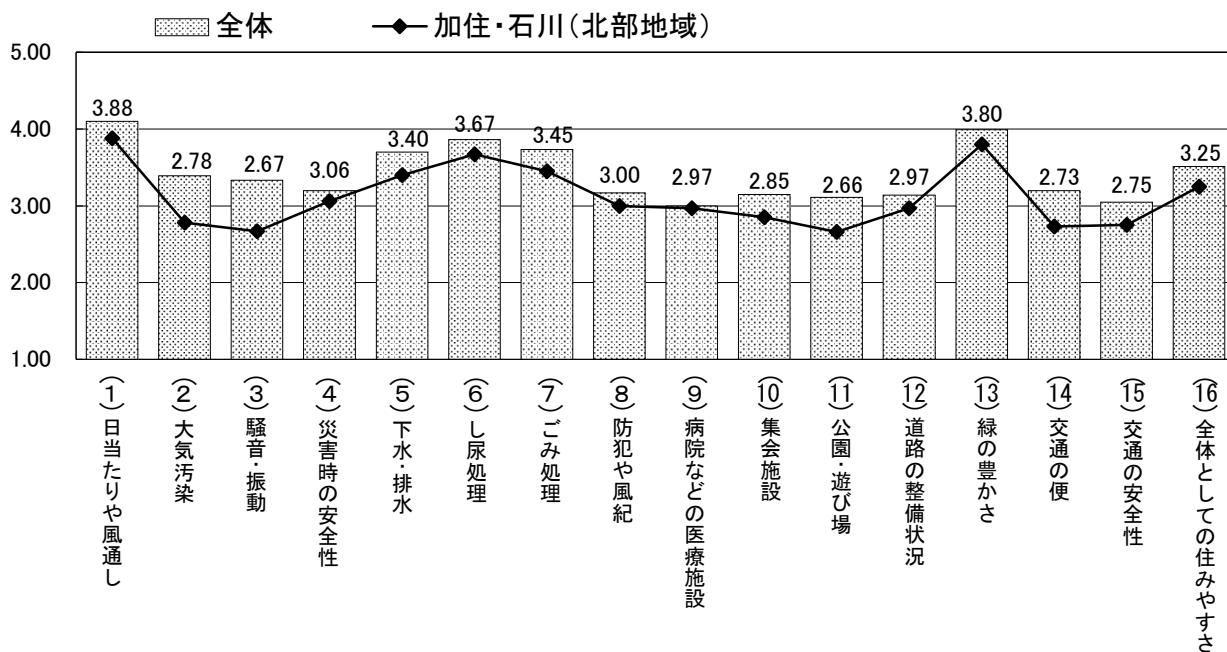
図2-1-5 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「浅川・横山・館（西南部地域）」



【加住・石川（北部地域）】

市全体より上回っている項目はみられない。下回っている項目で、最も差が大きいのは「騒音・振動」（-0.66ポイント）で、他に差が大きいのは、「大気汚染」（-0.61ポイント）、「交通の便」（-0.47ポイント）、「公園・遊び場」（-0.45ポイント）となっている。（図2-1-6）

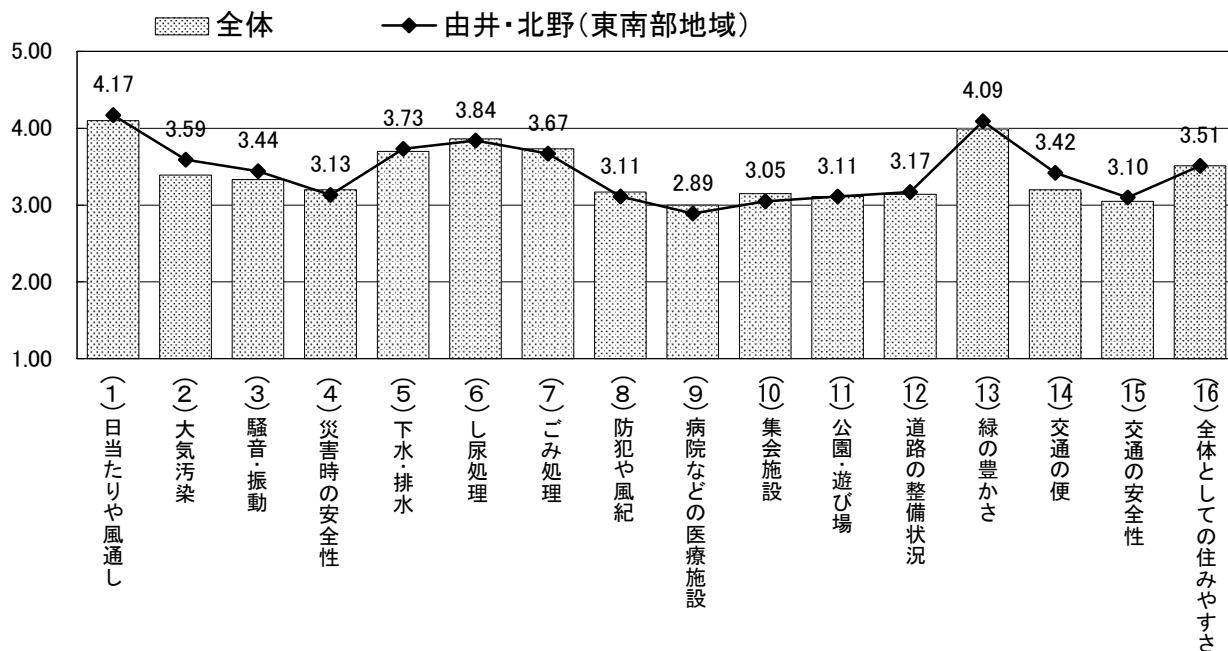
図2-1-6 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「加住・石川（北部地域）」



【由井・北野（東南部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中10項目、下回っているのは6項目で、いずれも差が大きくなっている項目はみられない。（図2-1-7）

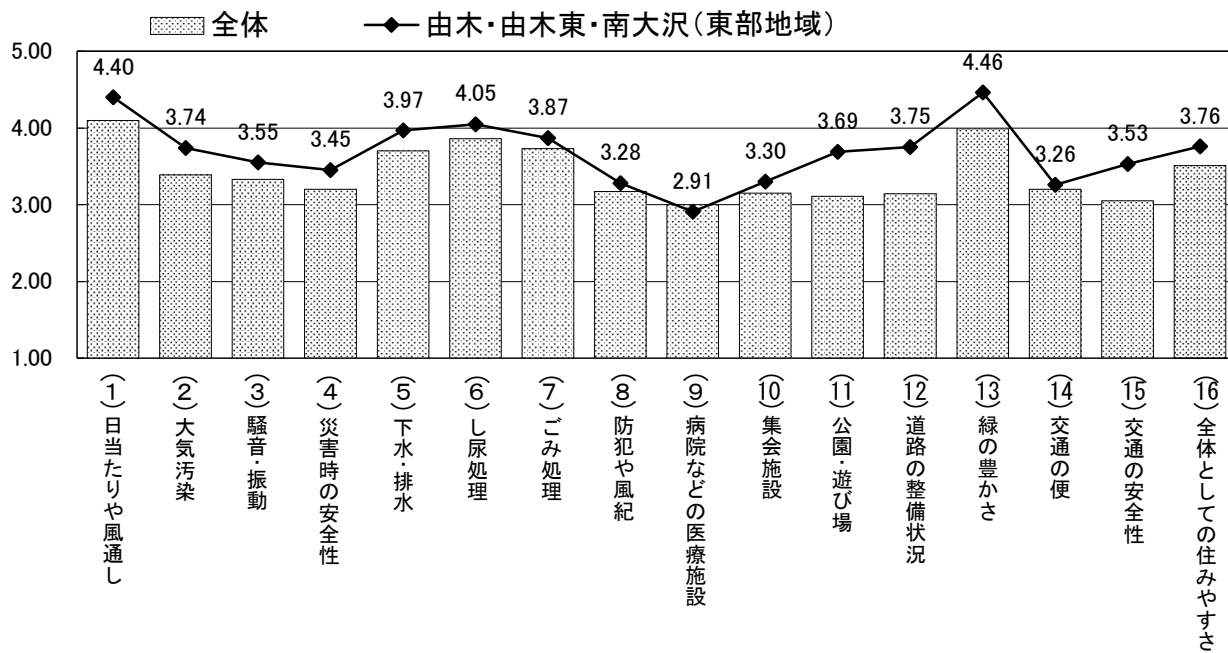
図2-1-7 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由井・北野（東南部地域）」



【由木・由木東・南大沢（東部地域）】

市全体より上回っているのは、16項目中15項目で、最も差が大きいのは「道路の整備状況」（+0.61ポイント）で、他に差が大きいのは、「公園・遊び場」（+0.58ポイント）、「交通の安全性」（+0.48ポイント）、「緑の豊かさ」（+0.47ポイント）となっている。下回っているのは、「病院などの医療施設」（-0.09ポイント）となっている。（図2-1-8）

図2-1-8 生活環境の評価（加重平均）－居住地域別「由木・由木東・南大沢（東部地域）」



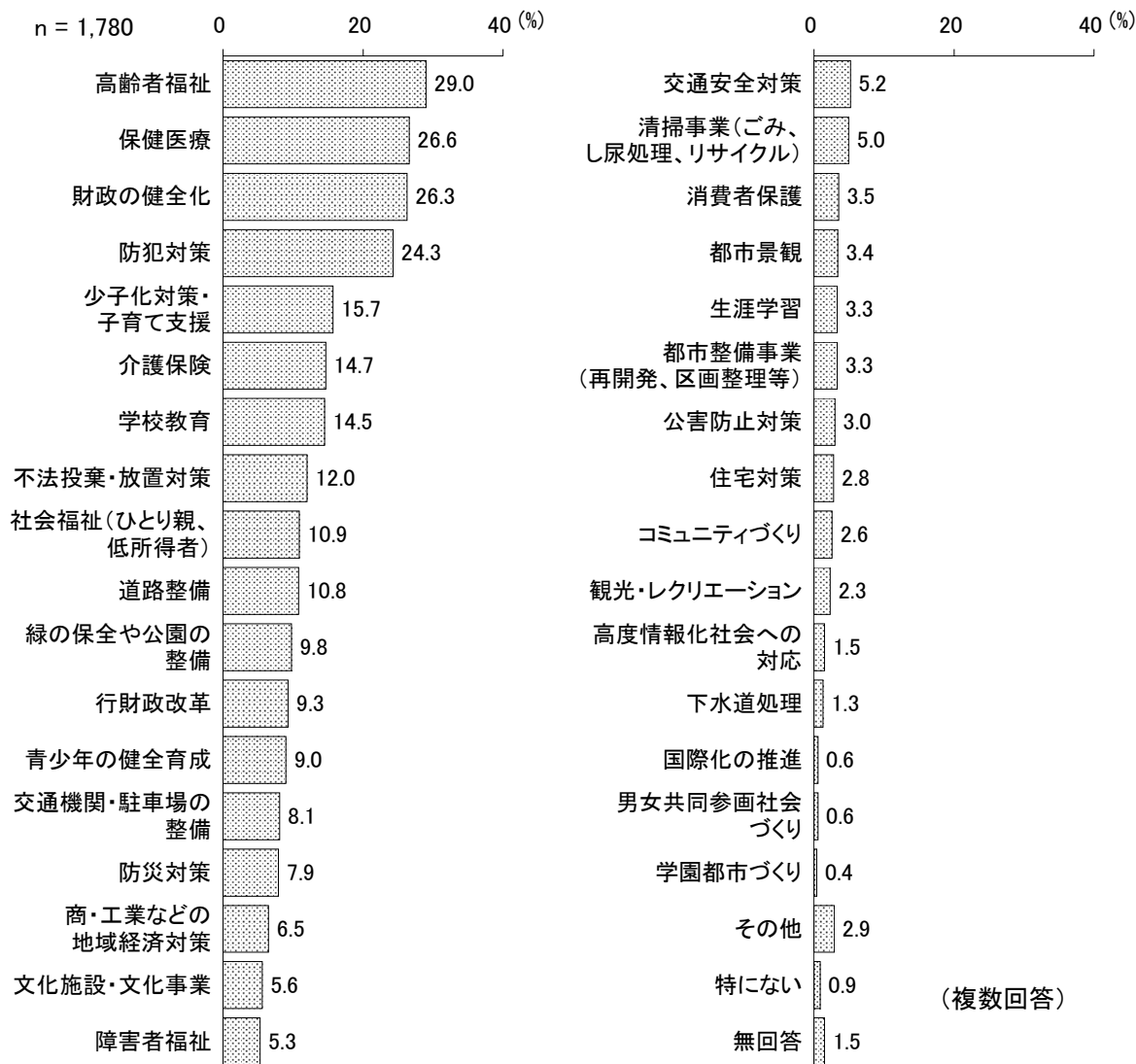
3. 市政への要望

3-1 重点施策要望

◇「高齢者福祉」「保健医療」「財政の健全化」の三項目が3割弱

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～35の中から3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。

図3-1-1



市政全般において特に力を入れてほしいと思う施策について聞いたところ、「高齢者福祉」(29.0%)、「保健医療」(26.6%)、「財政の健全化」(26.3%)の三項目が3割弱で高い。ついで「防犯対策」(24.3%)、「少子化対策・子育て支援」(15.7%)、「介護保険」(14.7%)と続いている。

(図3-1-1)

経年での変化を見ると、前回から引き続き第1位は「高齢者福祉」であり、数値もほとんど同じである。第2位には前回第3位だった「保健医療」が入り、前回第2位の「防犯対策」は今回第4位に下がっている。また、前回第5位だった「財政再建」が「財政の健全化」として今回第3位に入っており、数値も13.6ポイントから26.3ポイントと2倍近く増加している。

(表3-1-1)

表3-1-1 重点施策要望一経年比較

(%)

順位	年	平成17年	平成18年	平成19年
第1位		防犯対策 (29.7)	高齢者福祉 (28.7)	高齢者福祉 (29.0)
第2位		高齢者福祉 (23.7)	防犯対策 (27.3)	保健医療 (26.6)
第3位		保健医療 (22.6)	保健医療 (26.2)	財政の健全化 (26.3)
第4位		少子化対策・ 子育て支援 (14.3)	少子化対策・ 子育て支援 (15.4)	防犯対策 (24.3)
第5位		不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、 バイク、ごみ等) (14.2)	財政再建 (13.6)	少子化対策・ 子育て支援 (15.7)
第6位		財政再建 (13.4)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、 バイク、ごみ等) (12.8)	介護保険 (14.7)
第7位		学校教育 (13.3)	介護保険 (12.2)	学校教育 (14.5)
第8位		緑の保全や公園の 整備 (12.1)	学校教育 (11.9)	不法投棄・放置対策 (自動車、自転車、 バイク、ごみ等) (12.0)
第9位		行財政改革 (12.0)	行財政改革 (11.6)	社会福祉 (ひとり親、低所得者) (10.9)
第10位		青少年の健全育成 (11.0)	緑の保全や公園の 整備 (10.4)	道路整備 (10.8)

性別にみると、男性の第1位は「財政の健全化」(29.8%)で、女性の第1位は「高齢者福祉」(30.6%)となっている。第2位及び第3位については、男性が「高齢者福祉」(27.0%)、「防犯対策」(26.9%)、女性が「保健医療」(28.8%)、「財政の健全化」(23.6%)となっている。また、「財政の健全化」については、男性のほうが6.2ポイント高くなっている。

性・年齢別に第1位をみると男性30歳代・40歳代と女性20歳代では「防犯対策」、60歳以上の年代では男女とも「高齢者福祉」が第1位となっている。

「防犯対策」は男女ともすべての年代で第5位までに入っている。「高齢者福祉」は男女ともに高い年代ほど割合が高い傾向にあり、男性60歳以上と女性65歳以上では4割以上を占めている。
(表3-1-2)

表3-1-2 重点施策要望一性別・年齢別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男 性	財政の健全化 (29.8)	高齢者福祉 (27.0)	防犯対策 (26.9)	保健医療 (24.1)	不法投棄・ 放置対策 (13.4)
女 性	高齢者福祉 (30.6)	保健医療 (28.8)	財政の健全化 (23.6)	防犯対策 (22.3)	少子化対策・ 子育て支援 (18.1)
男 性 20 歳 代	財政の健全化 (29.3)	防犯対策 (23.9)	交通機関・ 駐車場の整備 (20.7)	少子化対策・ 子育て支援 (18.5)	社会福祉／不法 投棄・放置対策 (16.3)
30 歳 代	防犯対策 (34.2)	財政の健全化／少子化対策・ 子育て支援 (28.8)		保健医療 (20.5)	学校教育 (17.8)
40 歳 代	防犯対策 (33.3)	財政の健全化／保健医療 (23.3)		学校教育／高齢者福祉 (20.9)	
50 歳 代	財政の健全化 (33.3)	高齢者福祉 (30.0)	保健医療／防犯対策 (25.0)		行財政改革 (18.3)
60 ～ 64 歳	高齢者福祉 (42.7)	財政の健全化 (34.1)	防犯対策 (26.8)	保健医療 (23.2)	行財政改革 (18.3)
65 歳 以 上	高齢者福祉 (42.4)	保健医療 (33.5)	財政の健全化 (30.0)	介護保険 (21.8)	防犯対策 (19.4)
女 性 20 歳 代	防犯対策 (33.7)	少子化対策・ 子育て支援 (29.6)	財政の健全化／保健医療 (20.4)		社会福祉／交通 機関・駐車場の 整備 (16.3)
30 歳 代	少子化対策・ 子育て支援 (47.7)	学校教育 (32.6)	保健医療 (31.4)	防犯対策 (29.1)	財政の健全化 (18.0)
40 歳 代	学校教育 (28.0)	高齢者福祉 (26.2)	保健医療 (25.0)	財政の健全化 (24.4)	防犯対策 (19.6)
50 歳 代	高齢者福祉 (33.2)	保健医療 (31.3)	財政の健全化 (27.9)	介護保険／防犯対策 (20.7)	
60 ～ 64 歳	高齢者福祉 (34.7)	保健医療 (30.6)	財政の健全化 (28.9)	介護保険／防犯対策 (22.3)	
65 歳 以 上	高齢者福祉 (54.2)	保健医療 (30.2)	介護保険 (29.2)	財政の健全化 (21.4)	防犯対策 (15.1)

居住地域別で第1位をみると、本庁管内（中央地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）では「高齢者福祉」、元八王子・恩方・川口（西部地域）、由井・北野（東南部地域）では「財政の健全化」、浅川・横山・館（西南部地域）、加住・石川（北部地域）では「保健医療」となっている。また、すべての居住地域で「高齢者福祉」が第3位までに入っている。（表3－1－3）

表3－1－3 重点施策要望－居住地域別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
本 庁 管 内 （ 中 央 地 域 ）	高齢者福祉 (27.2)	財政の健全化 (26.2)	保健医療 (26.0)	防犯対策 (25.2)	少子化対策・ 子育て支援 (15.2)
元八王子・恩方・川口 （ 西 部 地 域 ）	財政の健全化 (29.9)	保健医療／高齢者福祉 (26.6)		道路整備 (20.4)	防犯対策 (17.5)
浅 川 ・ 横 山 ・ 館 （ 西 南 部 地 域 ）	保健医療 (27.9)	防犯対策 (27.6)	高齢者福祉 (26.4)	財政の健全化 (21.9)	少子化対策・ 子育て支援 (18.6)
加 住 ・ 石 川 （ 北 部 地 域 ）	保健医療 (28.7)	高齢者福祉 (27.1)	財政の健全化 (24.8)	防犯対策 (24.0)	少子化対策・ 子育て支援 (19.4)
由 井 ・ 北 野 （ 東 南 部 地 域 ）	財政の健全化 (27.8)	保健医療 (27.0)	高齢者福祉／防犯対策 (26.6)		少子化対策・ 子育て支援 (15.8)
由木・由木東・南大沢 （ 東 部 地 域 ）	高齢者福祉 (39.5)	財政の健全化 (28.0)	防犯対策 (26.0)	保健医療 (25.4)	学校教育 (20.3)

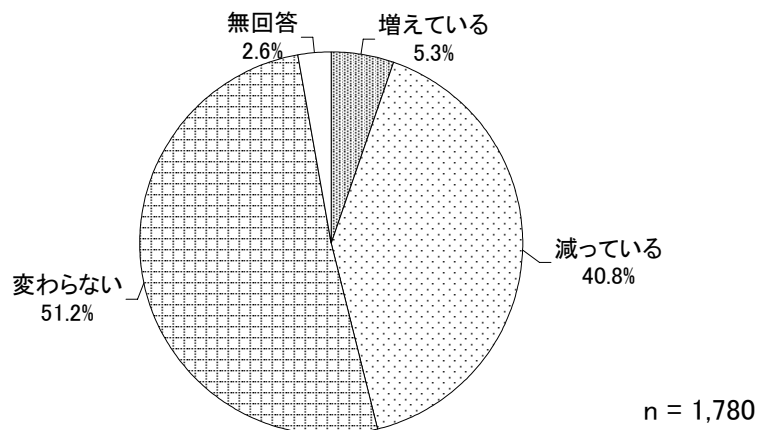
4. みどりに関する意識について

4-1 みどりの増減

◇「変わらない」が5割強、「減っている」が約4割

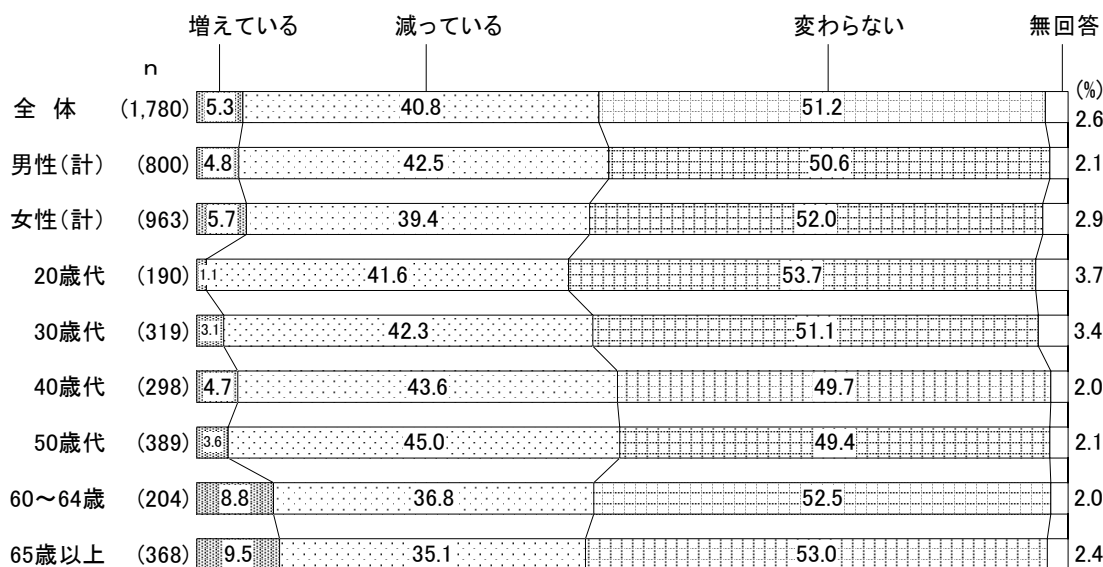
問4 お住まい周辺の樹木や草花のみどりは、5年くらい前に比べてどのように感じていますか。(〇は1つだけ)

図4-1-1



5年くらい前に比べてのみどりの増減を聞いたところ、「変わらない」が5割強（51.2%）で最も高く、「減っている」は約4割（40.8%）、「増えている」は5.3%とわずかであった。（図4-1-1）

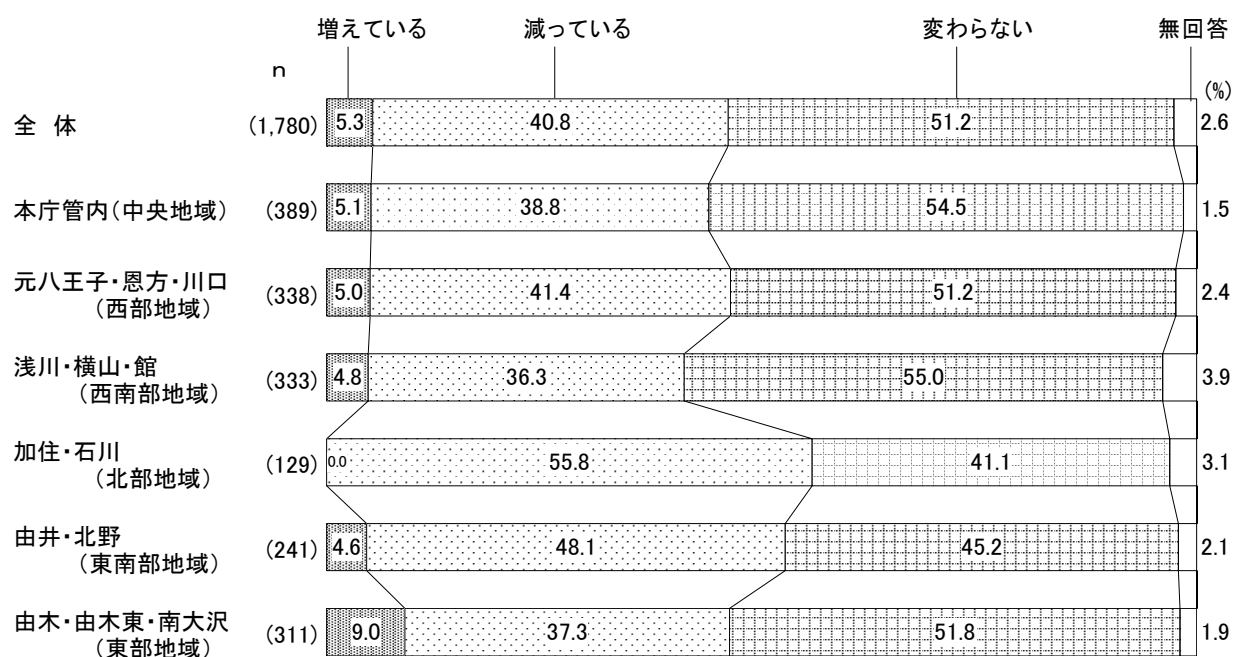
図4-1-2 みどりの増減－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、概ね年齢が高くなるほど「増えている」が増加し、65歳以上では約1割（9.5%）を占めている。（図4-1-2）

図４－１－３ みどりの増減－居住地域別



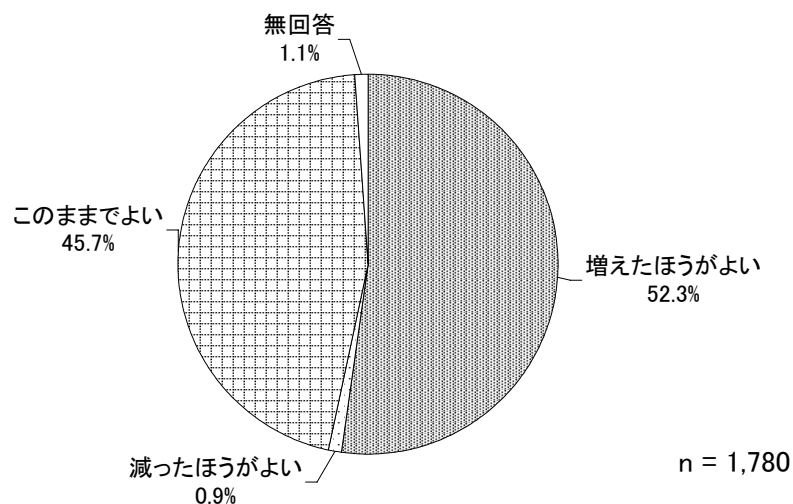
居住地域別にみると、「増えている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約１割（9.0%）と最も高く、加住・石川（北部地域）では逆に「増えている」という回答はなく、「減っている」が過半数（55.8%）を占めている。（図４－１－３）

4-2 今後のみどりの増減

◇「増えたほうがよい」が5割強

問5 お住まい周辺のみどりは、今後どのようになるとよいと思いますか。(○は1つだけ)

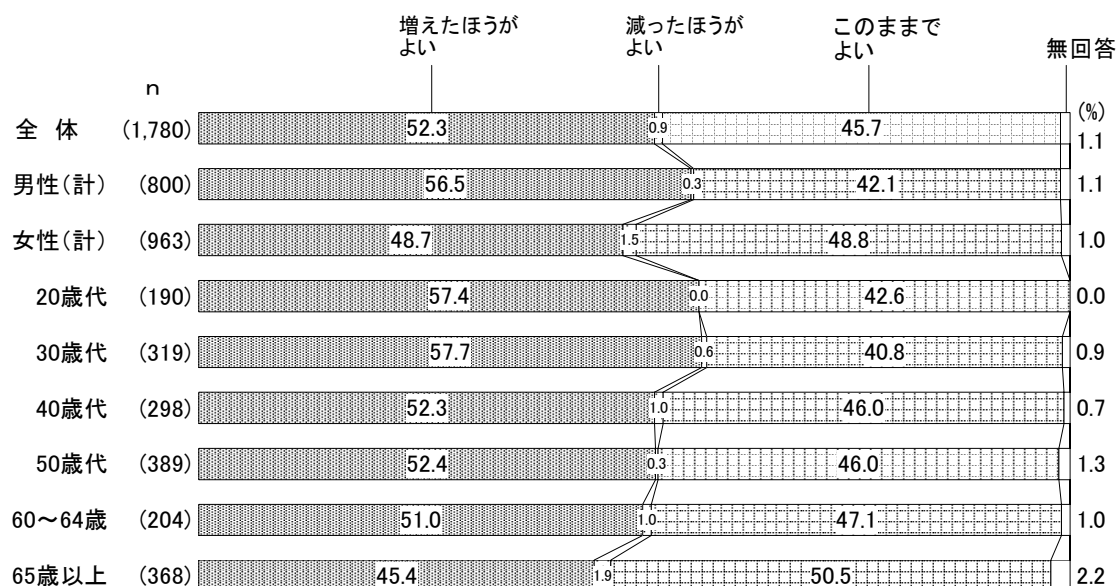
図4-2-1



今後のみどりの増減の希望を聞いたところ、「増えたほうがよい」が5割強（52.3%）で最も高く、「このままでよい」は4割台半ば（45.7%）、「減ったほうがよい」は0.9%とわずかであった。

（図4-2-1）

図4-2-2 今後のみどりの増減－性別・年齢別

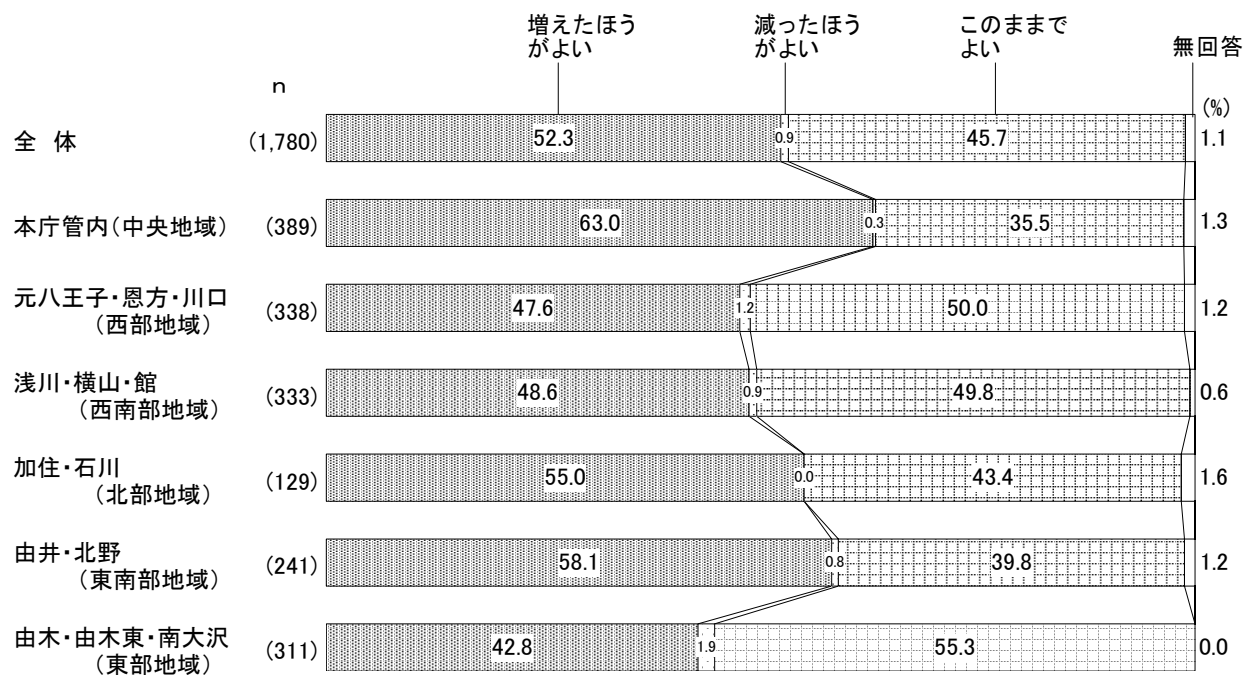


性別にみると、男性のほうが「増えたほうがよい」が7.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が低くなるほど「増えたほうがよい」が増加する傾向がみられる。

（図4-2-2）

図 4－2－3 今後のみどりの増減－居住地域別



居住地域別にみると、「増えたほうがよい」は本庁管内（中央地域）で6割強（63.0%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割強（42.8%）と低くなっている。（図 4－2－3）

4-3 みどりが増えてほしい場所

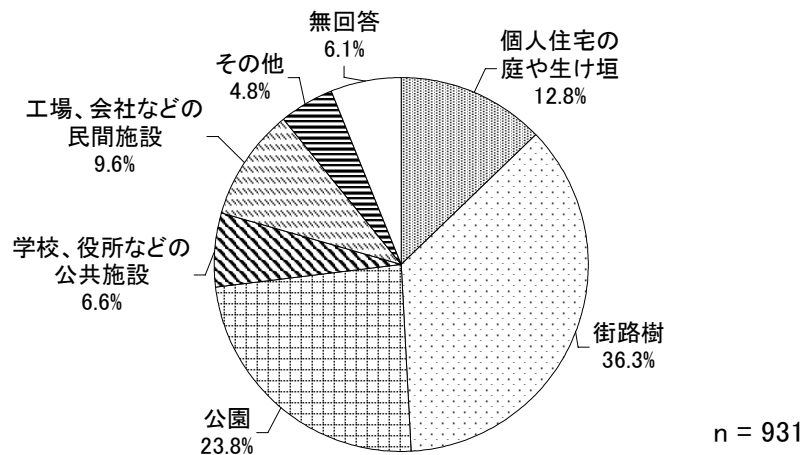
◇「街路樹」「公園」「個人住宅の庭や生け垣」の順で高い

(問5で「増えたほうがよい」とお答えの方に)

問5-1 市内にみどりを増やそうとする場合に、最も効果的だと思われる場所はどこですか。

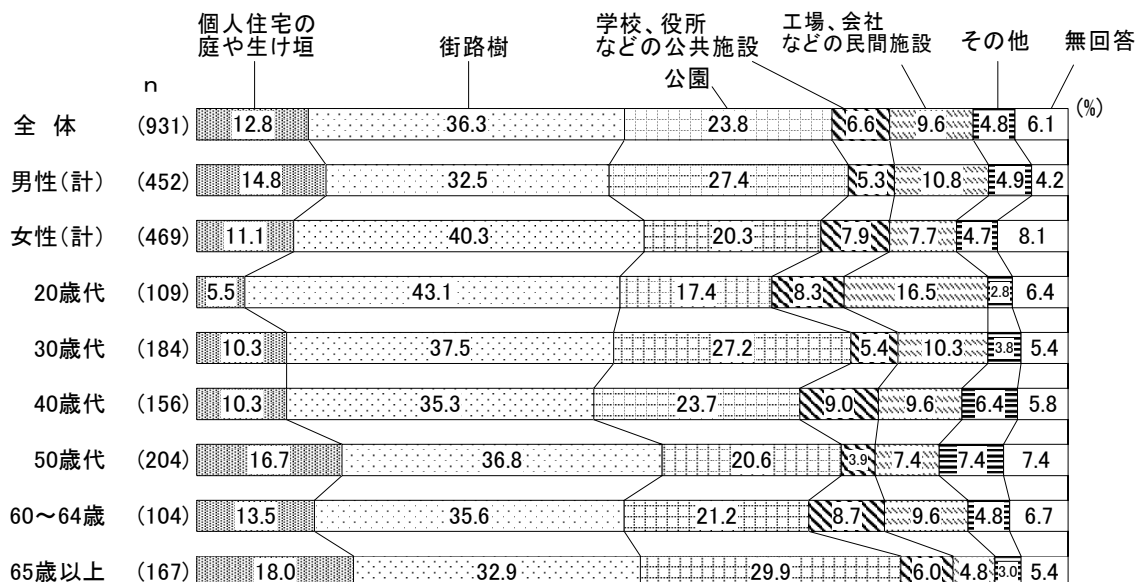
(○は1つだけ)

図4-3-1



今後のみどりの増減について、「増えたほうがよい」と答えた人(931人)に、市内にみどりを増やそうとする場合に、最も効果的だと思われる場所を聞いたところ、「街路樹」が3割台半ば(36.3%)で最も高く、以下、「公園」(23.8%)、「個人住宅の庭や生け垣」(12.8%)、「工場、会社などの民間施設」(9.6%)の順で続いている。(図4-3-1)

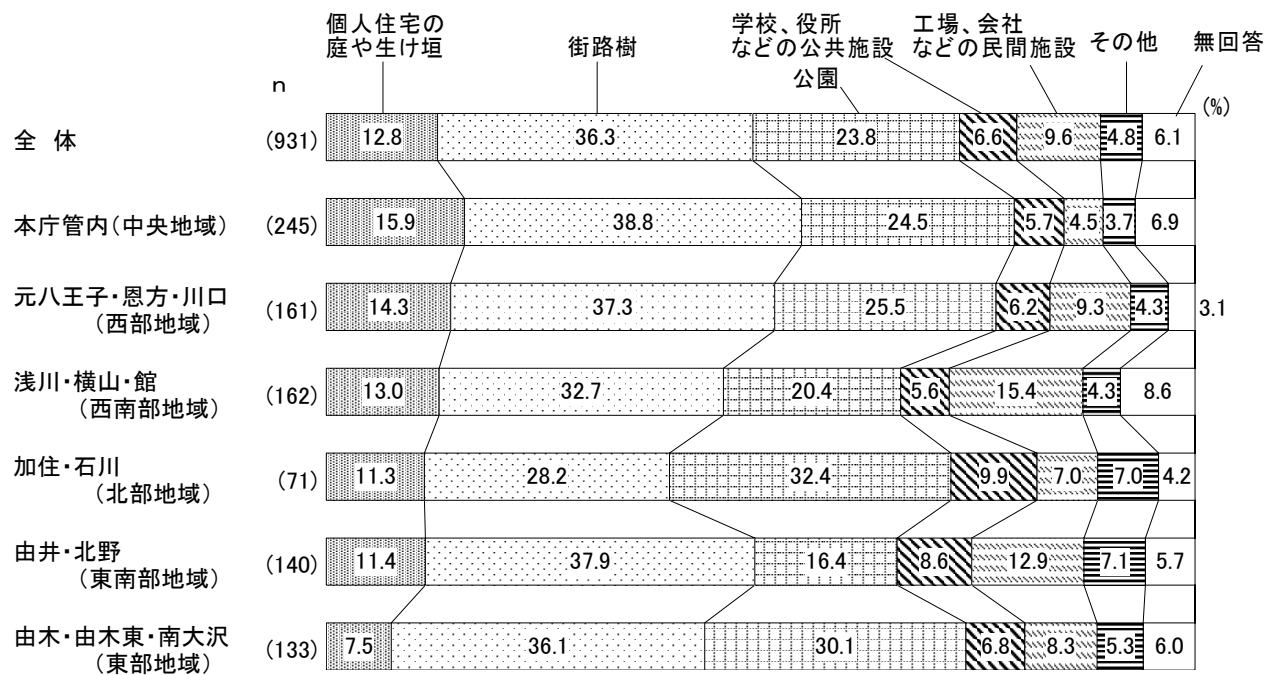
図4-3-2 みどりが増えてほしい場所—性別・年齢別



性別にみると、「街路樹」は女性のほうが7.8ポイント高く、「公園」は男性のほうが7.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳以上で「個人住宅の庭や生け垣」が比較的高く、20歳代で「工場、会社などの民間施設」が16.5%と比較的高くなっている。(図4-3-2)

図 4-3-3 みどりが増えてほしい場所—居住地域別



居住地域別にみると、「公園」は加住・石川（北部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割を超えて高く、「工場、会社などの民間施設」は浅川・横山・館（西南部地域）で15.4%と比較的高くなっている。（図 4-3-3）

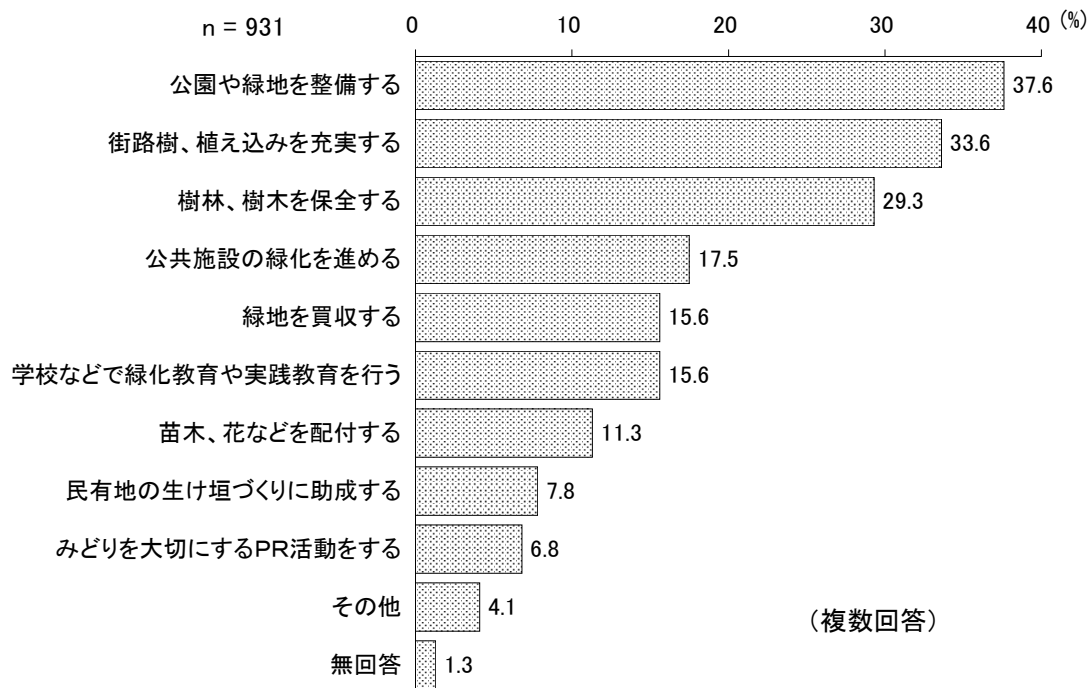
4-4 みどりを守るために市がすべきこと

◇「公園や緑地を整備する」「街路樹、植え込みを充実する」が3割以上

(問5で「増えたほうがよい」とお答えの方に)

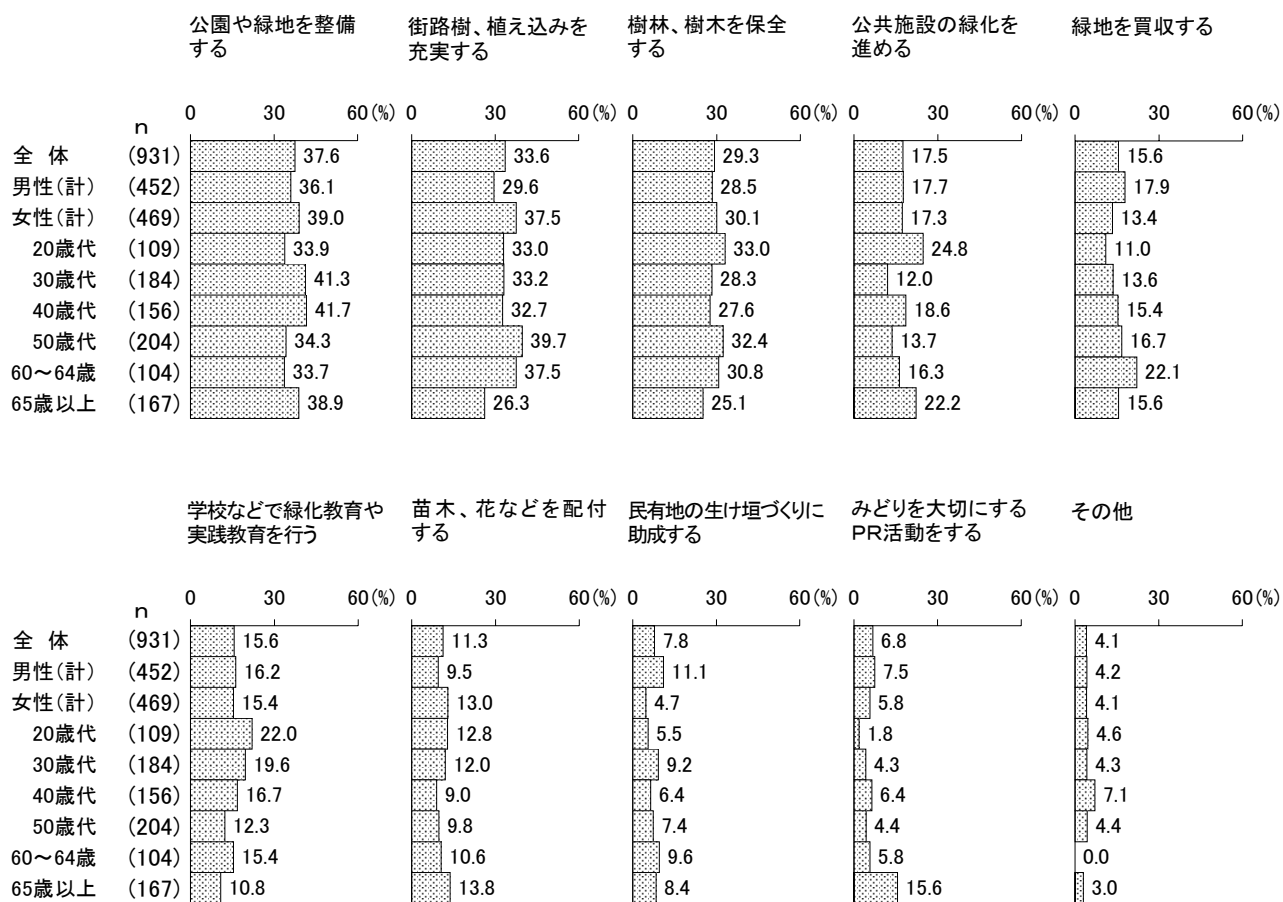
問5-2 みどりを守り育てていくために、今後、市はどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(〇は2つまで)

図4-4-1



今後のみどりの増減について、「増えたほうがよい」と答えた人(931人)に、みどりを守るために市がすべきことを聞いたところ、「公園や緑地を整備する」が4割弱(37.6%)で最も高く、以下、「街路樹、植え込みを充実する」(33.6%)、「樹林、樹木を保全する」(29.3%)、「公共施設の緑化を進める」(17.5%)の順で続いている。(図4-4-1)

図 4-4-2 みどりを守るために市がすべきこと－性別・年齢別

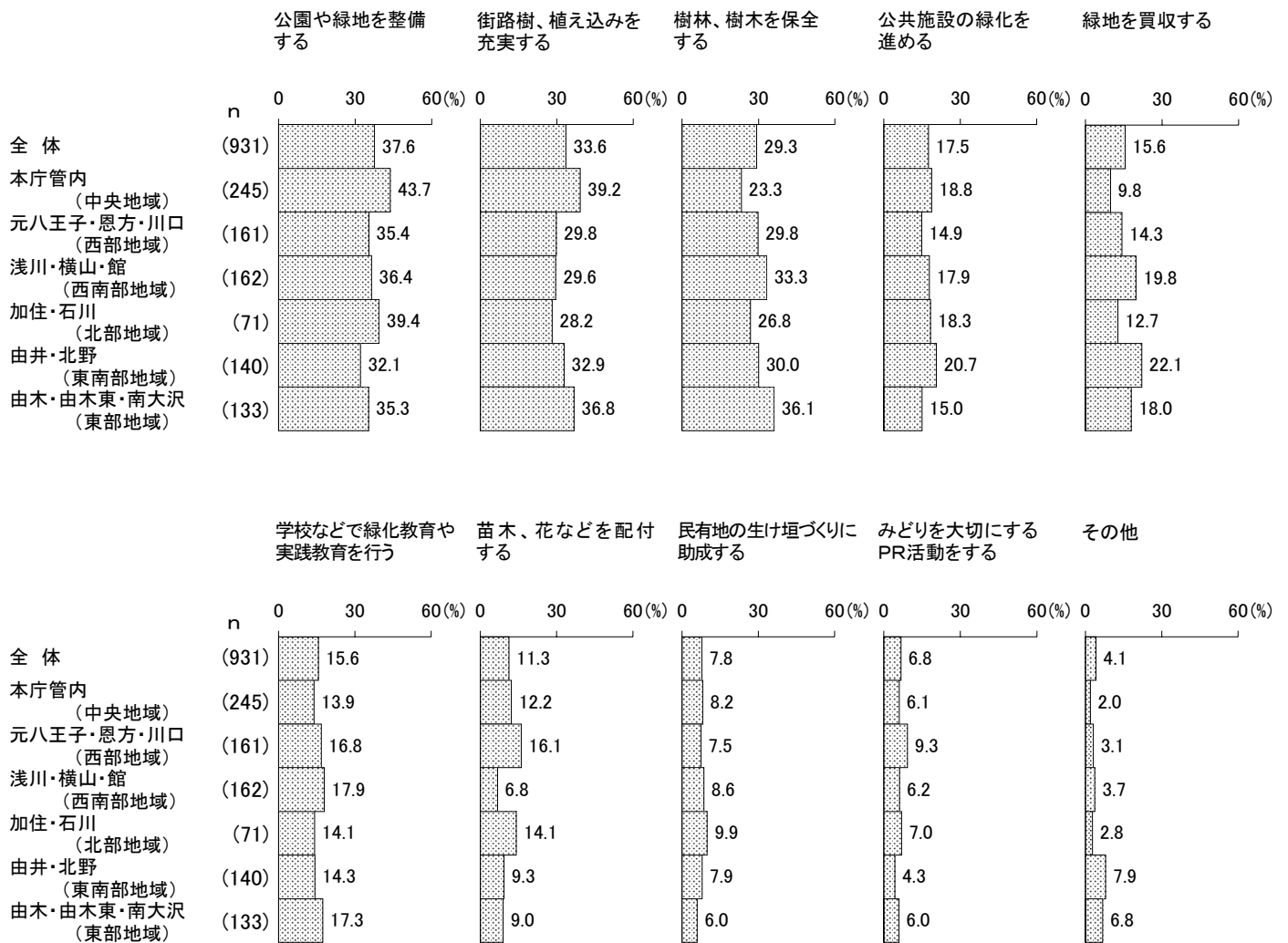


性別にみると、「街路樹、植え込みを充実する」は女性のほうが7.9ポイント高く、「民有地の生け垣づくりに助成する」は男性のほうが6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「みどりを大切にするPR活動をする」は65歳以上で15.6と比較的高く、「学校などで緑化教育や実践教育を行う」は概ね年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられる。

(図 4-4-2)

図 4-4-3 みどりを守るために市がすべきこと－居住地域別



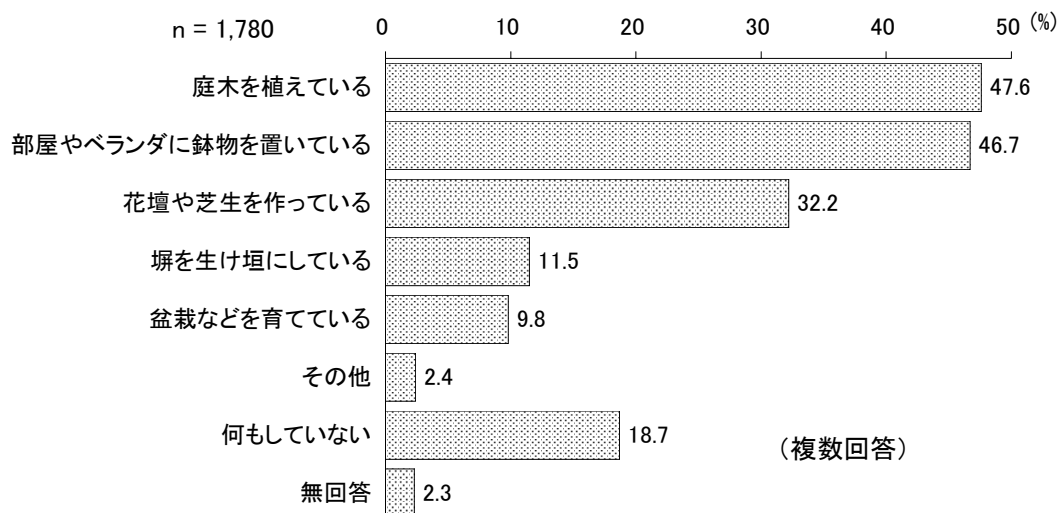
居住地域別にみると、「公園や緑地を整備する」「街路樹、植え込みを充実する」は本庁管内（中央地域）で4割前後と高く、「樹林、樹木を保全する」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で36.1%と高くなっている。（図4-4-3）

4－5 日頃行っているみどりを増やすこと

◇半数近くが「庭木を植えている」「部屋やベランダに鉢物を置いている」

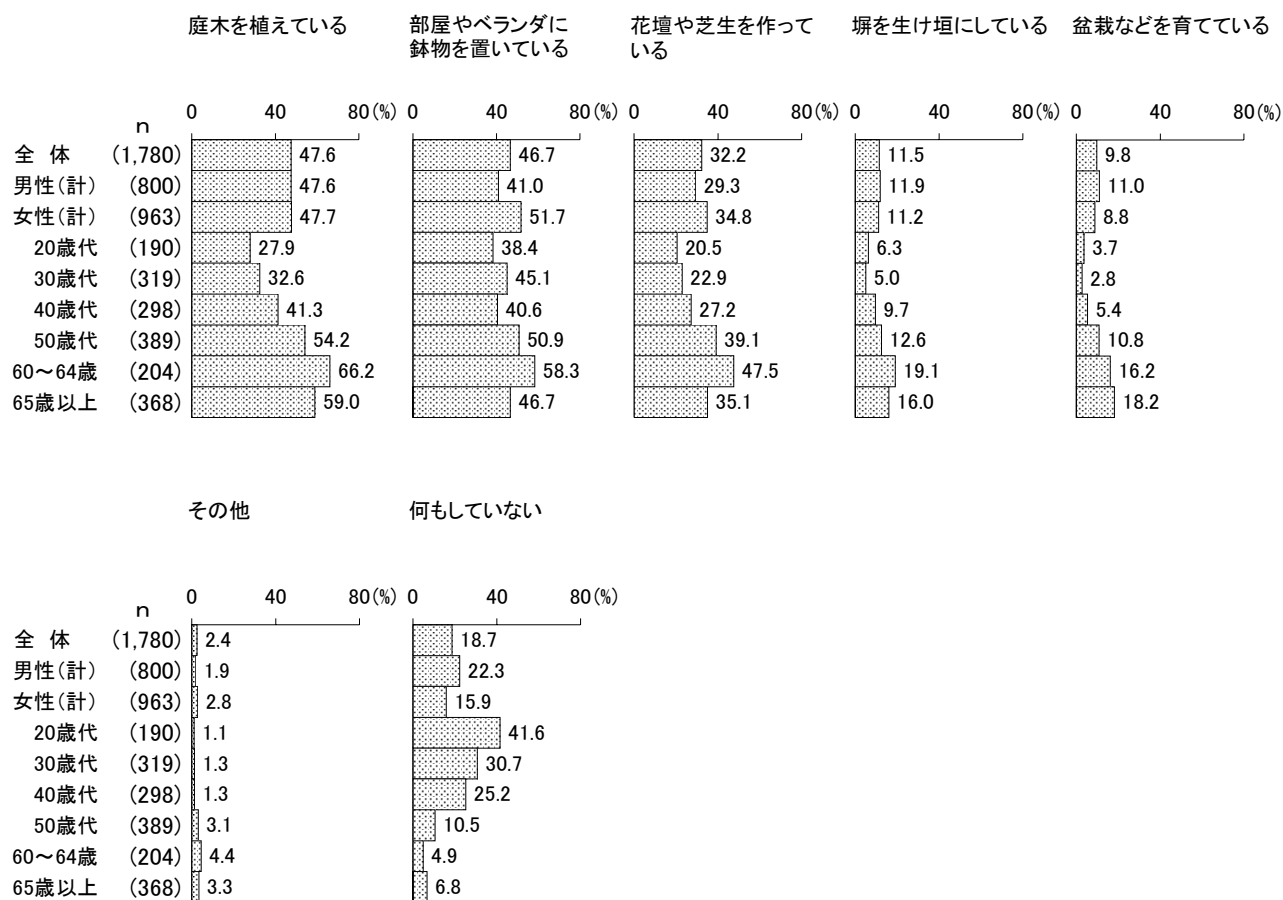
問6 日頃からみどりを増やすことをしていますか。(○はいくつでも)

図4－5－1



日頃行っているみどりを増やすことについて聞いたところ、「庭木を植えている」(47.6%)、「部屋やベランダに鉢物を置いている」(46.7%)の2項目が5割弱で並び、以下、「花壇や芝生を作っている」(32.2%)、「塀を生け垣にしている」(11.5%)の順が続いている。(図4－5－1)

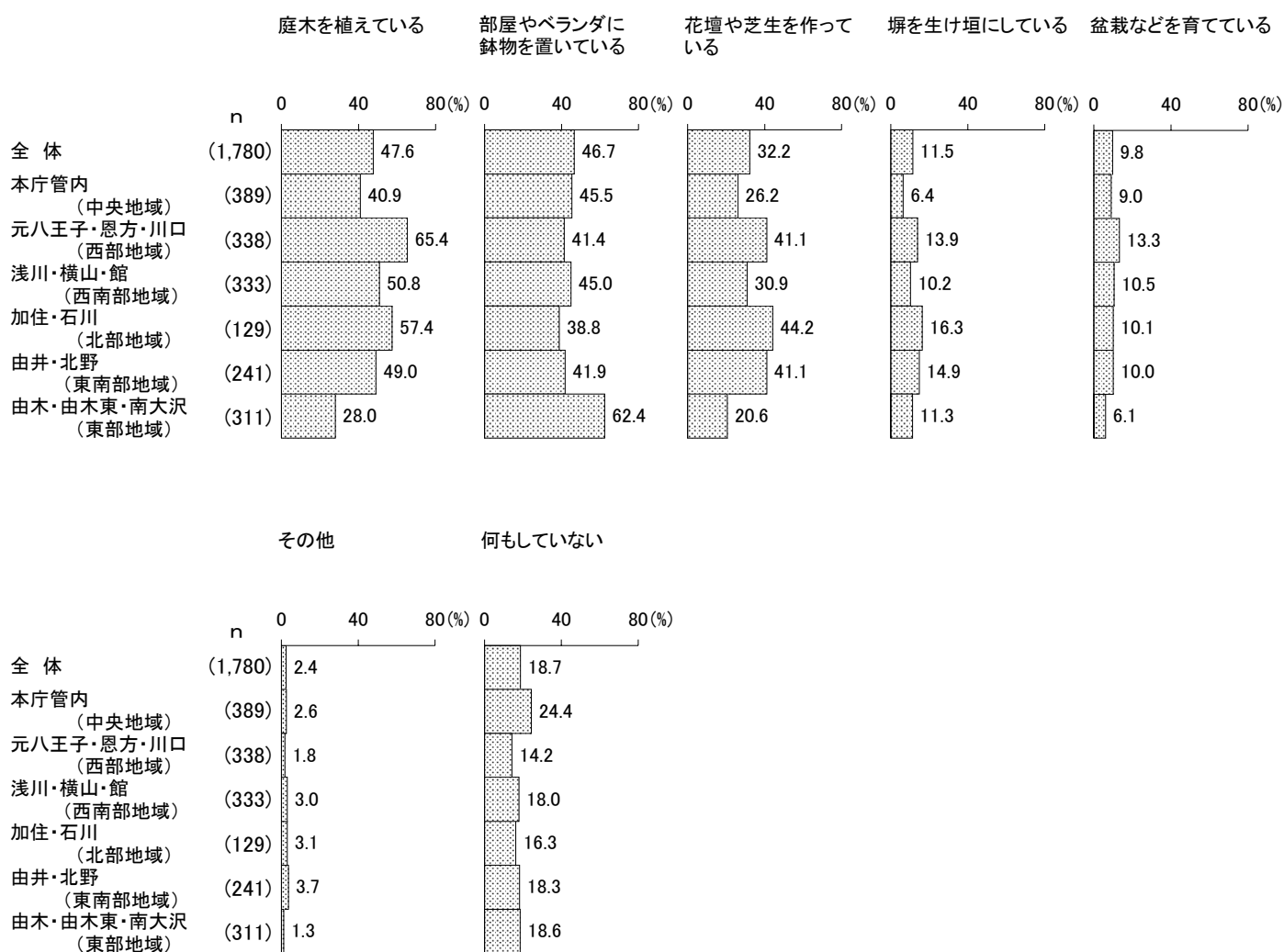
図 4-5-2 日頃行っているみどりを増やすこと－性別・年齢別



性別にみると、「部屋やベランダに鉢物を置いている」は女性のほうが10.7ポイント高く、「何もしていない」は男性のほうが6.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、多くの項目で64歳までは年齢が高くなるほど割合も高くなっており、年齢が低くなるほど「何もしていない」の割合が増加する傾向がみられる。(図4-5-2)

図 4-5-3 日頃行っているみどりを増やすこと一居住地地域別



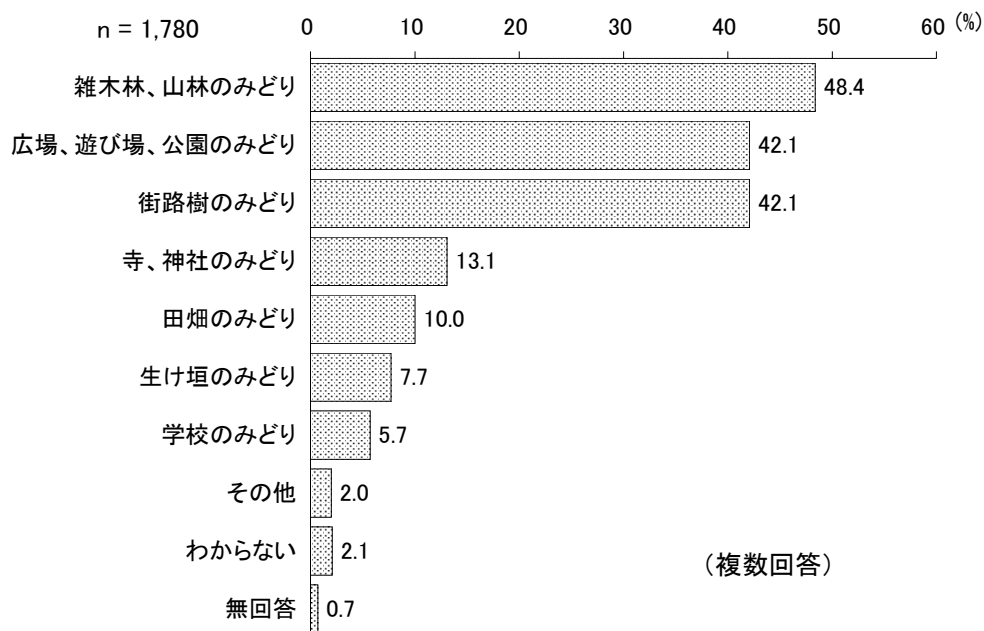
居住地地域別にみると、「庭木を植えている」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で6割台半ば（65.4%）と最も高く、「部屋やベランダに鉢物を置いている」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で6割強（62.4%）と最も高くなっている。（図4-5-3）

4－6 「美しいみどり」で思いうかべること

◇「雑木林、山林のみどり」「広場、遊び場、公園のみどり」「街路樹のみどり」がそれぞれ4割以上

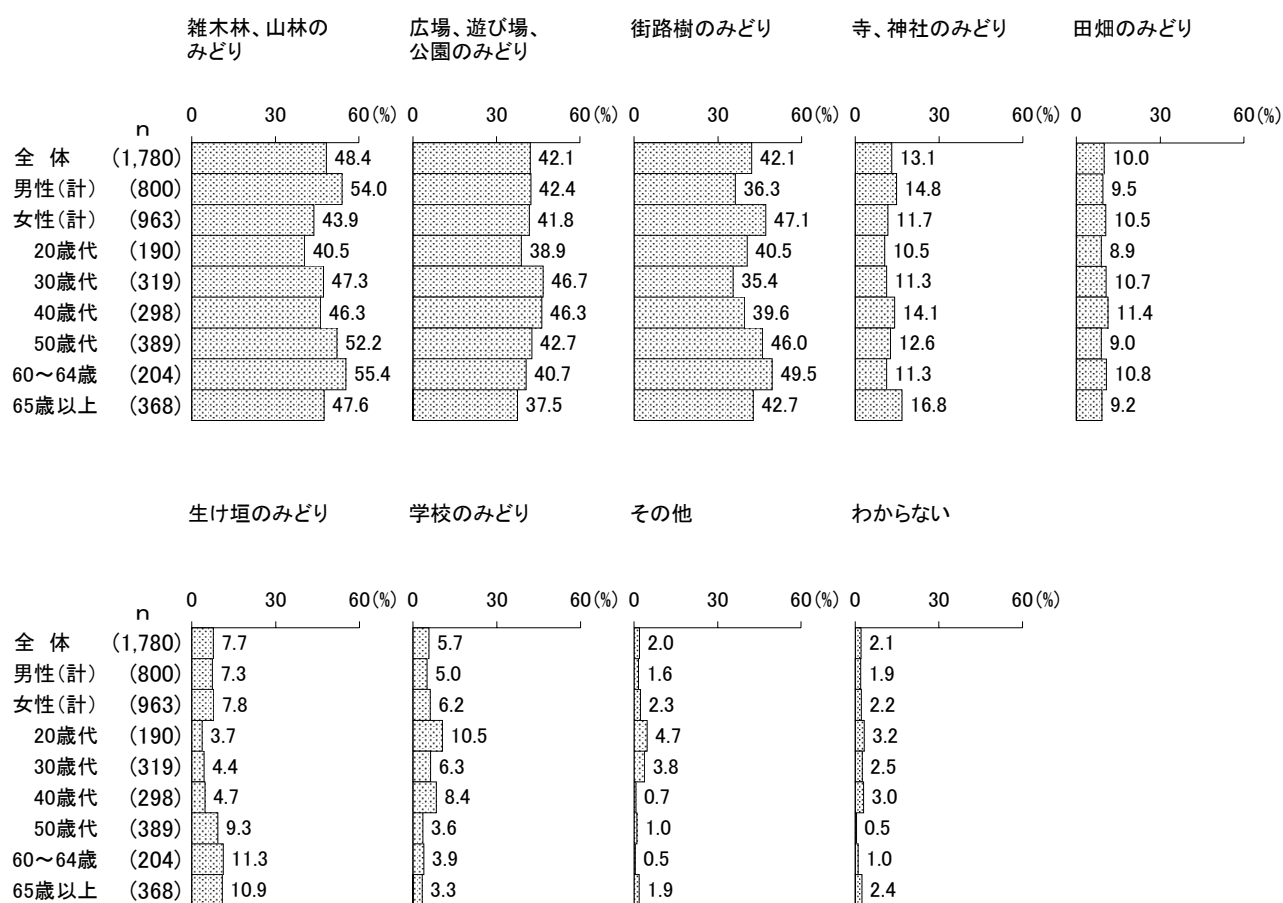
問7 お住まいの地域で「美しいみどり」といえば何を思いうかべますか。(○は2つまで)

図4－6－1



「美しいみどり」で思いうかべることを聞いたところ、「雑木林、山林のみどり」が5割弱(48.4%)で最も高く、以下、「広場、遊び場、公園のみどり」(42.1%)、「街路樹のみどり」(42.1%)の順で続いている。(図4－6－1)

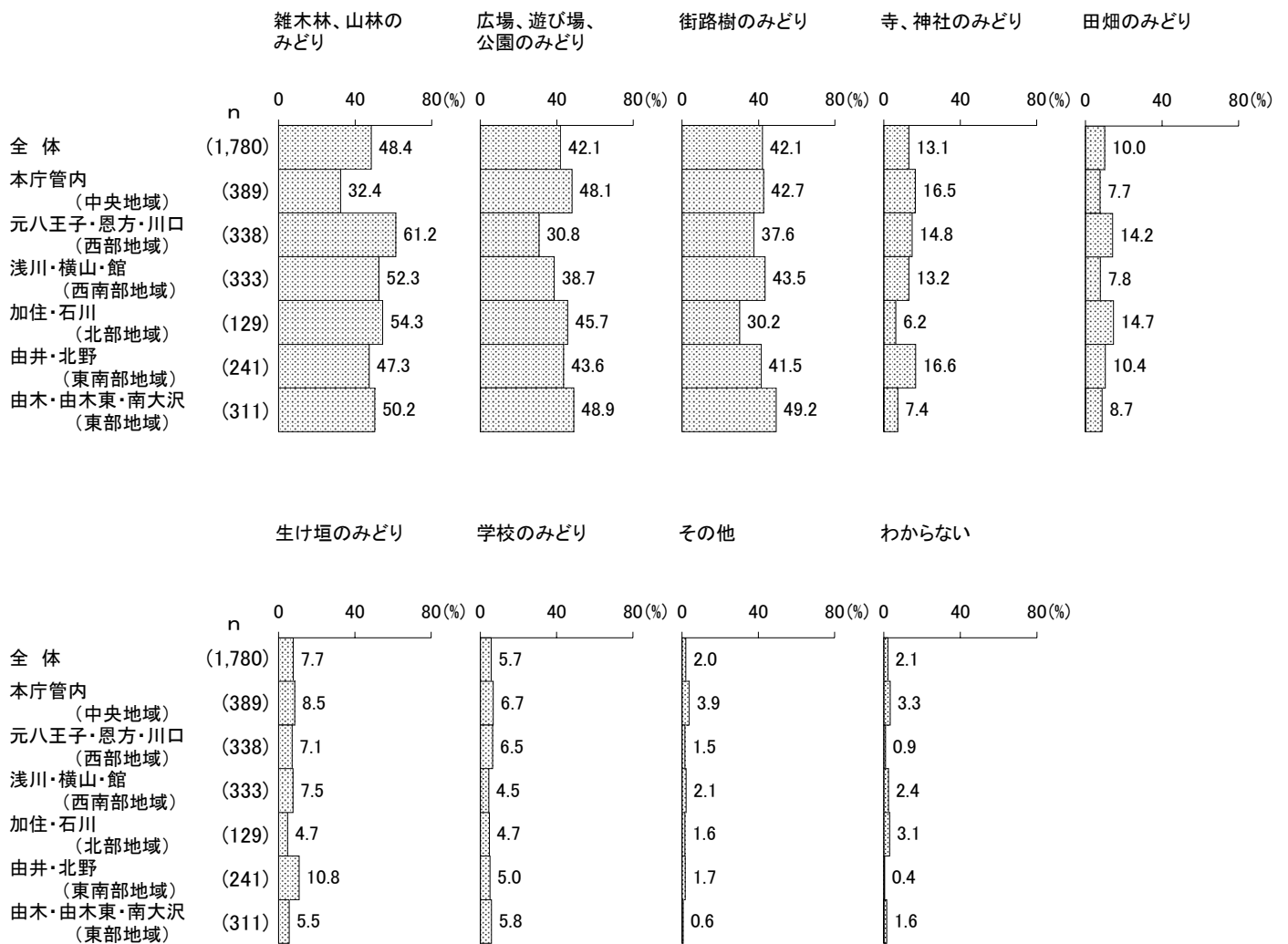
図 4-6-2 「美しいみどり」で思いうかべること—性別・年齢別



性別にみると、「雑木林、山林のみどり」は男性のほうが10.1ポイント高く、「街路樹のみどり」は女性のほうが10.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「広場、遊び場、公園のみどり」は30歳以降、年齢が高くなるほど割合が減少する傾向がみられる。(図4-6-2)

図 4-6-3 「美しいみどり」で思いうかべること－居住地域別



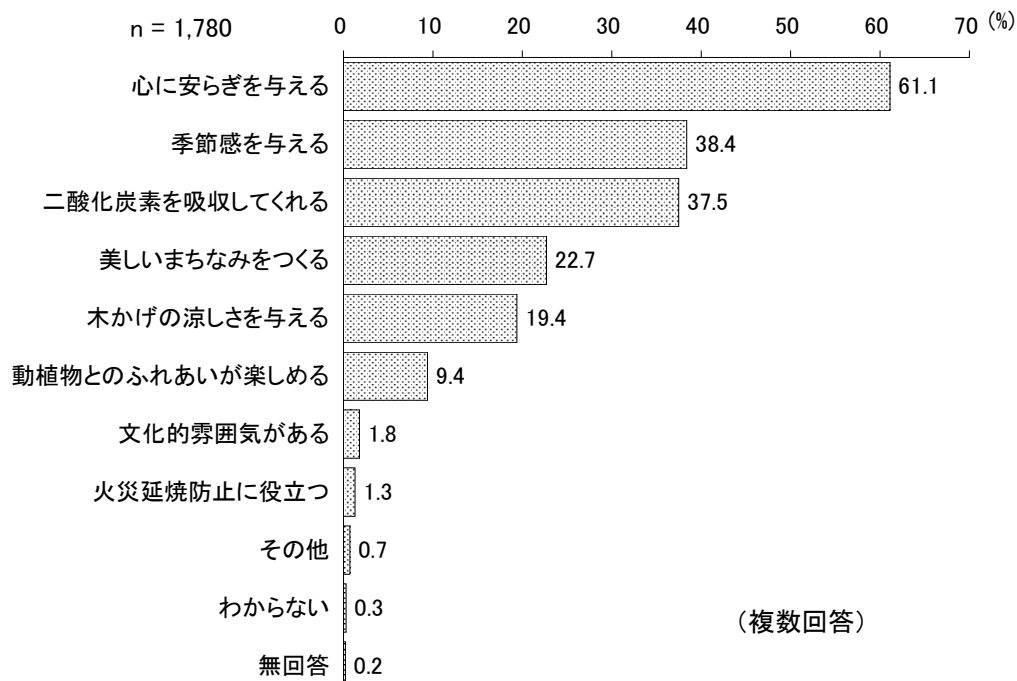
居住地域別にみると、「雑木林、山林のみどり」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で6割強（61.2%）と最も高く、「街路樹のみどり」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約5割（49.2%）と高くなっている。（図4-6-3）

4－7 みどりの役割

◇「心に安らぎを与える」が6割強と突出

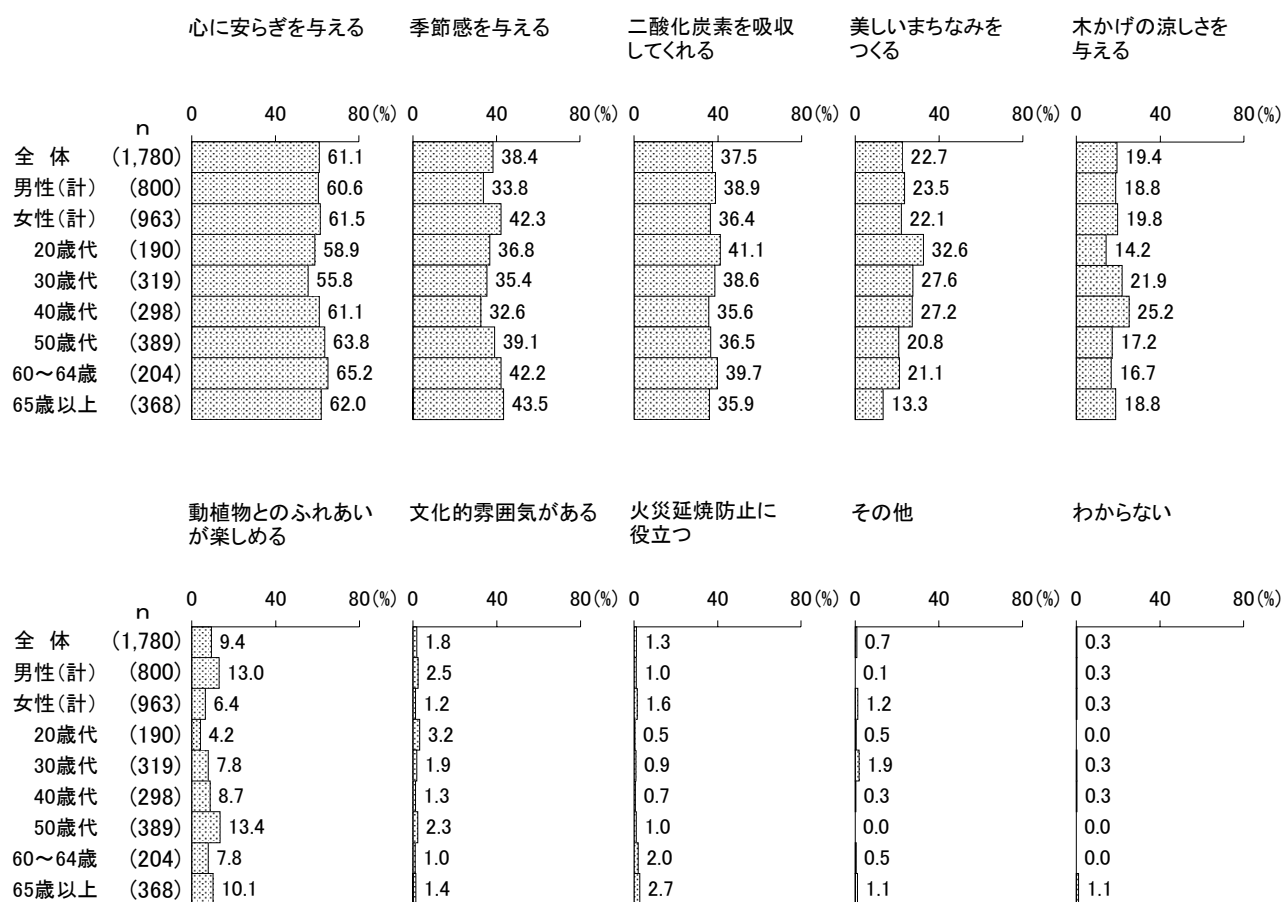
問8 みどりには、いろいろな役割があると思いますが、あなたが大切だと思うのはどれですか。（○は2つまで）

図4－7－1



大切だと思うみどりの役割を聞いたところ、「心に安らぎを与える」が6割強（61.1%）と突出して高く、以下、「季節感を与える」（38.4%）、「二酸化炭素を吸収してくれる」（37.5%）、「美しいまちなみをつくる」（22.7%）の順で続いている。（図4－7－1）

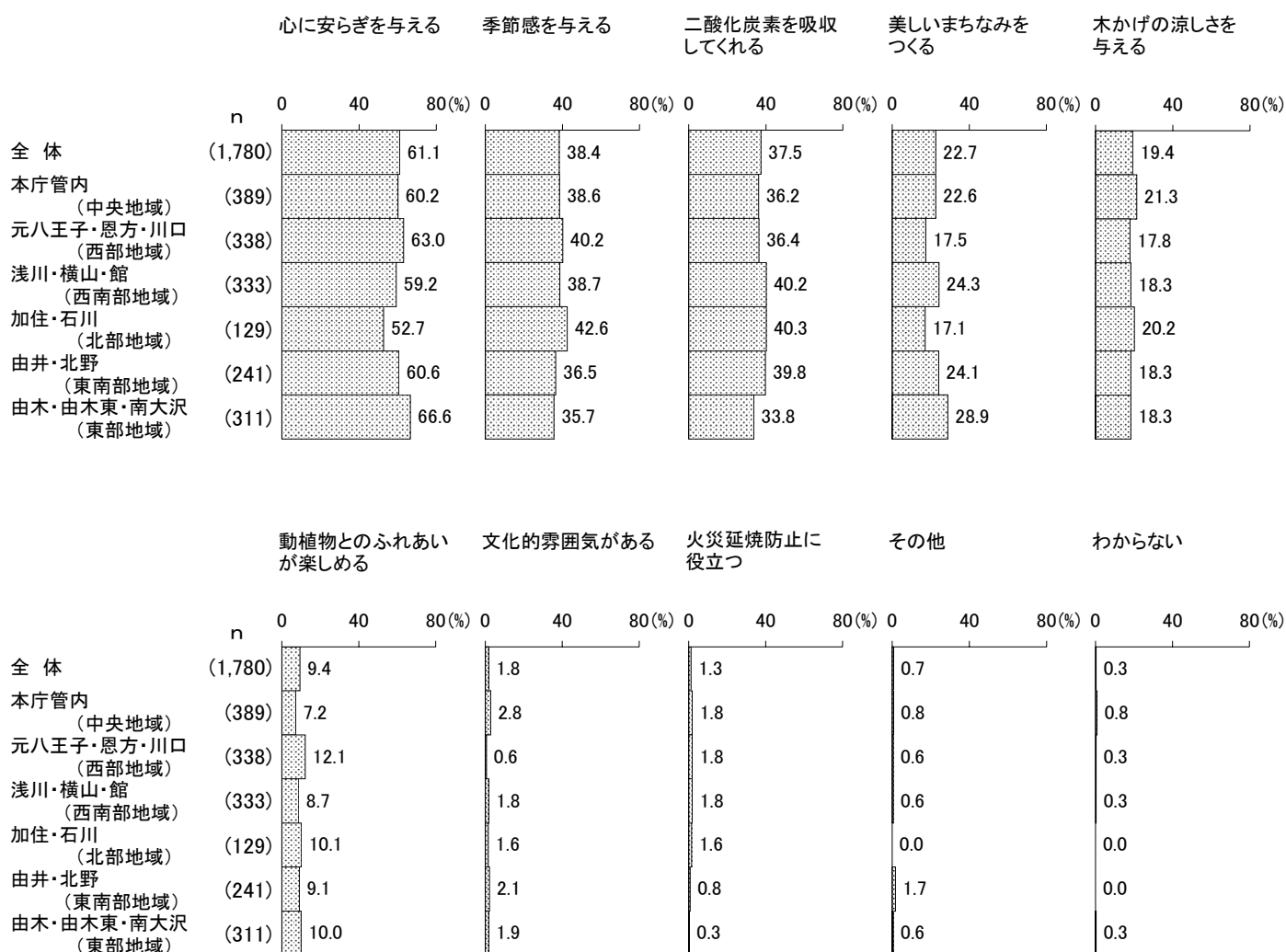
図４－７－２ みどりの役割－性別・年齢別



性別にみると、「季節感を与える」は女性のほうが8.5ポイント高く、「動植物とのふれあいが楽しめる」は男性のほうが6.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「美しいまちなみをつくる」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられる。(図４－７－２)

図４－７－３ みどりの役割－居住地域別



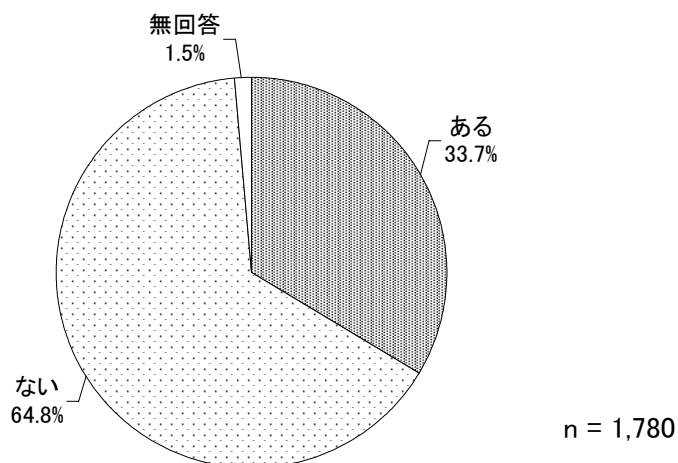
居住地域別にみると、「心に安らぎを与える」「美しいまちなみをつくる」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で比較的高くなっている。（図４－７－３）

4－8 みどりがあつたために迷惑だと思ふときの有無

◇「ない」が6割台半ば

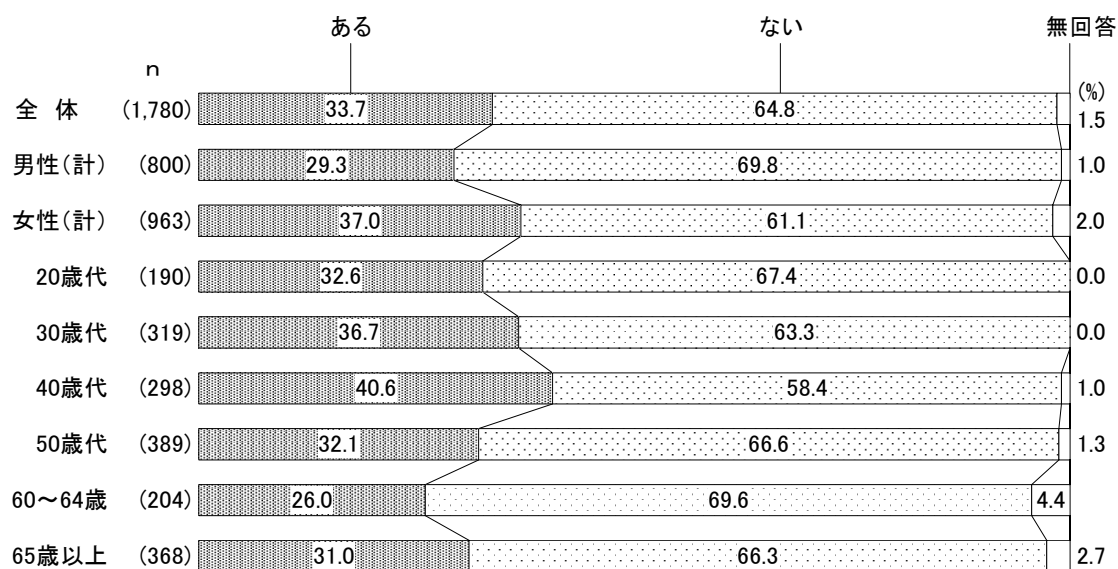
問9 みどりがあつたために迷惑だと思ふときがありますか。(○は1つだけ)

図4－8－1



みどりがあつたために迷惑だと思ふときの有無は、「ない」が6割台半ば(64.8%)で、「ある」(33.7%)を大きく上回っている。(図4－8－1)

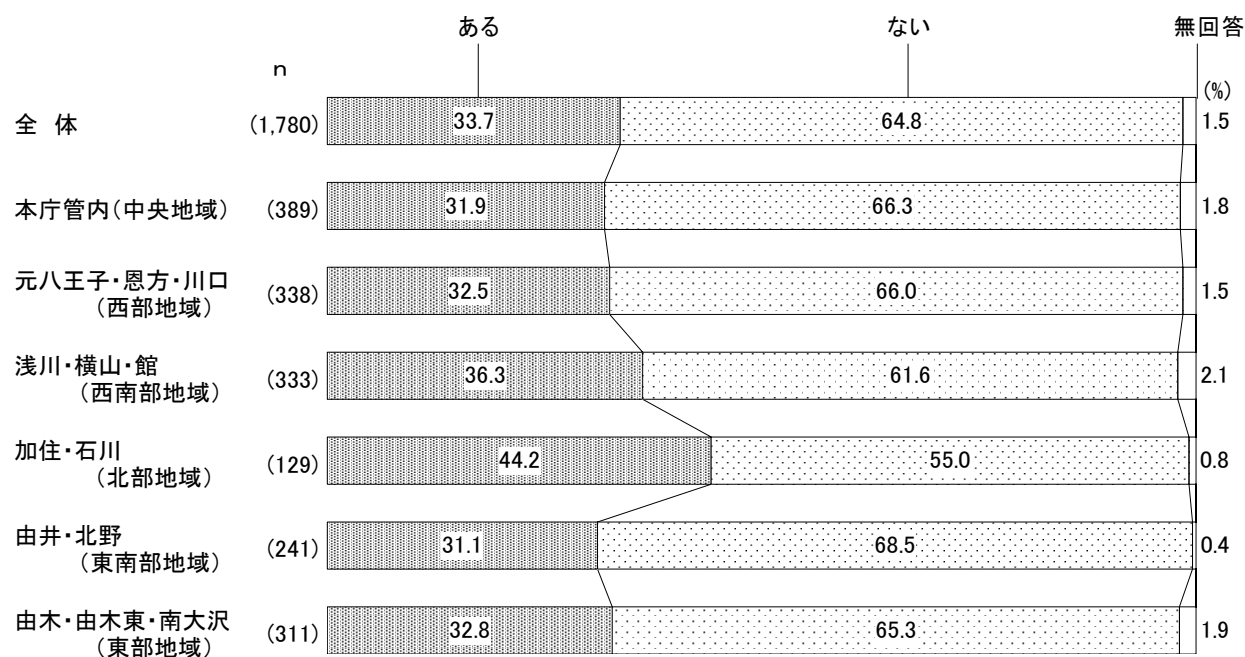
図4－8－2 みどりがあつたために迷惑だと思ふときの有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「ある」が7.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代で「ある」が約4割(40.6%)と最も高くなっている。(図4－8－2)

図４－８－３ みどりがあるために迷惑だと思ふときの有無－居住地域別



居住地域別にみると、加住・石川（北部地域）で「ある」が４割台半ば（44.2％）と最も高くなっている。（図４－８－３）

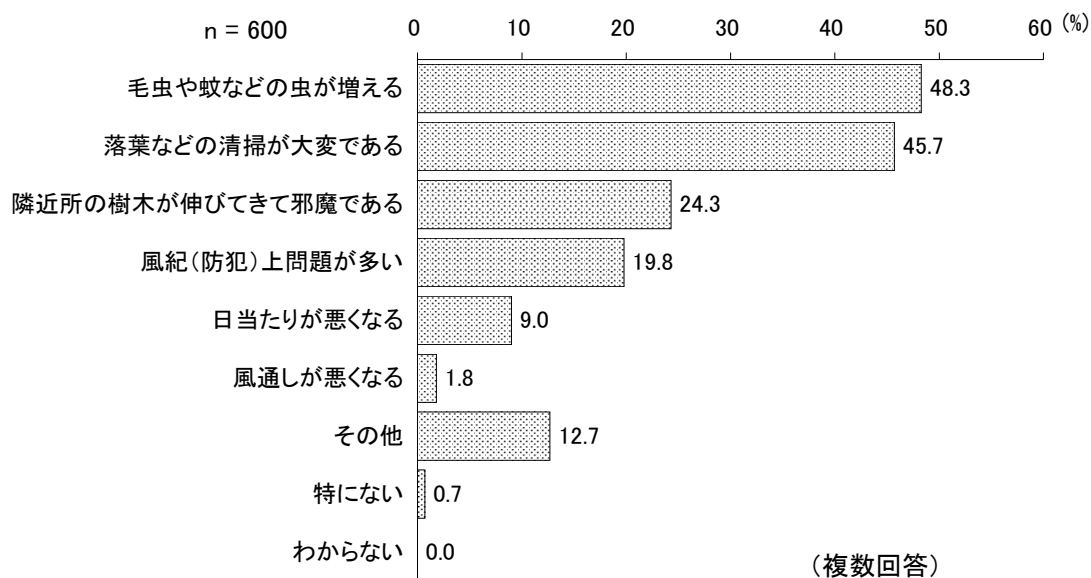
4－9 みどりで迷惑と思うこと

◇「毛虫や蚊などの虫が増える」「落葉などの清掃が大変である」が突出

（問9で「ある」とお答えの方に）

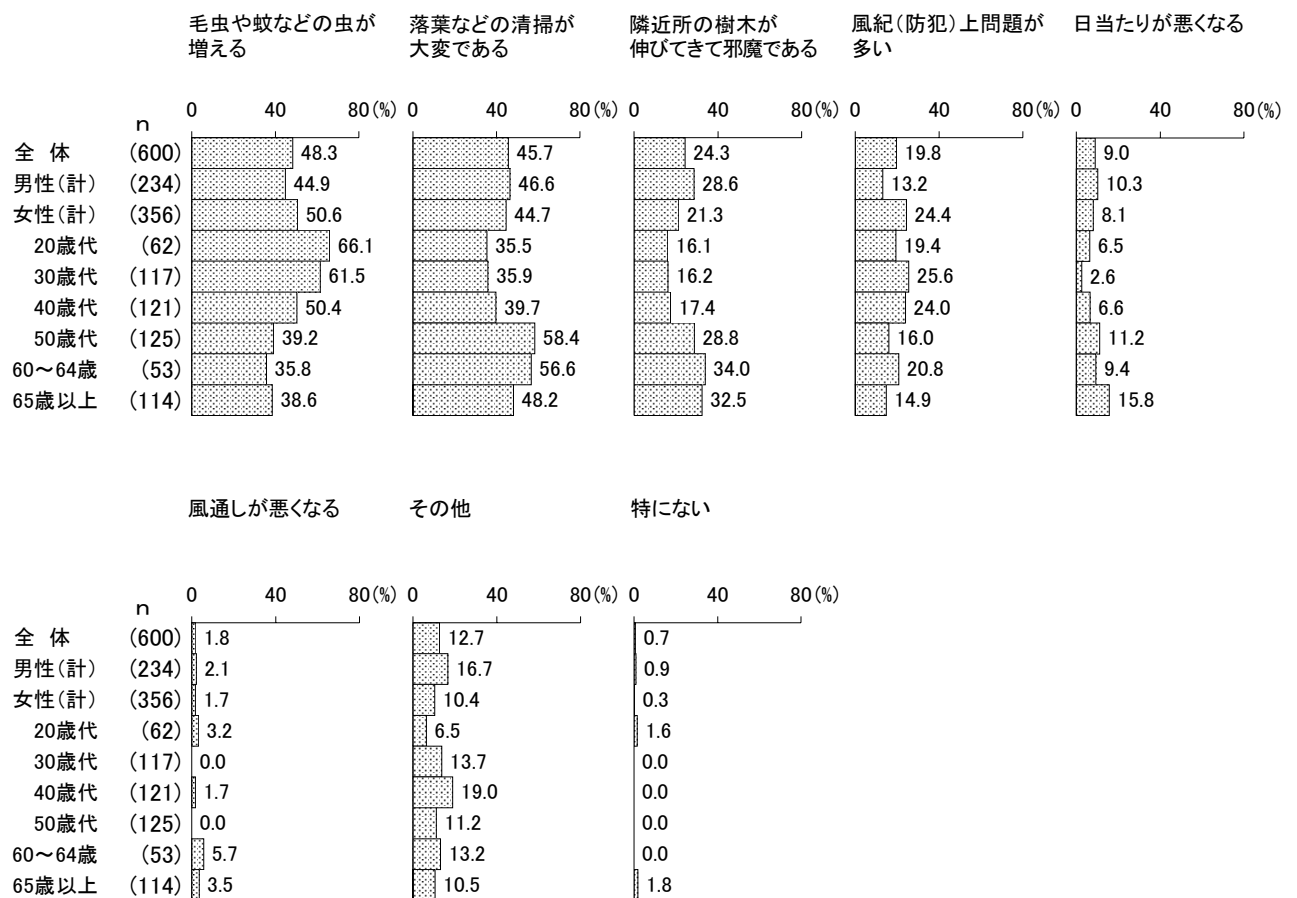
問9－1 迷惑と思うのはどのようなことですか。（○は2つまで）

図4－9－1



みどりがあるために迷惑だと思うときに「ある」と答えた人（600人）に、みどりで迷惑と思うことを聞いたところ、「毛虫や蚊などの虫が増える」（48.3%）、「落葉などの清掃が大変である」（45.7%）の2項目が4割台で突出して高く、以下、「隣近所の樹木が伸びてきて邪魔である」（24.3%）、「風紀（防犯）上問題が多い」（19.8%）の順で続いている。（図4－9－1）

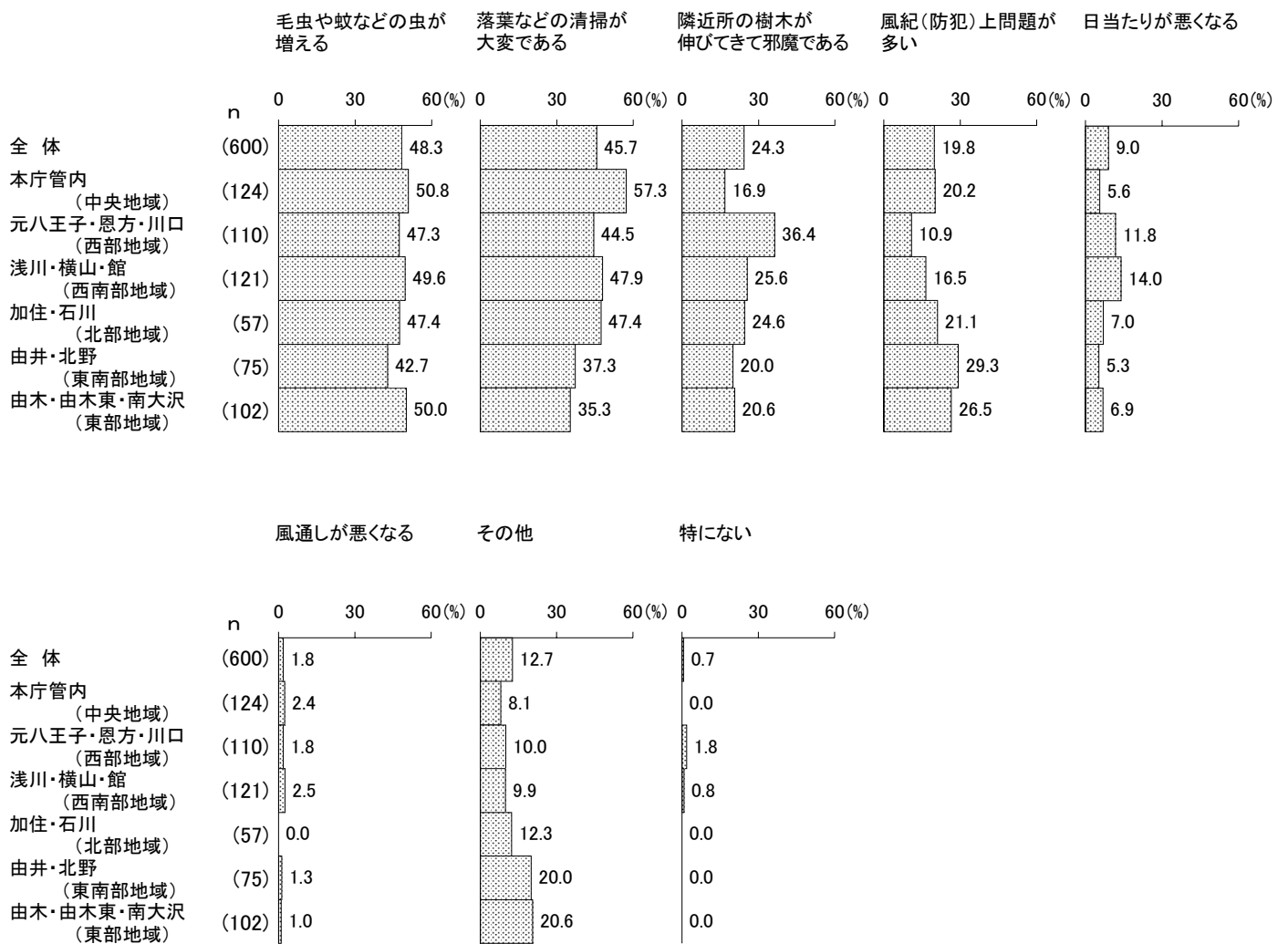
図 4-9-2 みどりで迷惑と思うこと一性別・年齢別



性別にみると、「隣近所の樹木が伸びてきて邪魔である」は男性のほうが7.3ポイント高く、「風紀(防犯)上問題が多い」は女性のほうが11.2ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳以上では「落葉などの清掃が大変である」が5割弱～6割弱と高く、20歳代～40歳代では「毛虫や蚊などの虫が増える」が過半数を占めている。(図4-9-2)

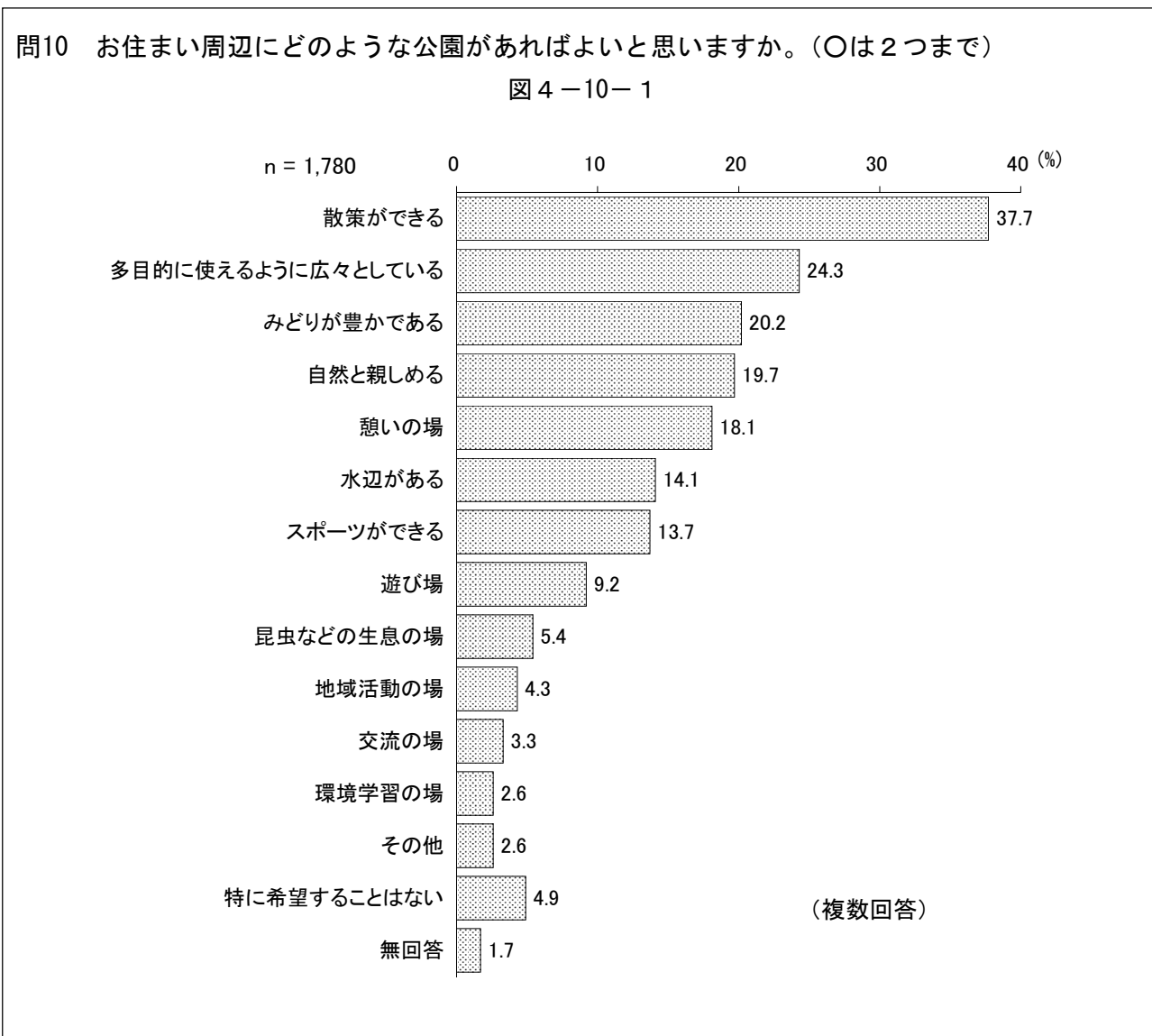
図４－９－３ みどりで迷惑と思うこと－居住地域別



居住地域別にみると、「落葉などの清掃が大変である」は本庁管内（中央地域）で6割弱（57.3%）と高く、「隣近所の樹木が伸びてきて邪魔である」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で3割台半ば（36.4%）と比較的高くなっている。（図４－９－３）

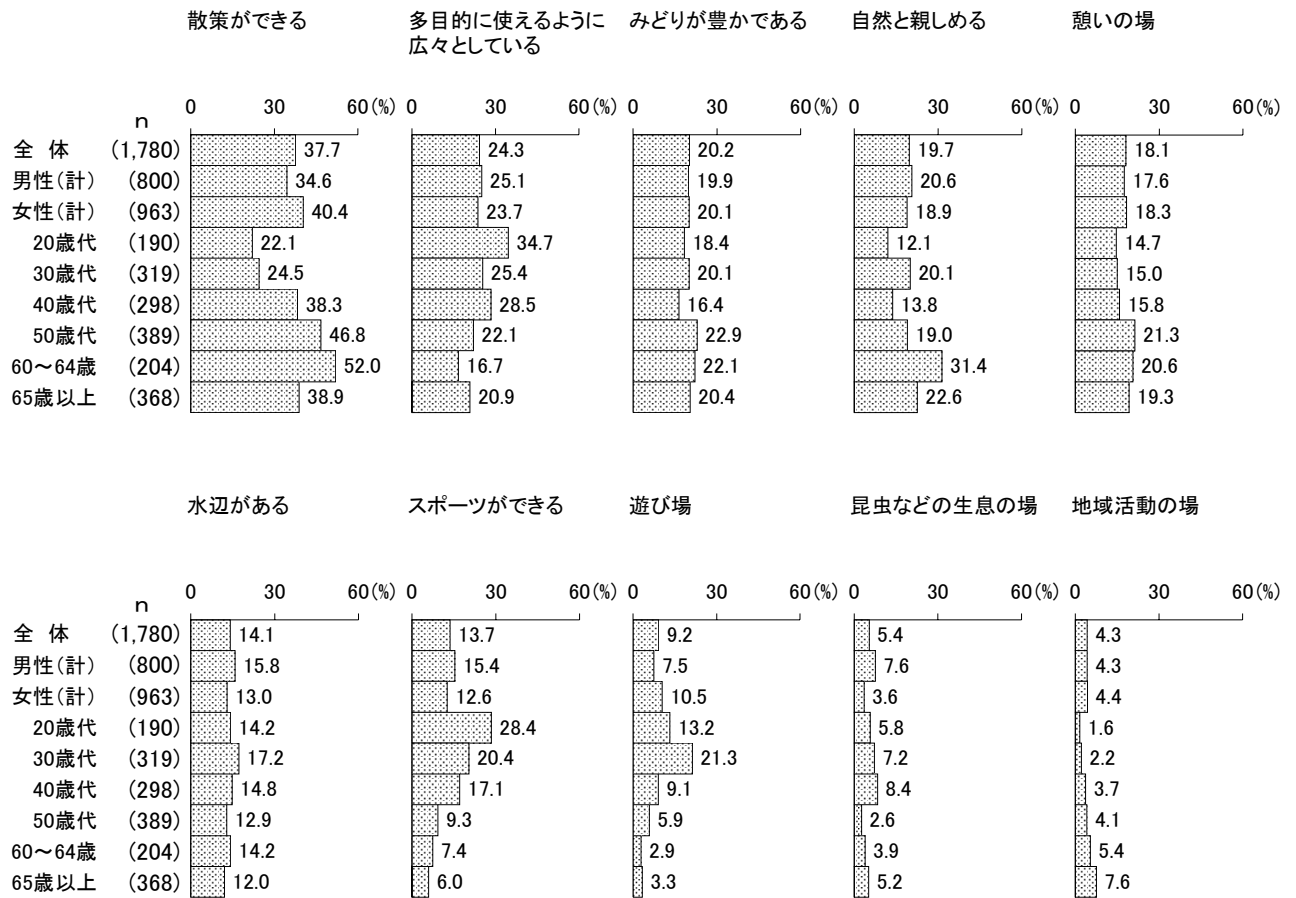
4-10 公園に対する希望

◇「散策ができる」が4割弱と突出



お住まい周辺にどのような公園があればよいか聞いたところ、「散策ができる」が4割弱（37.7%）と突出して高く、以下、「多目的に使えるように広々としている」（24.3%）、「みどりが豊かである」（20.2%）、「自然と親しめる」（19.7%）、「憩いの場」（18.1%）の順で続いている。（図4-10-1）

図 4-10-2 公園に対する希望－性別・年齢別（上位10項目）

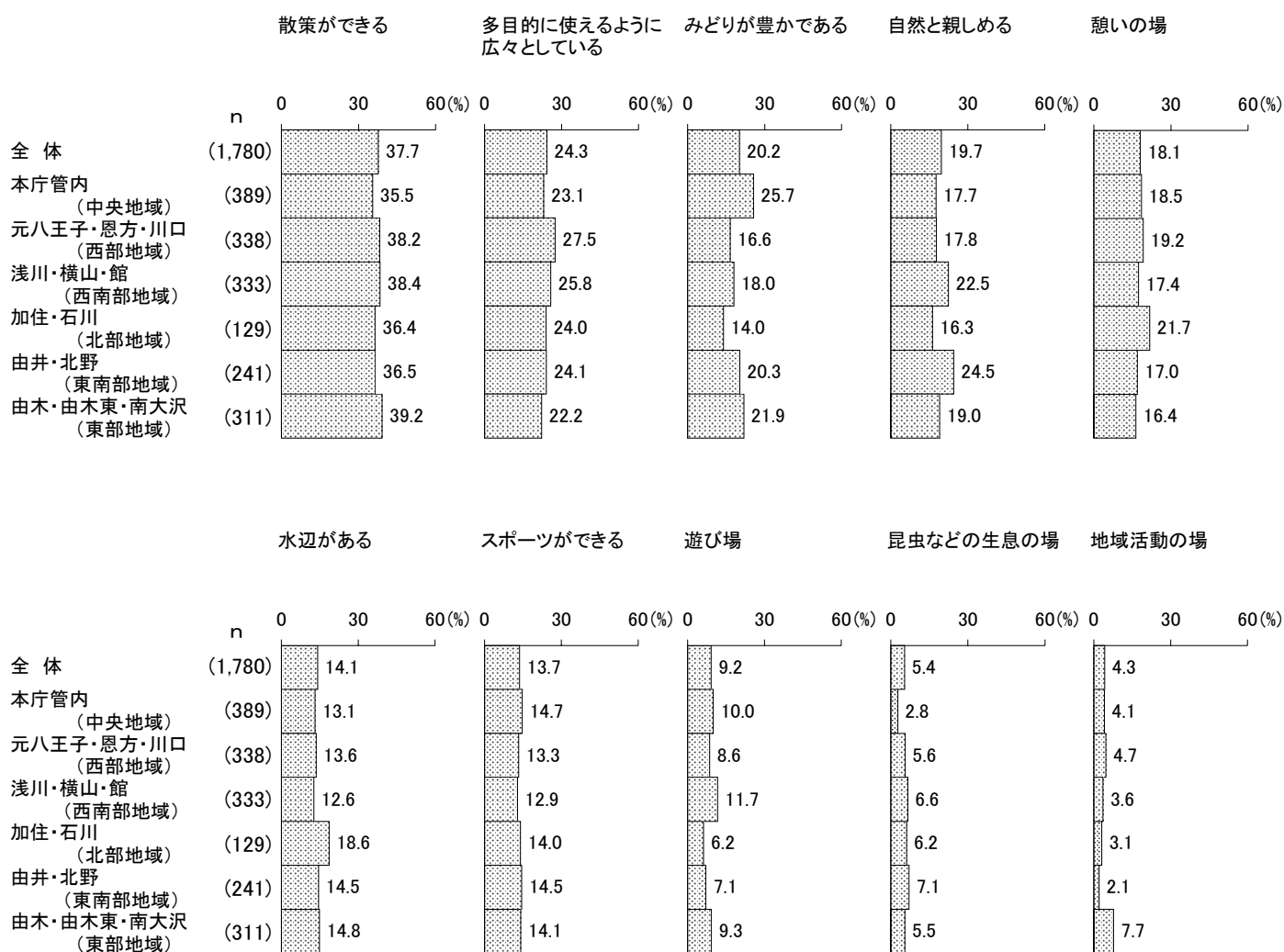


性別にみると、「散策ができる」は女性のほうが5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「散策ができる」は年齢が高くなるほど割合が増加し、「多目的に使えるように広々としている」「スポーツができる」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向がみられる。

(図 4-10-2)

図 4-10-3 公園に対する希望—居住地域別（上位10項目）



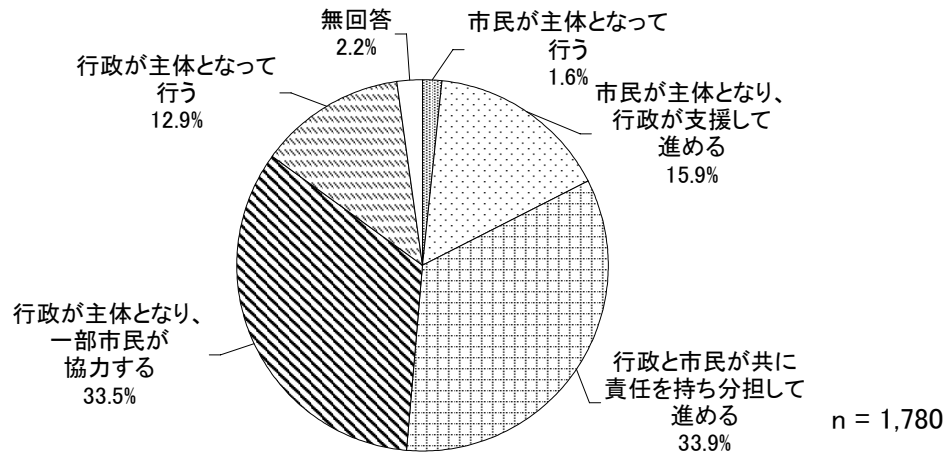
居住地域別にみると、「みどりが豊かである」は本庁管内（中央地域）で2割台半ば（25.7%）と比較的高くなっている。（図 4-10-3）

4-11 みどりの環境づくりを行う主体

◇「行政と市民が共に責任を持ち分担して進める」「行政が主体となり、一部市民が協力する」がともに3割強で拮抗

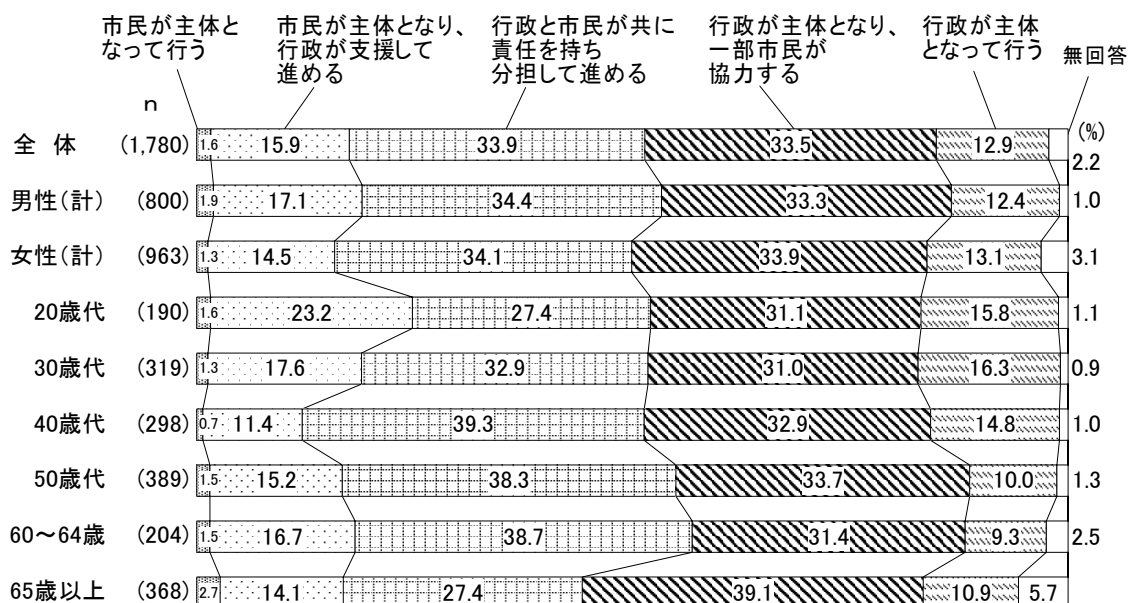
問11 今後、みどりの環境づくり（維持・管理なども含む）をどのように行えばよいと思いますか。（○は1つだけ）

図4-11-1



みどりの環境づくりを行う主体について聞いたところ、「行政と市民が共に責任を持ち分担して進める」が3割強（33.9%）、「行政が主体となり、一部市民が協力する」が3割強（33.5%）で拮抗している。以下は、「市民が主体となり、行政が支援して進める」（15.9%）、「行政が主体となって行う」（12.9%）、「市民が主体となって行う」（1.6%）の順となっている。（図4-11-1）

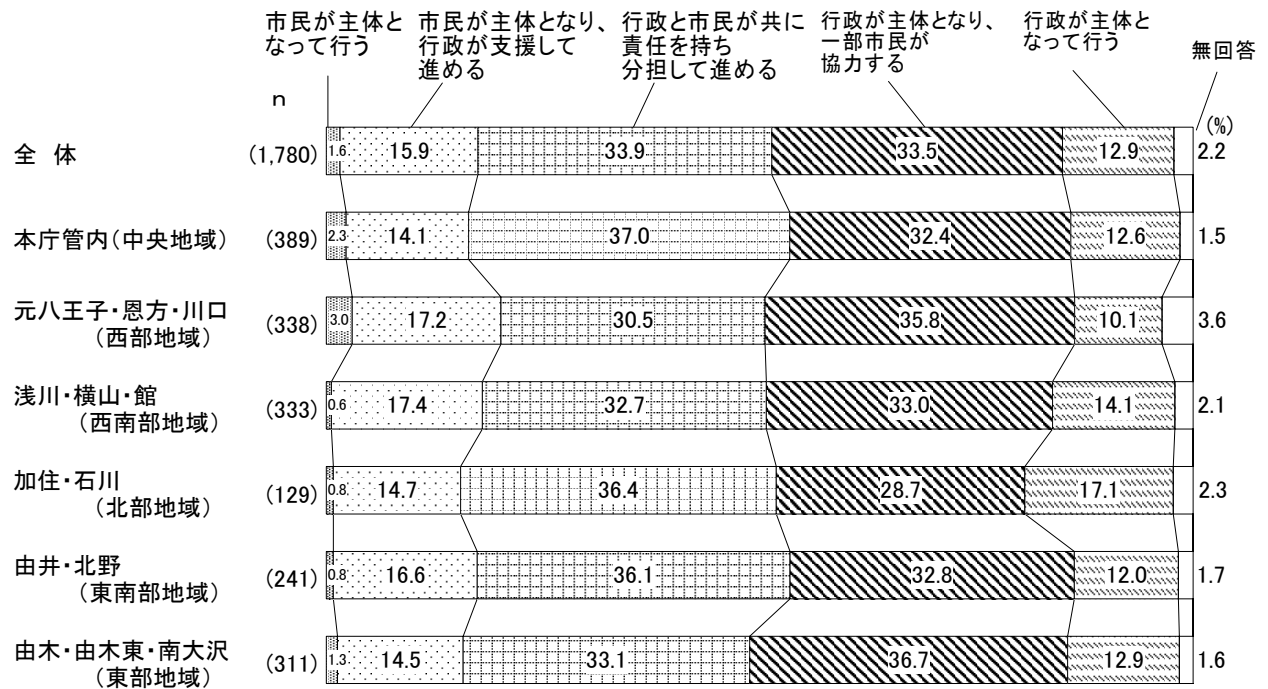
図4-11-2 みどりの環境づくりを行う主体—性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、20歳代で「市民が主体となり、行政が支援して進める」が23.2%と比較的高く、65歳以上で「行政が主体となり、一部市民が協力する」が39.1%と高くなっている。（図4-11-2）

図 4-11-3 みどりの環境づくりを行う主体—居住地域別



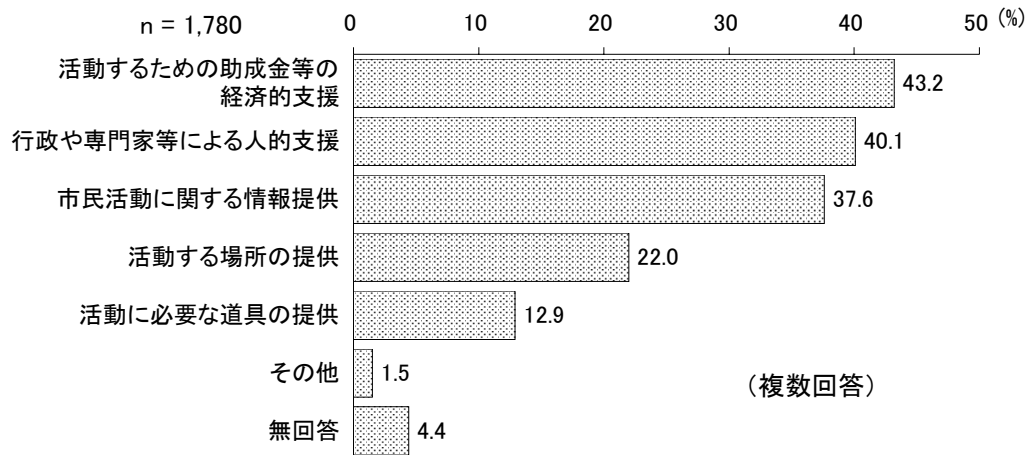
居住地域別にみると、加住・石川（北部地域）で「行政が主体となって行う」が2割弱（17.1%）と比較的高くなっている。（図 4-11-3）

4-12 みどりの環境づくりに関わる市民への支援

◇経済的支援、人的支援、情報提供がそれぞれ4割前後

問12 市民の方々がみどりの環境づくりに関わっていただくためには、どのような支援が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

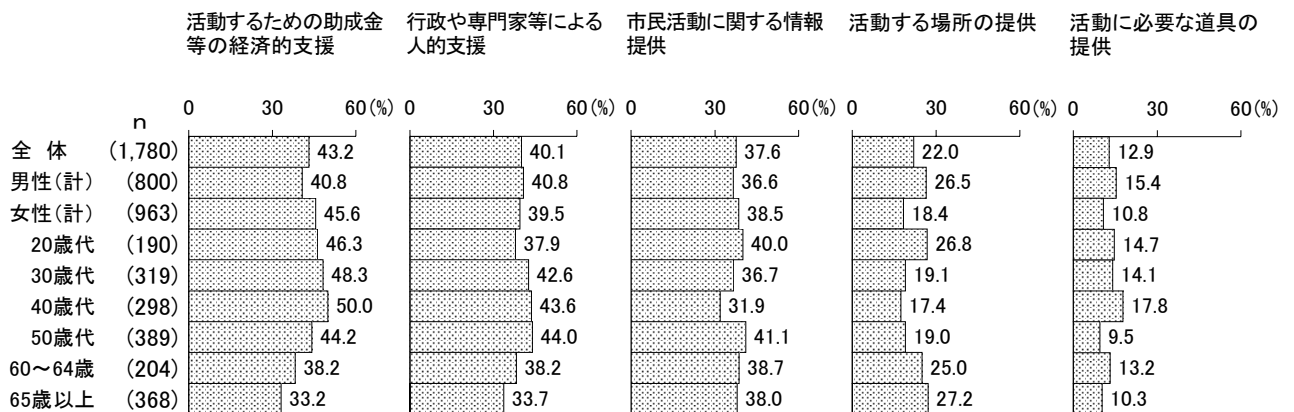
図4-12-1



みどりの環境づくりに関わる市民への支援について聞いたところ、「活動するための助成金等の経済的支援」が4割強（43.2%）で最も高く、以下、「行政や専門家等による人的支援」（40.1%）、「市民活動に関する情報提供」（37.6%）、「活動する場所の提供」（22.0%）の順で続いている。

(図4-12-1)

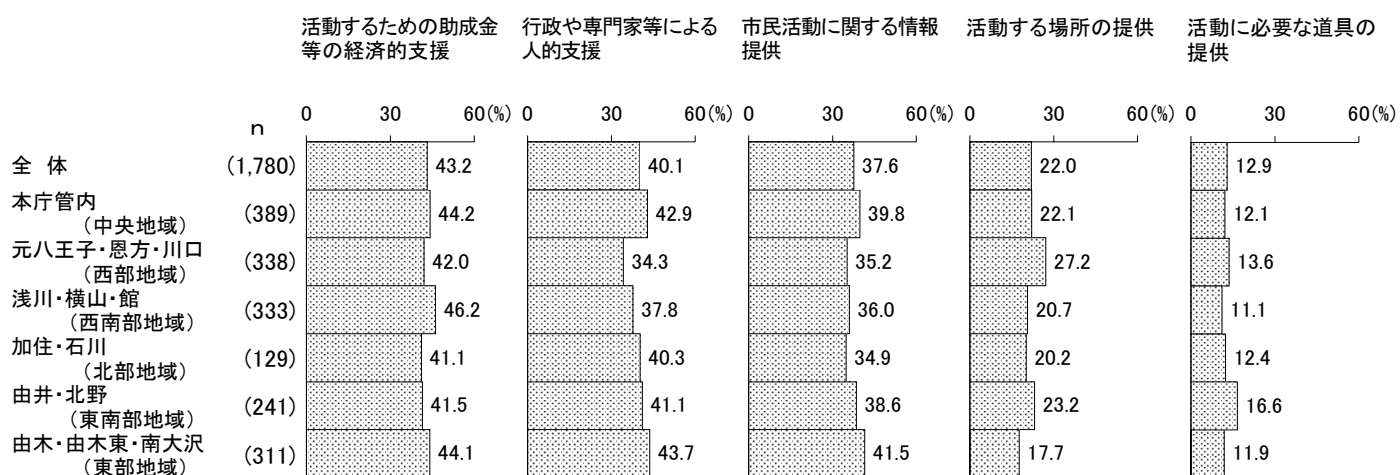
図4-12-2 みどりの環境づくりに関わる市民への支援—性別・年齢別



性別にみると、「活動する場所の提供」は男性のほうが8.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、20歳代～40歳代で「活動するための助成金等の経済的支援」が4割台半ば～5割と高くなっている。(図4-12-2)

図 4-12-3 みどりの環境づくりに関わる市民への支援－居住地域別



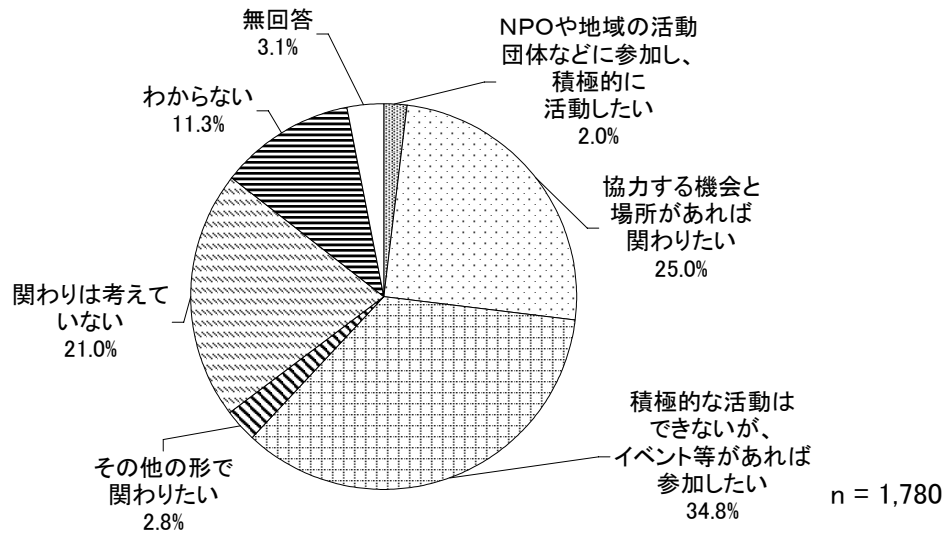
居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）で「活動する場所の提供」が3割弱（27.2%）と比較的高くなっている。（図 4-12-3）

4-13 みどりの環境づくりに関わる意向

◇『関わりたい』が6割台半ば

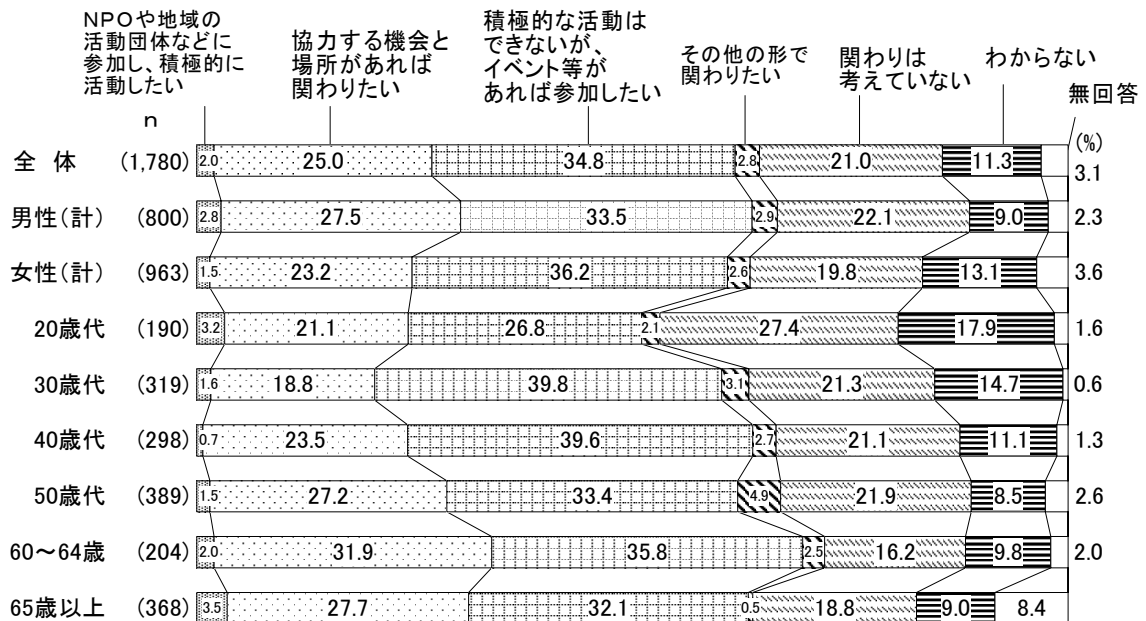
問13 みどりの環境づくりにどのように関わっていきたいと考えていますか。(○は1つだけ)

図4-13-1



みどりの環境づくりに関わる意向を聞いたところ、「積極的な活動はできないが、イベント等があれば参加したい」が3割台半ば（34.8%）で最も高く、以下、「協力する機会と場所があれば関わりたい」（25.0%）、「関わりは考えていない」（21.0%）、「その他の形で関わりたい」（2.8%）の順で続いている。何らかの形で『関わりたい』という回答は計64.6%である。（図4-13-1）

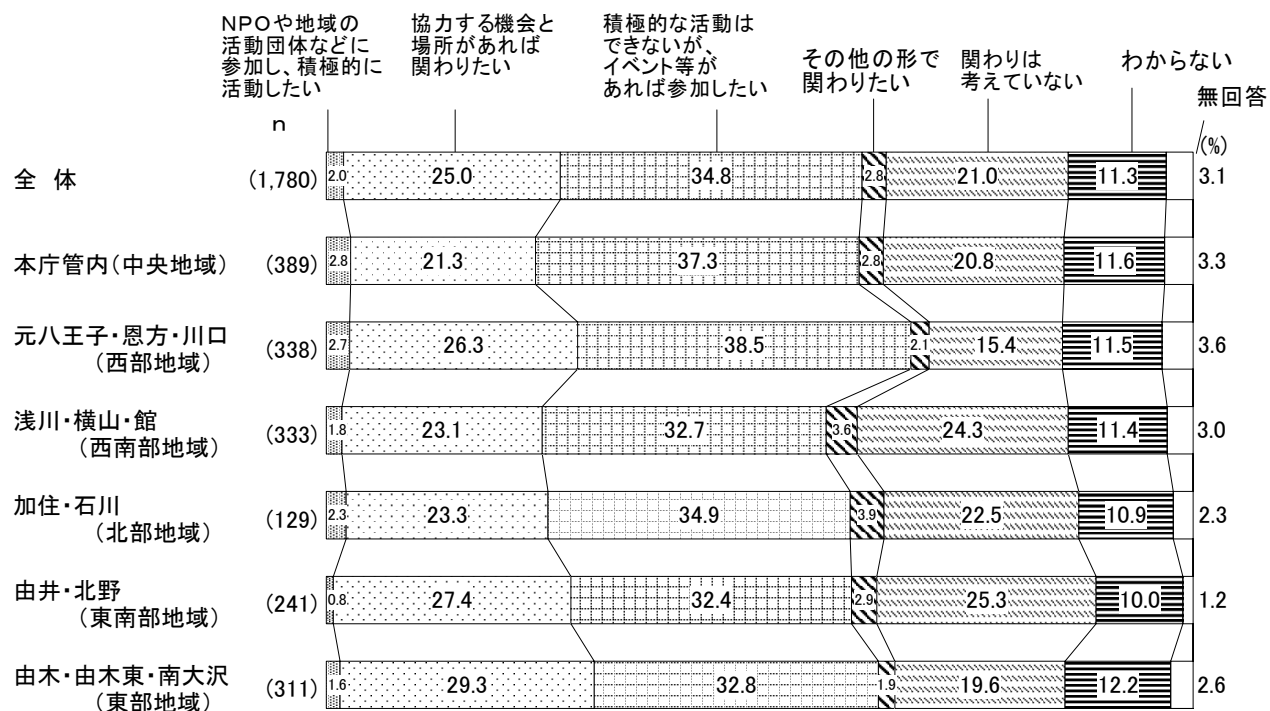
図4-13-2 みどりの環境づくりに関わる意向－性別・年齢別



性別にみると、「協力する機会と場所があれば関わりたい」は男性のほうが4.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、50歳以上で「協力する機会と場所があれば関わりたい」が3割前後と高くなっている。（図4-13-2）

図 4-13-3 みどりの環境づくりに関わる意向－居住地域別



居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）で「関わりは考えていない」が15.4%と最も低く、みどりの環境づくりに関わる意向が高くなっている。（図 4-13-3）

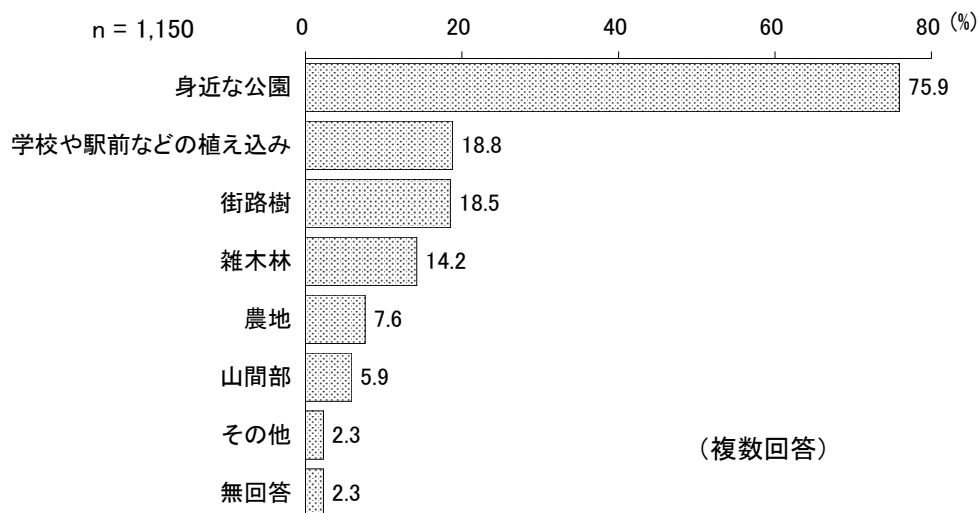
4-14 みどりの環境づくりに関わる場所

◇「身近な公園」が7割台半ばと突出

(問13でみどりの環境づくりに何らかの形で関わりたいとお答えの方に)

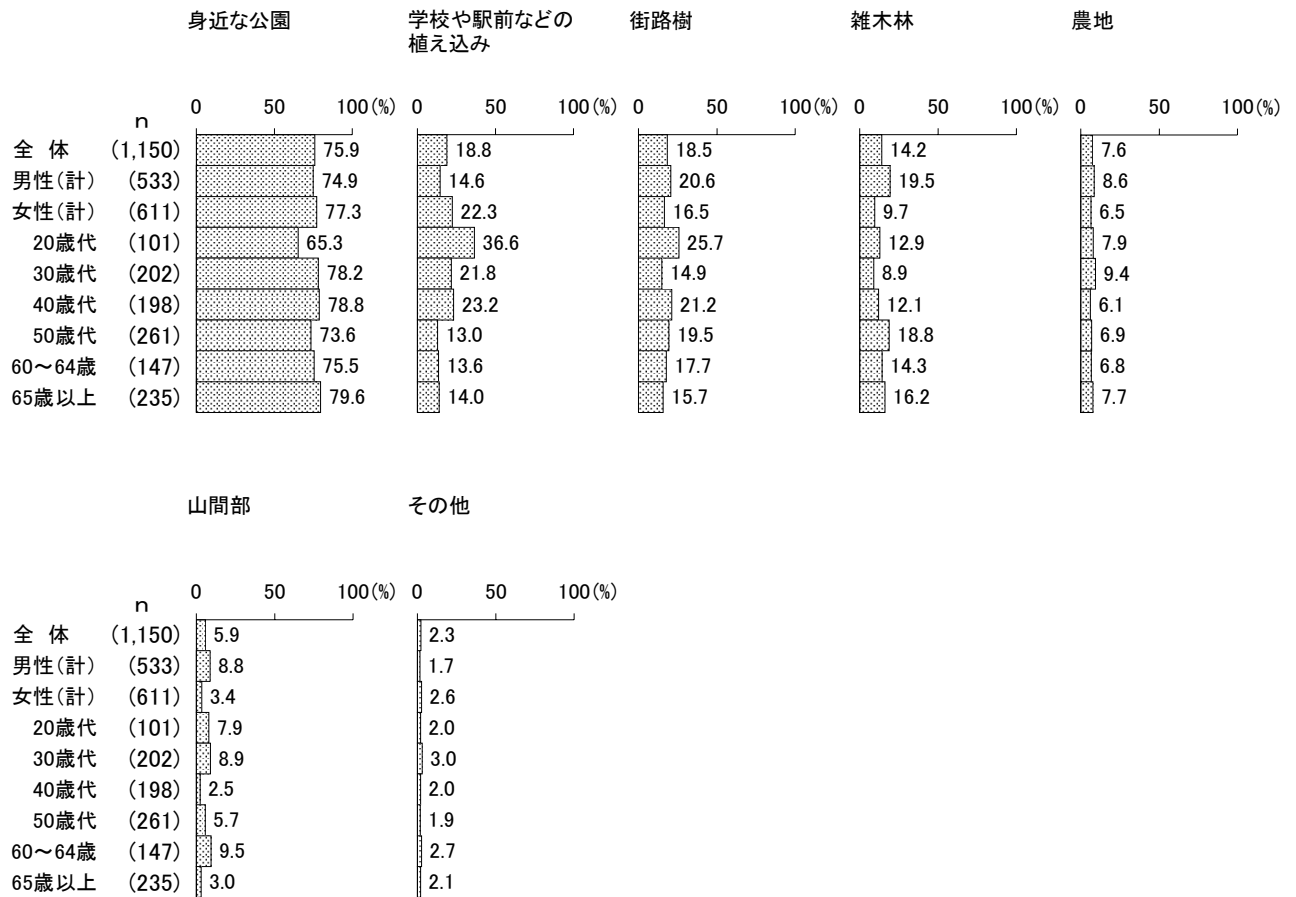
問13-1 参加したり、協力する場合、どこで活動したいと思いますか。(○は2つまで)

図4-14-1



みどりの環境づくりに何らかの形で関わりたいと回答した人(1,150人)に、みどりの環境づくりに関わりたい場所を聞いたところ、「身近な公園」が7割台半ば(75.9%)と突出して高く、以下、「学校や駅前などの植え込み」(18.8%)、「街路樹」(18.5%)、「雑木林」(14.2%)、「農地」(7.6%)、「山間部」(5.9%)の順が続いている。(図4-14-1)

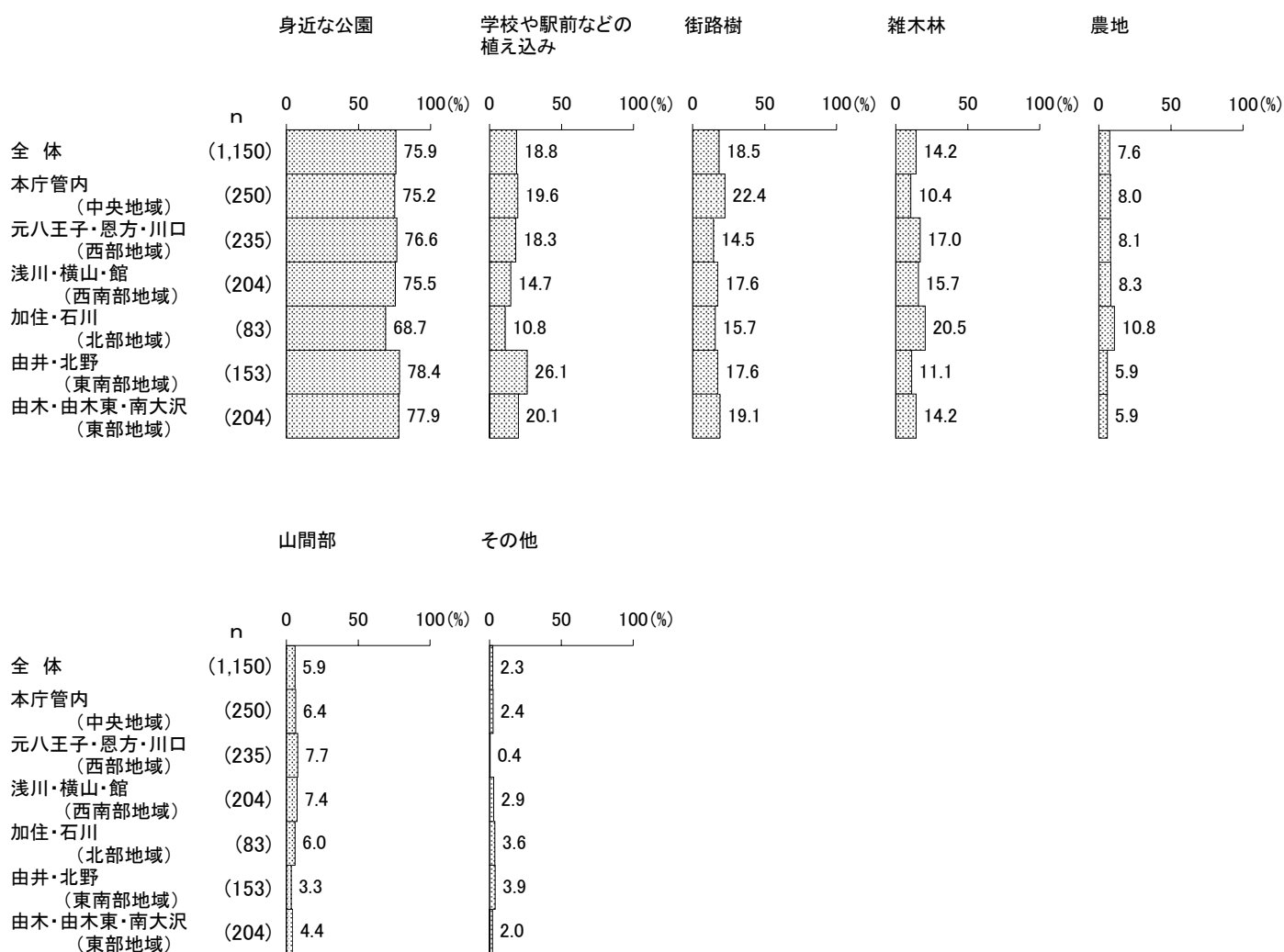
図 4-14-2 みどりの環境づくりに関わる場所－性別・年齢別



性別にみると、「学校や駅前などの植え込み」は女性のほうが7.7ポイント高く、「雑木林」は男性のほうが9.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「学校や駅前などの植え込み」は、20歳代で3割台半ば（36.6%）と高くなっている。（図 4-14-2）

図 4-14-3 みどりの環境づくりに関わる場所－居住地域別



居住地域別にみると、「学校や駅前などの植え込み」は由井・北野（東南部地域）で高く、「街路樹」は本庁管内（中央地域）で高く、「雑木林」は加住・石川（北部地域）で高くなっている。

（図 4-14-3）

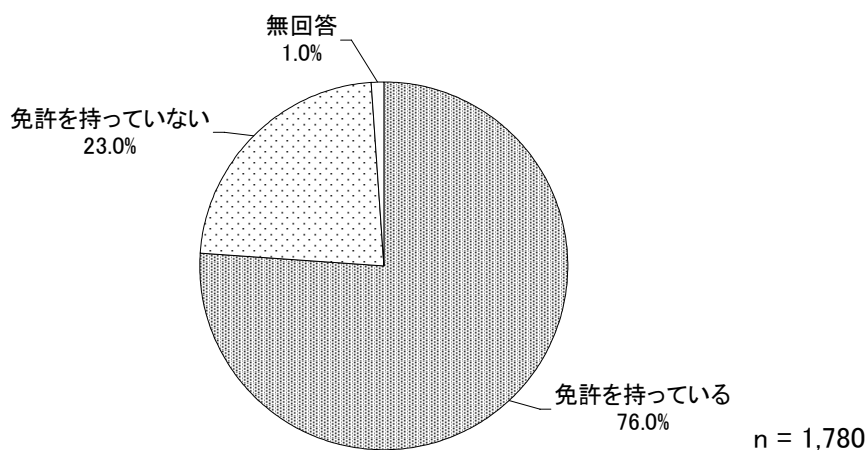
5. 道路整備に対する意識について

5-1 自動車運転免許の有無

◇76%が自動車運転免許所有

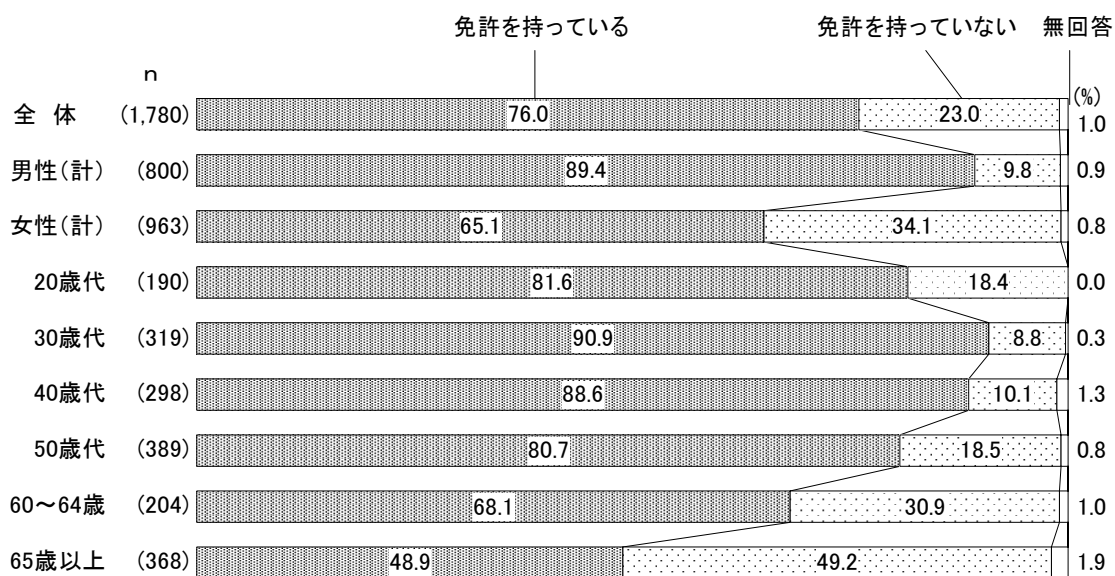
問15 あなたは、自動車運転免許を持っていますか。(○は1つだけ)

図5-1-1



自動車運転免許の有無を聞いたところ、「免許を持っている」が7割台半ば（76.0%）、「免許を持っていない」が2割強（23.0%）となっている。（図5-1-1）

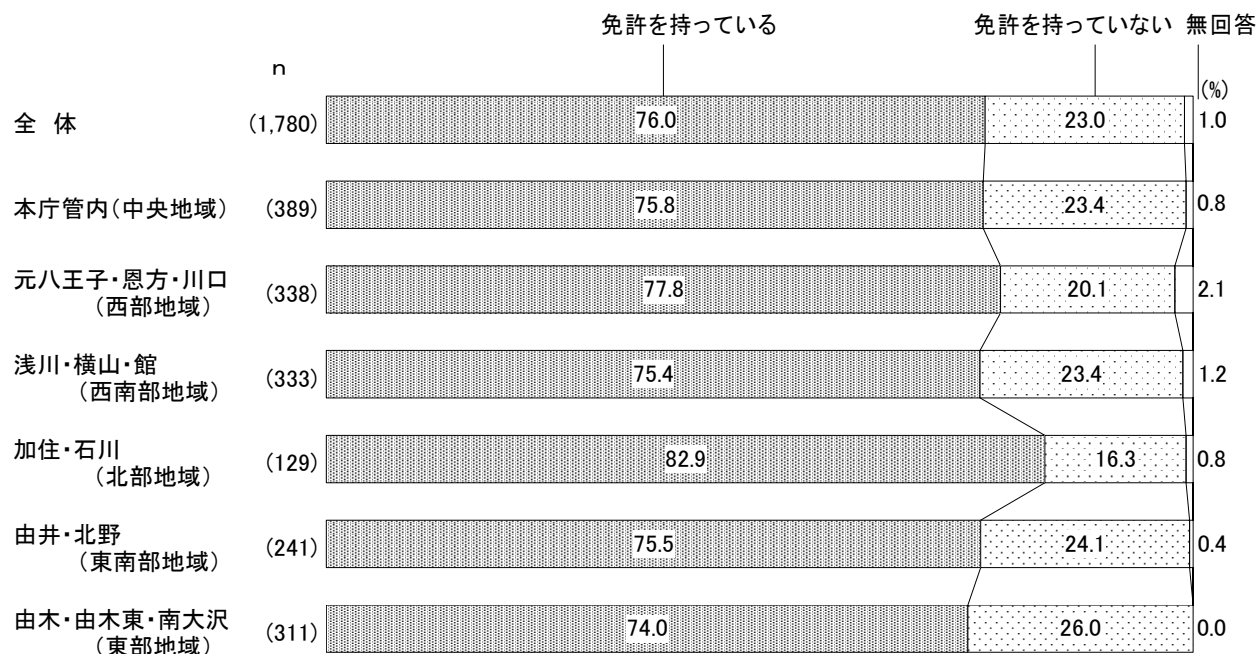
図5-1-2 自動車運転免許の有無－性別・年齢別



性別にみると、「免許を持っている」割合は男性のほうが24.3ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳代の90.9%をピークに年齢が高くなるほど「免許を持っている」割合が減少する傾向がみられる。（図5-1-2）

図 5－1－3 自動車運転免許の有無－居住地域別



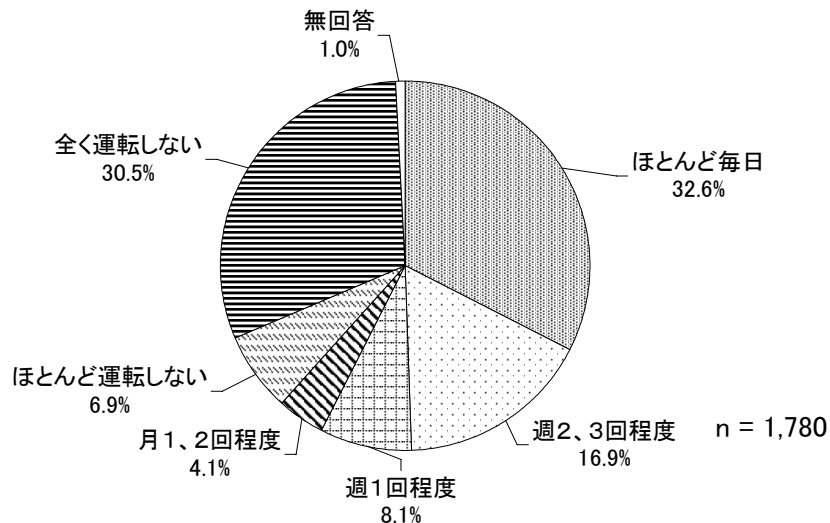
居住地域別にみると、「免許を持っている」割合は、加住・石川（北部地域）で8割強（82.9%）と最も高くなっている。（図 5－1－3）

5-2 自動車の運転頻度

◇「ほとんど毎日」「全く運転しない」がそれぞれ3割強

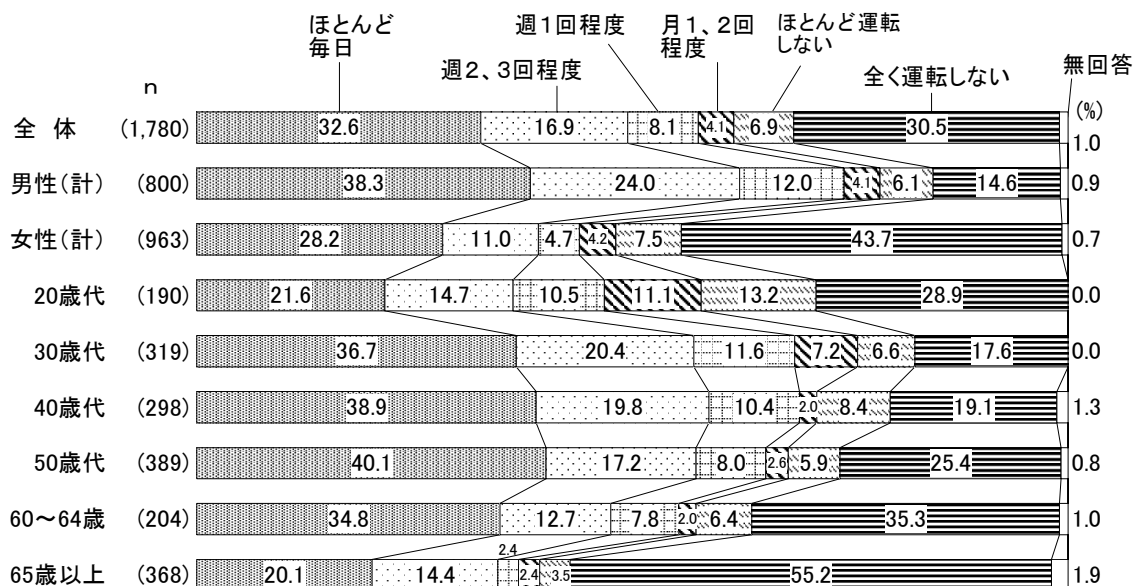
問16 あなたは、自動車を運転しますか。(○は1つだけ)

図5-2-1



自動車の運転頻度を聞いたところ、「ほとんど毎日」(32.6%)、「全く運転しない」(30.5%)が3割強で並んでいる。以下は、「週2、3回程度」(16.9%)、「週1回程度」(8.1%)、「ほとんど運転しない」(6.9%)の順で続いている。(図5-2-1)

図5-2-2 自動車の運転頻度－性別・年齢別

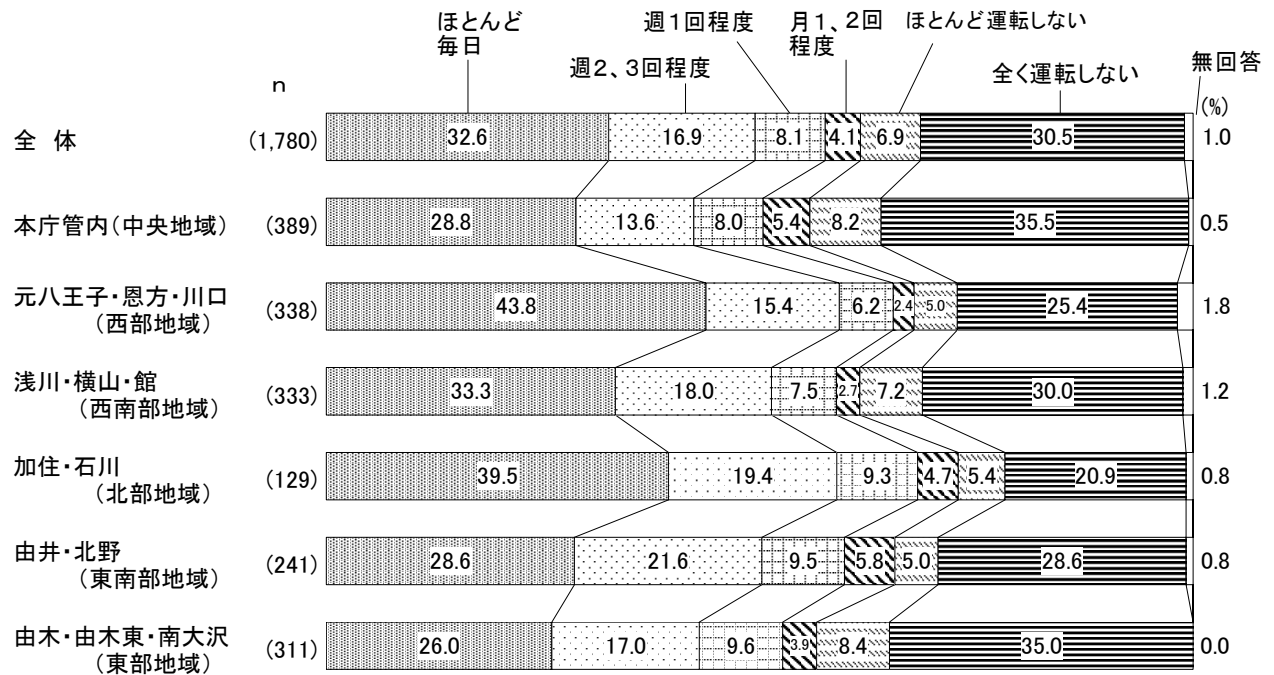


性別にみると、男性のほうが運転頻度が高い。

年齢別にみると、30歳代をピークに年齢が高くなるほど運転頻度が低くなる傾向がみられる。

(図5-2-2)

図 5－2－3 自動車の運転頻度－居住地域別



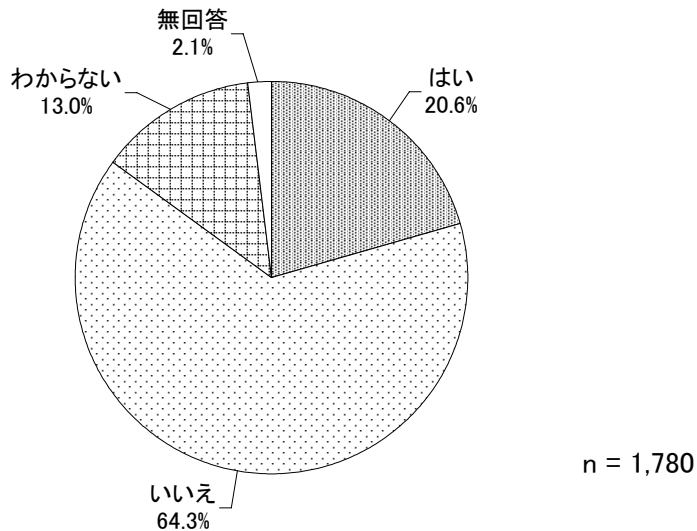
居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）、加住・石川（北部地域）で運転頻度が高くなっている。（図 5－2－3）

5－3 周辺道路の本数の不足

◇道路本数の不足を感じていない人が6割台半ば

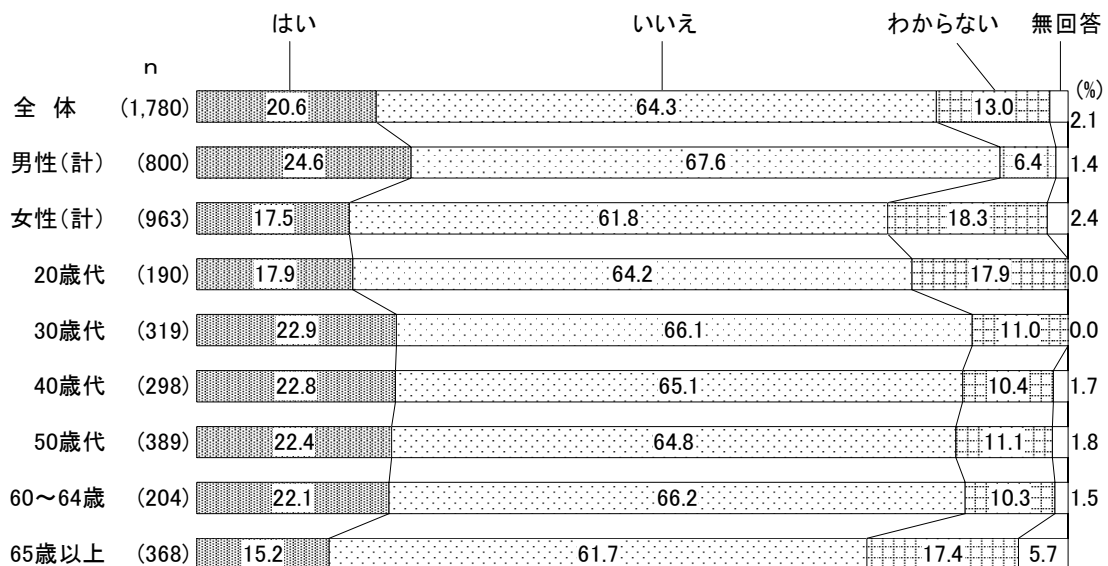
問17 お住まい周辺の道路の本数が足りないと感じていますか。(○は1つだけ)

図5－3－1



周辺道路の本数が足りないと感じるか聞いたところ、「いいえ」が6割台半ば（64.3%）、「はい」が20.6%、「わからない」が13.0%となっている。（図5－3－1）

図5－3－2 周辺道路の本数の不足－性別・年齢別

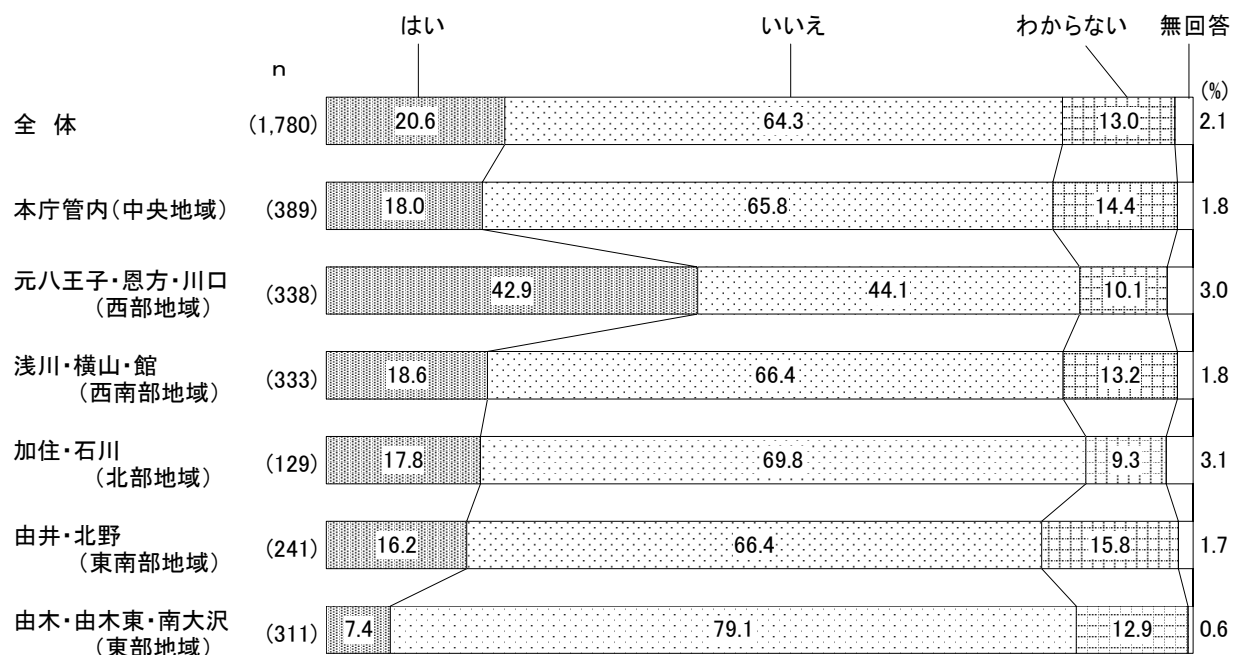


性別にみると、「はい」（不足を感じている）は男性のほうが7.1ポイント高くなっている。

年齢別にみると、30歳代～64歳で「はい」（不足を感じている）が2割強と高くなっている。

（図5－3－2）

図 5－3－3 周辺道路の本数の不足－居住地域別



居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）で「はい」（不足を感じている）が４割強（４２．９％）と突出して高くなっている。（図５－３－３）

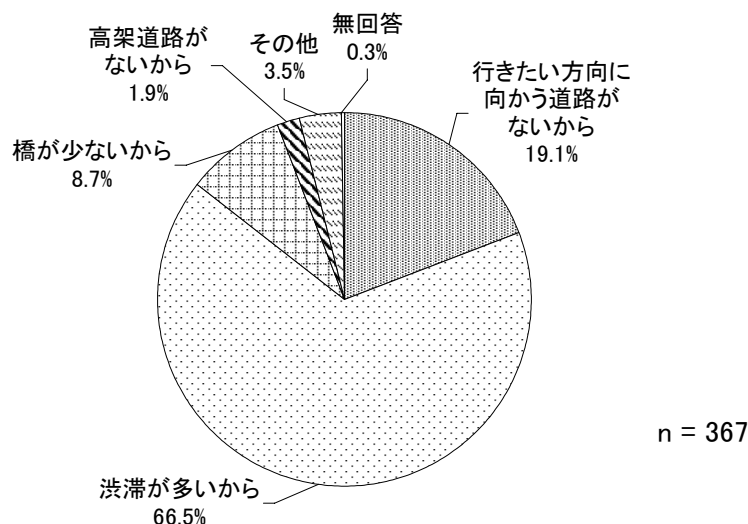
5-4 道路の本数が足りないと感じる理由

◇「渋滞が多いから」が6割台半ばと突出

(問17で「はい」とお答えの方に)

問17-1 道路の本数が足りないと感じている理由は、次のどれですか。(○は1つだけ)

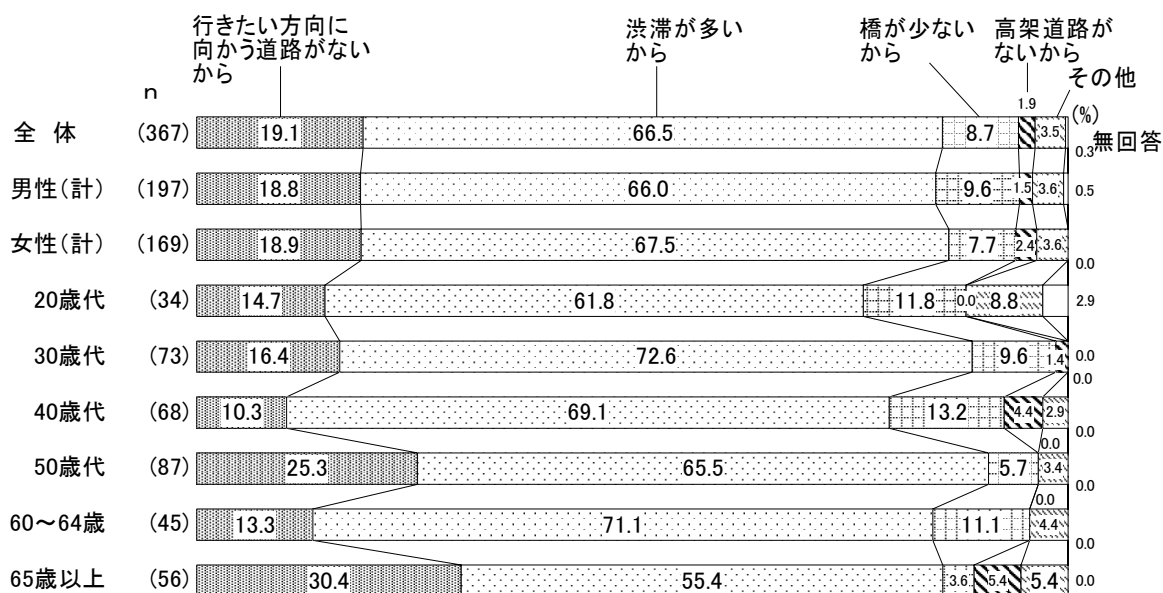
図5-4-1



周辺道路の本数が足りないと回答した人(367人)に、道路の本数が足りないと感じる理由を聞いたところ、「渋滞が多いから」が6割台半ば(66.5%)と突出して高く、以下、「行きたい方向に向かう道路がないから」(19.1%)、「橋が少ないから」(8.7%)、「高架道路がないから」(1.9%)の順となっている。

(図5-4-1)

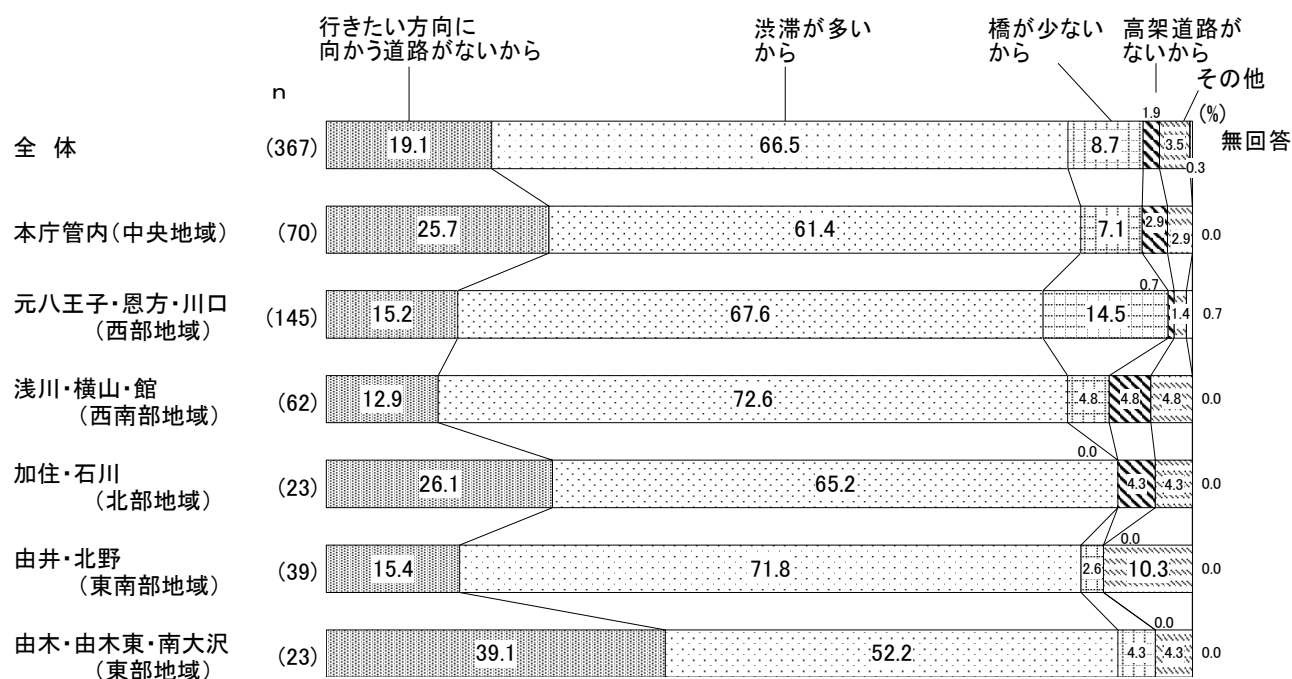
図5-4-2 道路の本数が足りないと感じる理由-性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、50歳代、65歳以上で「行きたい方向に向かう道路がないから」が3割前後と高くなっている。(図5-4-2)

図 5－4－3 道路の本数が足りないと感じる理由－居住地域別



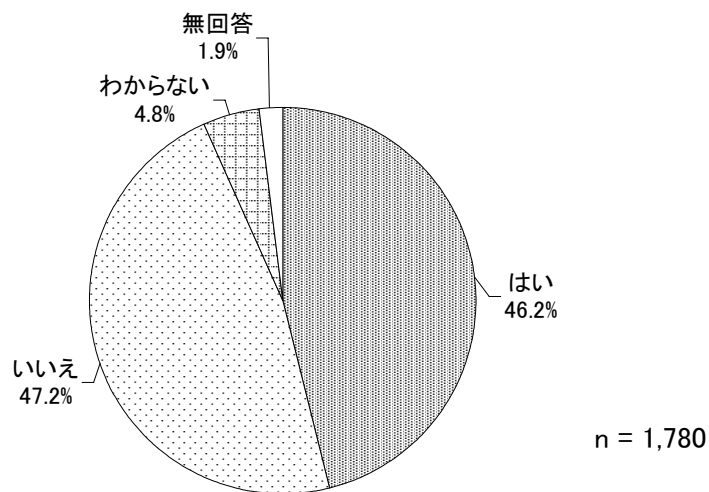
居住地域別にみると、「行きたい方向に向かう道路がないから」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約4割（39.1%）と高く、「橋が少ないから」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で1割台半ばと比較的高くなっている。（図 5－4－3）

5－5 周辺の道幅の狭さ

◇狭いと感じている人、感じていない人がほぼ同数

問18 お住まい周辺の道幅が狭いと感じていますか。(○は1つだけ)

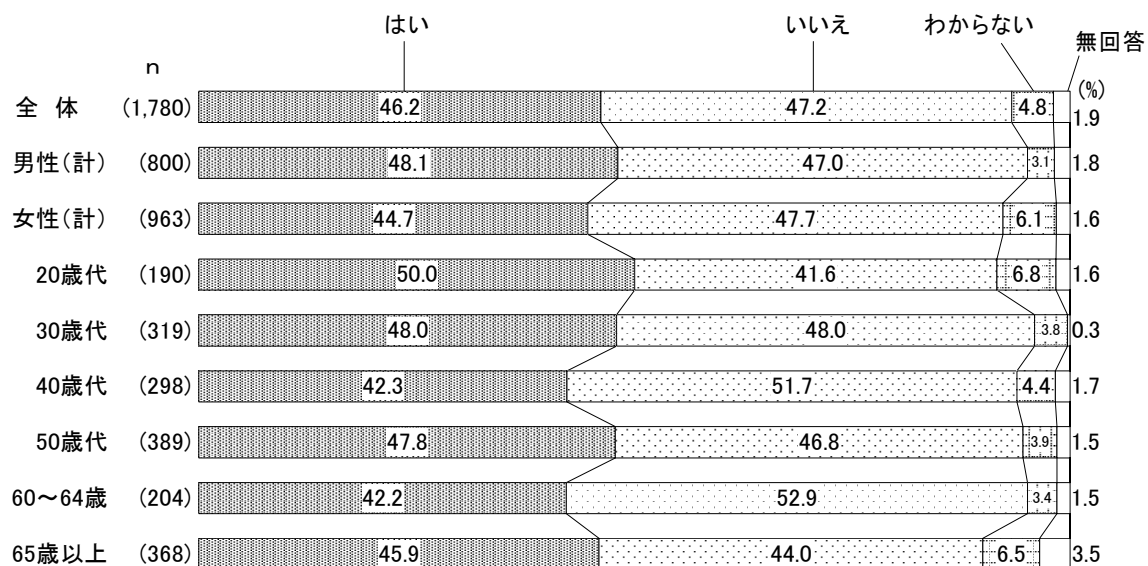
図5－5－1



周辺の道幅が狭いと感じるか聞いたところ、「いいえ」が47.2%、「はい」が46.2%と拮抗している。

(図5－5－1)

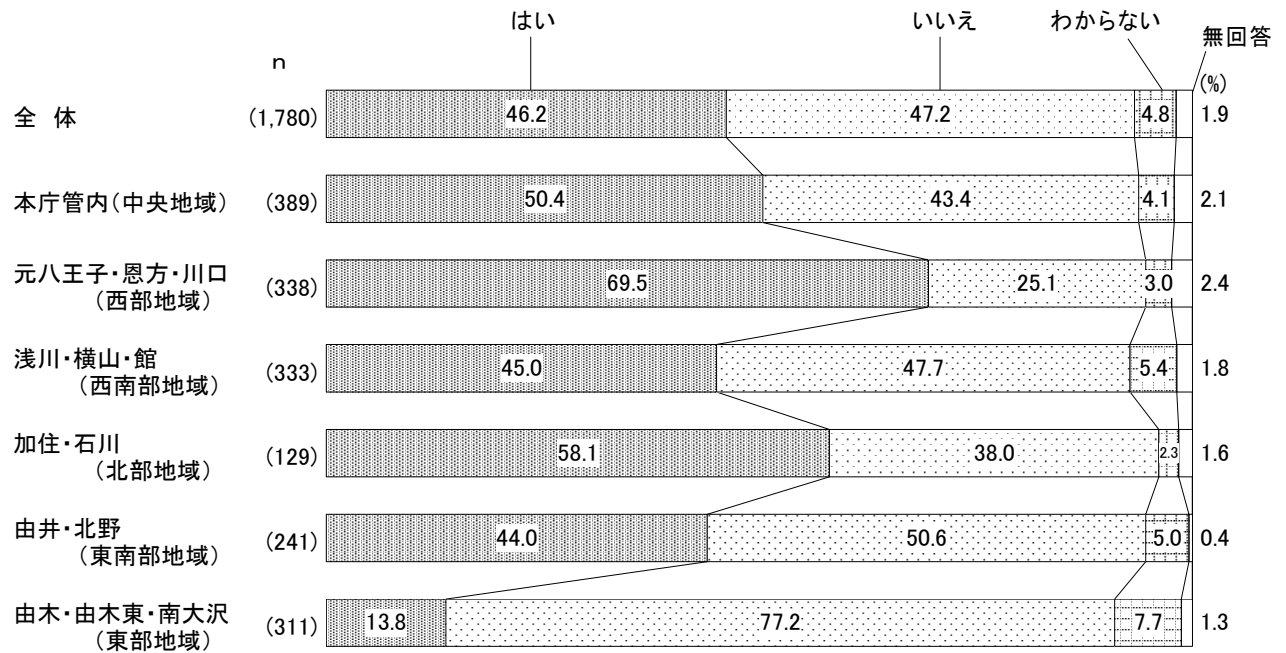
図5－5－2 周辺の道幅の狭さ－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、「はい」(狭いと感じる)は20歳代で5割と高くなっている。(図5－5－2)

図 5－5－3 周辺の道幅の狭さ－居住地域別



居住地域別にみると、「はい」（狭いと感じる）は元八王子・恩方・川口（西部地域）で約 7 割（69.5%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で13.8%と低く、地域により大きな差がみられる。（図 5－5－3）

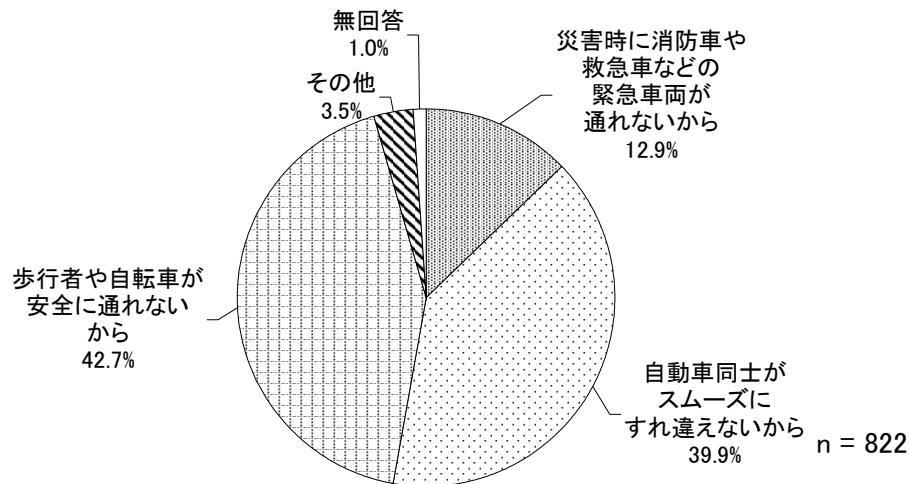
5-6 道幅が狭いと感じる理由

◇「歩行者や自転車が安全に通れないから」「自動車同士がスムーズにすれ違えないから」がそれぞれ4割前後

(問18で「はい」とお答えの方に)

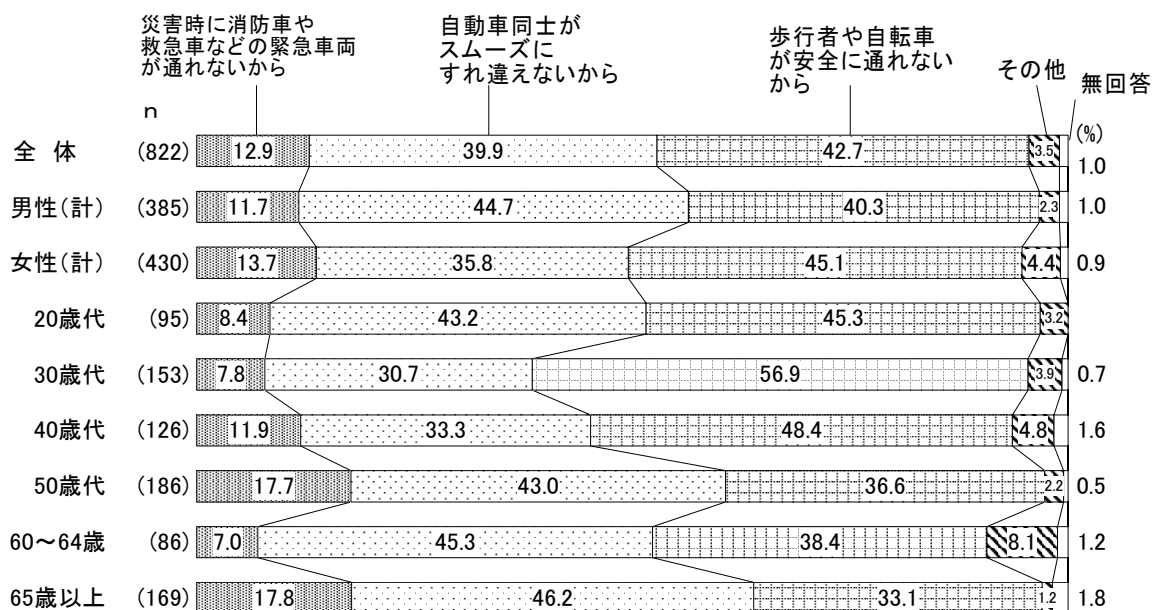
問18-1 道幅が狭いと感じている理由は、次のどれですか。(○は1つだけ)

図5-6-1



問18で道幅が狭いと感じると回答した人(822人)にその理由を聞いたところ、「歩行者や自転車が安全に通れないから」(42.7%)、「自動車同士がスムーズにすれ違えないから」(39.9%)の2項目が4割前後と高くなっている。(図5-6-1)

図5-6-2 道幅が狭いと感じる理由-性別・年齢別

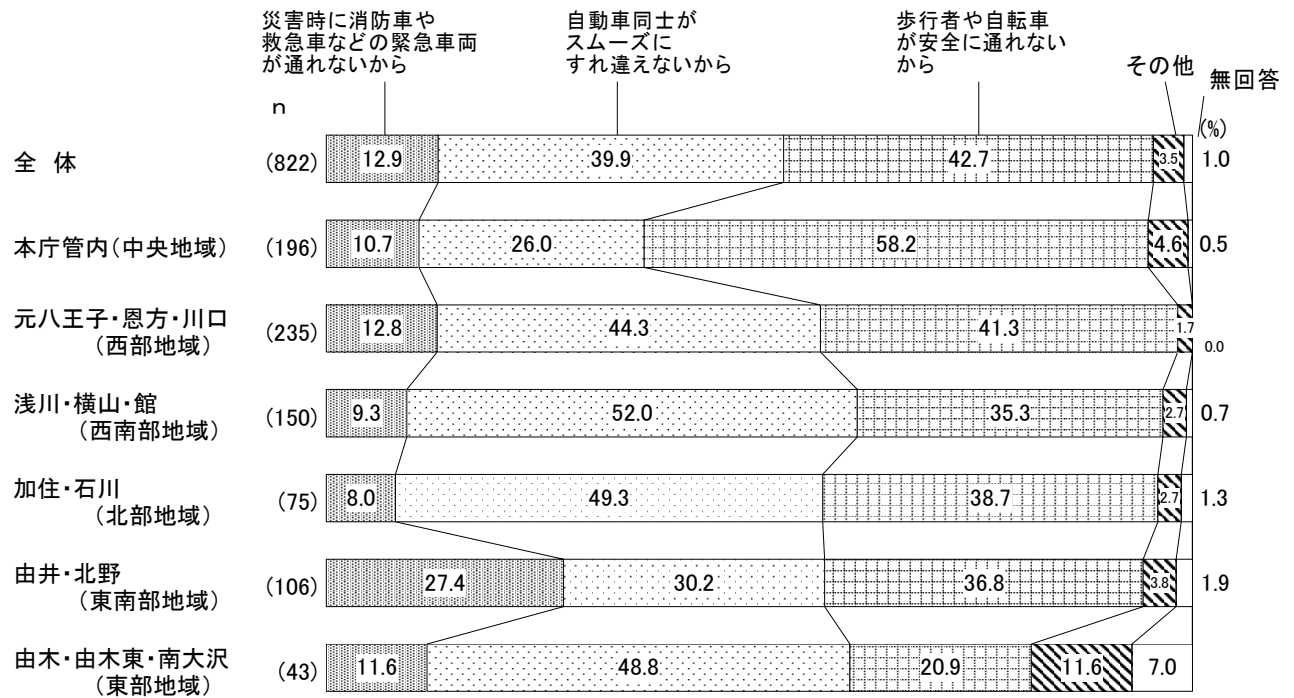


性別にみると、「自動車同士がスムーズにすれ違えないから」は男性のほうが8.9ポイント高い。

年齢別にみると、「歩行者や自転車が安全に通れないから」は30歳代で56.9%と高くなっている。

(図5-6-2)

図５－６－３ 道幅が狭いと感じる理由－居住地域別



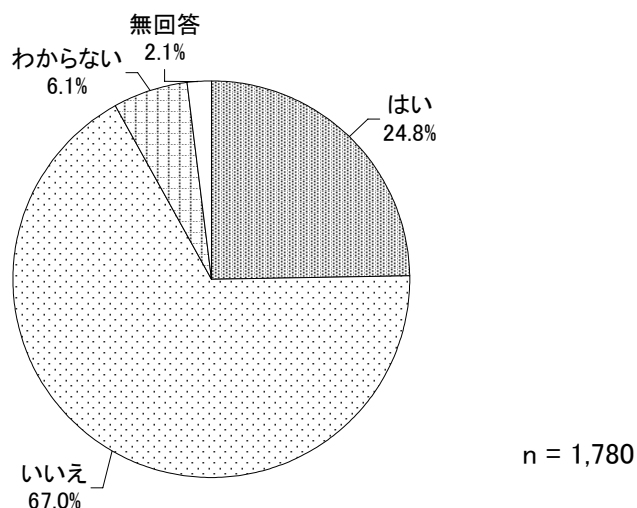
居住地域別にみると、「歩行者や自転車が安全に通れないから」は本庁管内（中央地域）で６割弱（58.2%）、「災害時に消防車や救急車などの緊急車両が通れないから」は由井・北野（東南部地域）で３割弱（27.4%）と、それぞれ突出して高くなっている。（図５－６－３）

5－7 周辺の道路の舗装の悪さ

◇道路の舗装が悪いと感じていない人が7割弱

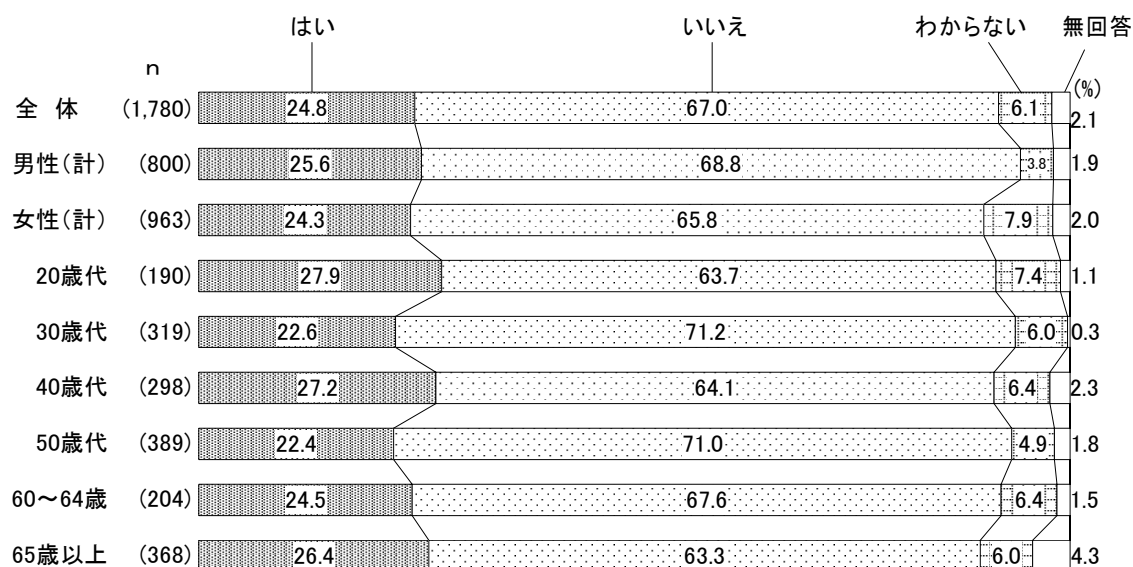
問19 お住まい周辺の道路の舗装が悪いと感じていますか。(○は1つだけ)

図5－7－1



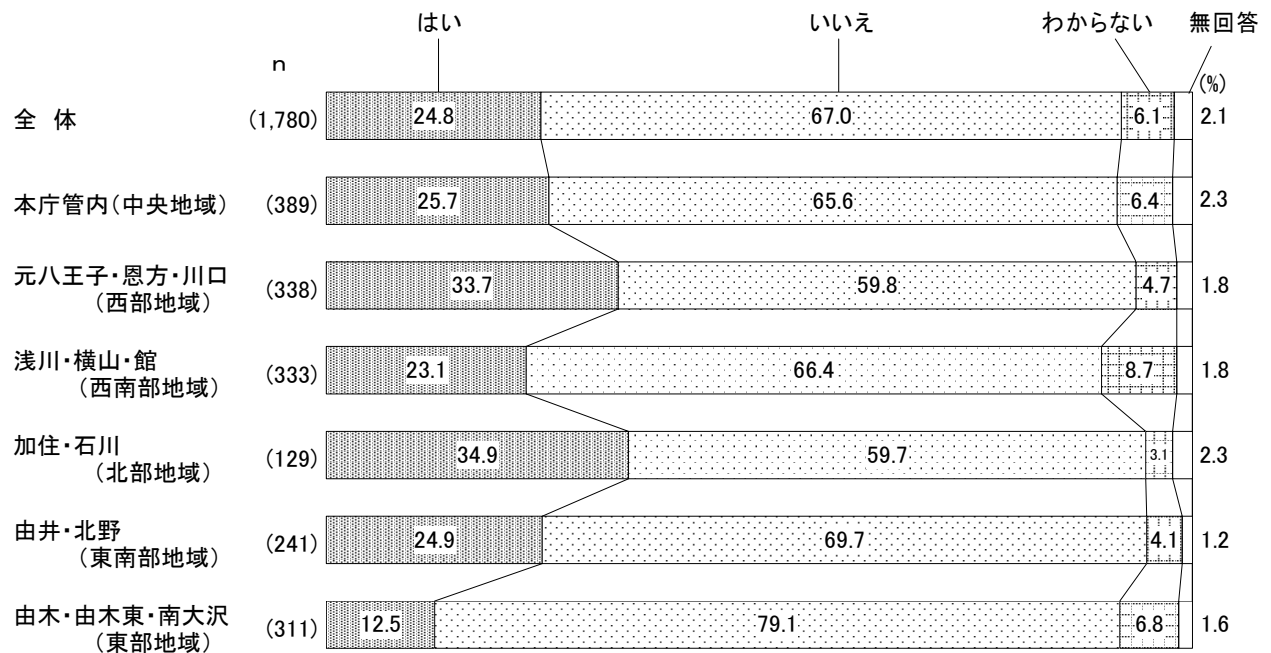
周辺の道路の舗装が悪いと感じるか聞いたところ、「いいえ」が7割弱（67.0%）で、「はい」（24.8%）を大きく上回っている。（図5－7－1）

図5－7－2 周辺の道路の舗装の悪さ－性別・年齢別



性別・年齢別には大きな差はみられない。（図5－7－2）

図 5－7－3 周辺の道路の舗装の悪さ－居住地域別



居住地域別にみると、「はい」（悪いと感じる）は元八王子・恩方・川口（西部地域）、加住・石川（北部地域）で3割台と高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で1割強と低く、地域により差がみられる。（図 5－7－3）

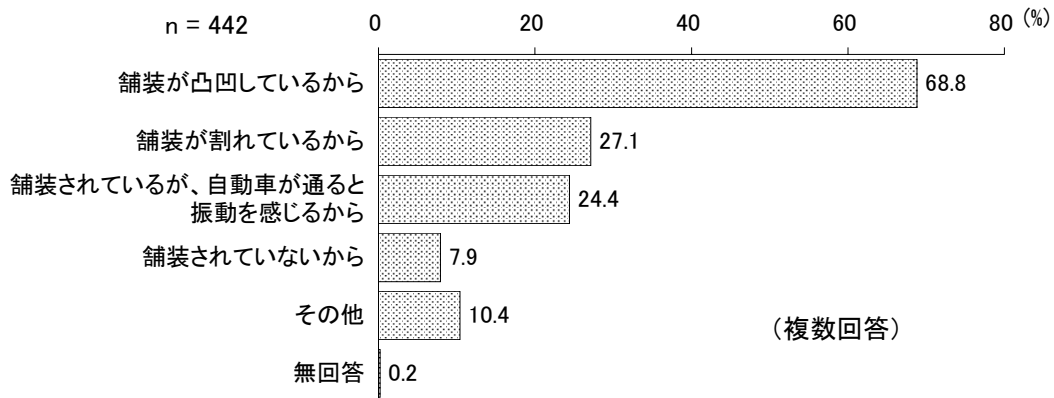
5－8 道路の舗装が悪いと感じる理由

◇「舗装が凸凹しているから」が7割弱と突出

(問19で「はい」とお答えの方に)

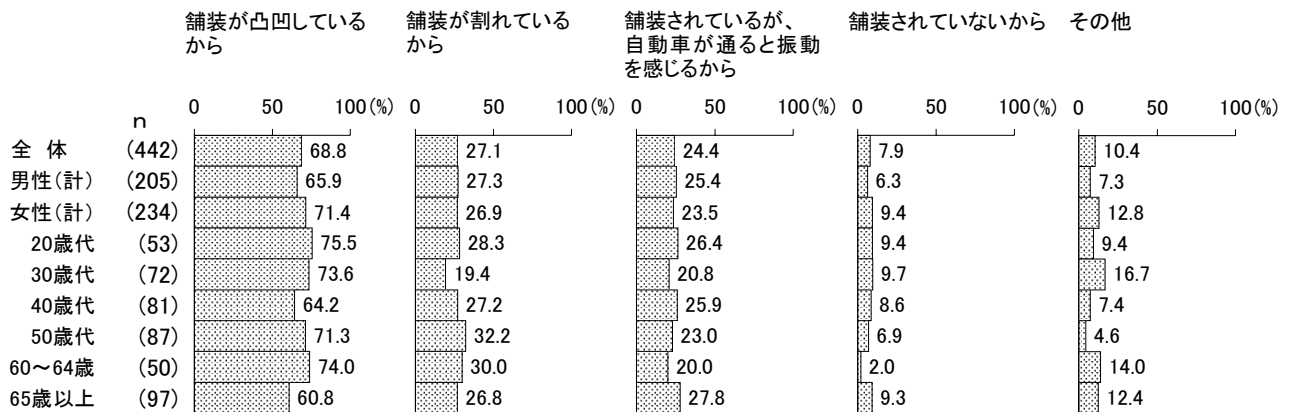
問19－1 道路の舗装が悪いと感じている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

図5－8－1



道路の舗装が悪いと感じると回答した人(442人)にその理由を聞いたところ、「舗装が凸凹しているから」が7割弱(68.8%)と突出して高く、以下、「舗装が割れているから」(27.1%)、「舗装されているが、自動車が通ると振動を感じるから」(24.4%)の順で続いている。(図5－8－1)

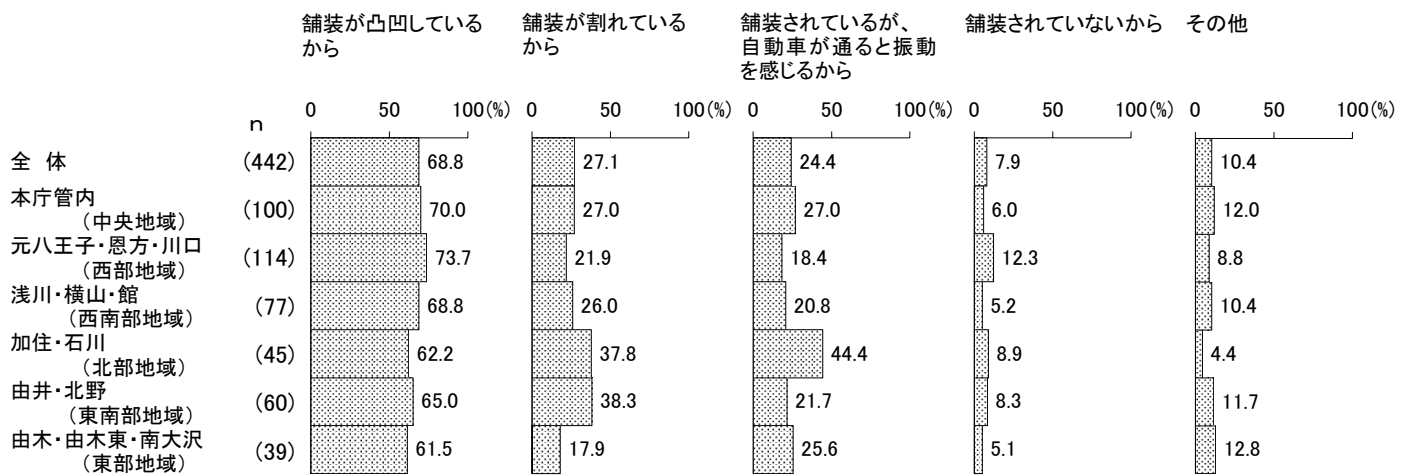
図5－8－2 道路の舗装が悪いと感じる理由－性別・年齢別



性別にみると、「舗装が凸凹しているから」は女性のほうが5.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「舗装が凸凹しているから」は40歳代と65歳以上を除き、いずれの年代も7割以上と高くなっている。(図5－8－2)

図 5－8－3 道路の舗装が悪いと感じる理由－居住地域別



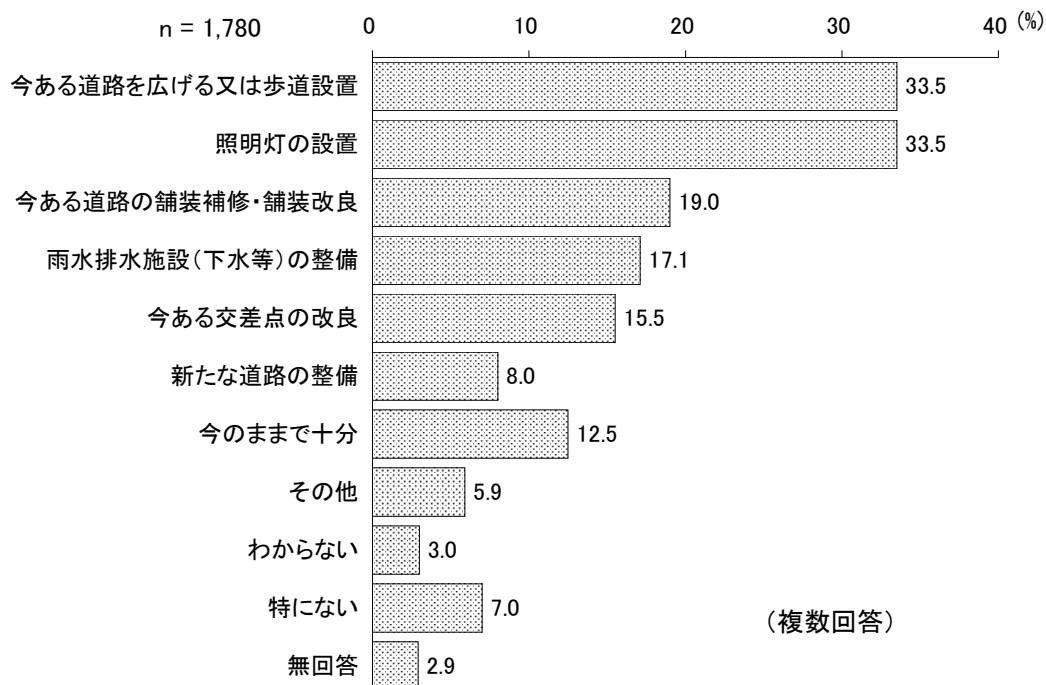
居住地域別にみると、「舗装が割れているから」は加住・石川（北部地域）、由井・北野（東南部地域）で4割弱と高く、「舗装されているが、自動車が通ると振動を感じるから」は加住・石川（北部地域）で4割台半ば（44.4%）と突出して高くなっている。（図 5－8－3）

5－9 周辺の道路に必要なもの

◇「今ある道路を広げる又は歩道設置」「照明灯の設置」が3割強

問20 今後、お住まい周辺の道路には何が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

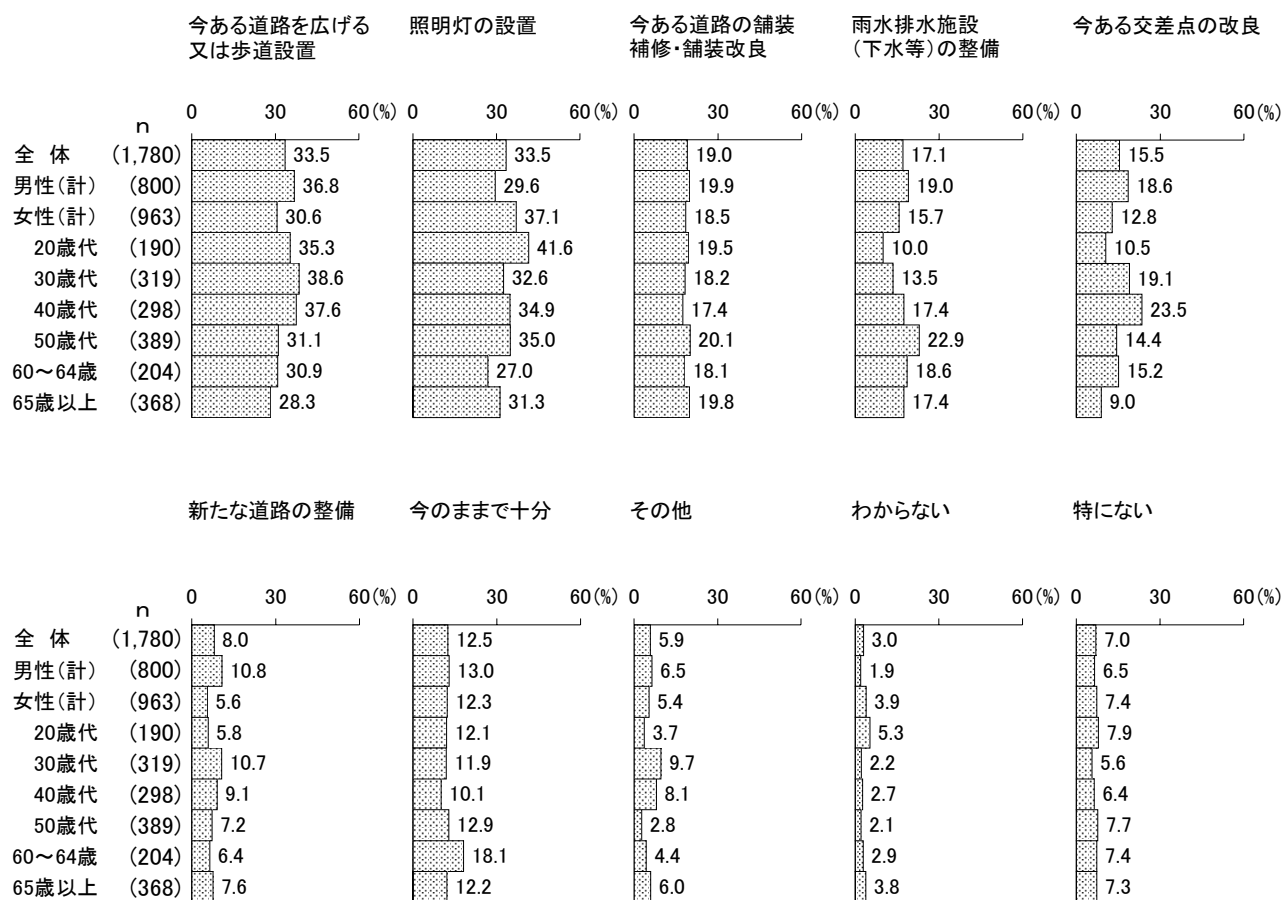
図5－9－1



住まい周辺の道路には何が必要か聞いたところ、「今ある道路を広げる又は歩道設置」「照明灯の設置」がともに3割強（33.5%）で並んでいる。以下は、「今ある道路の舗装補修・舗装改良」（19.0%）、「雨水排水施設（下水等）の整備」（17.1%）、「今ある交差点の改良」（15.5%）の順で続いている。

（図5－9－1）

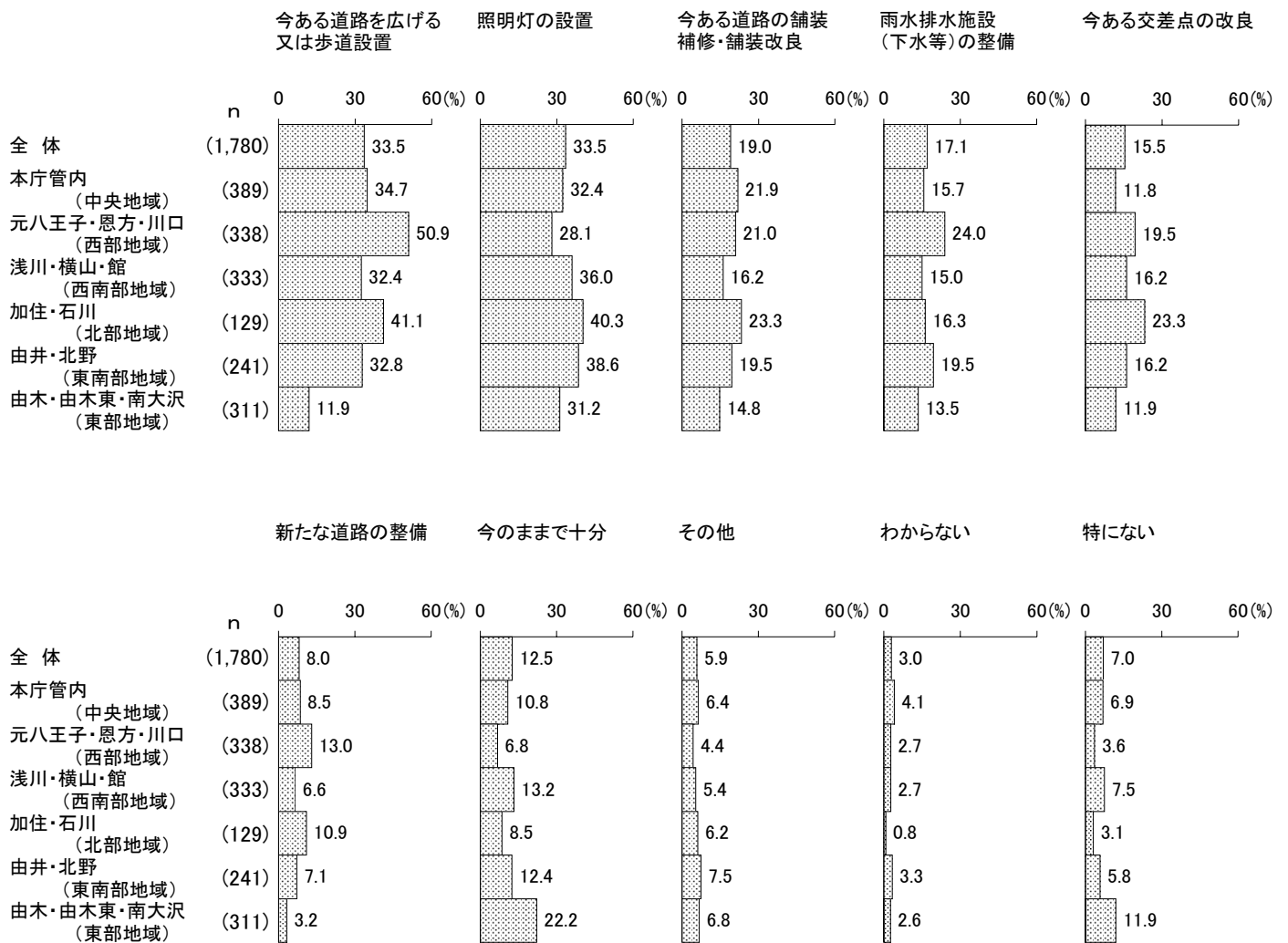
図5-9-2 周辺の道路に必要なもの一性別・年齢別



性別にみると、「今ある道路を広げる又は歩道設置」「今ある交差点の改良」「新たな道路の整備」は男性のほうが5ポイント以上高く、「照明灯の設置」は女性のほうが7.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「今ある道路を広げる又は歩道設置」は20歳代～40歳代で3割台半ば～4割弱と高く、「照明灯の設置」は20歳代で4割強と高くなっている。(図5-9-2)

図５－９－３ 周辺の道路に必要なもの－居住地域別



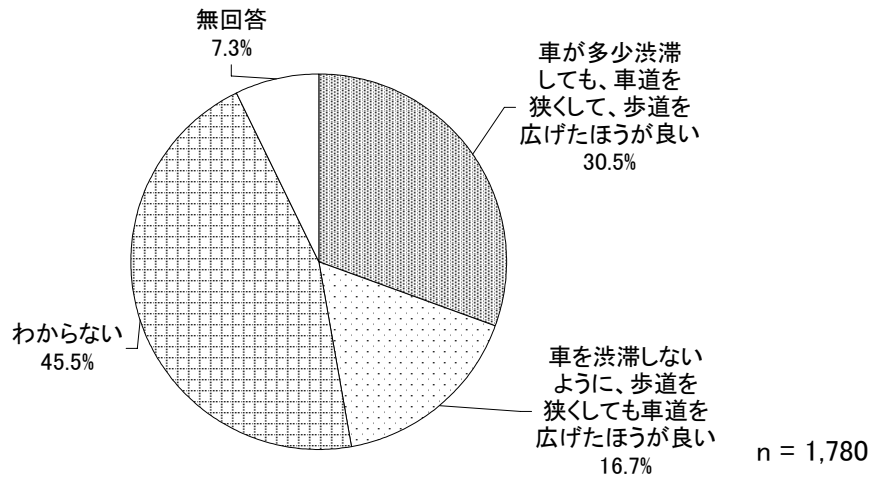
居住地域別にみると、「今ある道路を広げる又は歩道設置」「雨水排水施設（下水等）の整備」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で高く、「今ある交差点の改良」は元八王子・恩方・川口（西部地域）、加住・石川（北部地域）で高くなっている。（図５－９－３）

5-10 車道と歩道の関係について

◇歩道を広げたほうが良いという意見が上回る

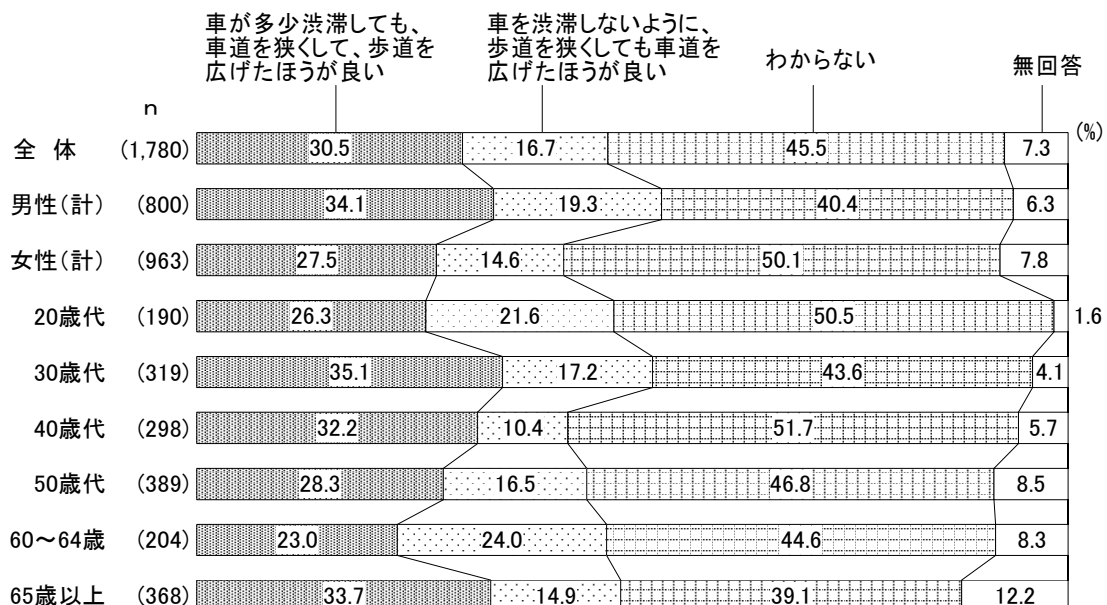
問21 車道と歩道の関係については、次のどちらを望みますか。(○は1つだけ)

図5-10-1



車道と歩道の関係について聞いたところ、「車が多少渋滞しても、車道を狭くして、歩道を広げたほうが良い」が約3割(30.5%)で、「車を渋滞しないように、歩道を狭くしても車道を広げたほうが良い」(16.7%)を大きく上回っている。また、「わからない」が45.5%を占める。(図5-10-1)

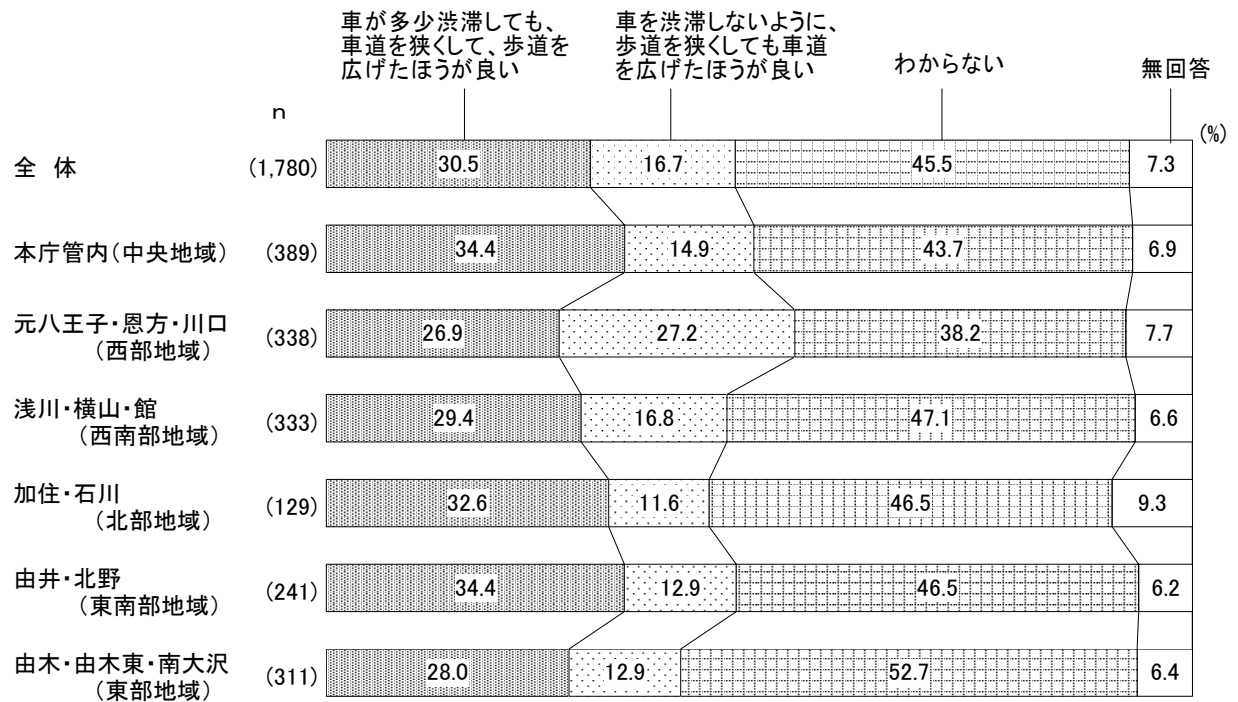
図5-10-2 車道と歩道の関係について－性別・年齢別



性別にみると、「車が多少渋滞しても、車道を狭くして、歩道を広げたほうが良い」は男性のほうが6.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「車を渋滞しないように、歩道を狭くしても車道を広げたほうが良い」は20歳代と60～64歳で2割台と高くなっている。(図5-10-2)

図5-10-3 車道と歩道の関係について－居住地域別



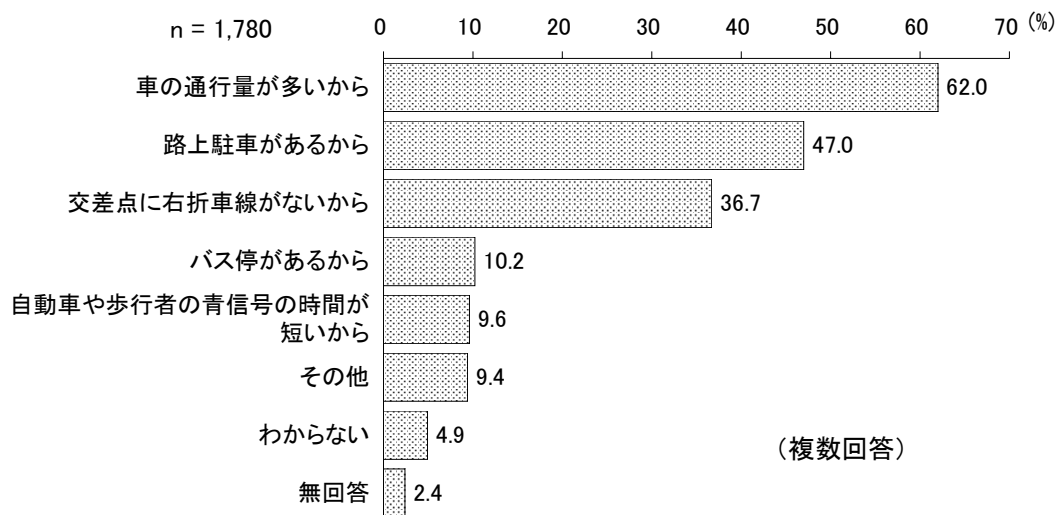
居住地域別にみると、元八王子・恩方・川口（西部地域）で「車を渋滞しないように、歩道を狭くしても車道を広げたほうが良い」が3割弱（27.2%）と突出して高くなっている。（図5-10-3）

5-11 渋滞が発生する原因

◇「車の通行量が多いから」「路上駐車があるから」「交差点に右折車線がないから」の順

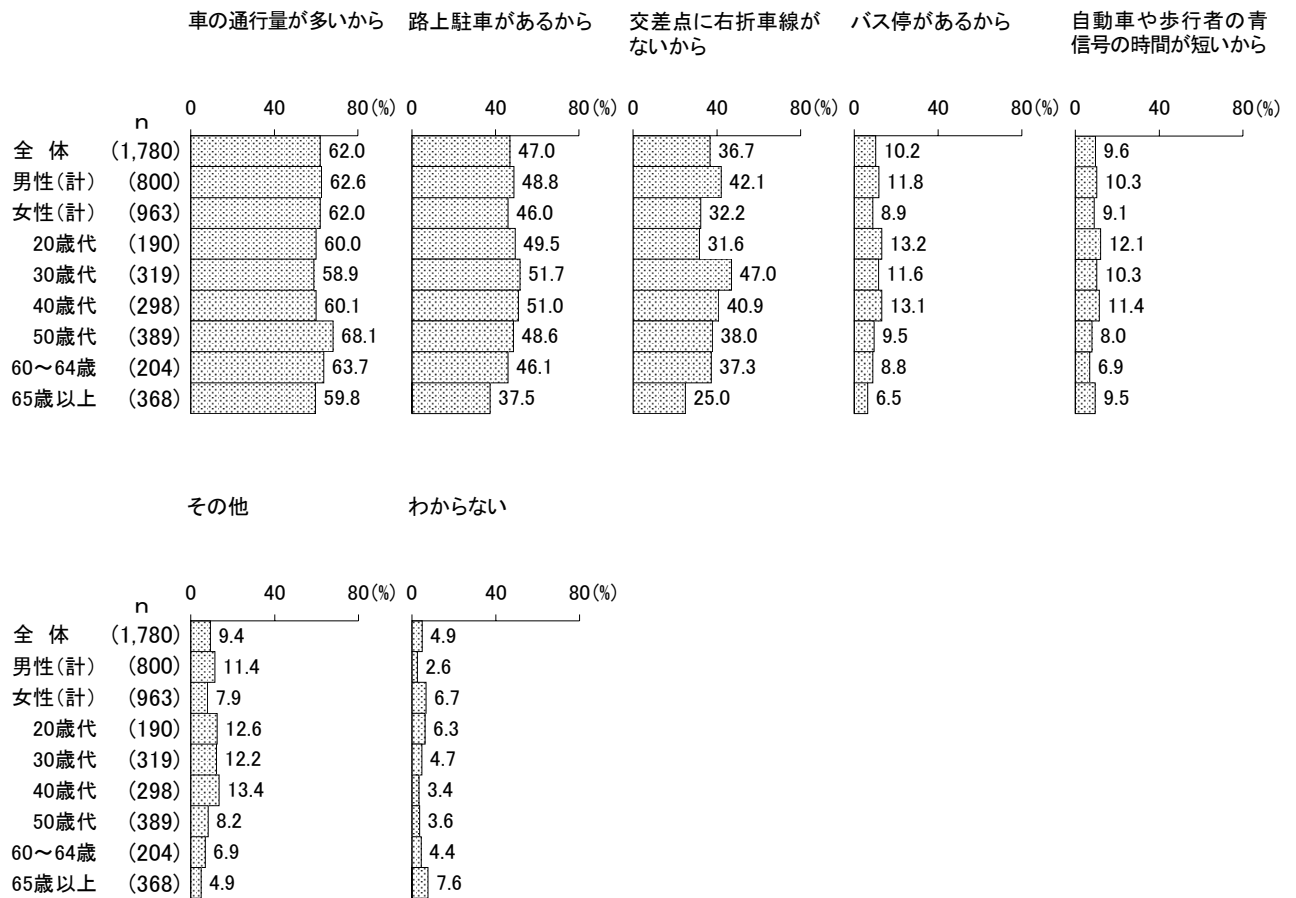
問22 渋滞が発生する道路の原因は何だと思いますか。(○はいくつでも)

図5-11-1



渋滞が発生する原因を聞いたところ、「車の通行量が多いから」が6割強(62.0%)で最も高く、以下、「路上駐車があるから」(47.0%)、「交差点に右折車線がないから」(36.7%)、「バス停があるから」(10.2%)の順で続いている。(図5-11-1)

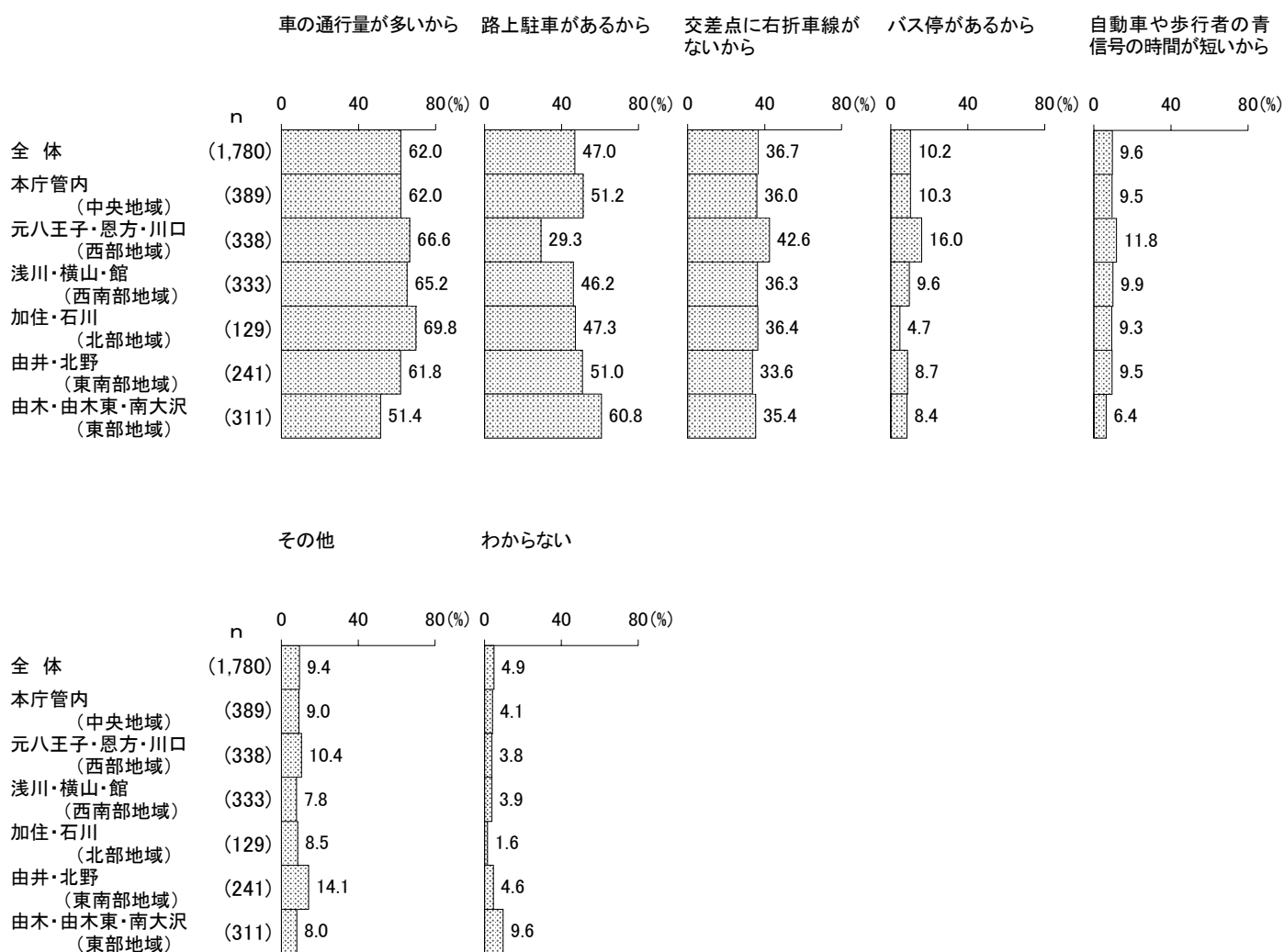
図 5-11-2 渋滞が発生する原因－性別・年齢別



性別にみると、「交差点に右折車線がないから」は男性のほうが9.9ポイント高い。

年齢別にみると、「路上駐車があるから」「交差点に右折車線がないから」は30歳代をピークに年齢が高くなるほど割合が減少する傾向がみられる。(図 5-11-2)

図 5-11-3 渋滞が発生する原因－居住地域別



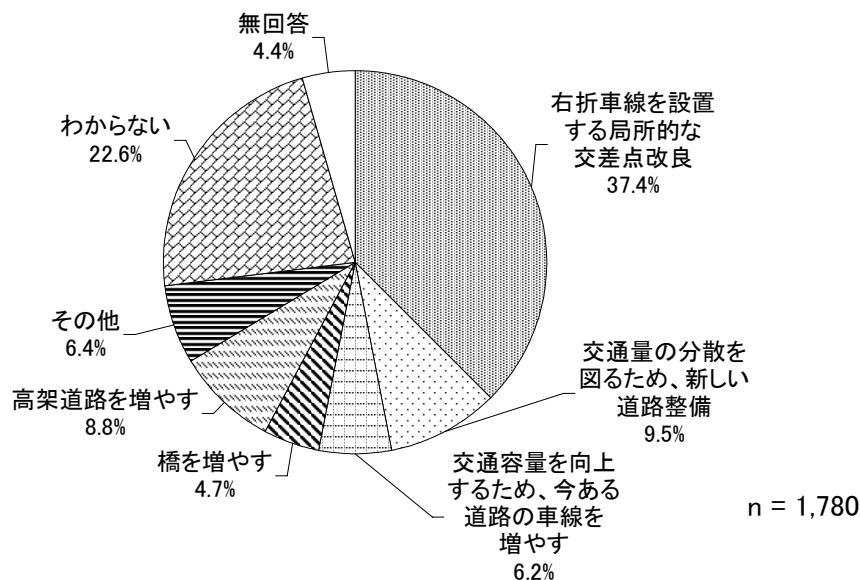
居住地域別にみると、「路上駐車があるから」は由木・由木東・南大沢（東部地域）で約 6 割（60.8%）と高く、「バス停があるから」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で 1 割台半ば（16.0%）と比較的高くなっている。（図 5-11-3）

5-12 今後進めてほしい渋滞解消対策

◇「右折車線を設置する局所的な交差点改良」が4割弱と突出

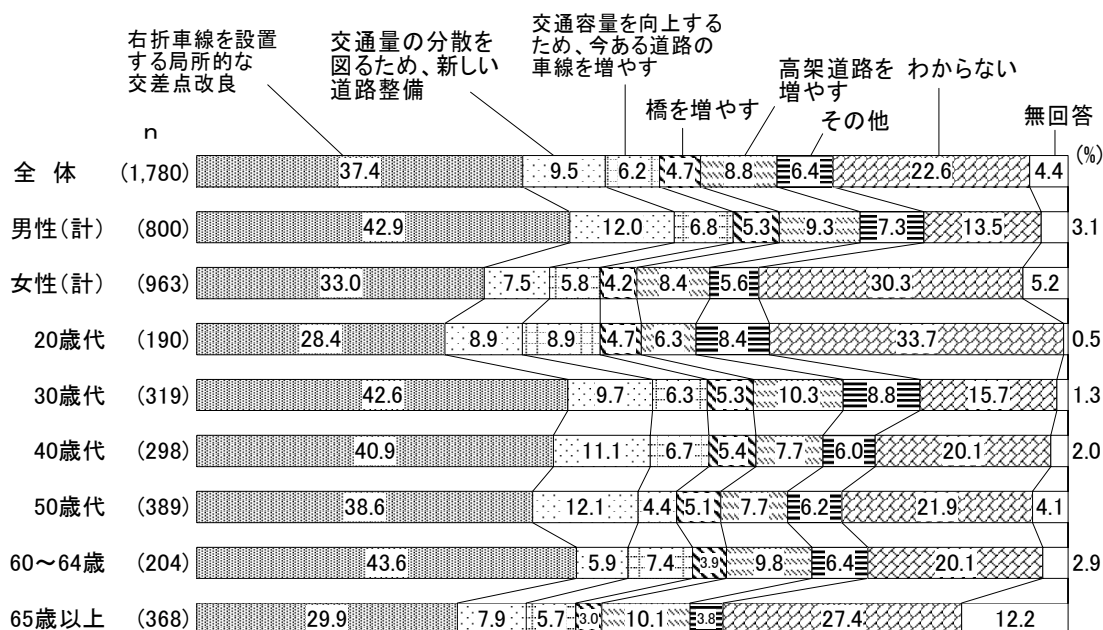
問23 渋滞を解消するため、今後、最も進めてほしい対策はどれですか。(○は1つだけ)

図5-12-1



今後進めてほしい渋滞解消対策を聞いたところ、「右折車線を設置する局所的な交差点改良」が4割弱 (37.4%) と突出して高く、以下、「交通量の分散を図るため、新しい道路整備」(9.5%)、「高架道路を増やす」(8.8%)、「交通容量を向上するため、今ある道路の車線を増やす」(6.2%) の順で続いている。(図5-12-1)

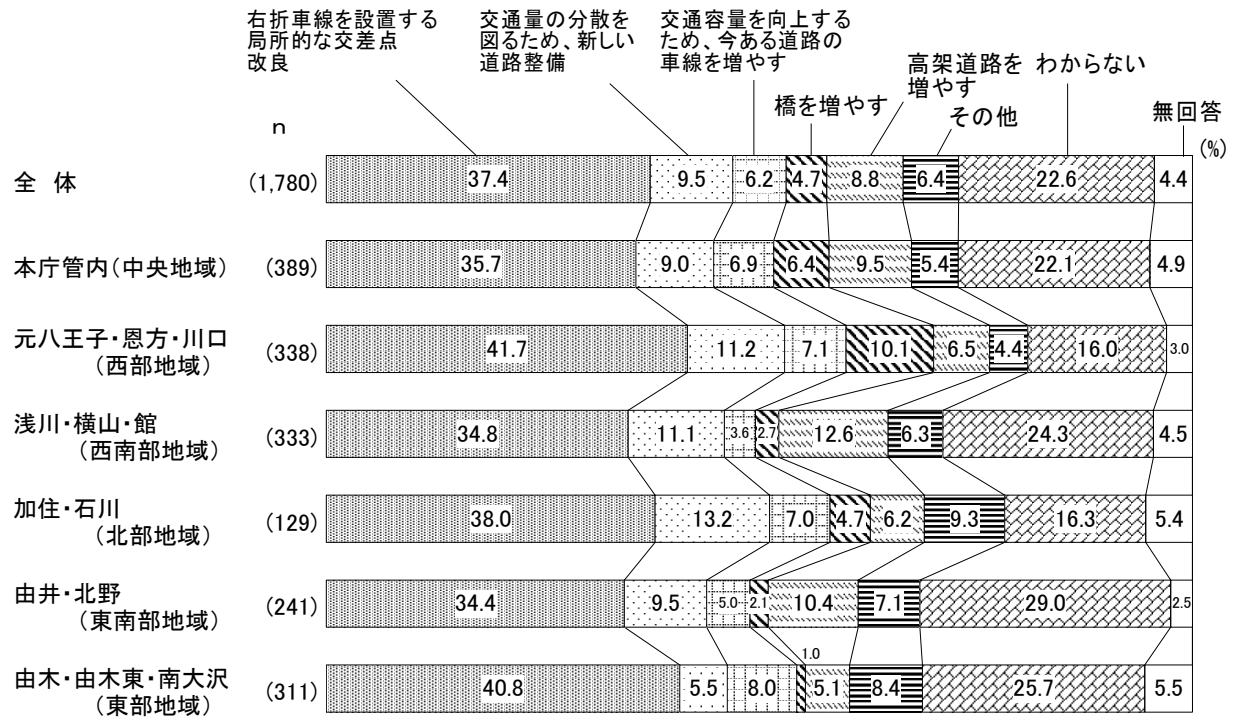
図5-12-2 今後進めてほしい渋滞解消対策—性別・年齢別



性別にみると、「右折車線を設置する局所的な交差点改良」は男性のほうが9.9ポイント高い。

年齢別にみると、「右折車線を設置する局所的な交差点改良」は30歳代～64歳で4割前後と高くなっている。(図5-12-2)

図5-12-3 今後進めてほしい渋滞解消対策－居住地域別



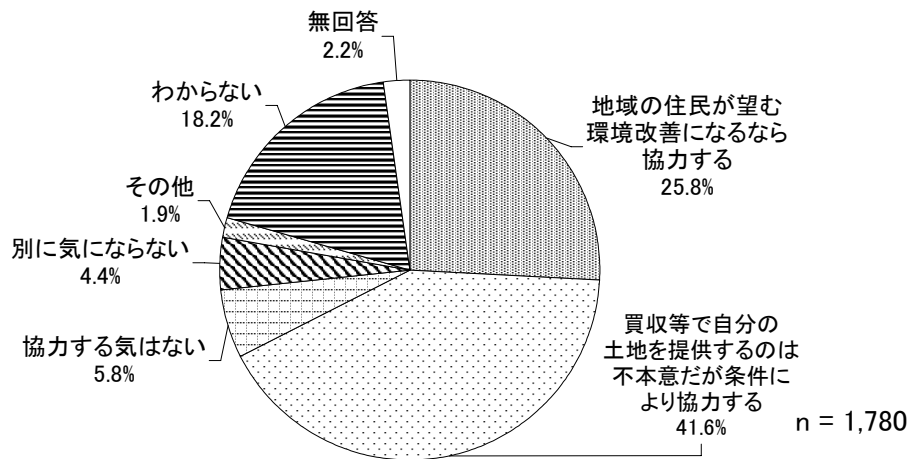
居住地域別にみると、「右折車線を設置する局所的な交差点改良」は元八王子・恩方・川口（西部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割以上と高くなっている。（図5-12-3）

5-13 道路拡幅のための用地買収区域に入ったときの対応

◇協力する人が7割弱

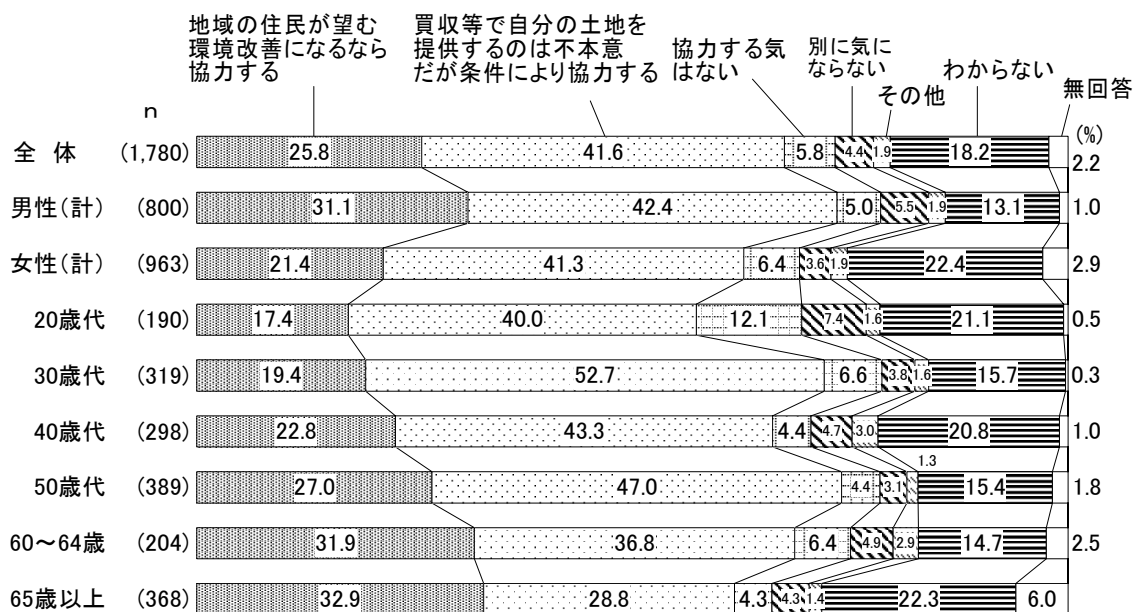
問24 あなたのお住まい周辺が道路拡幅のため、用地買収区域に入っていたとしたら、どう考えますか。(○は1つだけ)

図5-13-1



道路拡幅のための用地買収区域に入っていたらどうするか聞いたところ、「買収等で自分の土地を提供するのは不本意だが条件により協力する」が4割強（41.6%）で最も高く、これに「地域の住民が望む環境改善になるなら協力する」（25.8%）を合わせて7割弱（67.4%）が『協力する』と回答している。（図5-13-1）

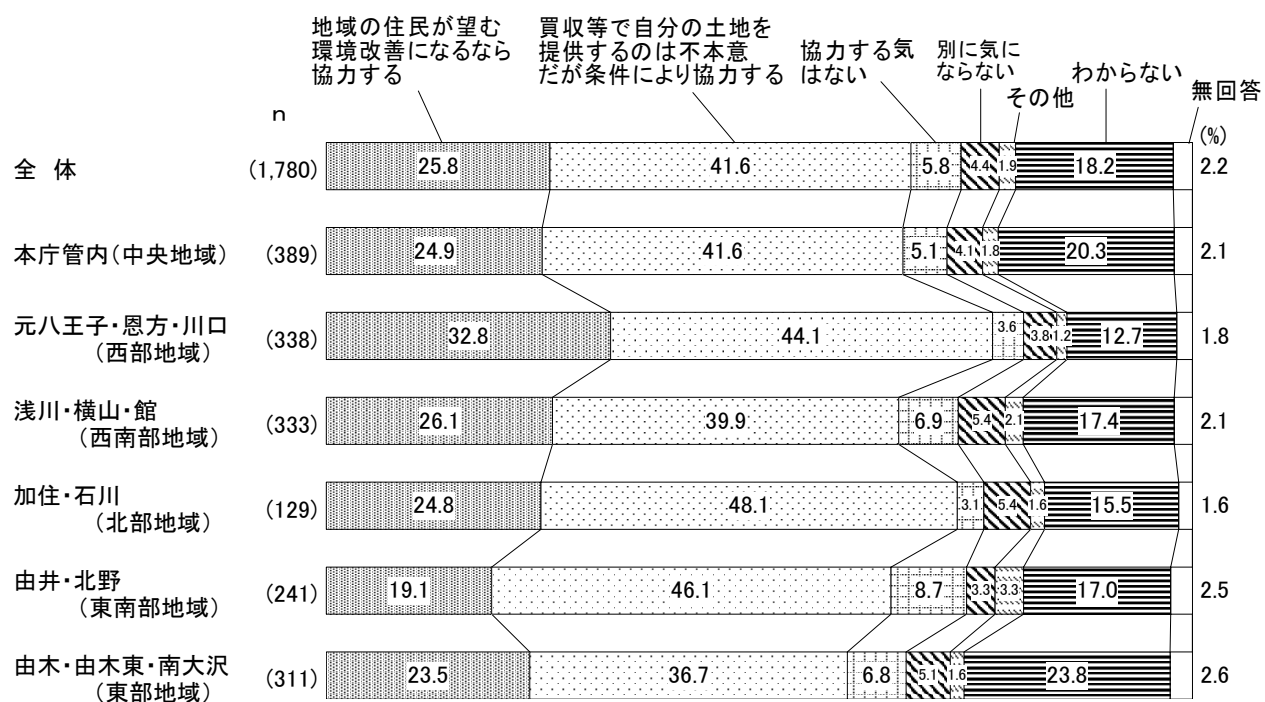
図5-13-2 道路拡幅のための用地買収区域に入ったときの対応—性別・年齢別



性別にみると、『協力する』は男性のほうが10.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「地域の住民が望む環境改善になるなら協力する」の割合が増加する傾向がみられる。（図5-13-2）

図5-13-3 道路拡幅のための用地買収区域に入ったときの対応—居住地域別



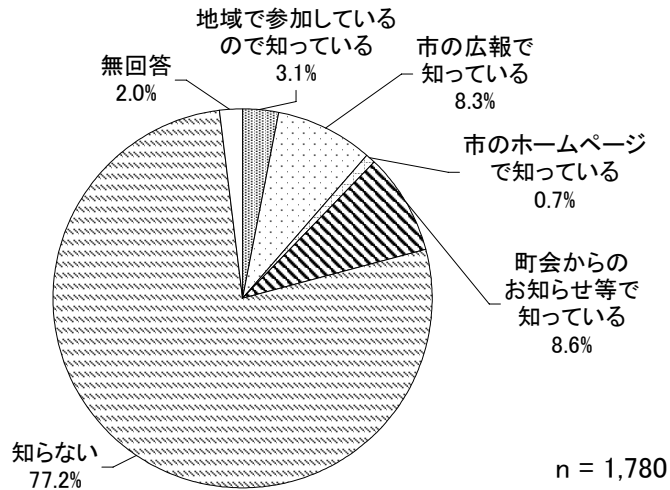
居住地域別にみると、『協力する』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で7割台半ば（76.9%）と最も高くなっている。（図5-13-3）

5-14 道路アドプト制度の周知度

◇「知らない」が大多数

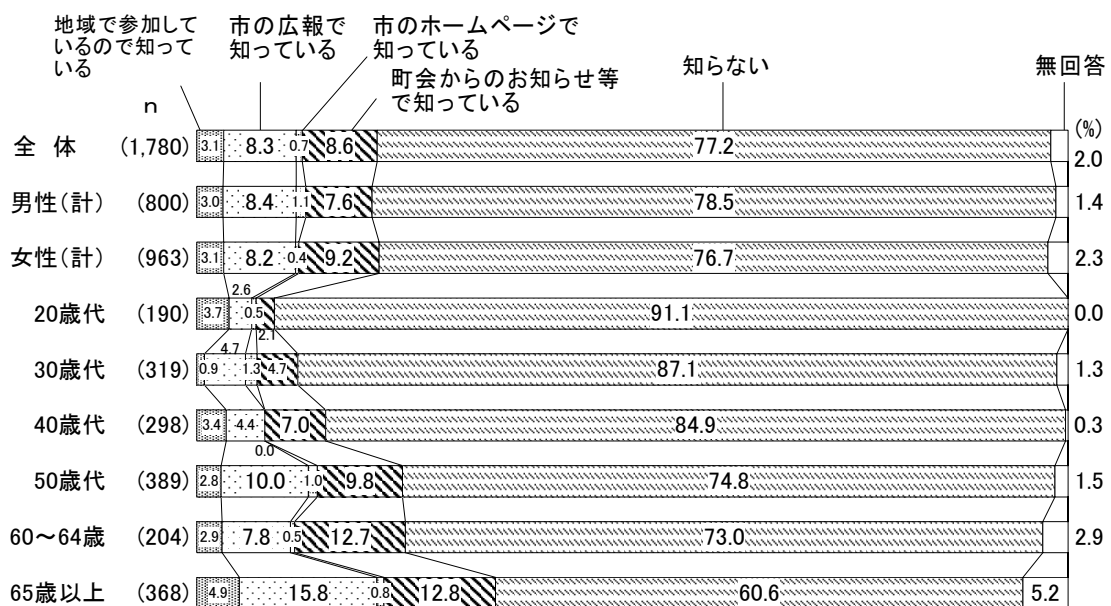
問25 市では、美化意識の向上と地域コミュニティを活性化する市民活動の一つとして「道路アドプト制度」があることを知っていますか。(〇は1つだけ)

図5-14-1



道路アドプト制度の周知度を聞いたところ、「知らない」が8割弱（77.2%）と大多数を占める。以下は、「町会からのお知らせ等で知っている」（8.6%）、「市の広報で知っている」（8.3%）、「地域で参加しているので知っている」（3.1%）の順で続いている。（図5-14-1）

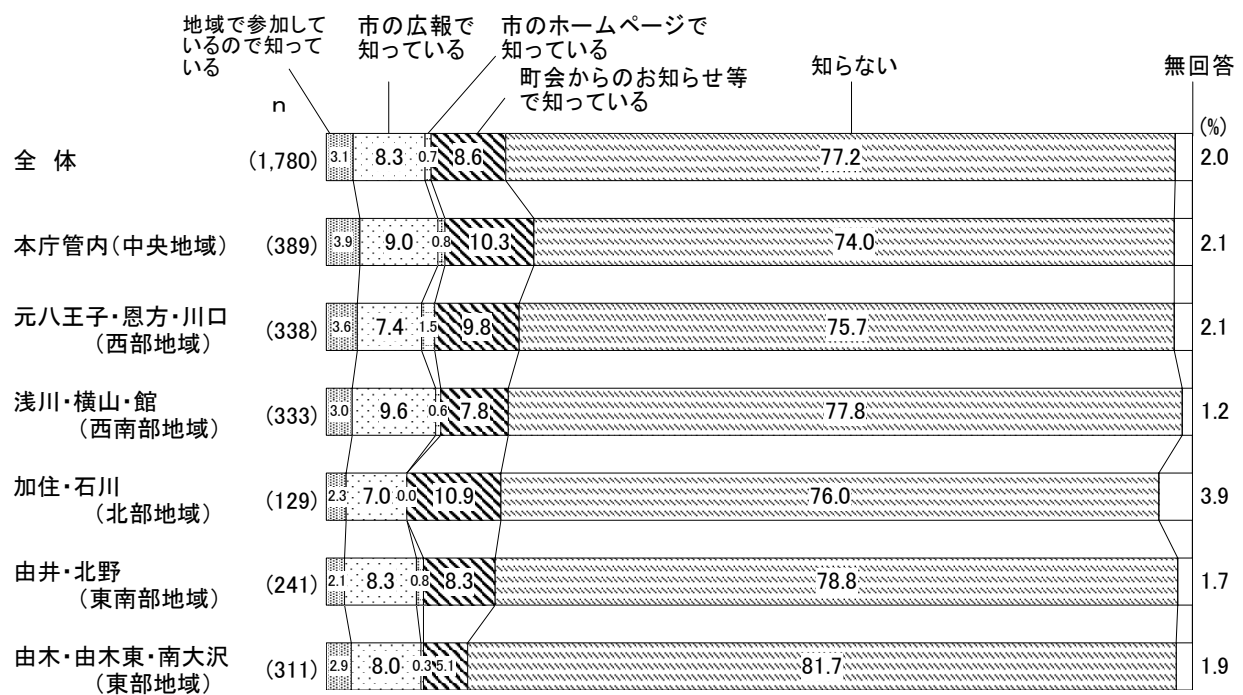
図5-14-2 道路アドプト制度の周知度－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど周知度が高くなる傾向がみられる。（図5-14-2）

図5-14-3 道路アドプト制度の周知度－居住地域別



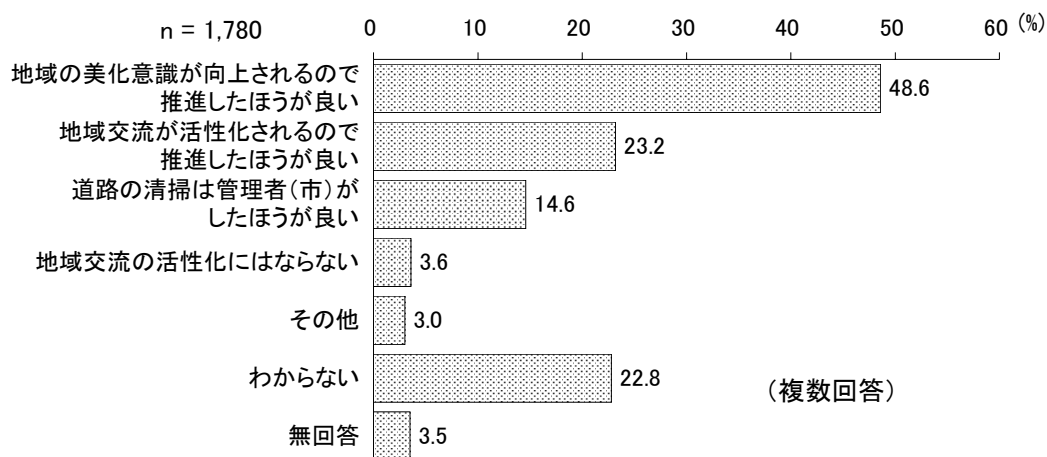
居住地域別にみると、周知度は本庁管内（中央地域）で2割台半ば（24.0%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で1割台半ば（16.3%）と最も低くなっている。（図5-14-3）

5-15 道路アドプト制度に対する評価

◇「地域の美化意識が向上されるので推進したほうが良い」が5割弱

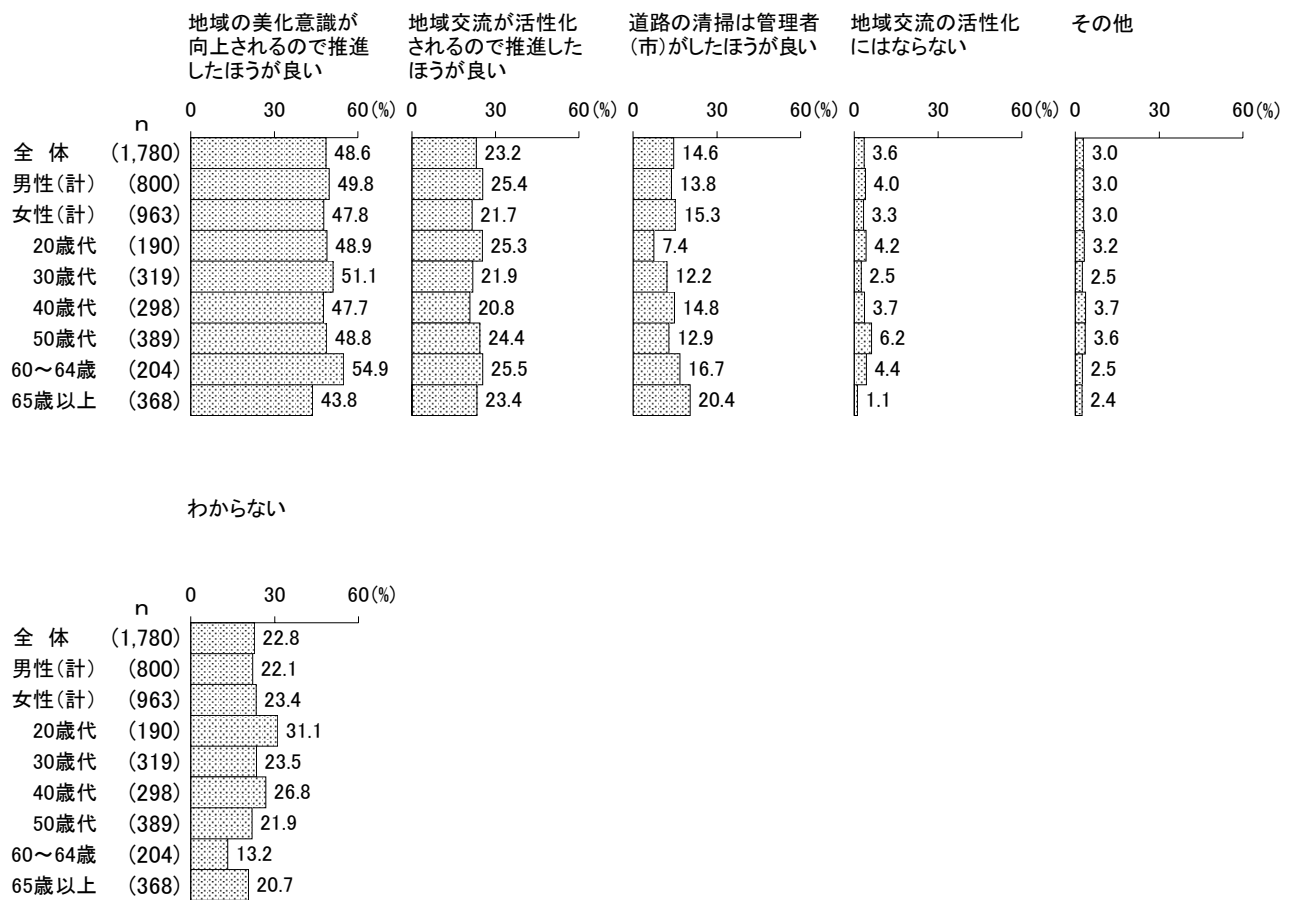
問26 道路アドプト制度についてどう思いますか。(○はいくつでも)

図5-15-1



道路アドプト制度に対する評価を聞いたところ、「地域の美化意識が向上されるので推進したほうが良い」が5割弱（48.6%）で最も高く、以下、「地域交流が活性化されるので推進したほうが良い」（23.2%）、「道路の清掃は管理者（市）がしたほうが良い」（14.6%）、「地域交流の活性化にはならない」（3.6%）の順で続いている。（図5-15-1）

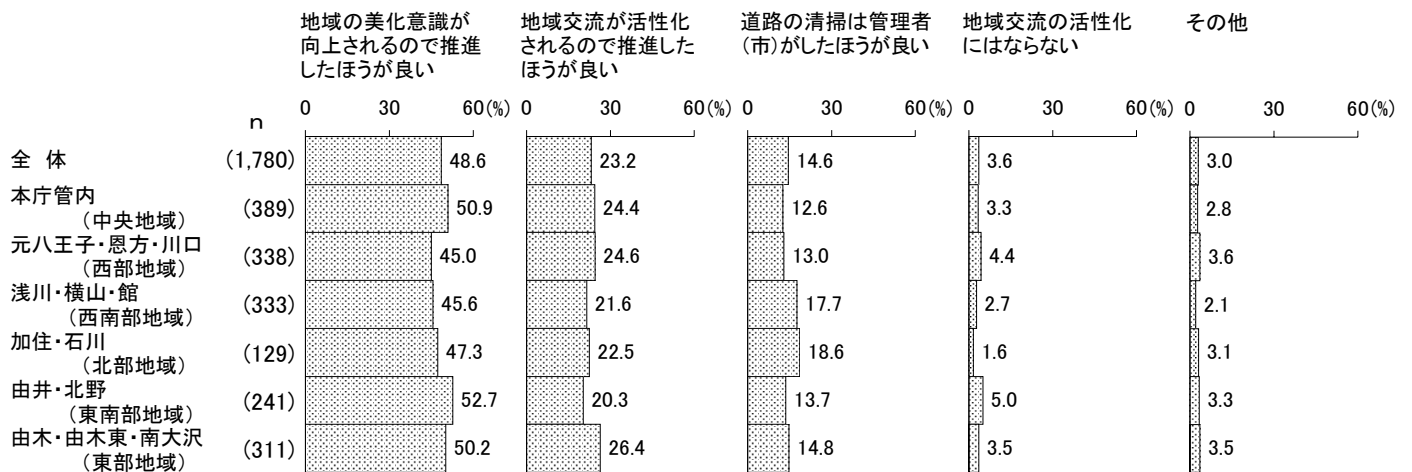
図5-15-2 道路アドプト制度に対する評価—性別・年齢別



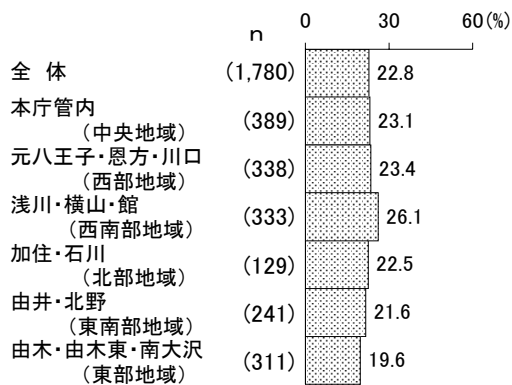
性別にみると、「地域交流が活性化されるので推進したほうが良い」は男性のほうが3.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「地域の美化意識が向上されるので推進したほうが良い」は30歳代と60～64歳で5割以上と高くなっている。「道路の清掃は管理者(市)がしたほうが良い」は、概ね年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられる。(図5-15-2)

図 5-15-3 道路アドプト制度に対する評価—居住地域別



わからない



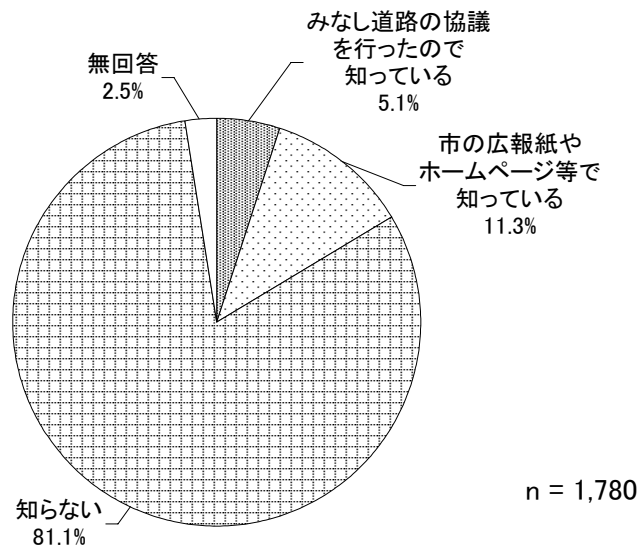
居住地域別にみると、「道路の清掃は管理者（市）がしたほうが良い」は浅川・横山・館（西南部地域）、加住・石川（北部地域）で2割弱と比較的高くなっている。（図 5-15-3）

5-16 みなし道路の周知度

◇「知らない」が大多数

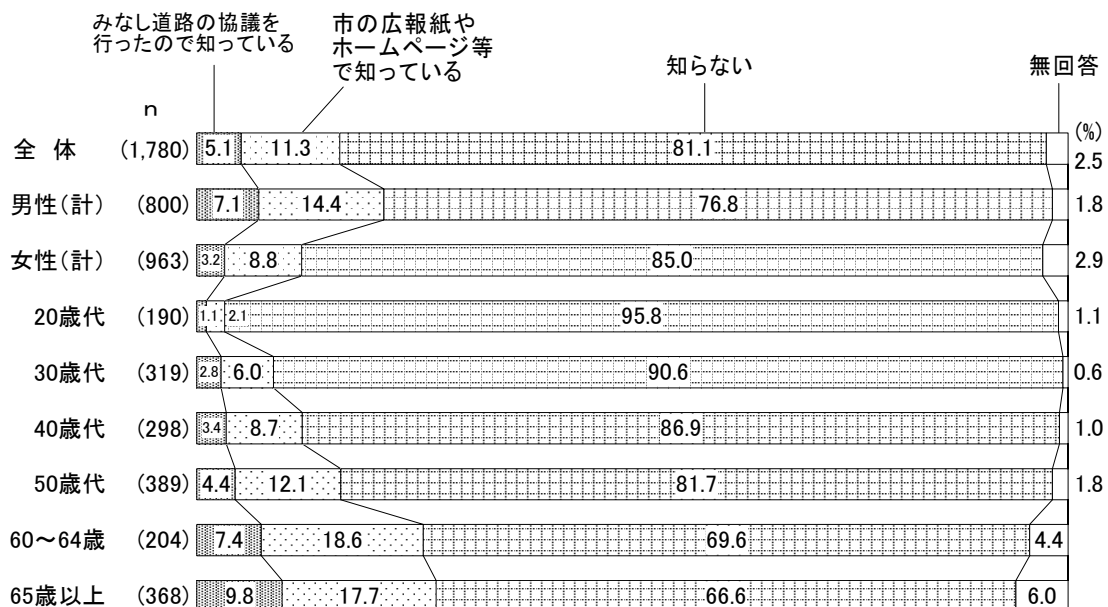
問27 市では、平成17年10月から建物の新築・改築の際に生じる後退義務（セットバック）を活用して、みなし道路の整備を行っていることを知っていますか。（○は1つだけ）

図5-16-1



みなし道路の周知度を聞いたところ、「知らない」が8割強（81.1%）と大多数を占め、以下、「市の広報紙やホームページ等で知っている」（11.3%）、「みなし道路の協議を行ったので知っている」（5.1%）の順となっている。（図5-16-1）

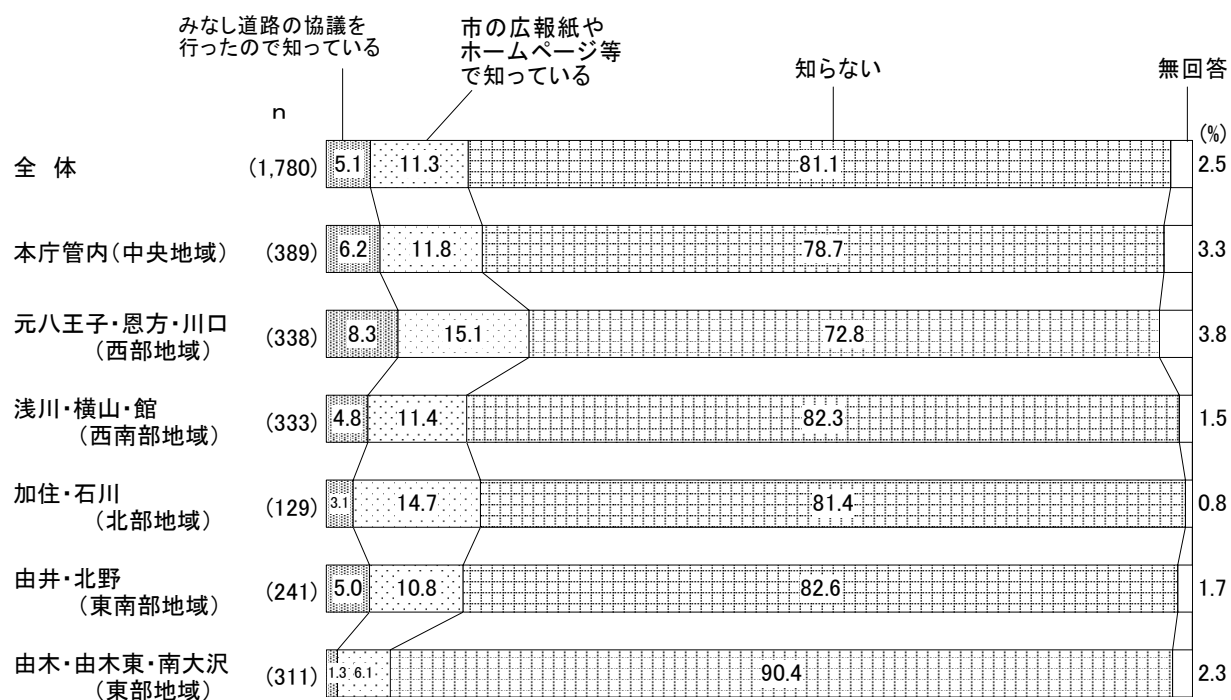
図5-16-2 みなし道路の周知度－性別・年齢別



性別にみると、周知度は男性のほうが9.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど周知度が高くなる傾向がみられる。（図5-16-2）

図 5-16-3 みなし道路の周知度－居住地域別



居住地域別にみると、周知度は元八王子・恩方・川口（西部地域）で2割強（23.4%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で1割弱（7.4%）と最も低くなっている。（図 5-16-3）

第2章

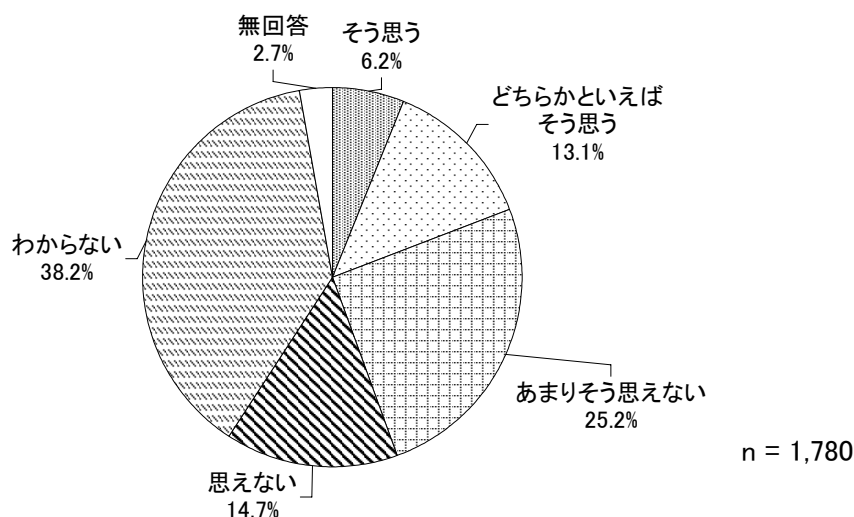
6. 「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度

6-1 市民協働の推進状況

◇「そう思う」が6.2%にとどまる

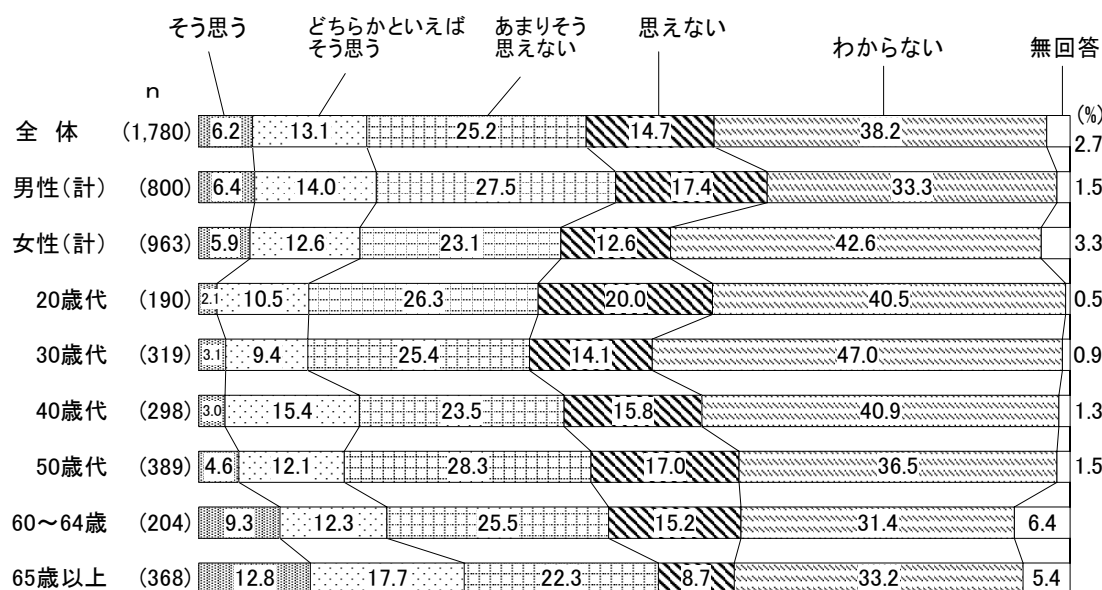
問28 あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。(〇は1つだけ)

図6-1-1



市が市民協働のまちを進めていると感じるかどうか聞いたところ、「そう思う」は6.2%にとどまり、「どちらかといえばそう思う」(13.1%)と合わせた『そう思う』は2割弱(19.3%)となっている。一方、「あまりそう思えない」(25.2%)と「思えない」(14.7%)を合わせた『思えない』は約4割(39.9%)となっている。(図6-1-1)

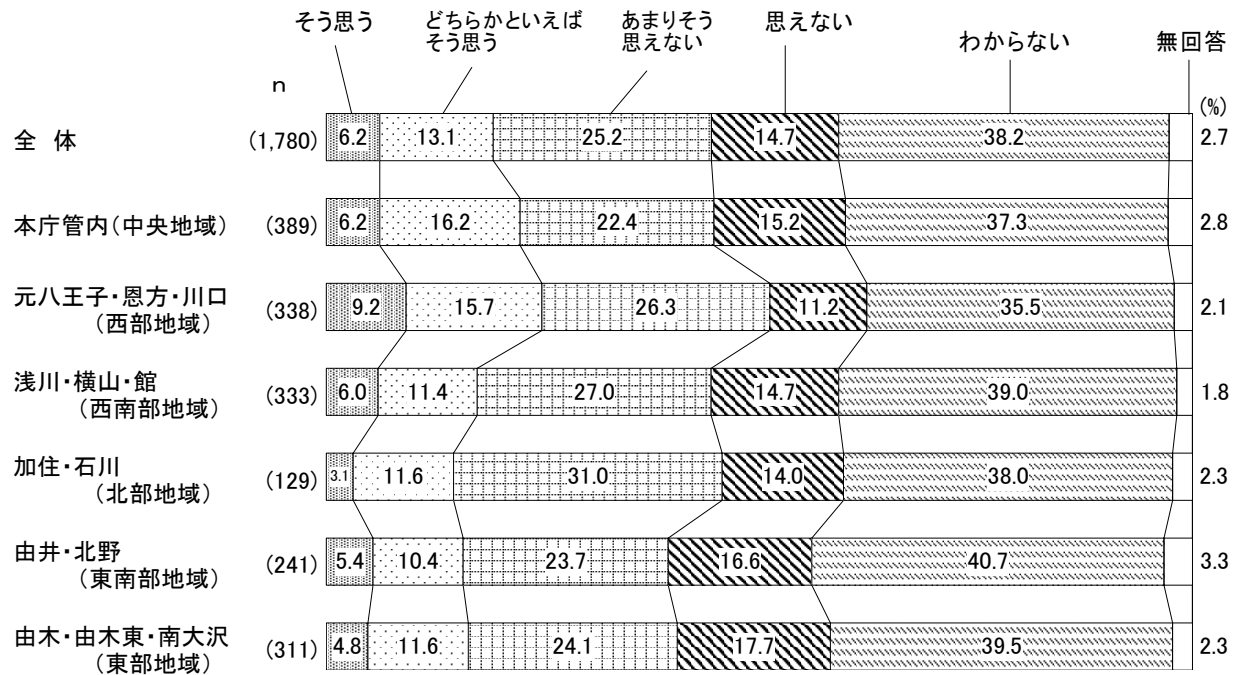
図6-1-2 市民協働の推進状況—性別・年齢別



性別にみると、「思えない」は男性のほうが4.8ポイント高く、「わからない」は女性のほうが9.3ポイント高い。

年齢別にみると、『そう思う』は60歳以上で2割を超え、高くなっている。(図6-1-2)

図 6－1－3 市民協働の推進状況－居住地域別



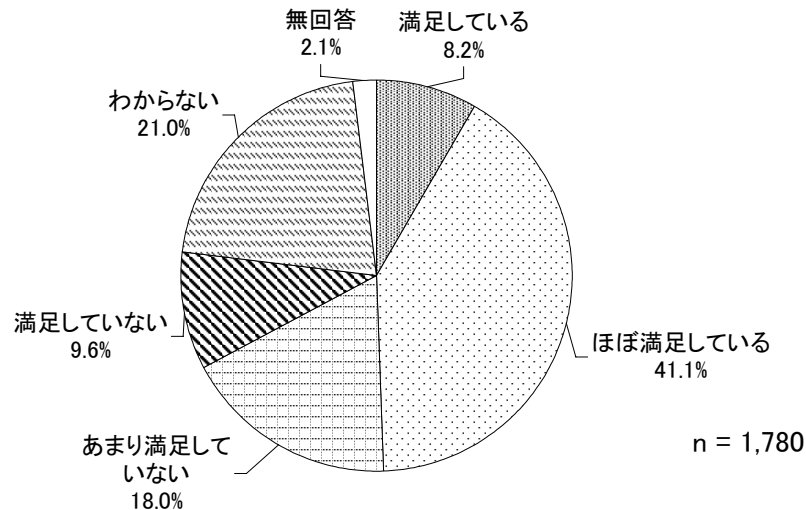
居住地域別にみると、『そう思う』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で2割台半ば（24.9%）と最も高く、加住・石川（北部地域）で1割台半ば（14.7%）と最も低くなっている。（図6－1－3）

6－2 現在の市政情報入手方法の満足度

◇『満足』がほぼ5割

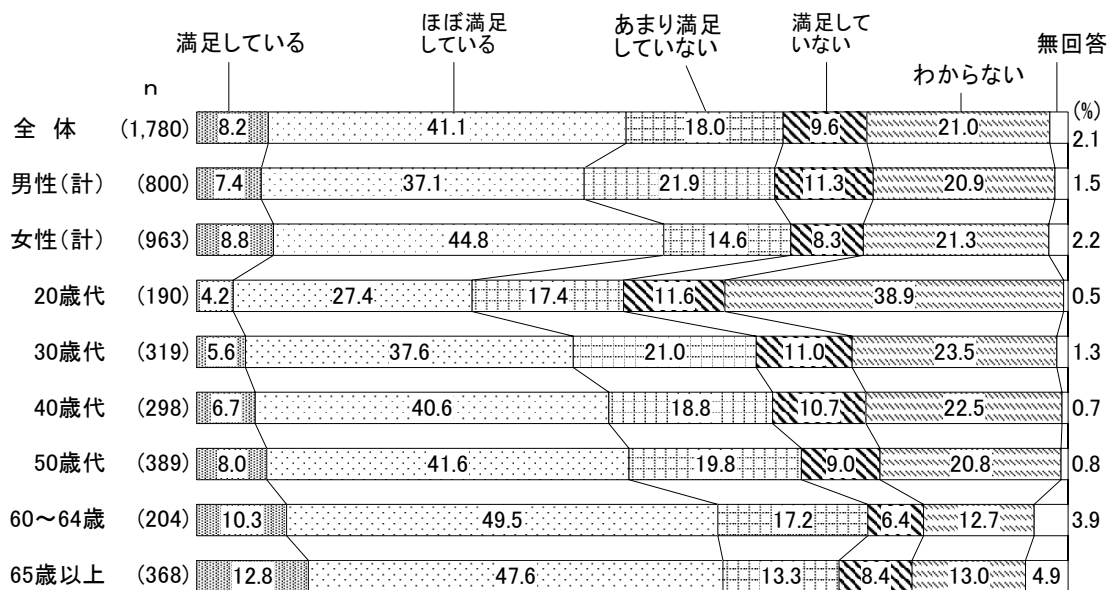
問29 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。(○は1つだけ)

図6－2－1



市政情報の入手方法の満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」は4割強（41.1%）と最も高く、「満足している」（8.2%）と合わせた『満足』は5割弱（49.3%）となっている。一方、「あまり満足していない」（18.0%）と「満足していない」（9.6%）を合わせた『満足していない』は、3割弱（27.6%）となっている。（図6－2－1）

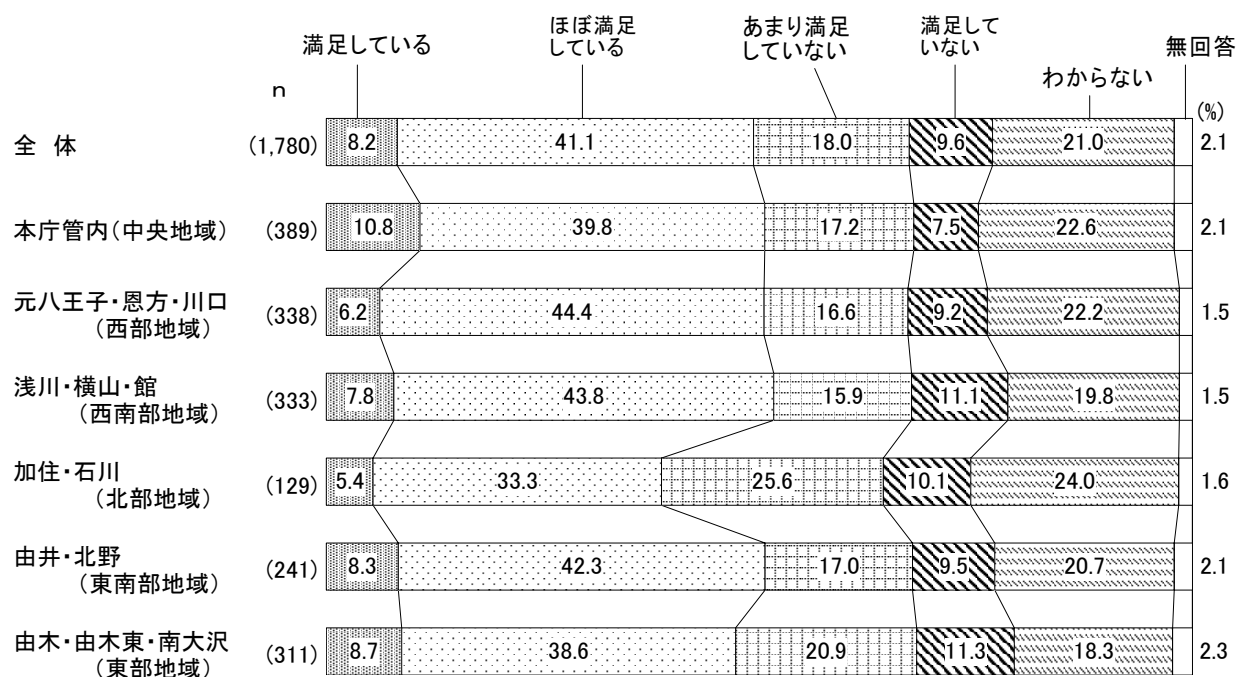
図6－2－2 現在の市政情報入手方法の満足度－性別・年齢別



性別にみると、『満足』は女性のほうが9.1ポイント高い。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど満足度も高くなる傾向がみられる。（図6－2－2）

図 6－2－3 現在の市政情報入手方法の満足度－居住地域別



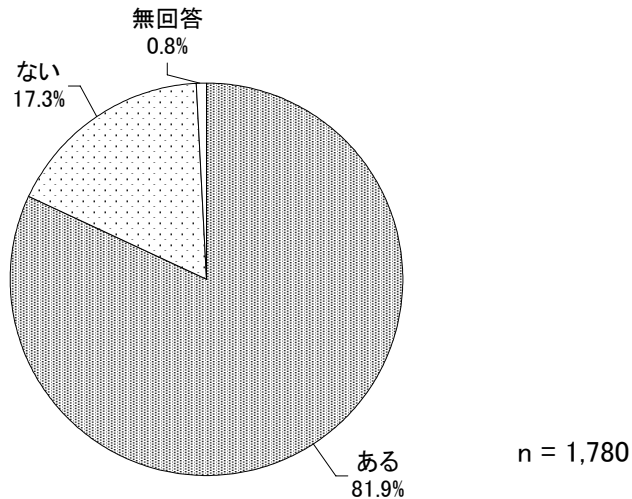
居住地域別にみると、加住・石川（北部地域）で『満足』が4割弱（38.7%）と他の地域に比べ低くなっている。（図 6－2－3）

6－3 市の窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は大多数の8割強

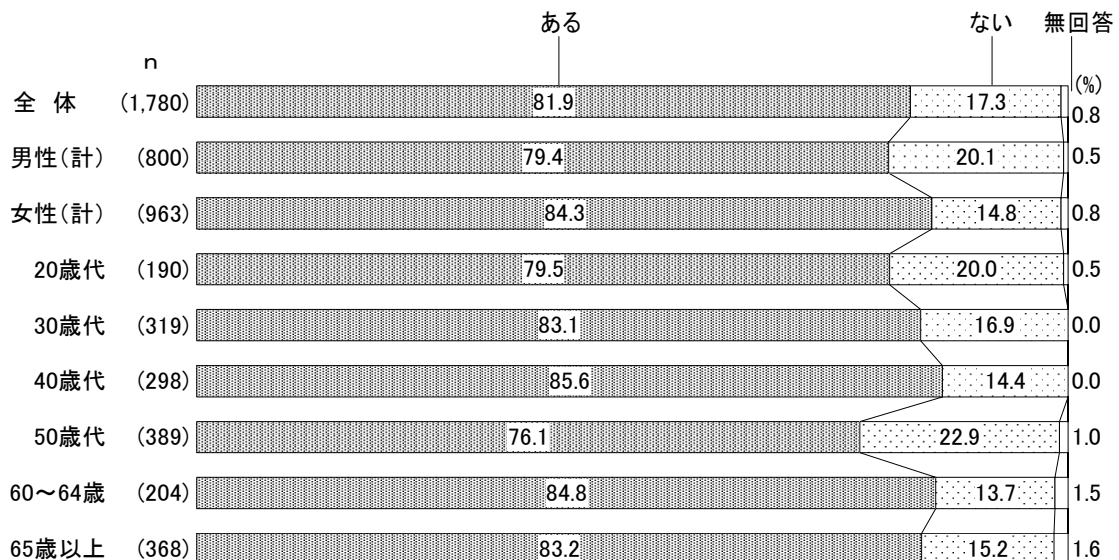
問30 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。(○は1つだけ)

図6－3－1



この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ある」が大多数の8割強（81.9%）を占め、「ない」は2割弱（17.3%）となっている。（図6－3－1）

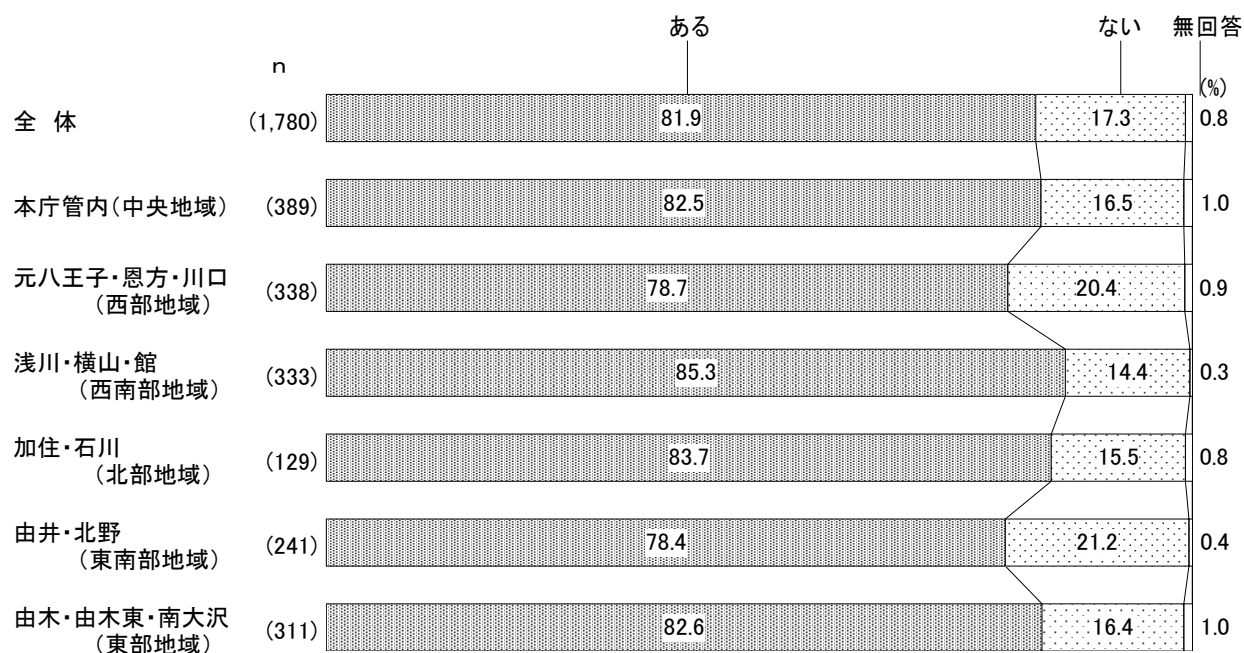
図6－3－2 市の窓口の利用の有無－性別・年齢別



性別にみると、「ある」は女性のほうが4.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ある」は20歳代と50歳代を除き、8割を超えている。（図6－3－2）

図 6－3－3 市の窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別にみると、「ある」は元八王子・恩方・川口（西部地域）と由井・北野（東南部地域）を除き、8割を超えている。（図 6－3－3）

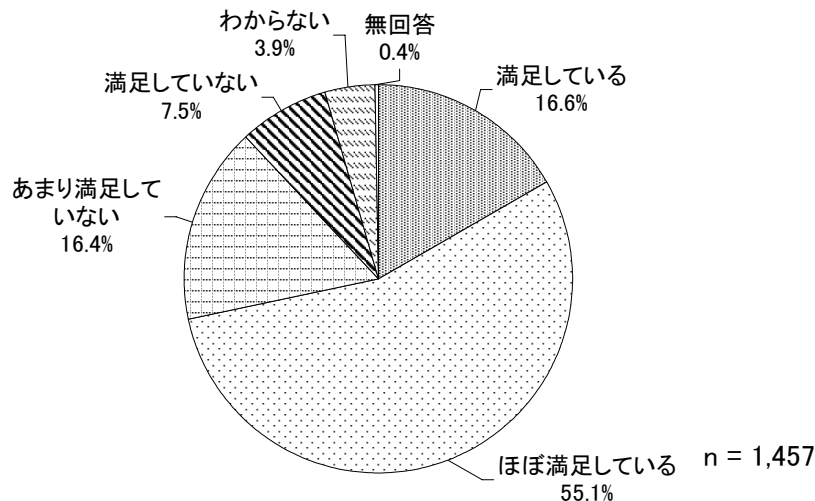
6-4 市の窓口サービスの満足度

◇『満足』が7割を占める

(問30で「ある」とお答えの方に)

問30-1 あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。(○は1つだけ)

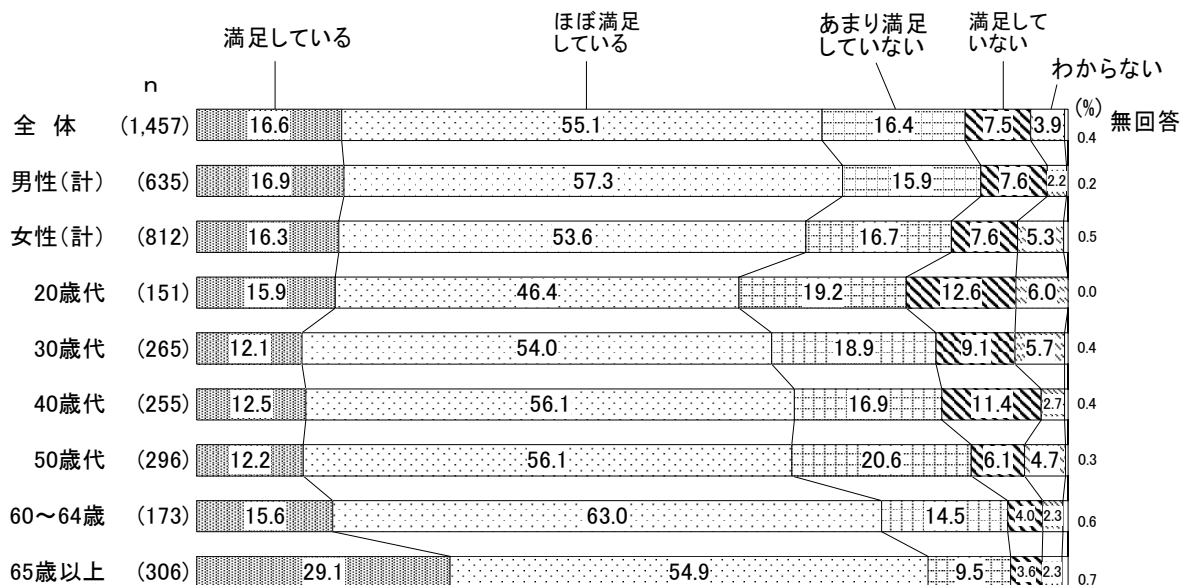
図6-4-1



この一年間で市の窓口の利用が「ある」(1,457人)と答えた人に、市の窓口サービスの満足度について聞いたところ、「ほぼ満足している」が5割台半ば(55.1%)と最も高く、「満足している」(16.6%)と合わせた『満足』は7割強(71.7%)となっている。「あまり満足していない」(16.4%)と「満足していない」(7.5%)を合わせた『満足していない』は2割強(23.9%)となっている。

(図6-4-1)

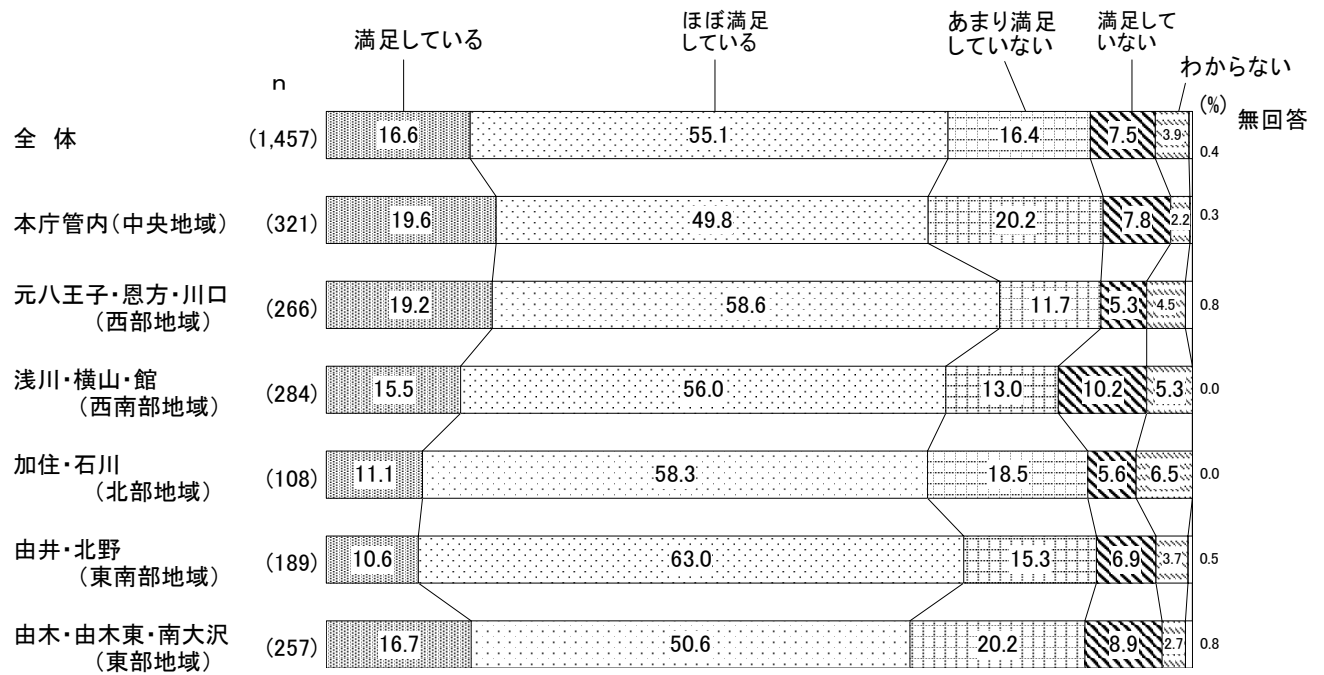
図6-4-2 市の窓口サービスの満足度-性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど『満足』の割合が高くなる傾向がみられる。(図6-4-2)

図6-4-3 市の窓口サービスの満足度－居住地域別



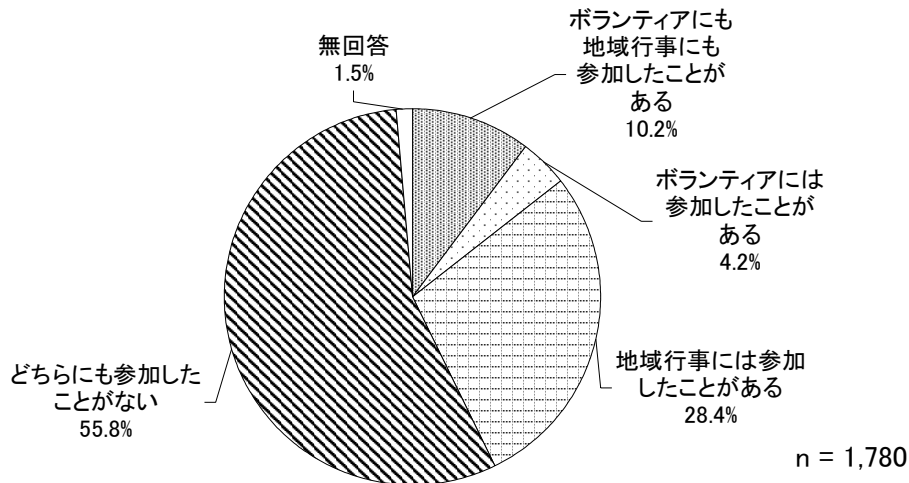
居住地域別にみると、『満足』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で8割弱（77.8%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で7割弱（67.3%）と最も低くなっている。（図6-4-3）

6-5 この1年間の地域行事への参加

◇『参加したことがある』が4割強

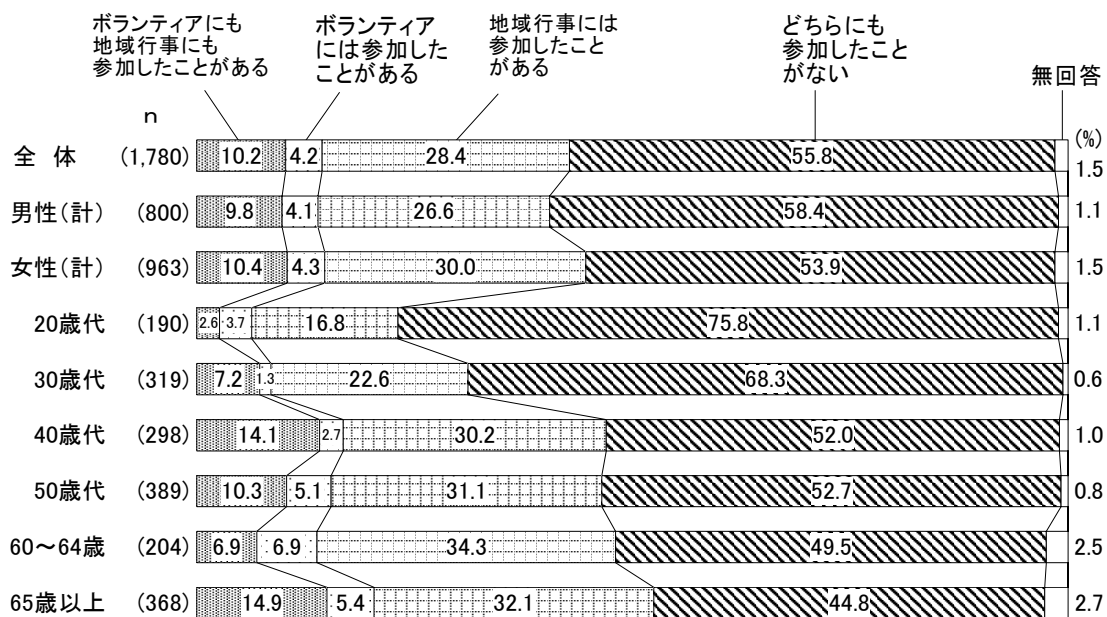
問31 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)

図6-5-1



この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなどの地域行事に参加したことがあるか聞いたところ、「地域行事には参加したことがある」は3割弱(28.4%)、「ボランティアにも地域行事にも参加したことがある」(10.2%)、「ボランティアには参加したことがある」(4.2%)と続き、3項目を合わせた『参加したことがある』は4割強(42.8%)となっている。一方で、「どちらにも参加したことがない」は5割台半ば(55.8%)と過半数を占めている。(図6-5-1)

図6-5-2 この1年間の地域行事への参加—性別・年齢別

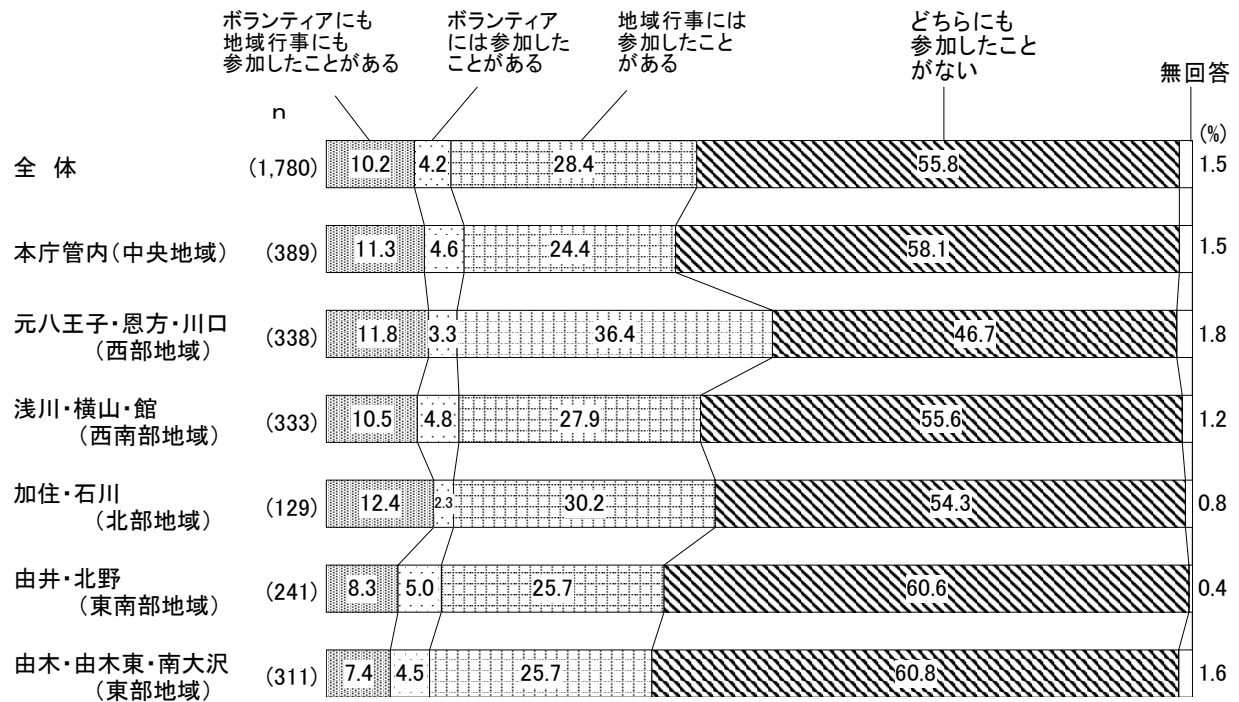


性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど『参加したことがある』が増加する傾向がみられる。

(図6-5-2)

図 6－5－3 この1年間の地域行事への参加－居住地域別



居住地域別にみると、『参加したことがある』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で5割強（51.5%）と最も高く、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割弱（37.6%）と最も低くなっている。

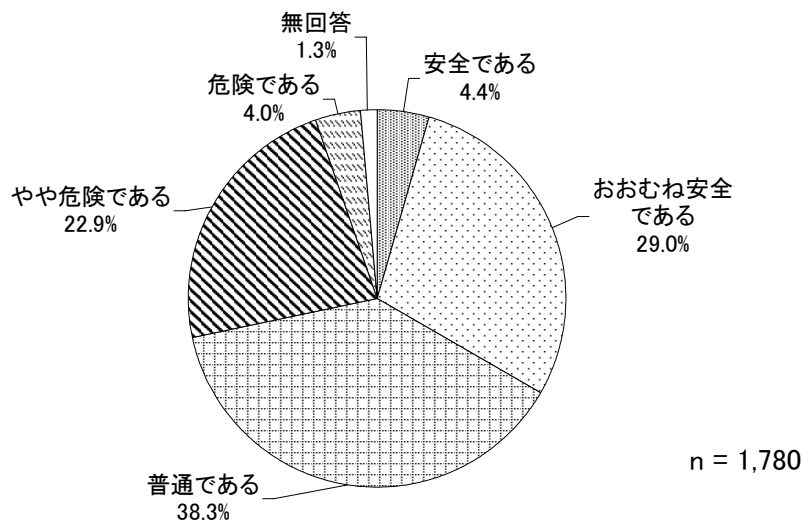
（図 6－5－3）

6－6 日常生活環境の安全度

◇「普通である」が4割弱

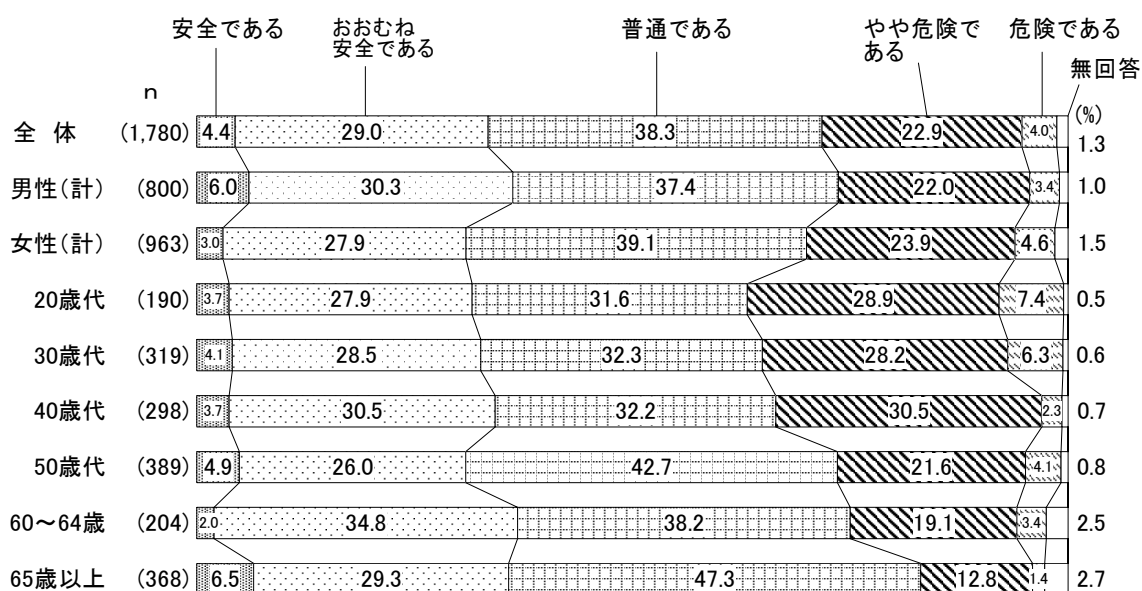
問32 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(○は1つだけ)

図 6－6－1



住まいの地域が安全であると感じるかどうかが聞いたところ、「普通である」が4割弱（38.3%）と最も高い。「安全である」（4.4%）と「おおむね安全である」（29.0%）を合わせた『安全である』は3割強（33.4%）となっている。「やや危険である」と「危険である」を合わせた『危険である』は2割台半ば（26.9%）となっている。（図 6－6－1）

図 6－6－2 日常生活環境の安全度－性別・年齢別

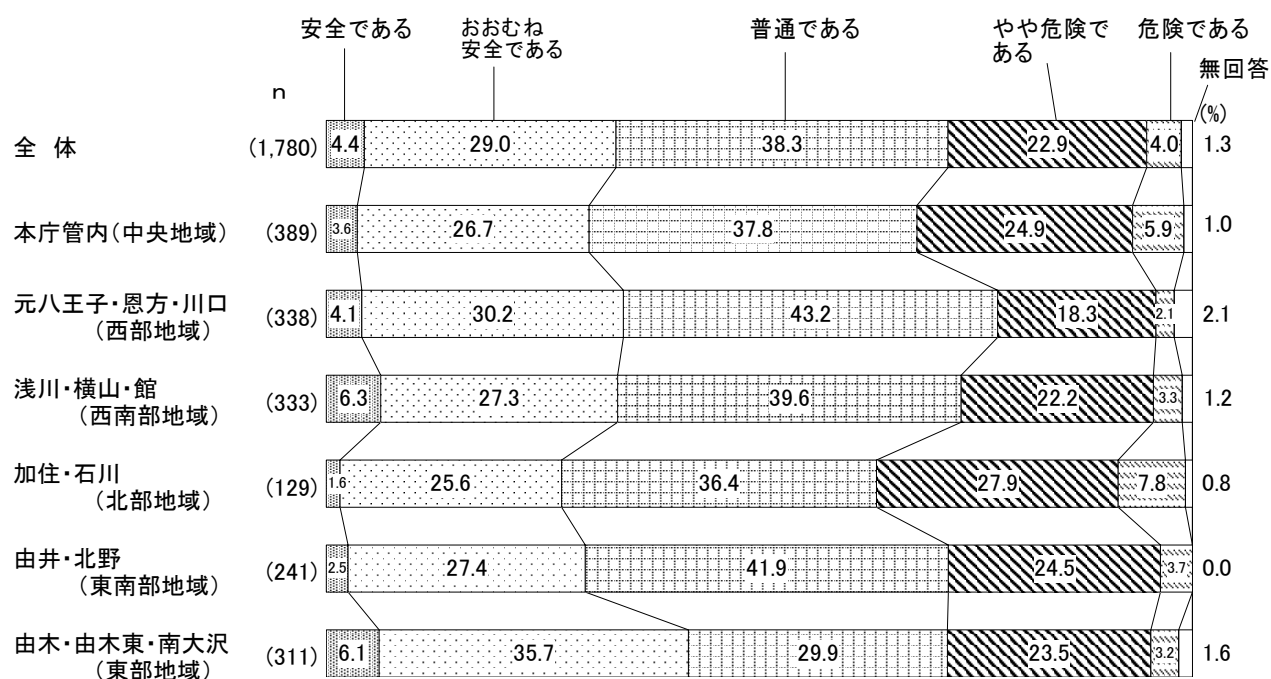


性別にみると、『安全である』は男性のほうが5.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が低くなるほど『危険である』の割合が増加する傾向がみられる。

(図 6－6－2)

図 6-6-3 日常生活環境の安全度—居住地域別



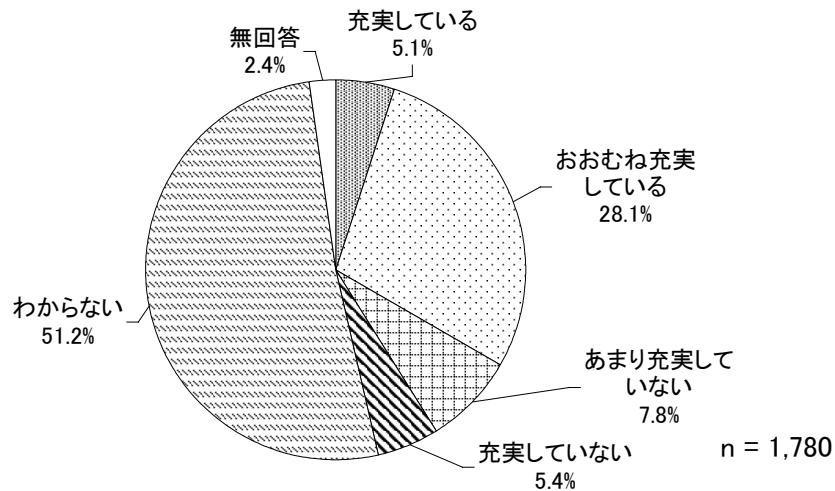
居住地域別にみると、『安全である』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割強（41.8%）と最も高く、加住・石川（北部地域）で3割弱（27.2%）と最も低くなっている。（図6-6-3）

6－7 市の相談窓口の充実度

◇『充実している』が3割強

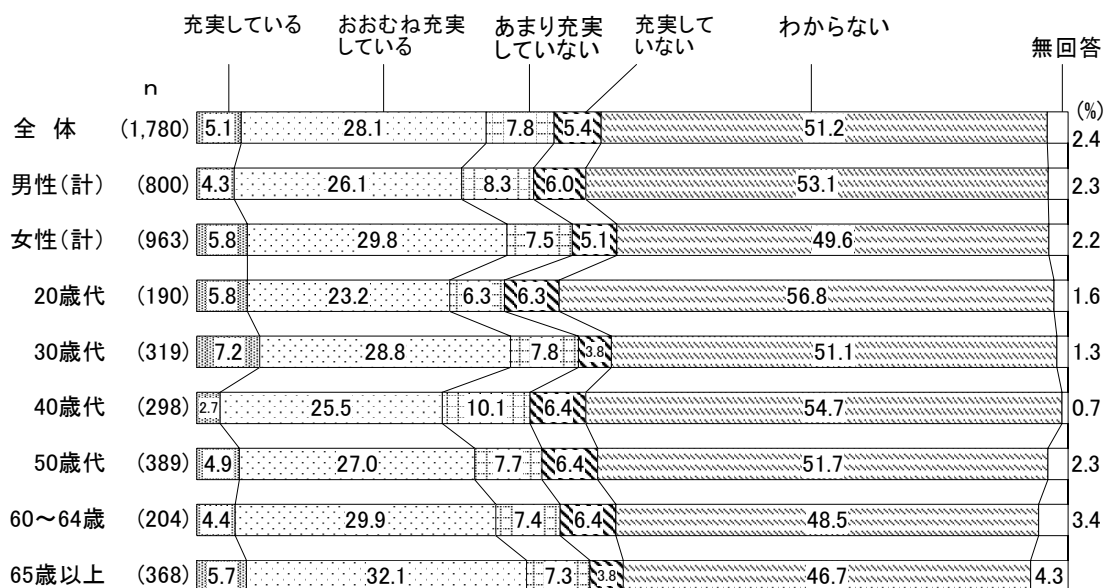
問33 市では、様々な相談を行っています、あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。(○は1つだけ)

図6－7－1



市の相談窓口が充実しているかどうか聞いたところ、「おおむね充実している」(28.1%)と「充実にしている」(5.1%)を合わせた『充実している』は3割強(33.2%)となっている。一方、「あまり充実していない」(7.8%)と「充実にしていない」(5.4%)を合わせた『充実していない』は1割強(13.2%)となっている。(図6－7－1)

図6－7－2 市の相談窓口の充実度－性別・年齢別

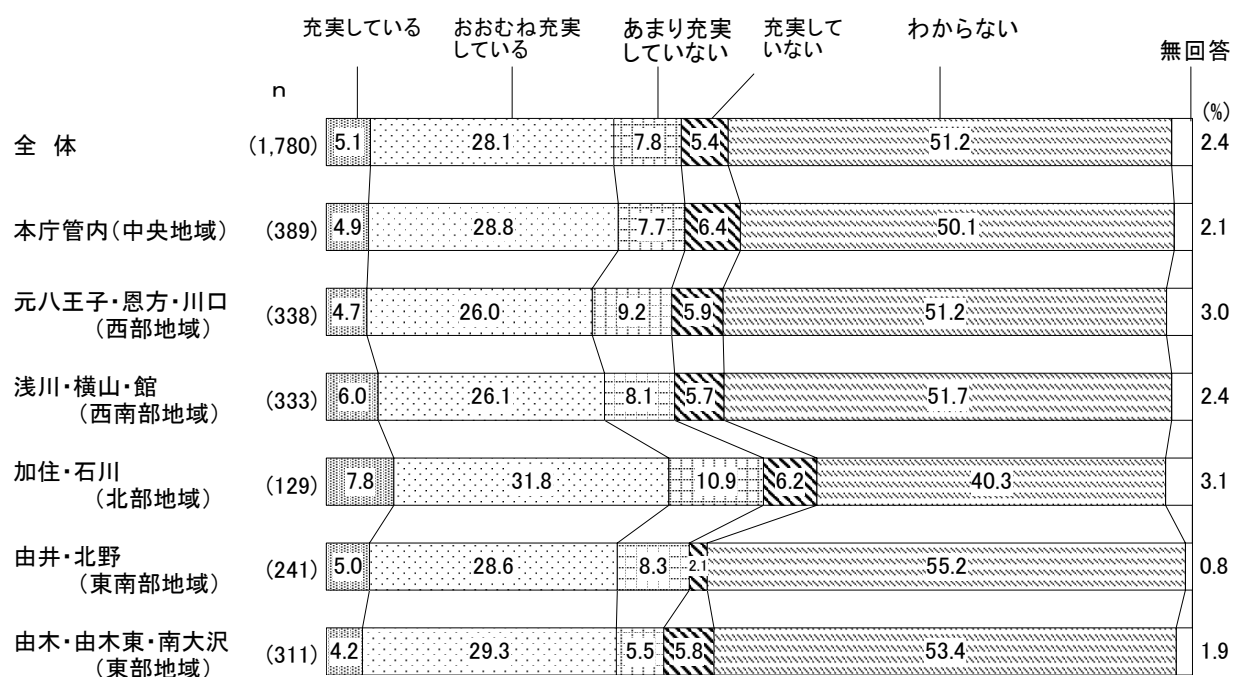


性別にみると、女性のほうが『充実している』が5.2ポイント高い。

年齢別にみると、40歳代以降、年齢が高くなるほど『充実している』が増加する傾向がみられる。

(図6－7－2)

図 6－7－3 市の相談窓口の充実度－居住地域別



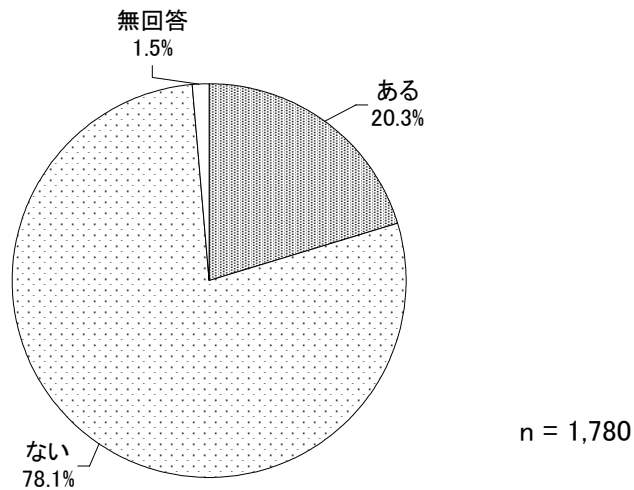
居住地域別にみると、『充実している』は加住・石川（北部地域）で約４割（39.6%）と最も高くなっている。（図 6－7－3）

6－8 市の相談窓口の利用の有無

◇利用したことが「ある」人は2割にとどまる

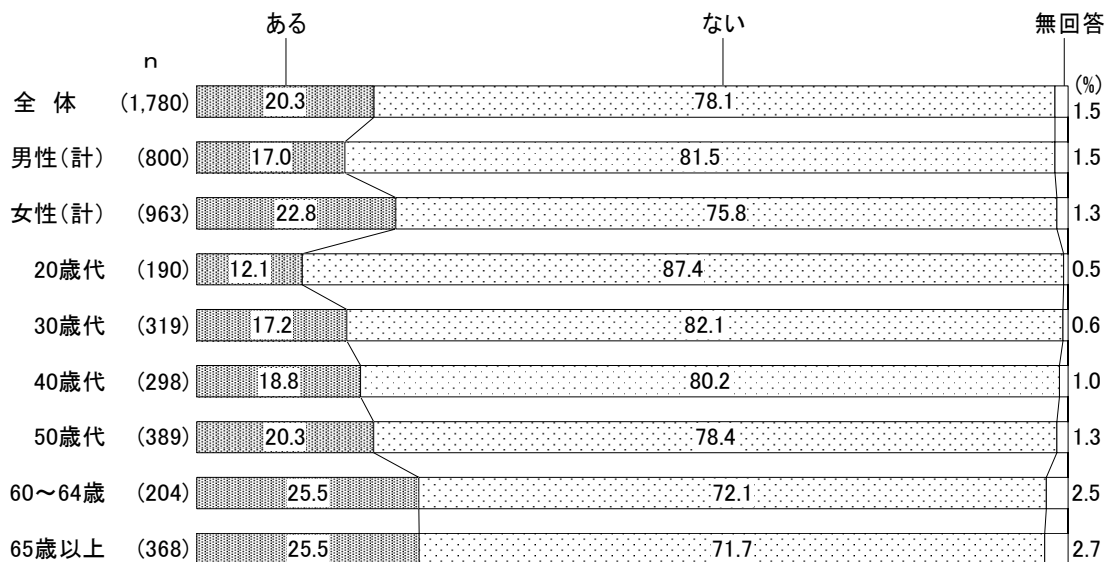
問34 あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。（○は1つだけ）

図6－8－1



市の相談窓口を利用したことがあるか聞いたところ、「ない」が大多数の8割弱（78.1%）を占め、「ある」は約2割（20.3%）となっている。（図6－8－1）

図6－8－2 市の相談窓口の利用の有無－性別・年齢別

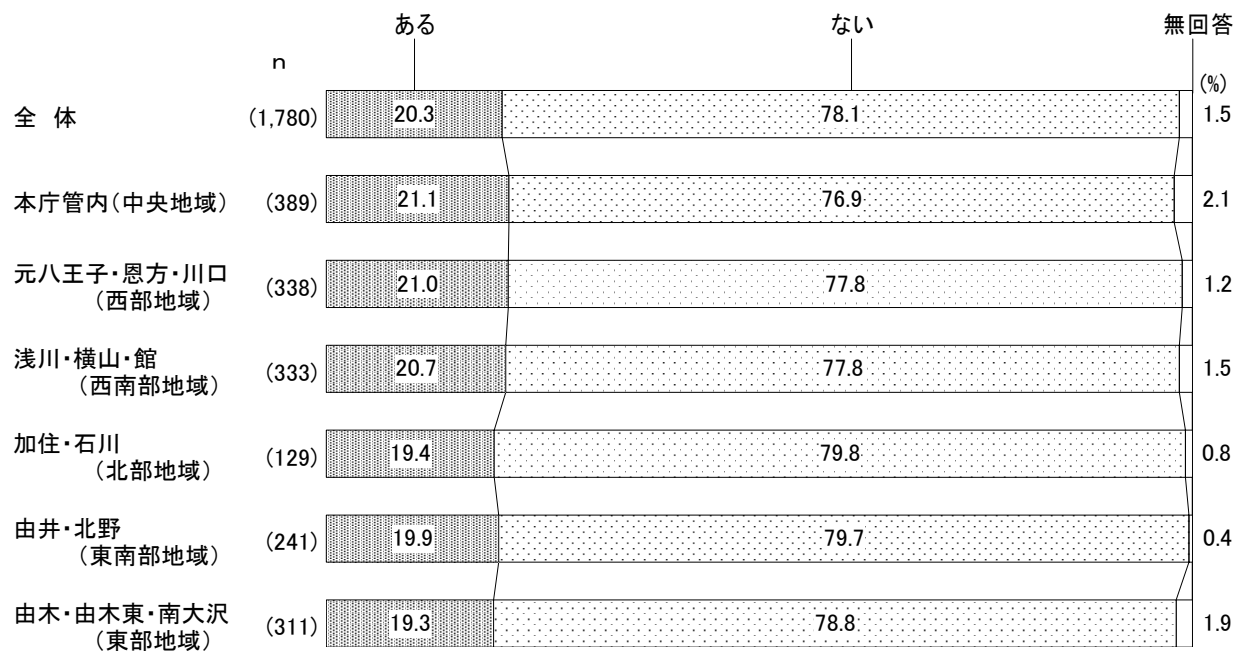


性別にみると、女性のほうが「ある」が5.8ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「ある」の割合が増加する傾向がみられる。

（図6－8－2）

図 6－8－3 市の相談窓口の利用の有無－居住地域別



居住地域別には大きな差はみられない。(図 6－8－3)

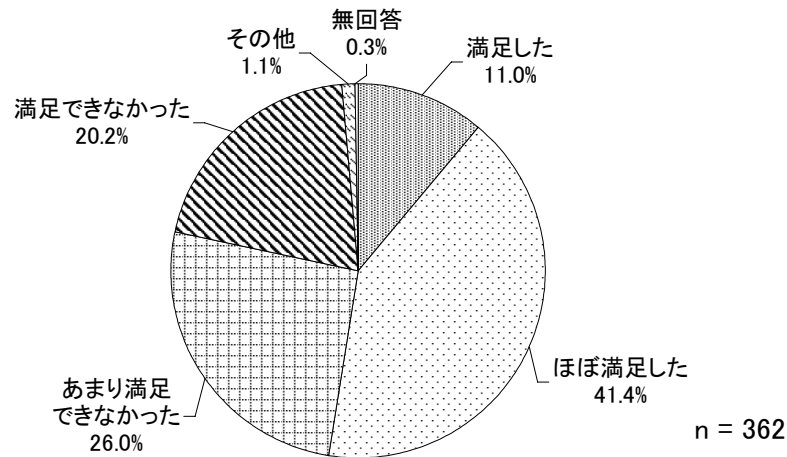
6－9 相談窓口の満足度

◇『満足した』が5割強

(問34で「ある」とお答えの方に)

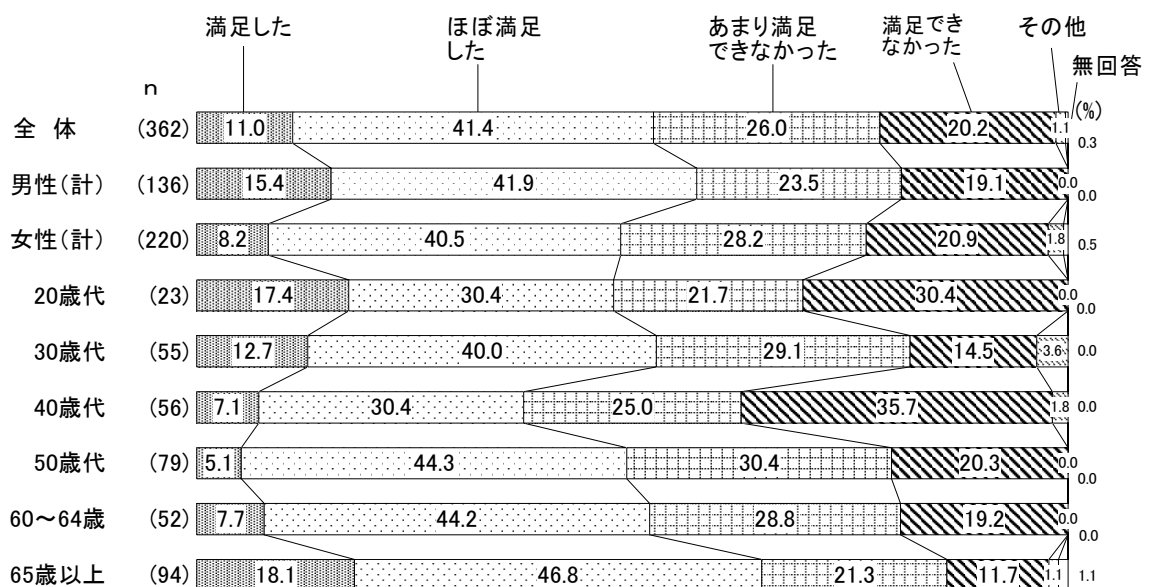
問34－1 市の相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ)

図6－9－1



市の相談窓口の利用で「ある」と答えた人(362人)に、市の相談窓口を利用してどう感じたか聞いたところ、「ほぼ満足した」が4割強(41.4%)と最も高く、「満足した」(11.0%)と合わせ『満足した』は5割強(52.4%)となっている。一方、「あまり満足できなかった」(26.0%)と「満足できなかった」(20.2%)を合わせた『満足できなかった』は4割台半ば(46.2%)となっている。(図6－9－1)

図6－9－2 相談窓口の満足度－性別・年齢別

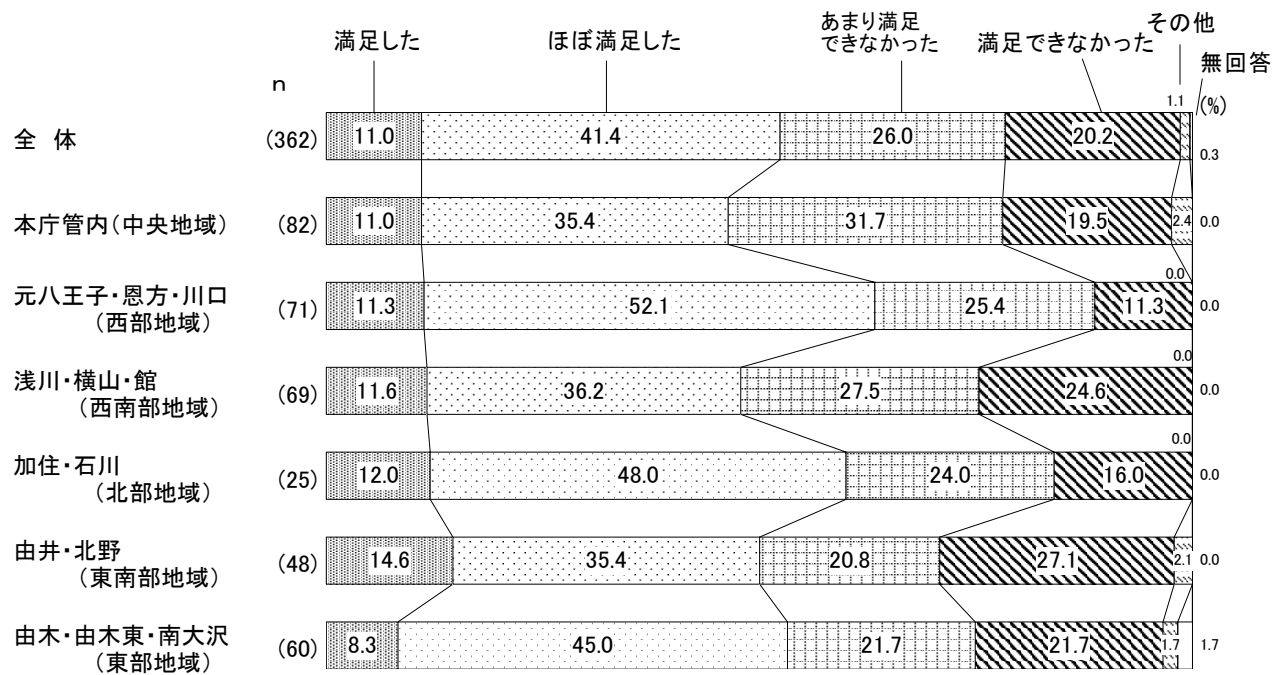


性別にみると、男性のほうが『満足した』が8.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代以降、年齢が高くなるほど『満足した』が増加する傾向がみられる。

(図6－9－2)

図 6－9－3 相談窓口の満足度－居住地域別



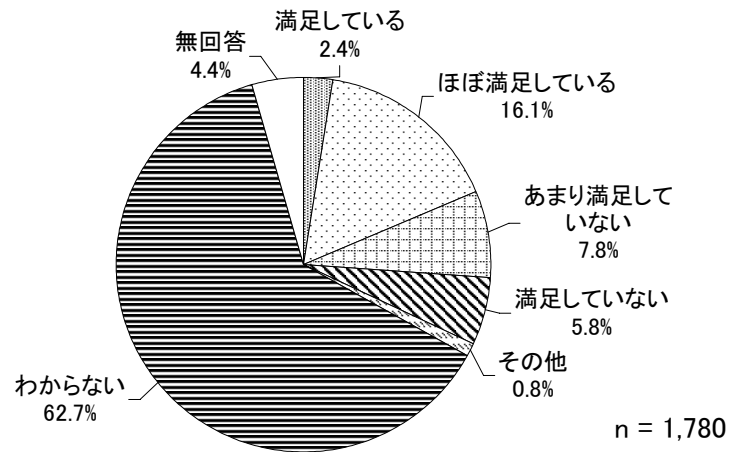
居住地域別にみると、『満足した』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で6割強（63.4%）と最も高く、本庁管内（中央地域）で4割台半ば（46.4%）と最も低くなっている。（図 6－9－3）

6-10 市の子育て支援施策の満足度

◇「ほぼ満足している」が1割台半ば

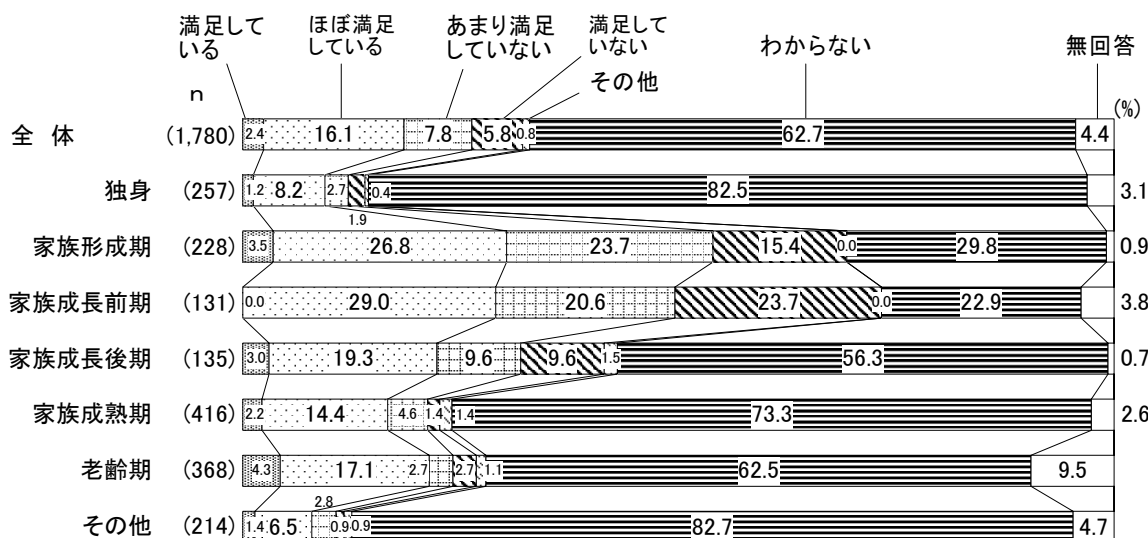
問35 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。(〇は1つだけ)

図6-10-1



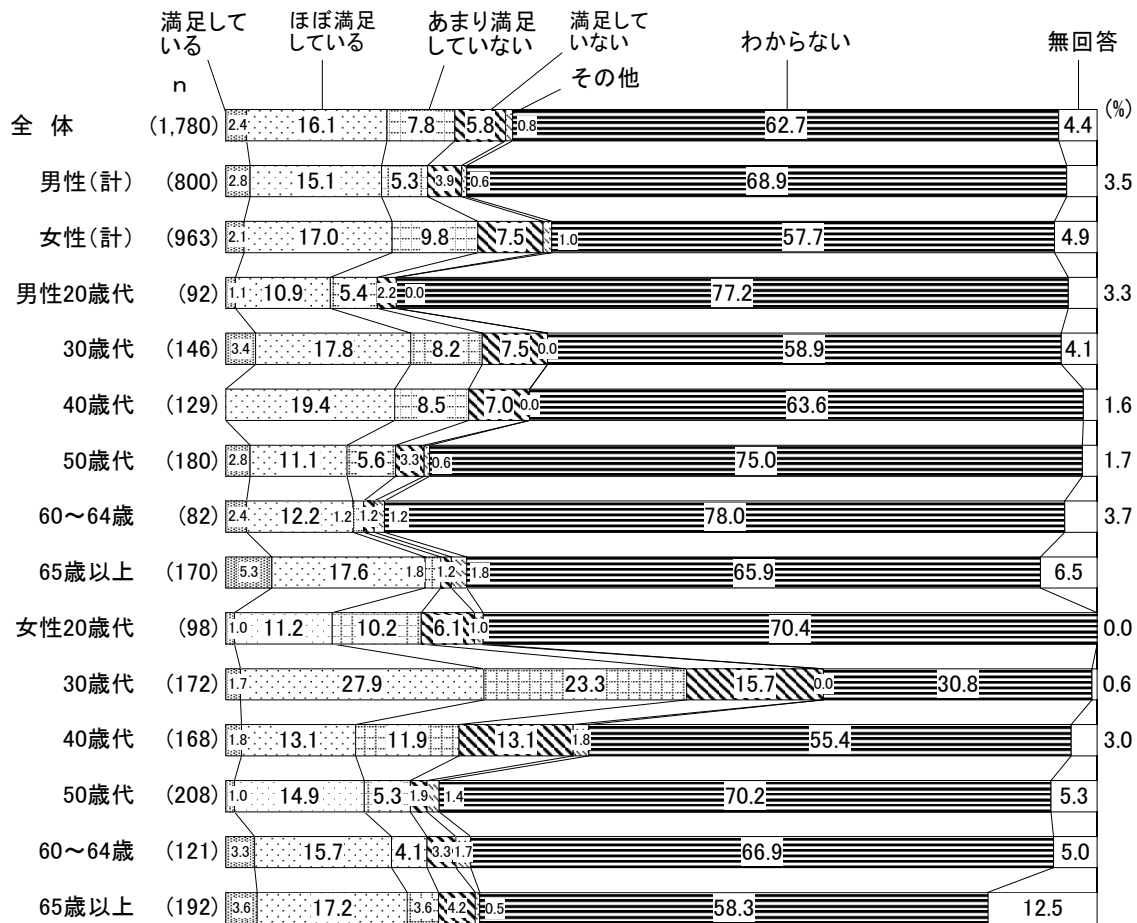
市の子育て支援施策についてどのように感じているかについて聞いたところ、「満足している」(2.4%)と「ほぼ満足している」(16.1%)を合わせた『満足』は2割弱(18.5%)となっている。一方、「あまり満足していない」(7.8%)と「満足していない」(5.8%)を合わせた『満足していない』(13.6%)は1割強となっている。(図6-10-1)

図6-10-2 市の子育て支援施策の満足度－ライフステージ別



ライフステージ別にみると、家族形成期、家族成長前期では『満足していない』が『満足』を上回っている。それ以外のライフステージでは「わからない」が過半数を占めている。(図6-10-2)

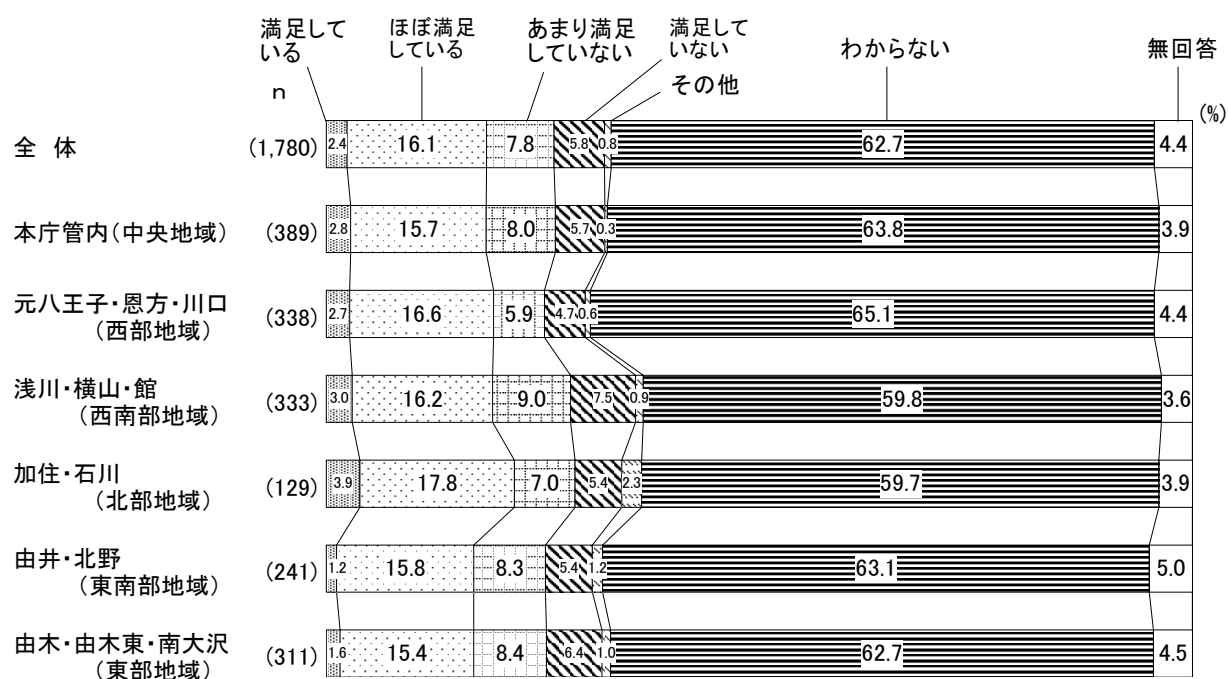
図6-10-3 市の子育て支援施策の満足度－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが『満足していない』が8.1ポイント高くなっている。

性・年齢別にみると、『満足していない』は女性の30歳代（39.0%）と40歳代（25.0%）で高くなっている。（図6-10-3）

図 6-10-4 市の子育て支援施策の満足度－居住地域別



居住地域別にみると、『満足』は加住・石川（北部地域）で2割強（21.7%）と最も高くなっている。

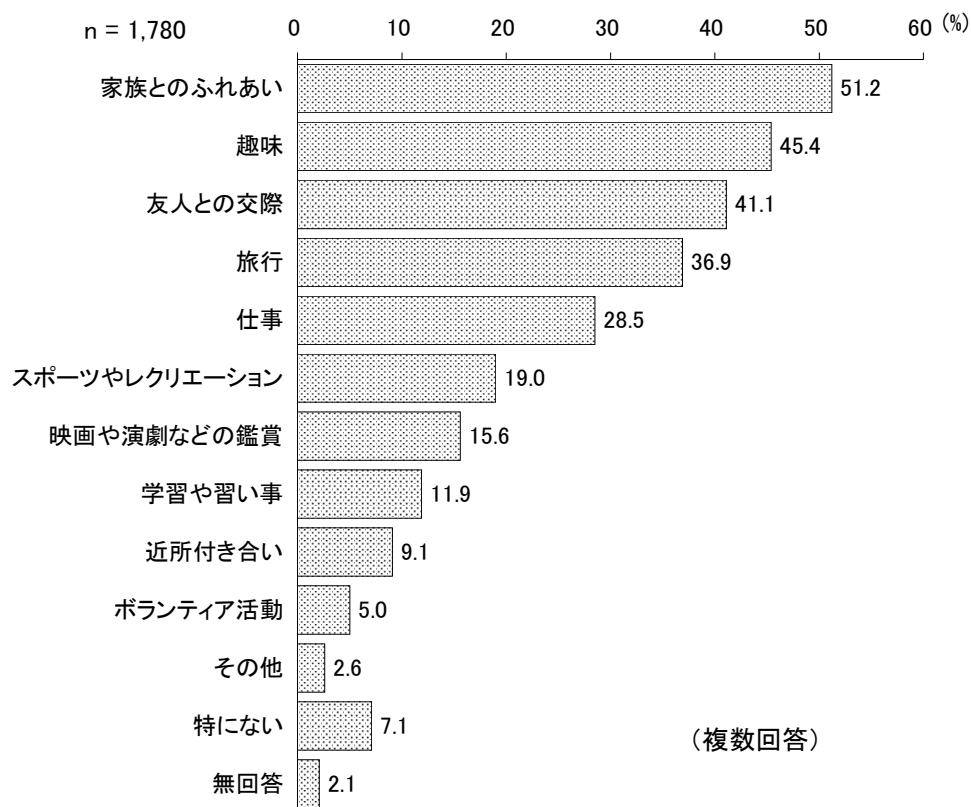
（図 6-10-4）

6－11 現在の生きがい

◇「家族とのふれあい」が5割強

問36 あなたの現在の生きがいはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

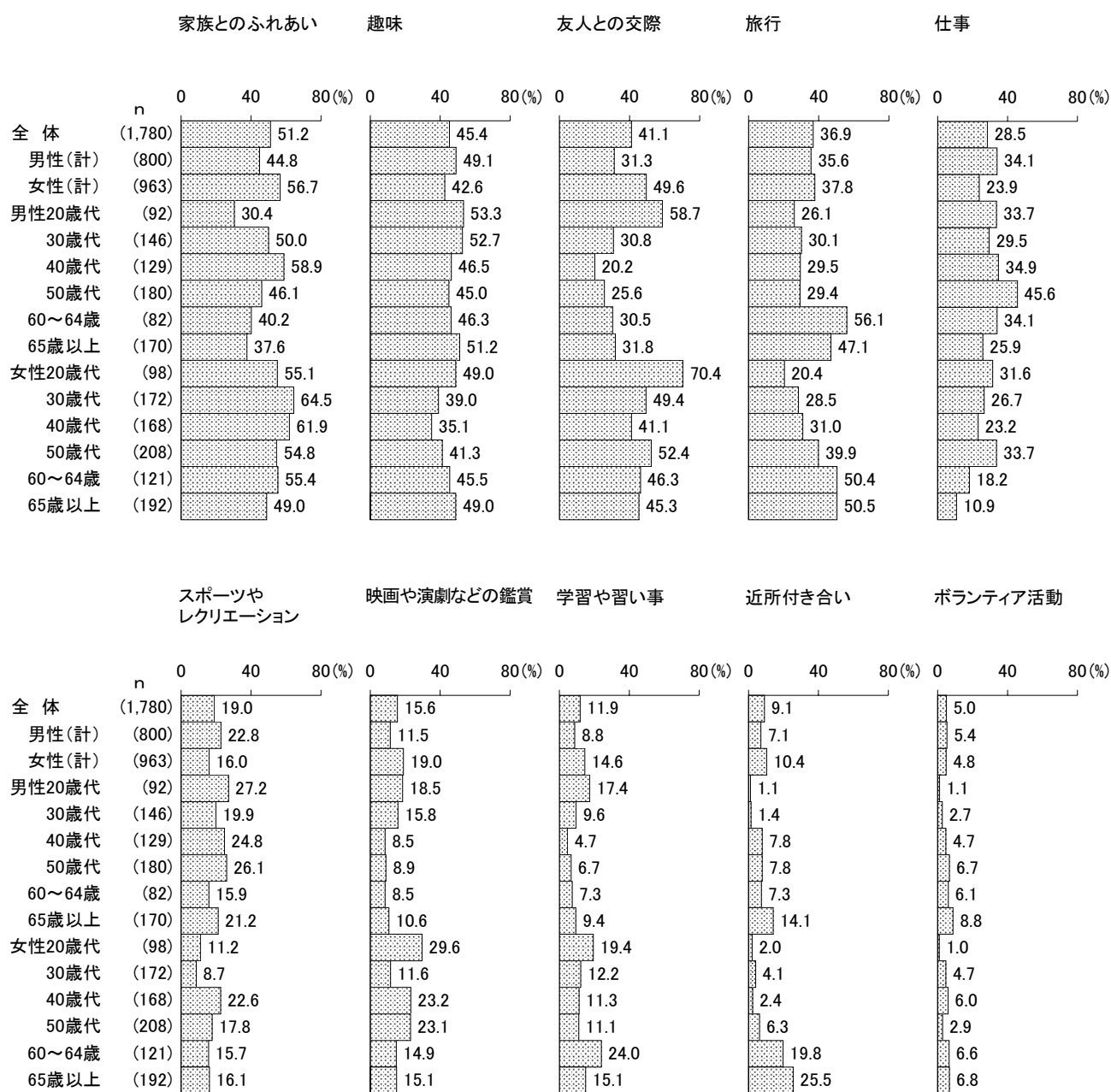
図6－11－1



現在の生きがいについて聞いたところ、「家族とのふれあい」が5割強（51.2%）と最も高く、ついで「趣味」（45.4%）、友人との交際（41.1%）、「旅行」（36.9%）、「仕事」（28.5%）の順が続いている。

（図6－11－1）

図6-11-2 現在の生きがいー性別・年齢別（上位10項目）



性別にみると、「家族とのふれあい」「友人との交際」は女性のほうが10ポイント以上高く、「仕事」は男性のほうが10.2ポイント高くなっている。

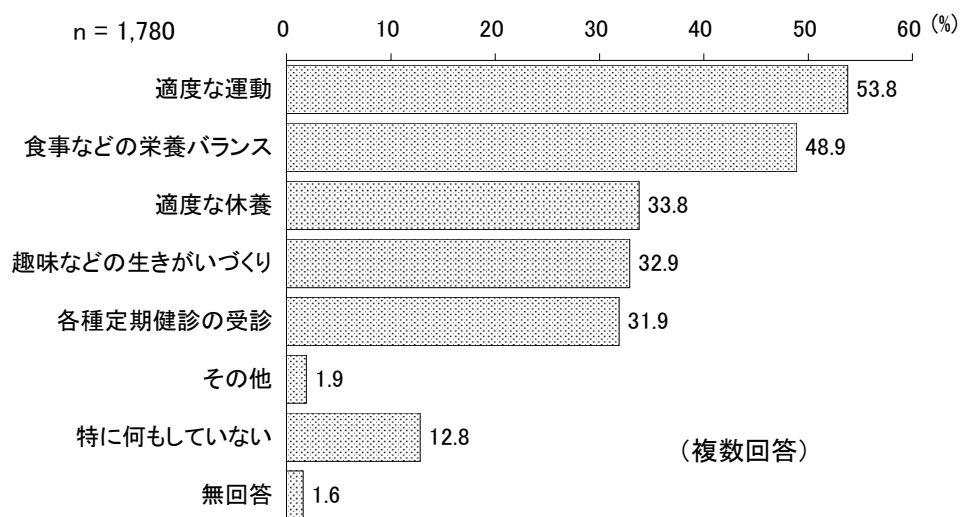
性・年齢別にみると、「家族とのふれあい」は、女性の30歳代・40歳代で6割以上と高く、「趣味」は男性の20歳代・30歳代・65歳以上で5割を超えて高い。「友人との交際」は男性と女性の20歳代でそれぞれ6割弱～7割と高く、「旅行」は男性60～64歳、女性60歳以上で5割を超え、「仕事」は男性50歳代で4割台半ばと最も高い。「スポーツやレクリエーション」は男性の20歳代・40歳代・50歳代で2割台半ばと高く、「映画や演劇などの鑑賞」は女性20歳代で約3割と最も高い。「学習や習い事」は女性の20歳代・60～64歳で2割前後と高く、「近所付き合い」は女性60歳以上で2割前後と高くなっている。（図6-11-2）

6-12 健康のために心がけていること

◇「適度な運動」「食事などの栄養バランス」がそれぞれ5割前後

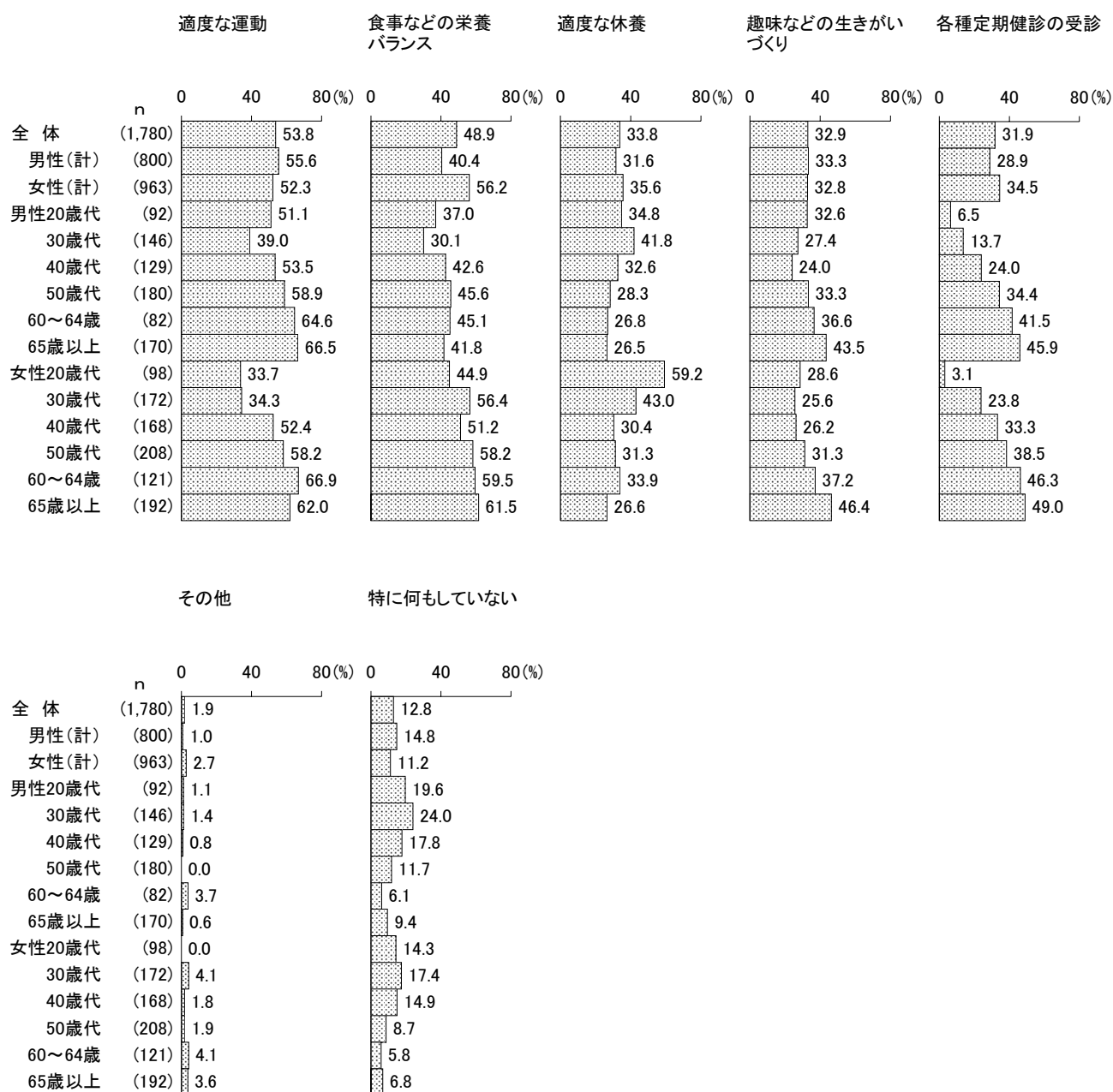
問37 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。（〇はいくつでも）

図6-12-1



健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることについて聞いたところ、「適度な運動」が5割強（53.8%）と最も高く、ついで「食事などの栄養バランス」（48.9%）、「適度な休養」（33.8%）の順で続いている。（図6-12-1）

図 6-12-2 健康のために心がけていることー性別・年齢別



性別にみると、「食事などの栄養バランス」は女性のほうが15.8ポイント高くなっている。

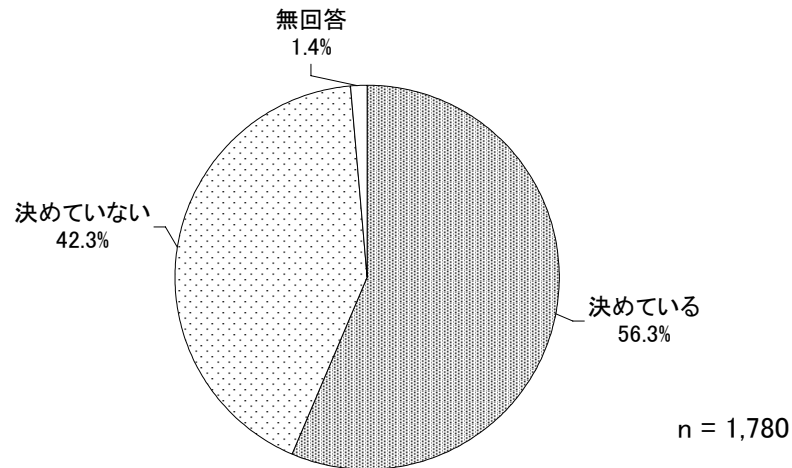
性・年齢別にみると、「適度な運動」は男女とも概ね年齢が高くなるほど割合が増加している。「食事などの栄養バランス」は、女性の50歳以上で6割前後と高くなっている。「適度な休養」は男女ともに年齢が低くなるほど割合が高い傾向にあり、特に女性20歳代では約6割（59.2%）を占める。「趣味などの生きがいがづくり」「各種定期健診の受診」は男女とも概ね年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられる。（図 6-12-2）

6-13 かかりつけの医療機関の有無

◇「決めている」人は5割台半ば

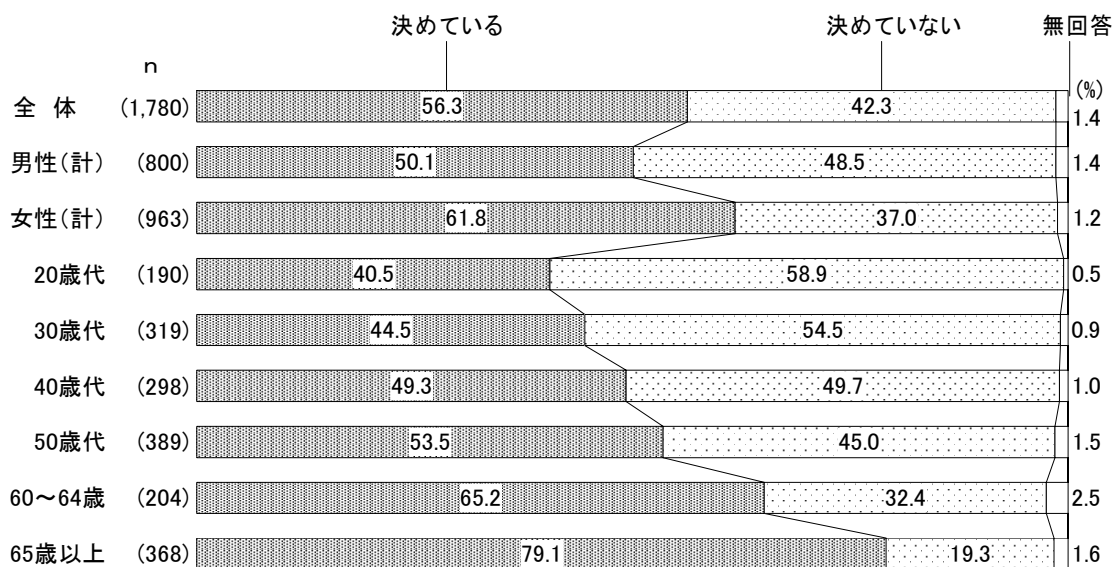
問38 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。(○は1つだけ)

図6-13-1



かかりつけの医療機関を決めているか聞いたところ、「決めている」が5割台半ば（56.3%）、「決めていない」が4割強（42.3%）となっている。（図6-13-1）

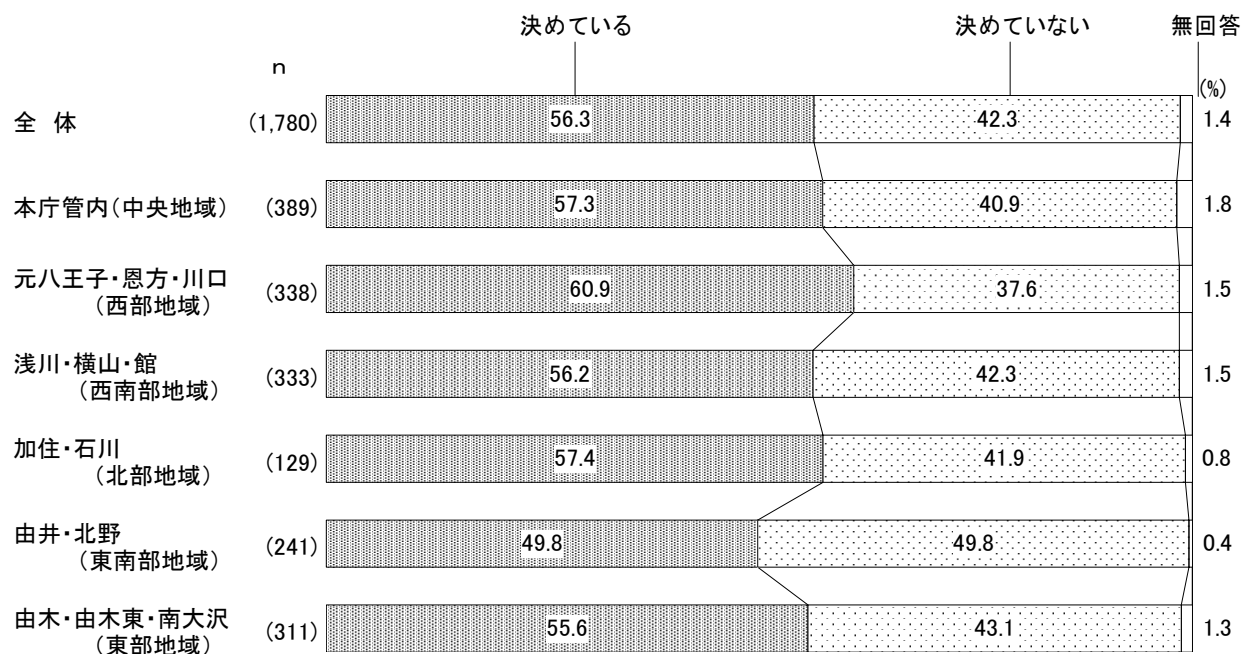
図6-13-2 かかりつけの医療機関の有無－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「決めている」が10.7ポイント高くなっている。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「決めている」の割合が増加する傾向がみられ、65歳以上では約8割（79.1%）を占めている。（図6-13-2）

図 6-13-3 かかりつけの医療機関の有無－居住地域別



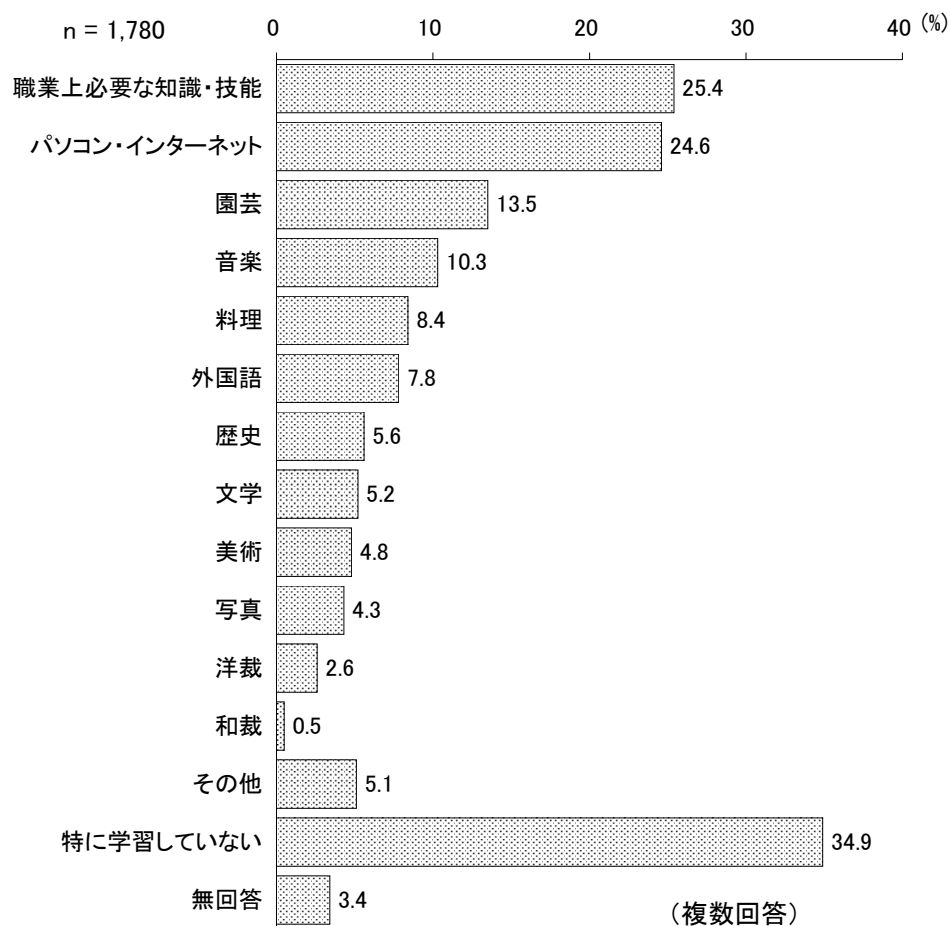
居住地域別にみると、「決めている」は元八王子・恩方・川口（西部地域）で約 6 割（60.9%）と最も高く、由井・北野（東南部地域）で約 5 割（49.8%）と最も低くなっている。（図 6-13-3）

6-14 この1年間に取り組んだ学習活動

◇「職業上必要な知識・技能」と「パソコン・インターネット」の二項目が2割台半ば

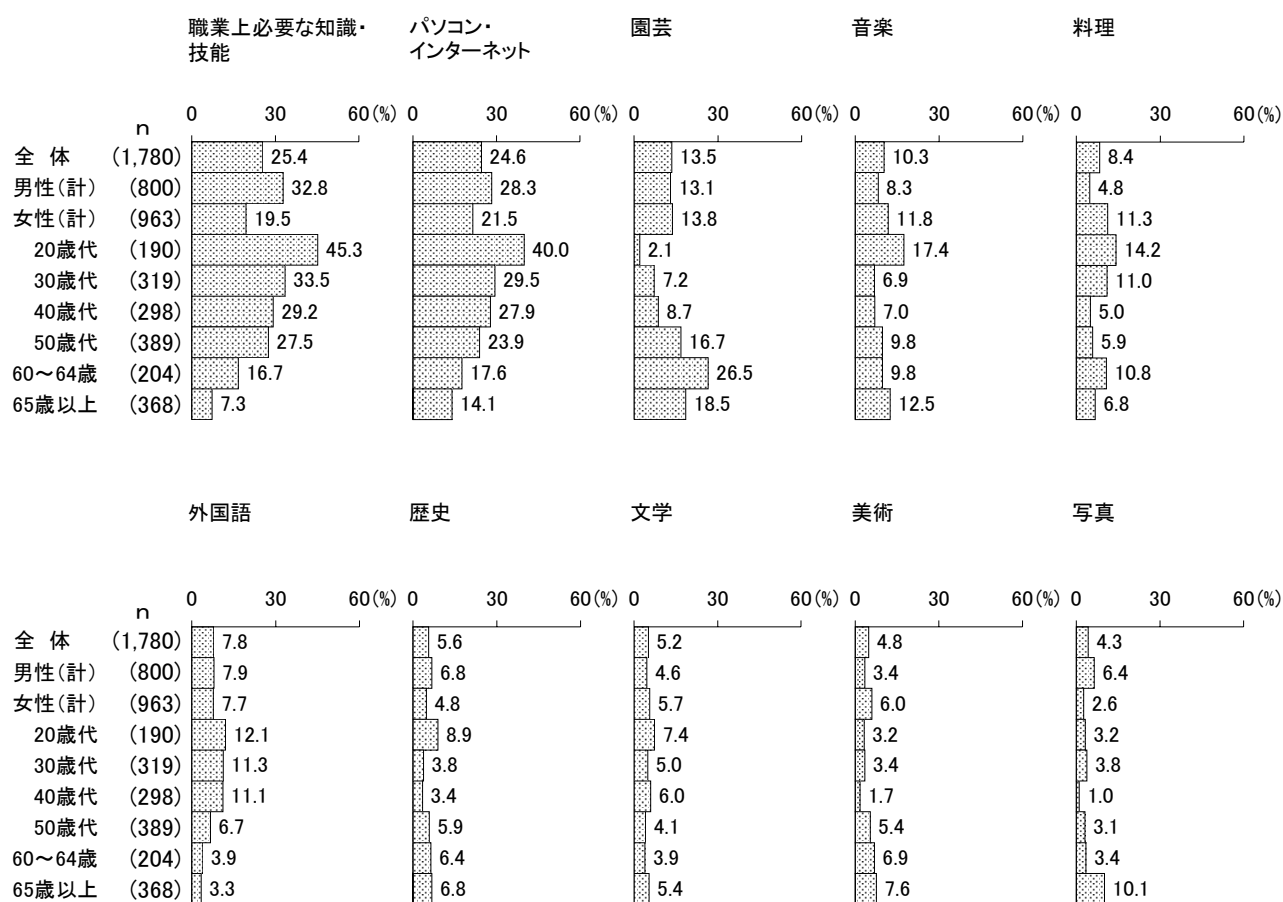
問39 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(〇はいくつでも)

図6-14-1



この1年間に取り組んだ学習活動について聞いたところ、「職業上必要な知識・技能」が2割台半ば(25.4%)と最も高く、ついで「パソコン・インターネット」(24.6%)、「園芸」(13.5%)、「音楽」(10.3%)、「料理」(8.4%)と続いている。(図6-14-1)

図6-14-2 この1年間に取り組んだ学習活動－性別・年齢別（上位10項目）



性別にみると、男性のほうが「職業上必要な知識・技能」で13.3ポイント、「パソコン・インターネット」で6.8ポイント高く、女性のほうが「料理」で6.5ポイント高くなっている。

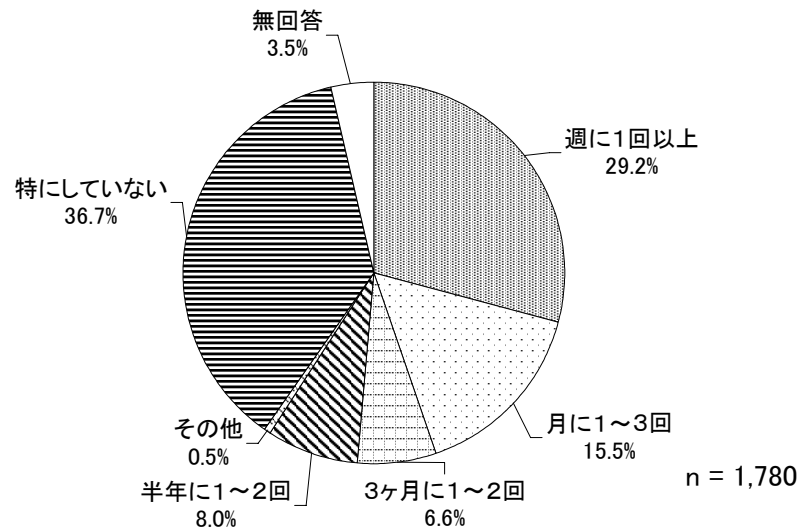
年齢別にみると、「職業上必要な知識・技能」、「パソコン・インターネット」、「料理」、「外国語」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20歳代で「職業上必要な知識・技能」は4割台半ば（45.3%）、「パソコン・インターネット」は4割を占める。「園芸」は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向がみられる。（図6-14-2）

6-15 この1年間に行ったスポーツの頻度

◇「週に1回以上」が約3割、「特にしていない」が3割台半ば

問40 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

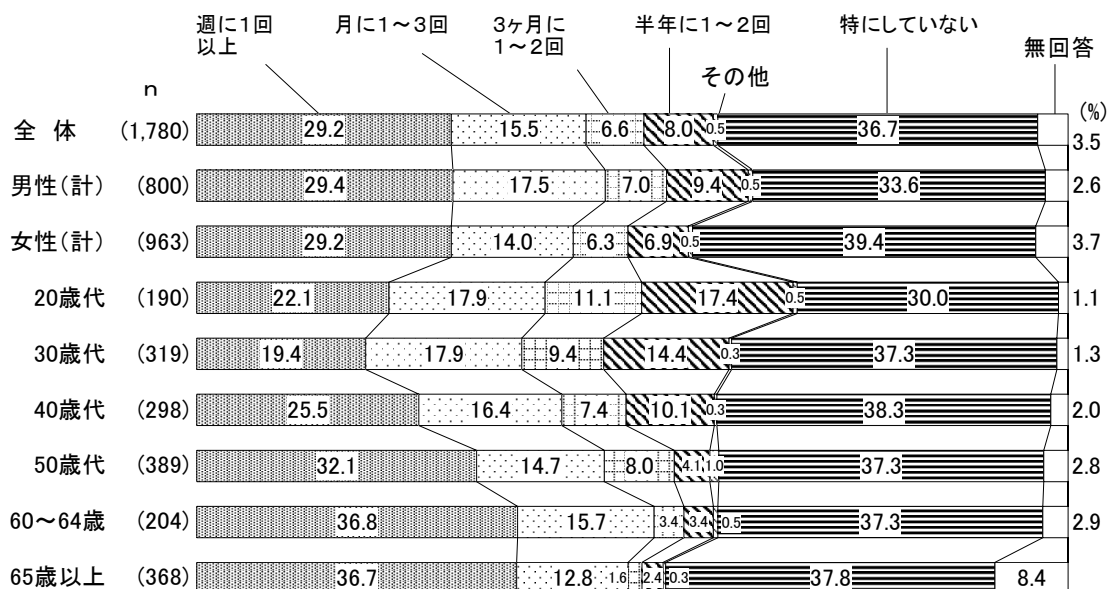
図6-15-1



この1年間にスポーツを行った回数について聞いたところ、「週に1回以上」が約3割（29.2%）、「月に1～3回」が1割台半ば（15.5%）、「3ヶ月に1～2回」（6.6%）、「半年に1～2回」（8.0%）が1割未満となっている。一方で「特にしていない」は3割台半ば（36.7%）となっている。

(図6-15-1)

図6-15-2 この1年間に行ったスポーツの頻度－性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「特にしていない」が5.8ポイント高くなっている。

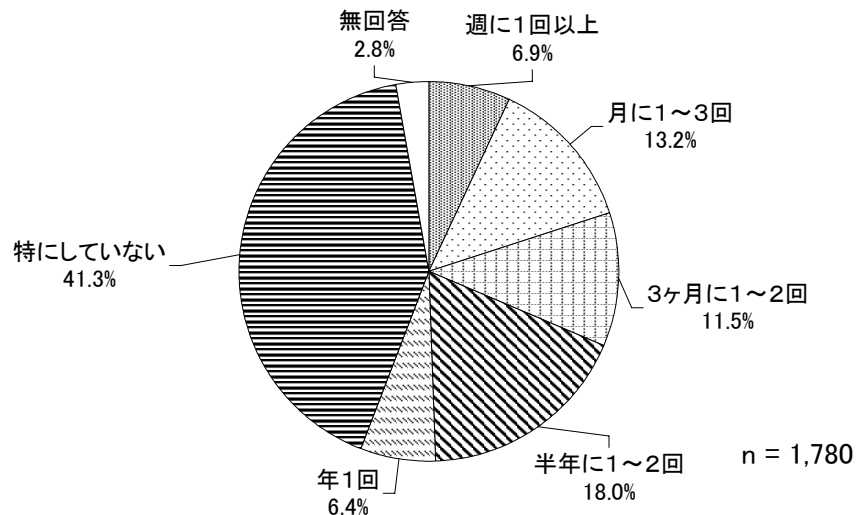
年齢別にみると、30歳代以降、年齢が高くなるほど「週に1回以上」の割合が増加する傾向がみられる。(図6-15-2)

6-16 この1年間の芸術・文化活動の頻度

◇「半年に1～2回」が2割弱、「特にしていない」が4割強

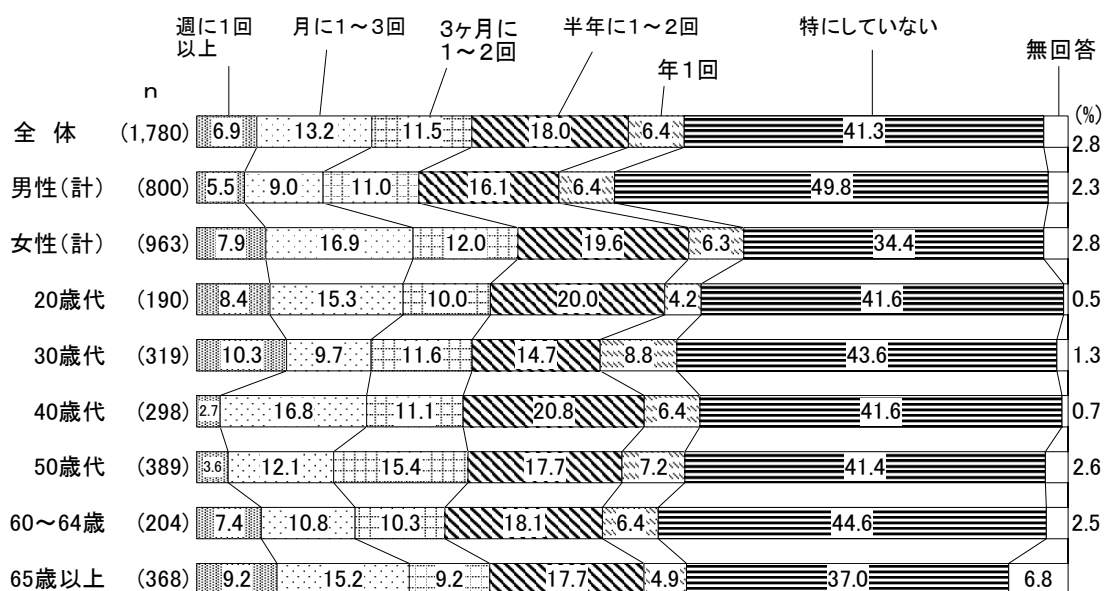
問41 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。（鑑（観）賞も含みます）（○は1つだけ）

図6-16-1



この1年間の芸術・文化活動の参加頻度について聞いたところ、「週に1回以上」が1割未満（6.9%）、「月に1～3回」が1割強（13.2%）、「3ヶ月に1～2回」が1割強（11.5%）、「半年に1～2回」が2割弱（18.0%）となっている。一方で「特にしていない」は4割強（41.3%）となっている。（図6-16-1）

図6-16-2 この1年間の芸術・文化活動の頻度－性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが「特にしていない」が15.4ポイント高くなっている。

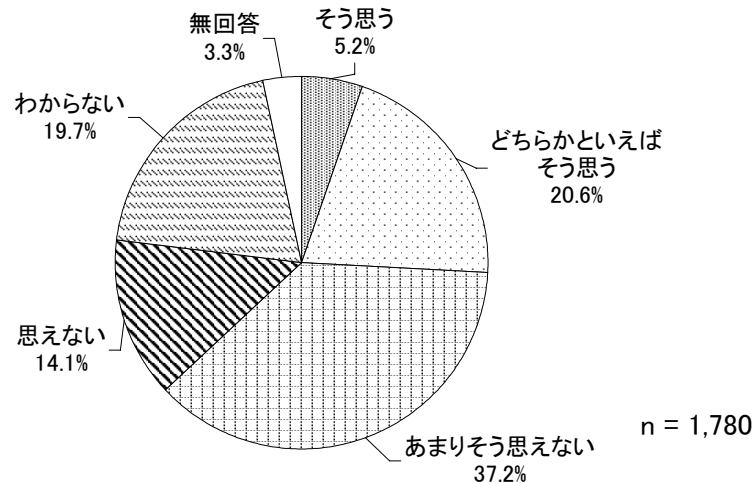
年齢別にみると、「週に1回以上」と「月に1～3回」の合計は20歳代と65歳以上で割合が高く、50歳代で最も低くなっている。（図6-16-2）

6-17 市は景観に配慮されたまちであるか

◇『思えない』が5割強

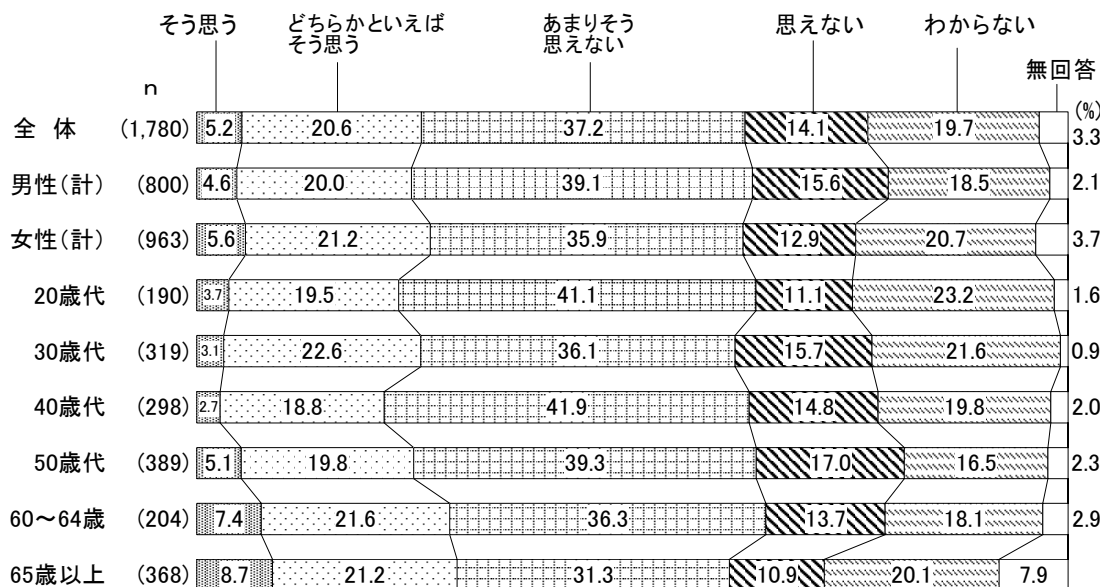
問42 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-17-1



市が景観に配慮されたまちであるかについて聞いたところ、「あまりそう思えない」が4割弱(37.2%)と最も高く、「思えない」(14.1%)と合わせた『思えない』は5割強(51.3%)となっている。一方、「そう思う」(5.2%)と「どちらかといえばそう思う」(20.6%)を合わせた『そう思う』は2割台半ば(25.8%)となっている。(図6-17-1)

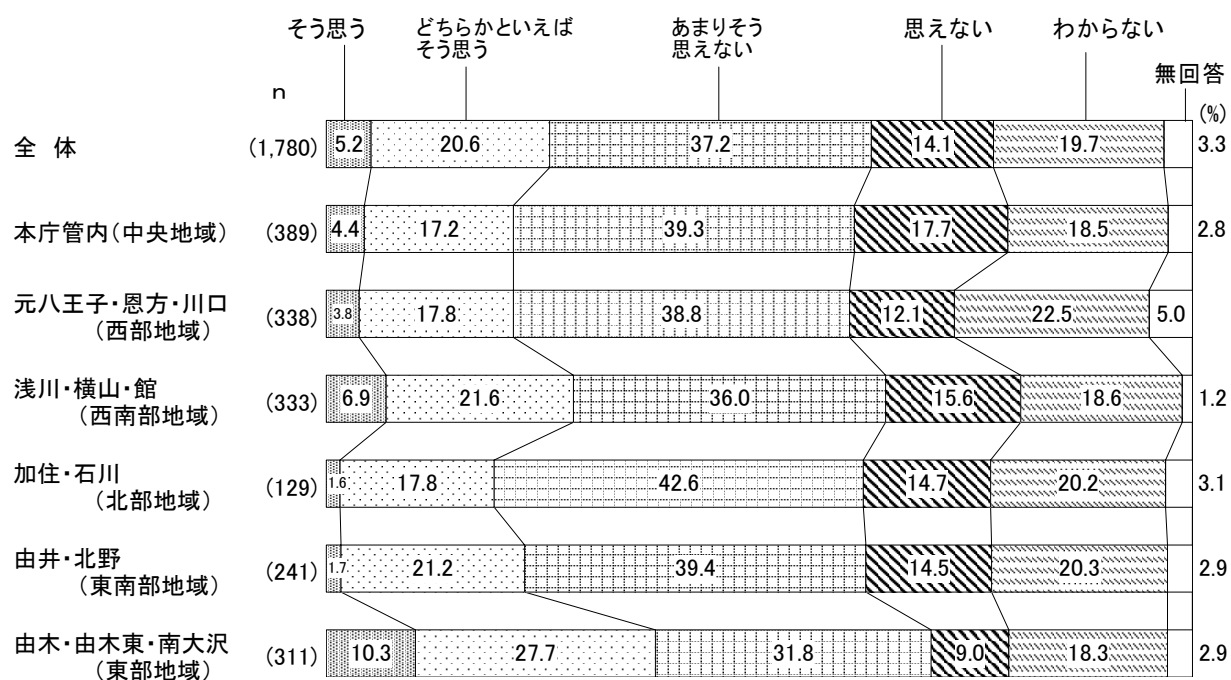
図6-17-2 市は景観に配慮されたまちであるかー性別・年齢別



性別にみると、男性のほうが『思えない』が5.9ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代・50歳代で『思えない』が5割台半ばと高く、60歳以上で『そう思う』が約3割と比較的高くなっている。(図6-17-2)

図 6-17-3 市は景観に配慮されたまちであるかー居住地域別



居住地域別にみると、『思えない』は本庁管内（中央地域）と加住・石川（北部地域）で6割弱と高く、『そう思う』は由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割弱と特に高くなっている。

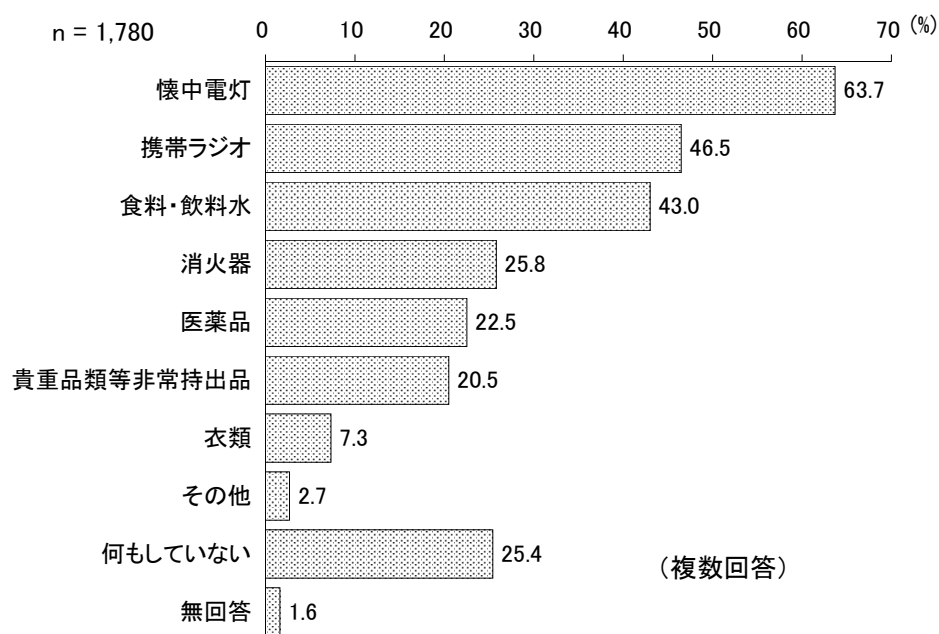
(図 6-17-3)

6-18 災害に対する準備

◇「懐中電灯」が6割強と突出

問43 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。(〇はいくつでも)

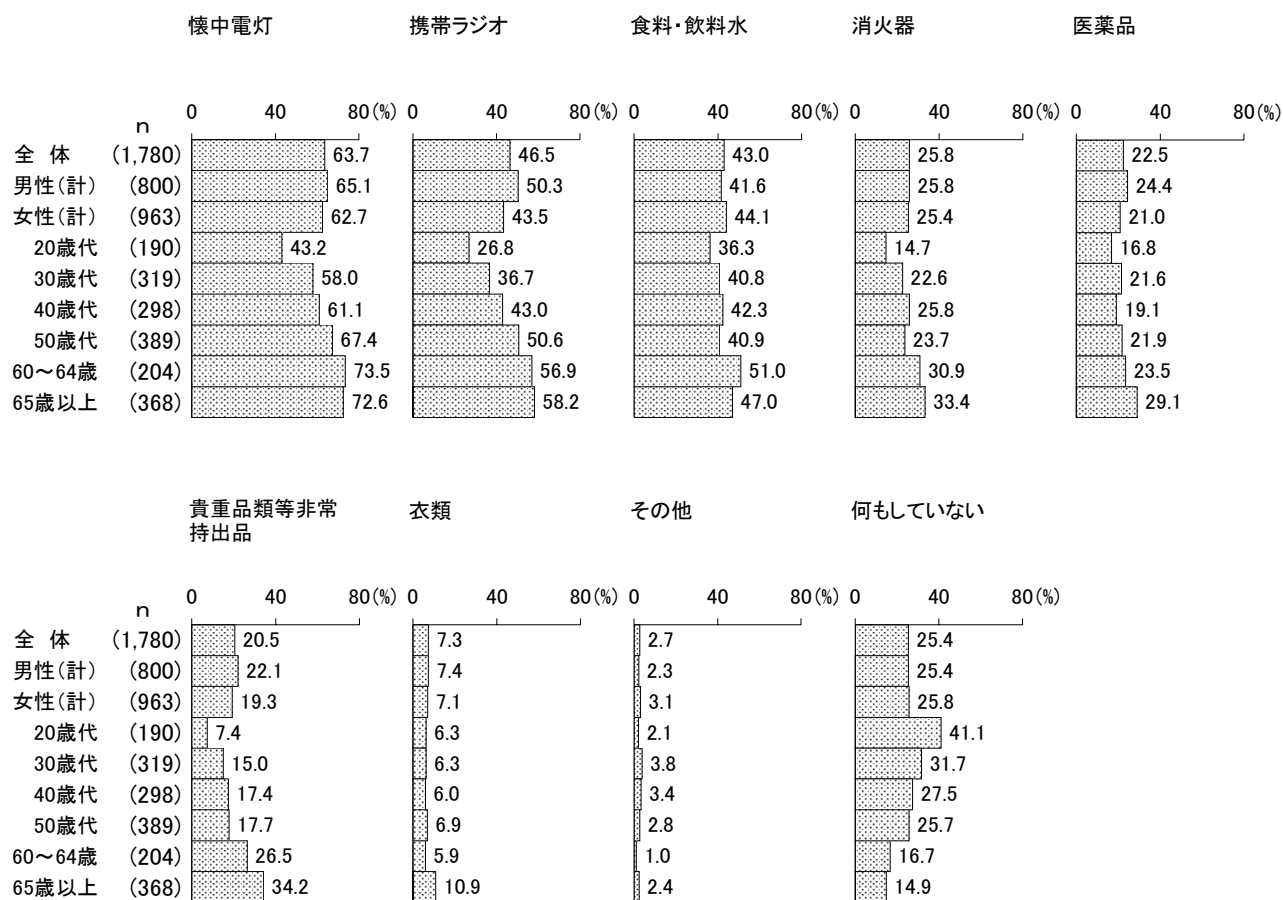
図 6-18-1



大地震等の災害に備えた準備についてきいたところ、「懐中電灯」が6割強（63.7%）と最も高く、ついで「携帯ラジオ」（46.5%）、「食料・飲料水」（43.0%）、「消火器」（25.8%）の順が続いている。

(図 6-18-1)

図 6-18-2 災害に対する準備—性別・年齢別



性別にみると、「携帯ラジオ」は男性のほうが6.8ポイント高くなっている。

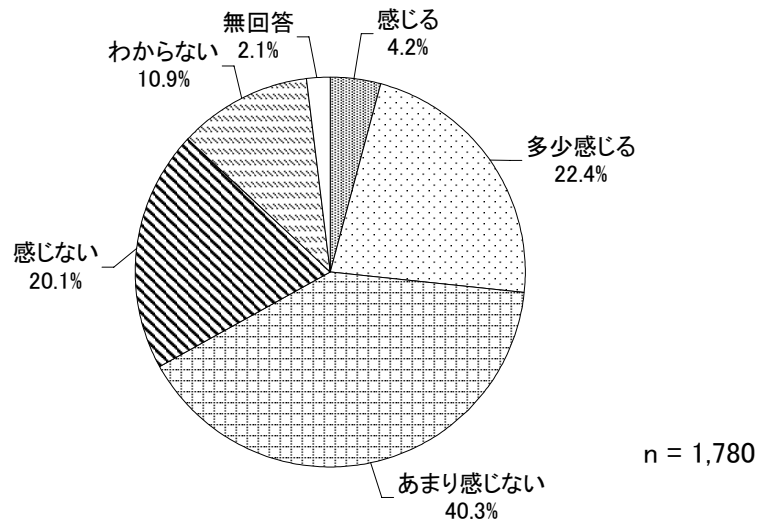
年齢別にみると、「懐中電灯」、「携帯ラジオ」、「消火器」、「医薬品」、「貴重品類等非常持出品」は、年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にある。「何もしていない」は年齢が低くなるほど割合が増加する傾向にあり、20歳代は4割強（41.1%）と高くなっている。（図 6-18-2）

6-19 市のにぎわいと活力の有無

◇『感じない』が6割

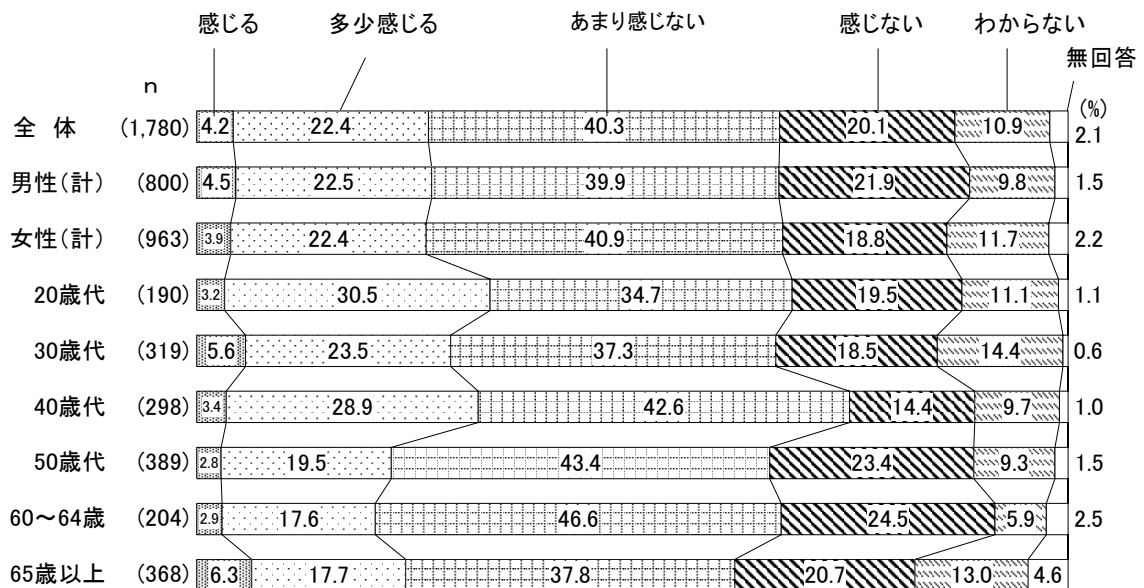
問44 あなたは、本市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ)

図6-19-1



八王子市がにぎわいと活力があるまちであると感じるか聞いたところ、「あまり感じない」が約4割(40.3%)と最も高く、「感じない」(20.1%)と合わせた『感じない』は約6割(60.4%)である。「感じる」(4.2%)と「多少感じる」(22.4%)を合わせた『感じる』は2割台半ば(26.6%)となっている。(図6-19-1)

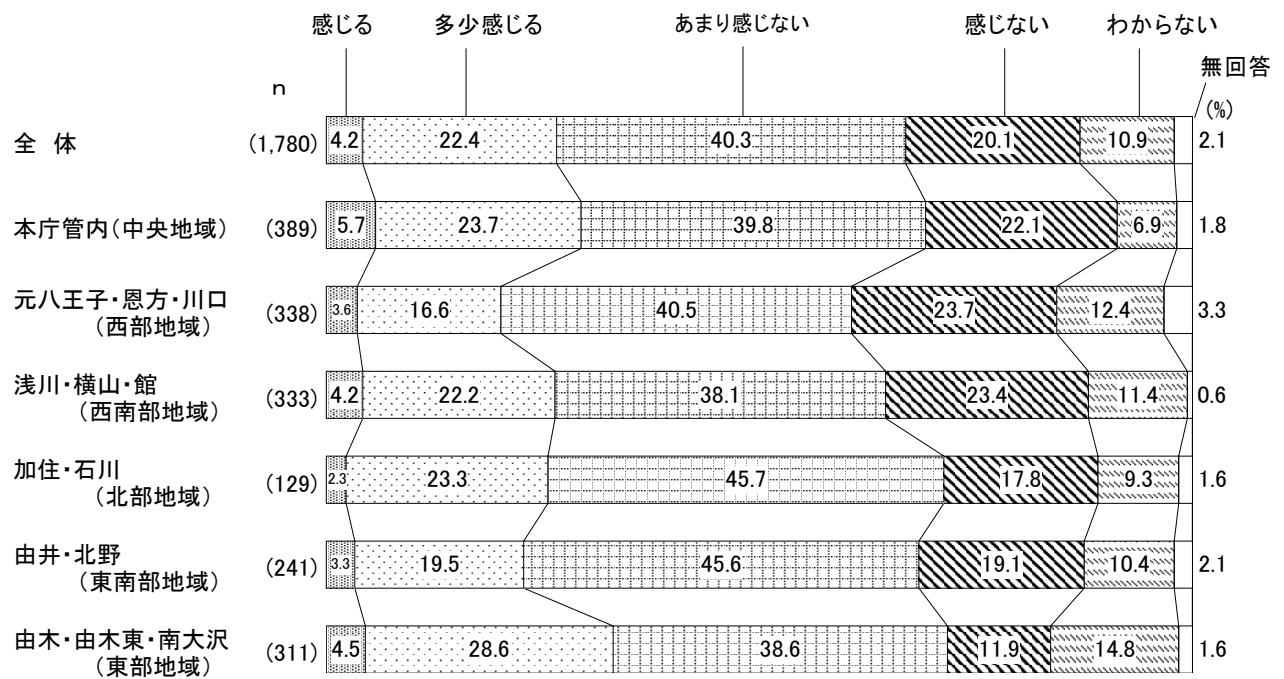
図6-19-2 市のにぎわいと活力の有無－性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、『感じる』は20歳代～40歳代で3割前後と高くなっている。(図6-19-2)

図 6-19-3 市のにぎわいと活力の有無－居住地域別



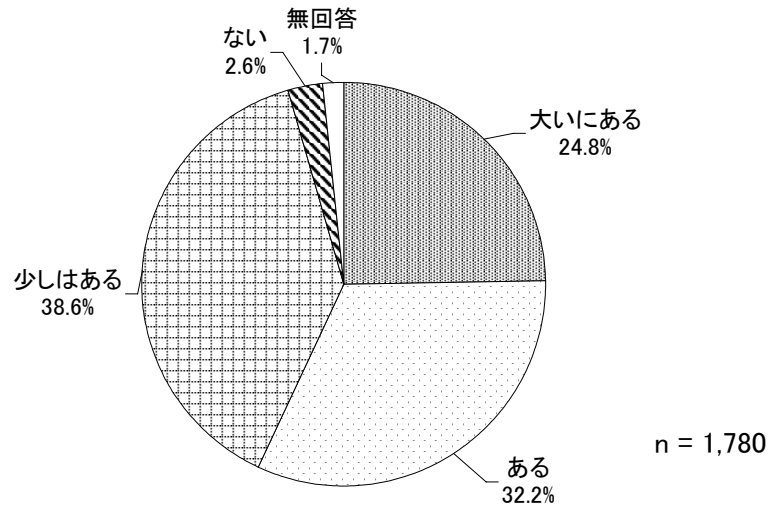
居住地域別にみると、『感じる』は由木・由木東・南大沢（東部地域）、本庁管内（中央地域）で3割前後と高く、元八王子・恩方・川口（西部地域）で約2割と低くなっている。（図 6-19-3）

6-20 環境問題への関心度

◇環境問題に関心が『ある』人は9割を超える

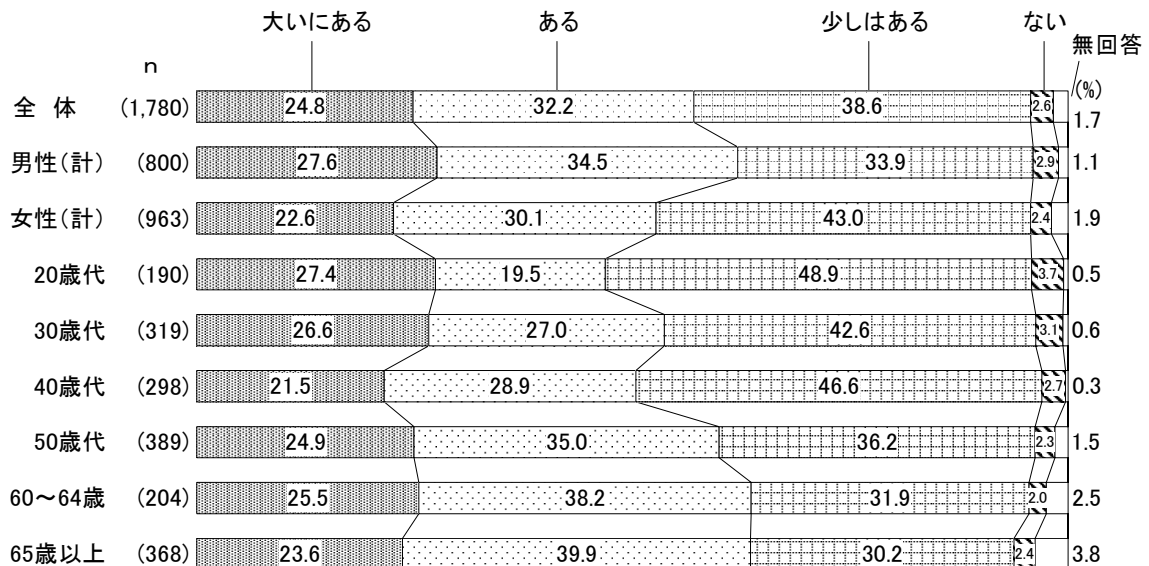
問45 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ)

図6-20-1



環境問題に関心があるかどうかについて聞いたところ、「大いにある」が2割台半ば（24.8%）、「ある」（32.2%）と「少しはある」（38.6%）が3割台となっていて、三項目をあわせた『ある』は9割半ば（95.6%）と高くなっている。一方で「ない」はわずか2.6%となっている。（図6-20-1）

図6-20-2 環境問題への関心度－性別・年齢別

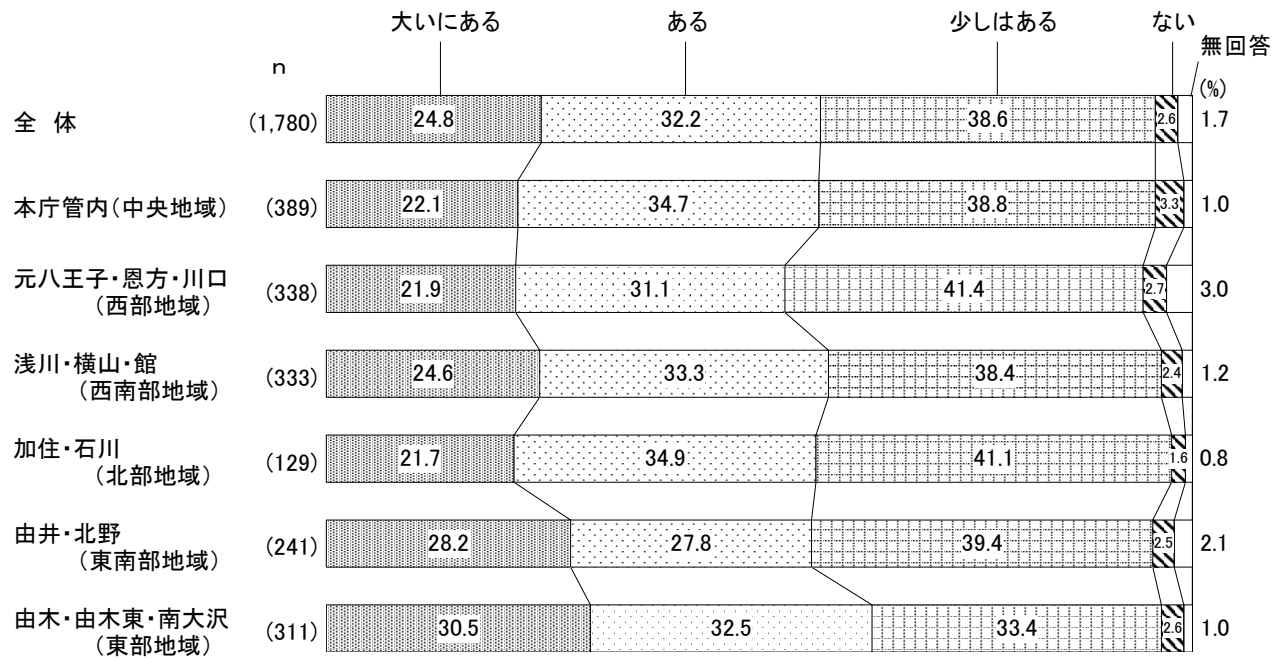


性別にみると、男性のほうが「大いにある」と「ある」の計が9.4ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「大いにある」と「ある」の計は50歳代以上で6割前後と高くなっている。

（図6-20-2）

図 6-20-3 環境問題への関心度—居住地域別



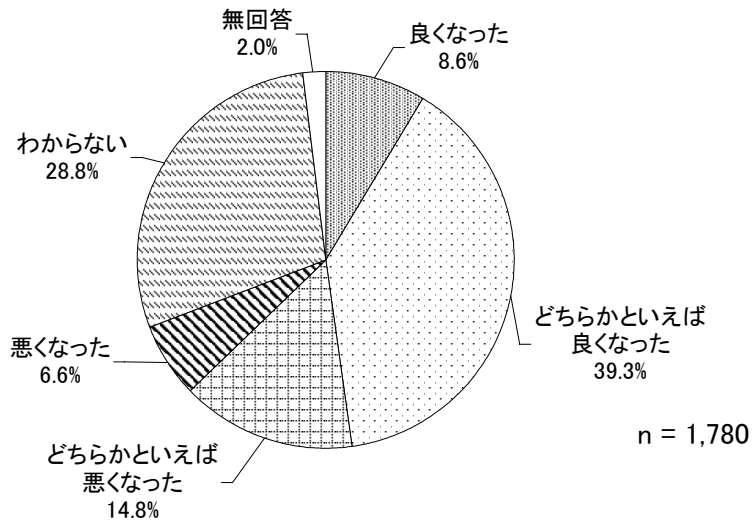
居住地域別にみると、「大いにあり」は由井・北野（東南部地域）と由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割前後と高くなっている。（図 6-20-3）

6-21 市の現在の環境

◇『良くなった』が5割弱

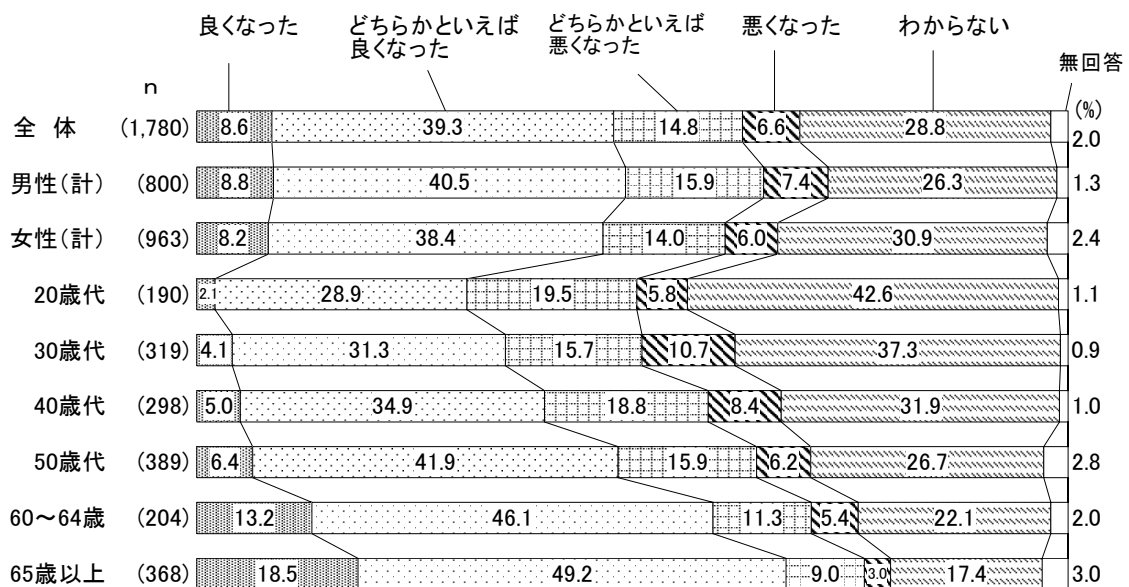
問46 あなたは、本市の環境（水、緑、ごみ、大気など）が以前と比べどうなったと感じていますか。（○は1つだけ）

図6-21-1



市の環境が以前と比べてどうなったと感じるか聞いたところ、「良くなった」（8.6%）と「どちらかといえば良くなった」（39.3%）を合わせた『良くなった』は5割弱（47.9%）となっている。一方、「どちらかといえば悪くなった」（14.8%）と「悪くなった」（6.6%）を合わせた『悪くなった』は2割強（21.4%）となっている。（図6-21-1）

図6-21-2 市の現在の環境—性別・年齢別

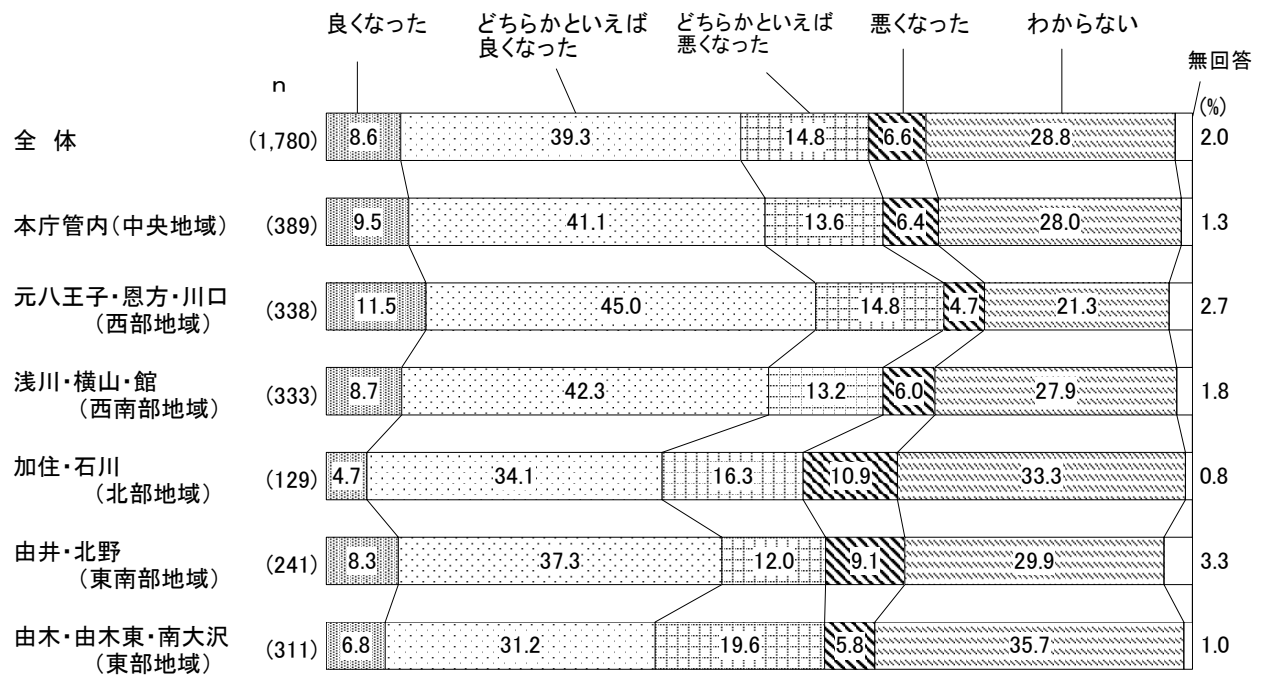


性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど『良くなった』の割合が増加する傾向がみられる。

(図6-21-2)

図 6-21-3 市の現在の環境－居住地域別



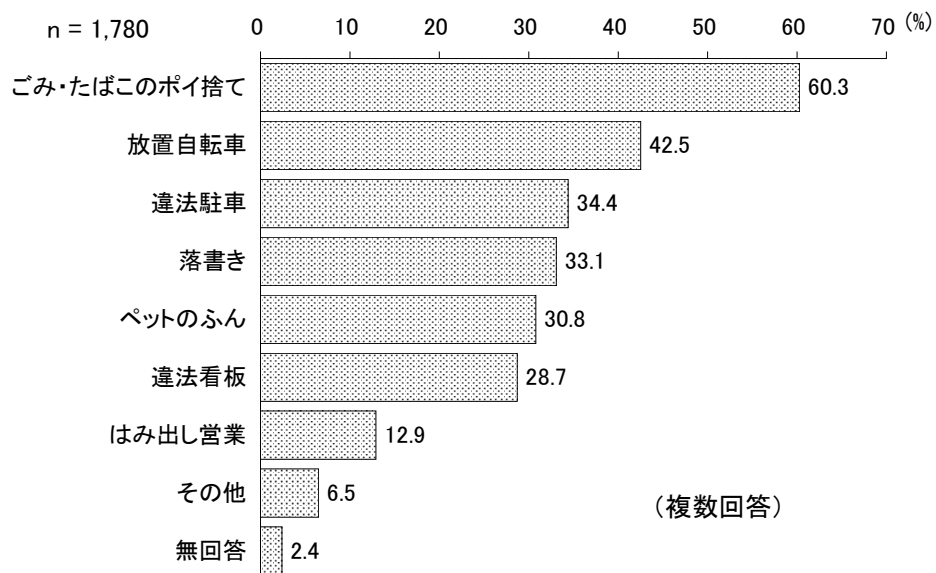
居住地域別にみると、『良くなった』は元八王子・恩方・川口（西部地域）で5割台半ば（56.5%）と最も高く、加住・石川（北部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割弱と低くなっている。（図 6-21-3）

6-22 都市の美観が損なわれる原因

◇「ごみ・たばこのポイ捨て」が6割と突出

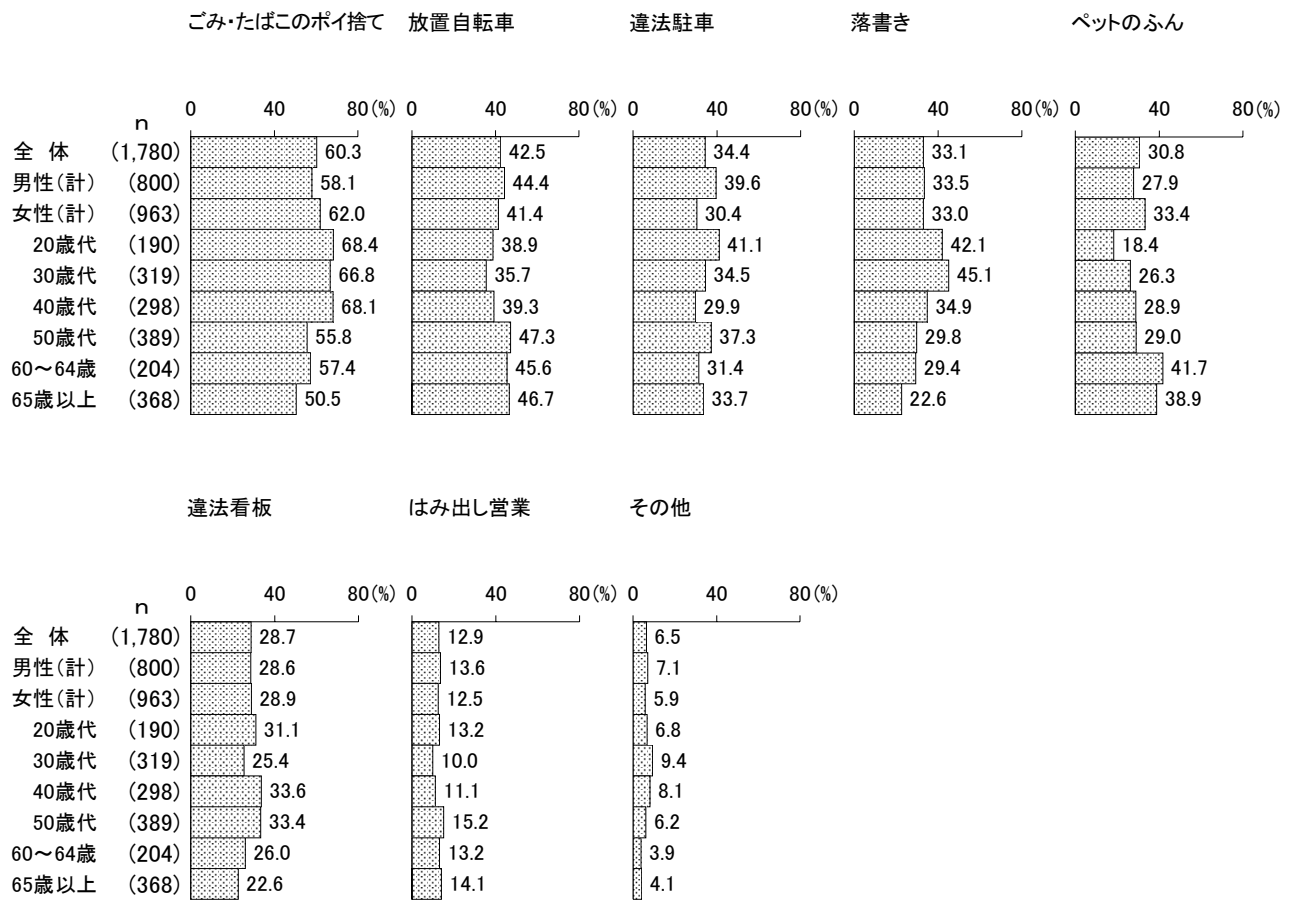
問47 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。（○は3つまで）

図6-22-1



都市の美観が損なわれる主な原因について聞いたところ、「ごみ・たばこのポイ捨て」が約6割（60.3%）と最も高く、ついで「放置自転車」（42.5%）、「違法駐車」（34.4%）、「落書き」（33.1%）の順が続いている。（図6-22-1）

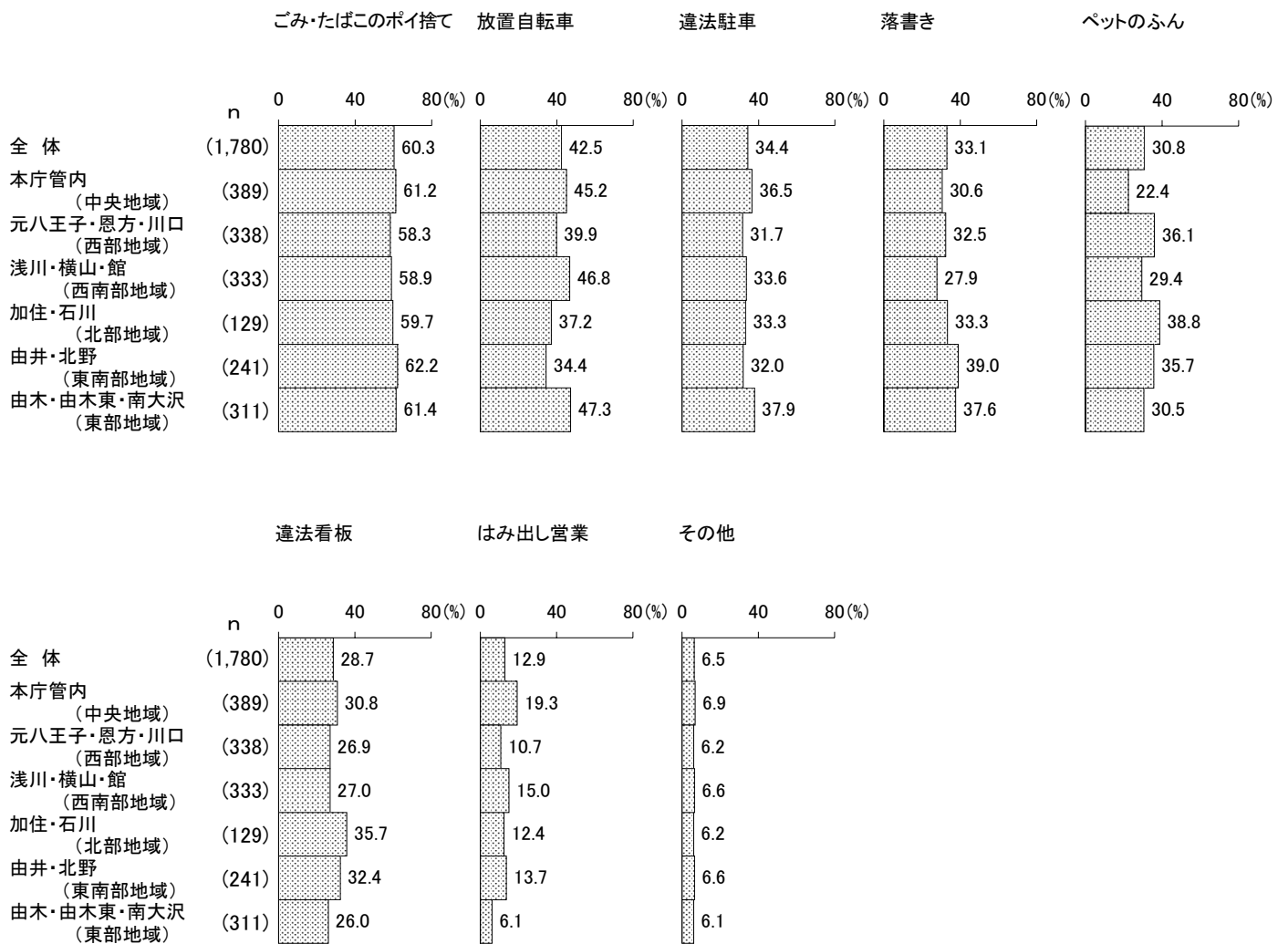
図 6-22-2 都市の美観が損なわれる原因－性別・年齢別



性別にみると、「違法駐車」は男性のほうが9.2ポイント高く、「ペットのふん」は女性のほうが5.5ポイント高くなっている。

年齢別にみると、「ごみ・たばこのポイ捨て」は20歳代～40歳代で6割台と高く、「落書き」は20歳代・30歳代で4割台と高い。「ペットのふん」は年齢が高くなるほど割合が増加する傾向にあり、60歳以上では4割前後を占めている。(図 6-22-2)

図 6-22-3 都市の美観が損なわれる原因－居住地域別



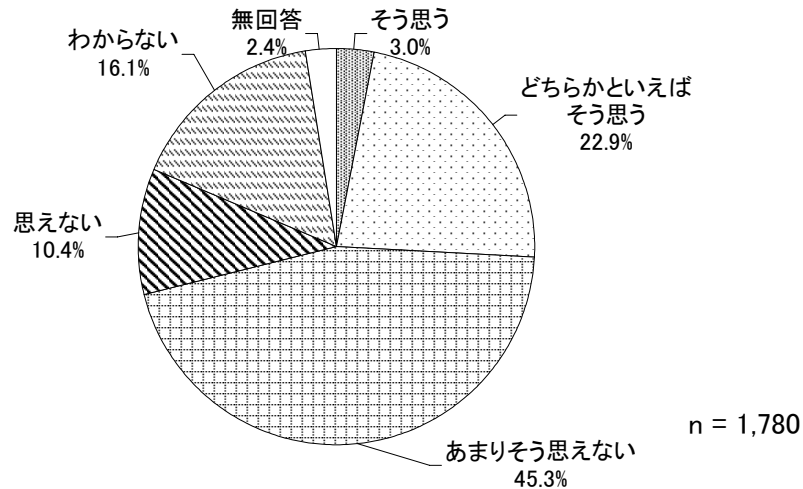
居住地域別にみると、「放置自転車」は本庁管内（中央地域）、浅川・横山・館（西南部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割台半ばと高く、「落書き」は由井・北野（東南部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）で4割弱と高くなっている。（図 6-22-3）

6-23 市は美観が保持されたまちだと思うか

◇『思えない』が5割台半ば

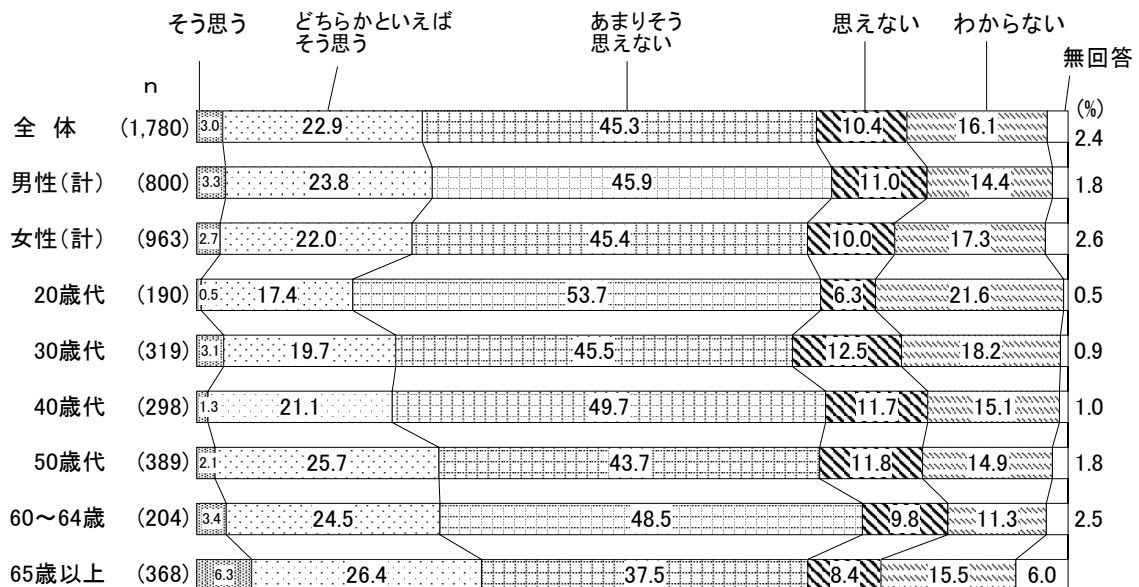
問48 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ)

図6-23-1



八王子市は美観が保持されたまちだと思うかどうか聞いたところ、「あまりそう思えない」が4割台半ば（45.3%）と最も高く、「思えない」（10.4%）と合わせた『思えない』が5割台半ばとなっている。（図6-23-1）

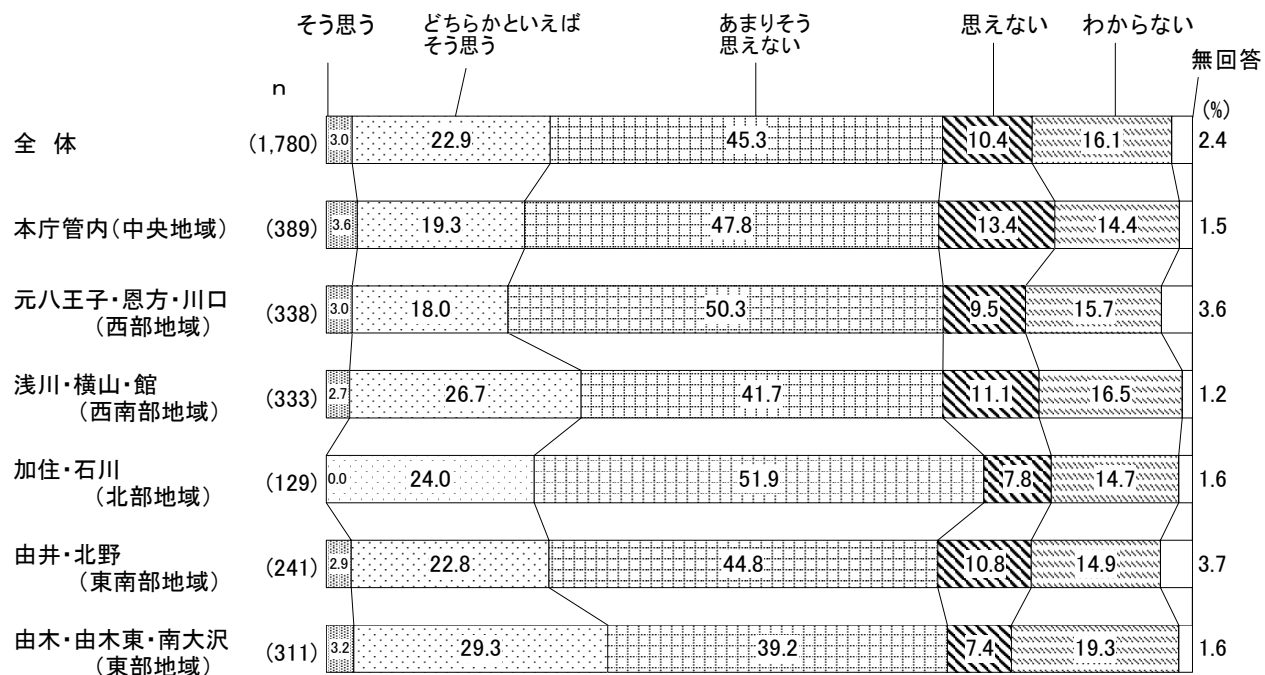
図6-23-2 市は美観が保持されたまちだと思うかー性別・年齢別



性別には大きな差はみられない。

年齢別にみると、年齢が高くなるほど「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う』の割合が増加する傾向がみられる。（図6-23-2）

図 6-23-3 市は美観が保持されたまちだと思うかー居住地域別



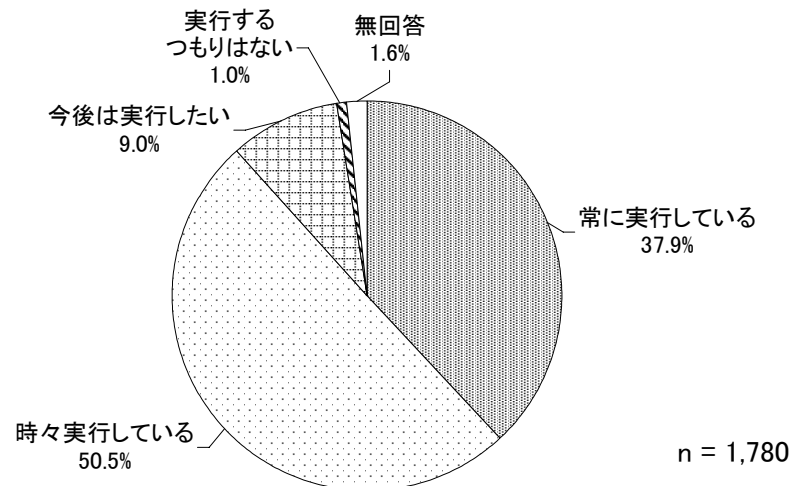
居住地域別にみると、『そう思う』は浅川・横山・館（西南部地域）、由木・由木東・南大沢（東部地域）で3割前後と高くなっている。（図 6-23-3）

6-24 省エネ・省資源を実行しているか

◇『実行している』が9割弱の大多数

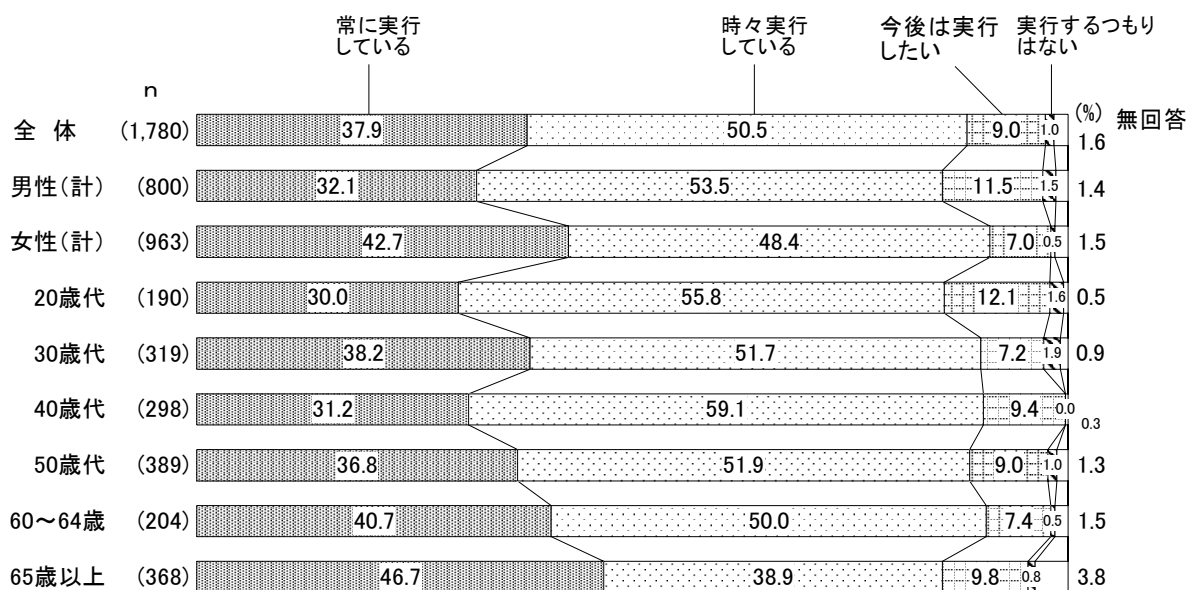
問49 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行していますか。(○は1つだけ)

図6-24-1



省エネ・省資源の実行について聞いたところ、「常に行っている」が4割弱 (37.9%)、「時々実行している」が5割を超え (50.5%)、両者をあわせた『実行している』は9割弱 (88.4%) と高くなっている。(図6-24-1)

図6-24-2 省エネ・省資源を実行しているかー性別・年齢別



性別にみると、女性のほうが「常に行っている」が10.6ポイント高くなっている。

年齢別にみると、40歳代以降、年齢が高くなるほど「常に行っている」の割合が増加する傾向がみられる。(図6-24-2)

Ⅲ 調査票

平成 19 年（第 39 回）八王子市市政世論調査

市政世論調査へのご協力をお願い

市では、市民の皆さんの生活環境への意識、市の施策等に対する評価及び市政への意見・要望を把握し、まちづくりに有効に活用していくために、毎年市政世論調査を実施しています。また、この調査を通じて市民の皆さんの市政への参加を図り、市民の皆さんと市との協働によるまちづくりを推進していきます。

この調査の対象者は、市内にお住まいの 20 歳以上の方々から無作為に 3,000 名を選ばせていただきました。また、調査は無記名で、調査結果につきましては統計的な処理をいたしますので、個人的にご迷惑をおかけすることはありません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いします。

平成 19 年 5 月

八王子市長 黒須 隆一

【ご記入にあたってのお願い】

1. ご回答は、**必ずあて名のご本人**がご記入ください。
(無記名ですので、氏名・住所の記入の必要はありません。)
2. ご回答は、次の要領で行ってください。
 - あらかじめ設けてある**選択肢の中から選んで番号に○印をつけてください。**
 - 回答の○の数は、(○は1つだけ)(○は3つまで)(○はいくつでも)**などのように指定していますので、それに合わせてください。
 - ご自分の答えが選択肢の中にない場合などは、「その他」を選び、「(具体的に)」内にその内容を具体的に記入してください。**
 - 質問は、1 ページから順に最後までお答えください。**なお、問○-1 のように、**一部の方だけにお答えいただく質問もありますが、その場合は矢印や説明文に従ってお答えください。**

◎ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、

平成 19 年 5 月 25 日(金)までにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

※ ご協力いただいた方には、後日、調査結果報告書（概要版）をお送りします。

《お問い合わせ先》 八王子市総合政策部広聴広報室（広聴担当）まで

電 話：042-620-7411（直通）

（月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分）

＜あなたご自身について＞ ～基本項目（フェイス・シート）～

最初にあなたご自身のことについておたずねします。

F 1 あなたの性別は、次のどちらにあたりますか。（○は1つだけ） n=1,780

1	男性	44.9	2	女性	54.1	(無回答)	1.0
---	----	------	---	----	------	-------	-----

F 2 あなたの年齢は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ） n=1,780

1	20歳代	10.7	3	40歳代	16.7	5	60～64歳	11.5
2	30歳代	17.9	4	50歳代	21.9	6	65歳以上	20.7
							(無回答)	0.7

F 3 あなたご自身は、次のどれにあたりますか。（○は1つだけ） n=1,780

1	20～39歳で単身者	14.4
2	20～39歳で配偶者がいて子どもがいない	3.1
3	20～64歳で一番下の子どもが小学校入学前	9.7
4	20～64歳で一番下の子どもが小学生	7.4
5	20～64歳で一番下の子どもが中学・高校生	7.6
6	20～64歳で一番下の子どもが高校を卒業している	23.4
7	40～64歳で単身者	7.1
8	40～64歳で配偶者がいて子どもがいない	4.9
9	65歳以上	20.7
	(無回答)	1.7

F 4 あなたの世帯は、次のように分類した場合、どれにあたりますか。ご自分の立場（自分が親、自分が子ども）にかかわらず、世帯構成をお答えください。（○は1つだけ） n=1,780

1	ひとり暮らし（単身世帯）	8.7	4	親と子ども夫婦（二世帯世帯）	6.9
2	夫婦のみ（一世帯世帯）	20.1	5	親と子どもと孫（三世帯世帯）	9.7
3	親と未婚の子ども（二世帯世帯）	51.4	6	その他（具体的に）	2.1
				(無回答)	1.2

F 5 現在、一緒に暮らしているご家族は、あなたを含めて何人ですか。（○は1つだけ） n=1,780

1	1人	8.7	3	3人	26.0	5	5人	8.9	7	7人以上	1.9
2	2人	26.6	4	4人	22.8	6	6人	4.1		(無回答)	1.2

F 6 あなたは、八王子市に住んで何年になりますか。（○は1つだけ） n=1,780

1	1年未満	2.6	3	3～10年未満	16.1	5	20年以上	39.1
2	1～3年未満	4.1	4	10～20年未満	16.5	6	生まれてからずっと	21.0
							(無回答)	0.5

F 7 あなたのご職業は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 農・林・漁業	0.6	7 アルバイト・パート	14.0
2 自営業	7.0	8 (専業)主婦・主夫	20.4
3 自由業(開業医、弁護士、司法書士など)	1.2	9 学生	1.7
4 会社や団体の役員	4.2	10 その他(具体的に)	1.7
5 会社・商店・サービス業などの勤め人	28.1	11 無職	14.5
6 教員・公務員	5.2	(無回答)	1.4

▶ (F 7で、「1」から「7」とお答えの方に)

F 7-1 あなたの職場は、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,074

1 八王子市内	50.1	2 八王子市外	43.3	(無回答)	6.6
---------	------	---------	------	-------	-----

F 8 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 一戸建て(持ち家)	62.6	5 都市再生機構(旧公団)	
2 分譲マンション	15.7	・公社の賃貸住宅	1.5
3 一戸建て(借家)	2.8	6 都営・市営住宅	6.1
4 民間の賃貸アパート・マンション	8.0	7 社宅・官舎・寮	1.9
		8 その他(具体的に)	0.3
		(無回答)	1.1

F 9 あなたのお住まいは、次のように各事務所の区域に分類した場合、どの地区にあたりますか。

(○は1つだけ)

n=1,780

※該当する地区が不明な場合は、()内にお住まいの町名をご記入ください。

1 本庁管内(中央地域)	21.9	9 石川地区	5.7
2 元八王子地区	10.2	10 由井地区	6.2
3 恩方地区	2.7	11 北野地区	7.3
4 川口地区	6.1	12 由木地区	5.7
5 浅川地区	4.6	13 由木東地区	4.0
6 横山地区	9.8	14 南大沢地区	7.8
7 館地区	4.3	15 不明(お住まいの町名)	0.3
8 加住地区	1.6	(無回答)	1.9

F 10 あなたのご家庭は、町会や自治会に入っていますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 入っている	80.3	2 入っていない	19.0	(無回答)	0.7
---------	------	----------	------	-------	-----

第 1 章

<定住意向>

問 1 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(○は1つだけ) n=1,780

1 ずっと住み続けたい	44.8	3 市外へ移りたい	11.6
2 当分は住み続けたい	42.6	(無回答)	1.0

▶ (問1で「1 ずっと住み続けたい」または「2 当分は住み続けたい」とお答えの方に)

問 1-1 住み続けたい主な理由は何ですか。(○は3つまで) n=1,556

1 緑が多く自然に恵まれている	56.8	6 古き良きものが多い	5.4
2 交通の便が良い	31.6	7 街並み・景観が美しい	10.6
3 買い物に便利	23.9	8 公園などがよく整備されている	10.7
4 地域住民の連帯感が強い	8.9	9 その他(具体的に)	16.1
5 教育環境が良い	4.9	10 特に理由はない	14.3
		(無回答)	1.7

→ (問1で「3 市外へ移りたい」とお答えの方に)

問 1-2 市外へ移りたい主な理由は何ですか。(○は3つまで) n=207

1 自然環境が悪い	4.8	6 住宅事情が悪い	9.2
2 交通の便が悪い	42.0	7 公害が多い	7.2
3 買い物に不便	31.9	8 街の雰囲気が嫌い	21.3
4 隣近所となじめない	6.3	9 その他(具体的に)	42.5
5 この街に愛着がない	20.8	10 特に理由はない	5.3
		(無回答)	1.4

問2 あなたは、周囲の生活環境について日頃どのように感じていますか。

(1)～(16)の各項目それぞれについてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

n=1,780

項 目	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	(無回答)
(1) 日当たりや風通し	52.4	16.7	19.8	7.5	2.6	1.0
(2) 大気汚染	21.7	16.9	42.1	12.2	4.9	2.2
(3) 騒音・振動	24.3	16.9	32.1	16.4	8.5	1.7
(4) 災害時の安全性	13.7	13.1	54.0	12.5	4.0	2.6
(5) 下水・排水	34.4	12.4	42.8	5.6	3.3	1.5
(6) し尿処理	39.2	10.1	43.8	2.5	1.5	3.0
(7) ごみ処理	32.0	18.2	39.9	6.0	2.4	1.6
(8) 防犯や風紀	12.0	17.7	48.3	15.5	4.7	1.8
(9) 病院などの医療施設	10.3	15.0	45.2	20.4	7.6	1.5
(10) 集会施設	11.5	12.1	57.9	11.2	4.4	2.9
(11) 公園・遊び場	13.3	18.4	40.5	17.2	8.4	2.2
(12) 道路の整備状況	15.0	16.2	42.1	17.0	7.9	1.7
(13) 緑の豊かさ	38.7	27.6	25.2	5.5	1.1	1.9
(14) 交通の便	20.1	19.9	29.5	18.4	11.0	1.1
(15) 交通の安全性	11.0	14.1	48.3	18.1	6.6	1.9
(16) 全体としての「住みやすさ」	16.3	29.0	43.7	8.0	1.7	1.3

＜市政への要望＞

問3 市政全般において、あなたが特に力を入れてほしいと思う施策は何ですか。次の1～35の中から3つ選び、下の回答欄内に番号をご記入ください。 n=1,780

1	2	3

1 財政の健全化	26.3	19 交通安全対策	5.2
2 行財政改革	9.3	20 防犯対策	24.3
3 学校教育	14.5	21 防災対策	7.9
4 青少年の健全育成	9.0	22 高度情報化社会への対応	1.5
5 生涯学習	3.3	23 商・工業などの地域経済対策	6.5
6 文化施設・文化事業	5.6	24 道路整備	10.8
7 国際化の推進	0.6	25 交通機関・駐車場の整備	8.1
8 コミュニティづくり	2.6	26 緑の保全や公園の整備	9.8
9 学園都市づくり	0.4	27 下水道処理	1.3
10 男女共同参画社会づくり	0.6	28 都市整備事業（再開発、区画整理等）	3.3
11 保健医療	26.6	29 清掃事業（ごみ、し尿処理、リサイクル）	5.0
12 介護保険	14.7	30 公害防止対策	3.0
13 社会福祉（ひとり親、低所得者）	10.9	31 都市景観	3.4
14 高齢者福祉	29.0	32 観光・レクリエーション	2.3
15 障害者福祉	5.3	33 不法投棄・放置対策	
16 少子化対策・子育て支援	15.7	（自動車、自転車、バイク、ごみ等）	12.0
17 消費者保護	3.5	34 その他（具体的に ）	2.9
18 住宅対策	2.8	35 特にない	0.9
		（無回答）	1.5

くみどりに関する意識について

八王子の最大の魅力のひとつである豊かなみどりも、それを維持する後継者不足や宅地化などにより年々減少が続いています。そこで、市民の皆さんのみどりに関する意識や考えをお聞きし、今後、本市のみどりの特性を活かした豊かなまちづくりを推進するための参考にさせていただきます。

問4 お住まい周辺の樹木や草花のみどりは、5年くらい前に比べてどのように感じていますか。

(○は1つだけ)

n=1,780

1 増えている	5.3	2 減っている	40.8	3 変わらない	51.2	(無回答)	2.6
---------	-----	---------	------	---------	------	-------	-----

問5 お住まい周辺のみどりは、今後どのようになるとよいと思いますか。(○は1つだけ) n=1,780

1 増えたほうがよい	52.3	2 減ったほうがよい	0.9	3 このままでよい	45.7
				(無回答)	1.1

▶ (問5で「1 増えたほうがよい」とお答えの方に)

問5-1 市内にみどりを増やそうとする場合に、最も効果的だと思われる場所はどこですか。

(○は1つだけ)

n=931

1 個人住宅の庭や生け垣	12.8	4 学校、役所などの公共施設	6.6
2 街路樹	36.3	5 工場、会社などの民間施設	9.6
3 公園	23.8	6 その他(具体的に)	4.8
		(無回答)	6.1

▶ (問5で「1 増えたほうがよい」とお答えの方に)

問5-2 みどりを守り育てていくために、今後、市はどのようなことに力を入れてほしいと思いますか。(○は2つまで)

n=931

1 公園や緑地を整備する	37.6	6 学校などで緑化教育や実践教育を行う	15.6
2 緑地を買収する	15.6	7 樹林、樹木を保全する	29.3
3 公共施設の緑化を進める	17.5	8 民有地の生け垣づくりに助成する	7.8
4 街路樹、植え込みを充実する	33.6	9 みどりを大切にすPR活動をする	6.8
5 苗木、花などを配付する	11.3	10 その他(具体的に)	4.1
		(無回答)	1.3

問6 日頃からみどりを増やすことをしていますか。(○はいくつでも)

n=1,780

1 庭木を植えている	47.6	5 部屋やベランダに鉢物を置いている	46.7
2 塀を生け垣にしている	11.5	6 その他(具体的に)	2.4
3 花壇や芝生を作っている	32.2	7 何もしていない	18.7
4 盆栽などを育てている	9.8	(無回答)	2.3

問7 お住まいの地域で「美しいみどり」といえば何を思いうかべますか。(〇は2つまで) n=1,780

1	広場、遊び場、公園のみどり	42.1	6	雑木林、山林のみどり	48.4
2	寺、神社のみどり	13.1	7	田畑のみどり	10.0
3	街路樹のみどり	42.1	8	その他（具体的に)	2.0
4	生け垣のみどり	7.7	9	わからない	2.1
5	学校のみどり	5.7		(無回答)	0.7

問8 みどりには、いろいろな役割があると思われますが、あなたが大切だと思うのはどれですか。

(〇は2つまで)

n=1,780

1	心に安らぎを与える	61.1	6	美しいまちなみをつくる	22.7
2	木かげの涼しさを与える	19.4	7	動植物とのふれあいが楽しめる	9.4
3	二酸化炭素を吸収してくれる	37.5	8	文化的雰囲気がある	1.8
4	季節感を与える	38.4	9	その他（具体的に)	0.7
5	火災延焼防止に役立つ	1.3	10	わからない	0.3
				(無回答)	0.2

問9 みどりがあるために迷惑だと思うときがありますか。(〇は1つだけ)

n=1,780

1	ある	33.7	2	ない	64.8	(無回答)	1.5
---	----	------	---	----	------	-------	-----

▶ (問9で「1 ある」とお答えの方に)

問9-1 迷惑と思うのはどのようなことですか。(〇は2つまで)

n=600

1	毛虫や蚊などの虫が増える	48.3	6	隣近所の樹木が伸びてきて邪魔である	24.3
2	落葉などの清掃が大変である	45.7	7	その他（具体的に)	12.7
3	日当たりが悪くなる	9.0	8	特にない	0.7
4	風通しが悪くなる	1.8	9	わからない	-
5	風紀（防犯）上問題が多い	19.8		(無回答)	-

問10 お住まい周辺にどのような公園があればよいと思いますか。(〇は2つまで)

n=1,780

1	多目的に使えるように広々としている	24.3	8	環境学習の場	2.6
2	みどりが豊かである	20.2	9	地域活動の場	4.3
3	自然と親しめる	19.7	10	散策ができる	37.7
4	昆虫などの生息の場	5.4	11	水辺がある	14.1
5	遊び場	9.2	12	交流の場	3.3
6	スポーツができる	13.7	13	その他（具体的に)	2.6
7	憩いの場	18.1	14	特に希望することはない	4.9
				(無回答)	1.7

問11 今後、みどりの環境づくり（維持・管理なども含む）をどのように行えばよいと思いますか。

（○は1つだけ）

n=1,780

1	市民が主体となって行う	1.6	4	行政が主体となり、	
2	市民が主体となり、 行政が支援して進める	15.9	5	一部市民が協力する	33.5
3	行政と市民が共に責任を持ち 分担して進める	33.9		行政が主体となって行う （無回答）	12.9 2.2

問12 市民の方々がみどりの環境づくりに関わっていただくためには、どのような支援が必要だと思いますか。（○は2つまで）

n=1,780

1	市民活動に関する情報提供	37.6	4	行政や専門家等による人的支援	40.1
2	活動する場所の提供	22.0	5	活動に必要な道具の提供	12.9
3	活動するための助成金等の経済的支援	43.2	6	その他（具体的に （無回答）	1.5 4.4

問13 みどりの環境づくりにどのように関わっていきたいと考えていますか。（○は1つだけ） n=1,780

1	NPOや地域の活動団体などに参加し、積極的に活動したい	2.0
2	協力する機会と場所があれば関わりたい	25.0
3	積極的な活動はできないが、イベント等があれば参加したい	34.8
4	「1～3」以外の形で関わりたい	2.8
5	関わりは考えていない	21.0
6	わからない （無回答）	11.3 3.1

▶（問13で「1・2・3・4」のいずれかをお答えの方に）

問13-1 参加したり、協力する場合、どこで活動したいと思いますか。（○は2つまで） n=1,150

1	身近な公園	75.9	5	農地	7.6
2	学校や駅前などの植え込み	18.8	6	山間部	5.9
3	街路樹	18.5	7	その他（具体的に （無回答）	2.3 2.3
4	雑木林	14.2			

問14 みどりの将来像に対するご提言、ご意見がありましたらご記入ください。

＜道路整備に対する意識について＞

この設問は、市民の皆さんの道路整備に対する意識や意見を調査・把握し、今後の道路行政の参考とするためのものです。

調査結果は、市民の皆さんが満足できる効果的な事業展開を図るため、今後、地域事情に応じた整備方法の基礎データとして活用していきます。

問15 あなたは、自動車運転免許を持っていますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 免許を持っている	76.0	2 免許を持っていない	23.0	(無回答)	1.0
------------	------	-------------	------	-------	-----

問16 あなたは、自動車を運転しますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 ほとんど毎日	32.6	4 月1、2回程度	4.1
2 週2、3回程度	16.9	5 ほとんど運転しない	6.9
3 週1回程度	8.1	6 全く運転しない	30.5
		(無回答)	1.0

問17 お住まい周辺の道路の本数が足りないと感じていますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 はい	20.6	2 いいえ	64.3	3 わからない	13.0
				(無回答)	2.1

▶(問17で「1 はい」とお答えの方に)

問17-1 道路の本数が足りないと感じている理由は、次のどれですか。(○は1つだけ)

n=367

1 行きたい方向に向かう道路がないから	19.1	4 高架道路がないから	1.9
2 渋滞が多いから	66.5	5 その他(具体的に)	3.5
3 橋が少ないから	8.7	(無回答)	0.3

問18 お住まい周辺の道幅が狭いと感じていますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 はい	46.2	2 いいえ	47.2	3 わからない	4.8
				(無回答)	1.9

▶(問18で「1 はい」とお答えの方に)

問18-1 道幅が狭いと感じている理由は、次のどれですか。(○は1つだけ)

n=822

1 災害時に消防車や救急車などの緊急車両が通れないから	12.9
2 自動車同士がスムーズにすれ違えないから	39.9
3 歩行者や自転車が安全に通れないから	42.7
4 その他(具体的に)	3.5
(無回答)	1.0

問19 お住まい周辺の道路の舗装が悪いと感じていますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 はい	24.8	2 いいえ	67.0	3 わからない	6.1	(無回答)	2.1
------	------	-------	------	---------	-----	-------	-----

▶(問19で「1 はい」とお答えの方に)

問19-1 道路の舗装が悪いと感じている理由は、次のどれですか。(○はいくつでも)

n=442

1 舗装されていないから	7.9	3 舗装が凸凹しているから	68.8
2 舗装されているが、 自動車が通ると振動を感じるから	24.4	4 舗装が割れているから	27.1
		5 その他(具体的に)	10.4
		(無回答)	0.2

問20 今後、お住まい周辺の道路には何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

n=1,780

1 新たな道路の整備	8.0	6 雨水排水施設(下水等)の整備	17.1
2 今ある道路を広げる又は歩道設置	33.5	7 今のままで十分	12.5
3 今ある道路の舗装補修・舗装改良	19.0	8 その他(具体的に)	5.9
4 今ある交差点の改良	15.5	9 わからない	3.0
5 照明灯の設置	33.5	10 特にな	7.0
		(無回答)	2.9

問21 車道と歩道の関係については、次のどちらを望みますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 車が多少渋滞しても、車道を狭くして、歩道を広げたほうが良い	30.5
2 車を渋滞しないように、歩道を狭くしても、車道を広げたほうが良い	16.7
3 わからない	45.5
(無回答)	7.3

問22 渋滞が発生する道路の原因は何だと思いますか。(○はいくつでも)

n=1,780

1 車の通行量が多いから	62.0	5 路上駐車があるから	47.0
2 交差点に右折車線がないから	36.7	6 その他(具体的に)	9.4
3 自動車や歩行者の青信号の時間が短いから	9.6	7 わからない	4.9
4 バス停があるから	10.2	(無回答)	2.4

問23 渋滞を解消するため、今後、最も進めてほしい対策はどれですか。(○は1つだけ)

n=1,780

1 比較的短期間で事業費も少なくすむ、右折車線を設置する局所的な交差点改良	37.4
2 交通量の分散を図るため、費用と時間がかかる、新しい道路整備	9.5
3 交通容量を向上するため、費用と時間がかかる、今ある道路の車線を増やす	6.2
4 橋を増やす	4.7
5 高架道路を増やす	8.8
6 その他(具体的に)	6.4
7 わからない	22.6
(無回答)	4.4

問24 あなたのお住まい周辺が道路拡幅のため、用地買収区域に入っていたとしたら、どう考えますか。
(○は1つだけ) n=1,780

1	地域の住民が望む環境改善になるなら協力する	25.8
2	買収等で自分の土地を提供するのは不本意だが条件により協力する	41.6
3	協力する気はない	5.8
4	別に気にならない	4.4
5	その他（具体的に)	1.9
6	わからない	18.2
	(無回答)	2.2

問25 市では、美化意識の向上と地域コミュニティを活性化する市民活動の一つとして「道路アドプト制度」があることを知っていますか。(○は1つだけ) n=1,780

*道路アドプト制度…管理者（市）と協働して道路の清掃や植栽の刈り込み・除草などを行う制度

1	地域で参加しているので知っている	3.1	4	町会からのお知らせ等で知っている	8.6
2	市の広報で知っている	8.3	5	知らない	77.2
3	市のホームページで知っている	0.7		(無回答)	2.0

問26 道路アドプト制度についてどう思いますか。(○はいくつでも) n=1,780

1	地域交流が活性化されるので推進したほうが良い	23.2
2	地域の美化意識が向上されるので推進したほうが良い	48.6
3	地域交流の活性化にはならない	3.6
4	道路の清掃は管理者（市）がしたほうが良い	14.6
5	その他（具体的に)	3.0
6	わからない	22.8
	(無回答)	3.5

問27 市では、平成17年10月から建物の新築・改築の際に生じる後退義務（セットバック）を活用して、*みなし道路の整備を行っていることを知っていますか。(○は1つだけ) n=1,780

*みなし道路…幅4m未満の道を特定行政庁（八王子市）が建築基準法第42条第2項の規定により指定し、道路とみなしたもの

1	みなし道路の協議を行ったので知っている	5.1
2	市の広報紙やホームページ等で知っている	11.3
3	知らない	81.1
	(無回答)	2.5

第 2 章

＜「八王子ゆめおりプラン」の施策指標の目標値に対する達成度＞

この章は、八王子市の基本構想・基本計画（「八王子ゆめおりプラン」）に掲げる施策が目的どおり成果を挙げているか、その達成度を計るため、調査させていただくものです。

問28 あなたは、市が市民協働のまちを進めていると感じますか。（○は1つだけ） n=1,780

「協働」とは、市民の皆さんと行政が、それぞれの立場や能力を理解、尊重しつつ、対等なパートナーとして連携し、課題に取り組むことをいいます。

1	そう思う	6.2	4	思えない	14.7
2	どちらかといえばそう思う	13.1	5	わからない	38.2
3	あまりそう思えない	25.2		（無回答）	2.7

問29 市は、市政の情報を、積極的に配信・提供していますが、あなたは、現在の市政情報の入手方法に満足していますか。（○は1つだけ） n=1,780

市の情報は、広報はちおうじ、ホームページ、メール（市長メールマガジン、犯罪・不審者情報、防災情報）、議会だより、町会・自治会の回覧物や掲示物、市で作成したパンフレット・ポスター、新聞・テレビなどのマスメディア、八王子テレメディア、JR八王子駅前河川情報板などで配信・提供しています。

1	満足している	8.2	4	満足していない	9.6
2	ほぼ満足している	41.1	5	わからない	21.0
3	あまり満足していない	18.0		（無回答）	2.1

問30 あなたは、この1年間に市役所、事務所、図書館、体育館、保健センターなど、市の窓口を利用したことはありますか。（○は1つだけ） n=1,780

1	ある	81.9	2	ない	17.3	（無回答）	0.8
---	----	------	---	----	------	-------	-----

→（問30で「1 ある」とお答えの方に）

問30-1 あなたは、市の窓口サービスに満足していますか。（○は1つだけ） n=1,457

1	満足している	16.6	4	満足していない	7.5
2	ほぼ満足している	55.1	5	わからない	3.9
3	あまり満足していない	16.4		（無回答）	0.4

問31 あなたは、この1年間に公園清掃などのボランティア活動や盆踊りなど地域行事に参加したことがありますか。(○は1つだけ) n=1,780

1 ボランティアにも地域行事にも参加したことがある	10.2	3 地域行事には参加したことがある	28.4
2 ボランティアには参加したことがある	4.2	4 どちらにも参加したことがない	55.8
		(無回答)	1.5

問32 あなたは、あなたのお住まいの地域が安全であると感じますか。(○は1つだけ) n=1,780

1 安全である	4.4	4 やや危険である	22.9
2 おおむね安全である	29.0	5 危険である	4.0
3 普通である	38.3	(無回答)	1.3

問33 市では、様々な相談を行っています、あなたは、市の相談窓口が充実していると思いますか。(○は1つだけ) n=1,780

市で行っている相談は、健康・栄養・歯、母子・福祉、女性のための相談、法律、不動産、登記、税金、相続・遺言等暮らしの手続、年金・雇用保険・労働条件相談、行政、外国人生活相談、人権、交通事故、消費者、子育て、心の相談、総合教育相談、こども電話相談などです。

1 充実している	5.1	4 充実していない	5.4
2 おおむね充実している	28.1	5 わからない	51.2
3 あまり充実していない	7.8	(無回答)	2.4

問34 あなたは、市の相談窓口を利用したことがありますか。(○は1つだけ) n=1,780

1 ある 20.3	2 ない 78.1	(無回答) 1.5
-----------	-----------	-----------

▶(問34で「1 ある」とお答えの方に)

問34-1 市の相談窓口を利用してどう感じましたか。(○は1つだけ) n=362

1 満足した	11.0	4 満足できなかった	20.2
2 ほぼ満足した	41.4	5 その他(具体的に)	1.1
3 あまり満足できなかった	26.0	(無回答)	0.3

問35 あなたは、市が行っている様々な子育て支援策について、日頃どのように感じていますか。

(○は1つだけ)

n=1,780

市は、子育て施策として、待機児解消に向けた保育園の定員増、放課後に児童を預かる学童保育所の整備、子育ての相談ができる子ども家庭支援センターの設置を行っています。この他、乳幼児医療費助成等の医療費負担軽減や児童手当の支給などを行っています。

1	満足している	2.4	3	あまり満足していない	7.8	5	その他（具体的に	）	0.8
2	ほぼ満足している	16.1	4	満足していない	5.8	6	わからない		62.7
							(無回答)		4.4

▶(問35で「3 あまり満足していない」または「4 満足していない」とお答えの方に)

問35-1 なぜ、そのように感じるのか理由があれば自由にご記入ください。

問36 あなたの現在の生きがいとはどのようなことですか。(○はいくつでも)

n=1,780

1	仕事	28.5	7	旅行	36.9	
2	スポーツやレクリエーション	19.0	8	家族とのふれあい	51.2	
3	学習や習い事	11.9	9	近所付き合い	9.1	
4	ボランティア活動	5.0	10	友人との交際	41.1	
5	趣味	45.4	11	その他（具体的に	）	2.6
6	映画や演劇などの鑑賞	15.6	12	特にな		7.1
				(無回答)		2.1

問37 あなたが健康の維持・増進のために、自ら心がけて行動していることはどれですか。

(○はいくつでも)

n=1,780

1	適度な運動	53.8	5	趣味などの生きがいづくり	32.9	
2	適度な休養	33.8	6	その他（具体的に	）	1.9
3	食事などの栄養バランス	48.9	7	特に何もしていない	12.8	
4	各種定期健診の受診	31.9		(無回答)	1.6	

問38 あなたは、かかりつけの医療機関を決めていますか。(○は1つだけ)

n=1,780

かかりつけ医とは、自分の体の状態を把握している身近な医師のことで、普段の健康管理、病気の初期治療のほか、大病院での検査・治療を必要とするかどうかの判断、紹介などが期待されます。

1	決めている	56.3	2	決めていない	42.3	(無回答)	1.4
---	-------	------	---	--------	------	-------	-----

問39 あなたがこの1年間に取り組んだ学習活動はどれですか。(○はいくつでも)

n=1,780

1	パソコン・インターネット	24.6	6	文学	5.2	11	園芸	13.5
2	音楽	10.3	7	歴史	5.6	12	職業上必要な知識・技能	25.4
3	美術	4.8	8	料理	8.4	13	その他(具体的に)	5.1
4	写真	4.3	9	洋裁	2.6	14	特に学習していない	34.9
5	外国語	7.8	10	和裁	0.5		(無回答)	3.4

問40 あなたがこの1年間にスポーツを行った回数はどのくらいですか。(○は1つだけ)

n=1,780

スポーツの種類は、エアロビクス、健康体操、ジョギング、ウォーキング、武道、バスケットボール、バレーボール、サッカー、テニス、バドミントン、野球、卓球、登山、スキー、スケート、水泳、ダイビング、レクリエーション、ゲートボールなどです。

1	週に1回以上	29.2	4	半年に1～2回	8.0
2	月に1～3回	15.5	5	その他(具体的に)	0.5
3	3ヶ月に1～2回	6.6	6	特にしていない	36.7
				(無回答)	3.5

問41 あなたは、この1年間にどのくらいの頻度で芸術・文化活動に参加しましたか。

(鑑(観)賞も含みます)(○は1つだけ)

n=1,780

芸術・文化活動の分野は、文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、映画、アニメーション・メディア芸術、伝統芸能(歌舞伎、落語など)、茶道、華道、書道、囲碁、将棋、歴史・文化財などです。

1	週に1回以上	6.9	4	半年に1～2回	18.0
2	月に1～3回	13.2	5	年1回	6.4
3	3ヶ月に1～2回	11.5	6	特にしていない	41.3
				(無回答)	2.8

問42 あなたは、本市が景観に配慮されたまちであると思いますか。(○は1つだけ)

n=1,780

1	そう思う	5.2	3	あまりそう思えない	37.2	5	わからない	19.7
2	どちらかといえばそう思う	20.6	4	思えない	14.1		(無回答)	3.3

問43 あなたの家庭では、大地震等の災害に備えどのようなものを準備していますか。(○はいくつでも)

n=1,780

1	食料・飲料水	43.0	6	貴重品類等非常持出品	20.5
2	医薬品	22.5	7	衣類	7.3
3	携帯ラジオ	46.5	8	その他(具体的に)	2.7
4	懐中電灯	63.7	9	何もしていない	25.4
5	消火器	25.8		(無回答)	1.6

問44 あなたは、本市がにぎわいと活力があるまちであると感じますか。(○は1つだけ) n=1,780

1 感じる	4.2	3 あまり感じない	40.3	5 わからない	10.9
2 多少感じる	22.4	4 感じない	20.1	(無回答)	2.1

問45 あなたは、環境問題に関心はありますか。(○は1つだけ) n=1,780

1 大いにある	24.8	3 少しはある	38.6
2 ある	32.2	4 ない	2.6
		(無回答)	1.7

問46 あなたは、本市の環境(水、緑、ごみ、大気など)が以前と比べどうなったと感じていますか。
(○は1つだけ) n=1,780

1 良くなった	8.6	4 悪くなった	6.6
2 どちらかといえば良くなった	39.3	5 わからない	28.8
3 どちらかといえば悪くなった	14.8	(無回答)	2.0

問47 都市の美観が損なわれる主な原因は、次のどれだと思いますか。(○は3つまで) n=1,780

1 違法駐車	34.4	5 落書き	33.1
2 放置自転車	42.5	6 違法看板	28.7
3 ペットのふん	30.8	7 はみ出し営業	12.9
4 ごみ・たばこのポイ捨て	60.3	8 その他(具体的に)	6.5
		(無回答)	2.4

問48 本市は、都市の美観が保持されているまちであると思いますか。(○は1つだけ) n=1,780

1 そう思う	3.0	3 あまりそう思えない	45.3	5 わからない	16.1
2 どちらかといえばそう思う	22.9	4 思えない	10.4	(無回答)	2.4

問49 省エネ・省資源のためには、冷暖房を控える、電気をこまめに消す、冷蔵庫の開閉に気を遣う、
ごみ減量のためのリサイクルを心がける、マイカーの使用を控える、省エネ製品を利用する、買物
用のバッグを持参して買い物に行くなどがありますが、あなたは、省エネ・省資源を意識して実行
していますか。(○は1つだけ) n=1,780

1 常に実行している	37.9	3 今後は実行したい	9.0
2 時々実行している	50.5	4 実行するつもりはない	1.0
		(無回答)	1.6

ご回答、大変ありがとうございました。

ご多忙の中、誠に恐縮ですが、調査票を同封の返信用封筒に入れ、5月25日(金)
までにお近くの郵便ポストにご投函ください。(切手を貼る必要はありません。)

市政世論調査報告書（第39回）

平成 19 年 10 月

発行 八王子市 総合政策部 広聴広報室（広聴担当）
東京都八王子市元本郷町三丁目24番1号
電話 042（620）7411（直通）

調査担当 株式会社 サーベイリサーチセンター
電話 03（3802）6711（代表）